

令和 元 年度

市政世論調査概要

第 7 3 集

和 歌 山 市

はじめに

まちなかへの相次ぐ大学の開校、市駅ビルをはじめとした再開発、産業の振興など未来の成長を支えるためにこれまでやってきたことが、芽を出し始めています。この成長に弾みをつけるとともに、福祉などの充実に力を入れていきます。

今春、県都としての玄関口である南海和歌山市駅が生まれ変わります。飲食店などの店舗が入る商業ゾーンは、にぎわいの場になります。そこに隣接する新市民図書館は、読書スペースに加えてミニトレインの走る屋上庭園や子育て親子のつどいの場など、多くの市民の方に気軽に立ち寄っていただける施設となっています。子供、学生、子育て世代から高齢者まであらゆる方々の新しい居場所になるとともに、本を身近に感じられる多世代間の交流や賑わいの拠点としての新たな可能性に心躍ります。

また、「子ども・子育て支援新制度」が本格施行されて5年になり、和歌山市でも1月6日から新しいこども総合支援センターをオープンさせ、保健センターなど関係部局や関係機関の連携の要となる、子ども家庭総合支援拠点を設けました。安定した雇用を生み出す産業が元気なまち、住みたいと選ばれる魅力があふれるまち、子供たちがいきいきと育つまち、誰もが安心して住み続けられる持続可能なまちを目指し、新たな気持ちで臨んで参ります。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、令和元年度市政世論調査概要（第73集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
II. 調査の結果	15
1. 和歌山市のまち・ひと・しごと創生について	15
2. 自殺対策について	36
3. 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭について	42
4. 家庭教育支援について	52
5. 歴史まちづくりについて	59
6. 災害対策について	64
7. 防犯対策について	101
8. 在宅医療について	106
9. 健康について	114
10. スポーツについて	132
11. やってみたいスポーツや施設について	139
12. あなたの身の回りの状況やお考えについて	143
13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	145
14. 和歌山市の市政について（自由意見）	170
III. 調査票	175

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「925」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 和歌山市のまち・ひと・しごと創生について
- 自殺対策について
- 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭について
- 家庭教育支援について
- 歴史まちづくりについて
- 災害対策について
- 防犯対策について
- 在宅医療について
- 健康について
- スポーツについて
- やってみたいスポーツや施設について
- あなたの身の回りの状況やお考えについて
- 和歌山市の取組に対する満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 令和元年 8 月 6 日（火）～同年 8 月 26 日（月）
- ◆ 回収率 発送数 2,000 人
有効回収数 925 人 （回収数 925 人）
有効回収率 46.3% （回収率 46.3%）
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出及びアンケートの策定）
株式会社ゼンリン 和歌山営業所（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

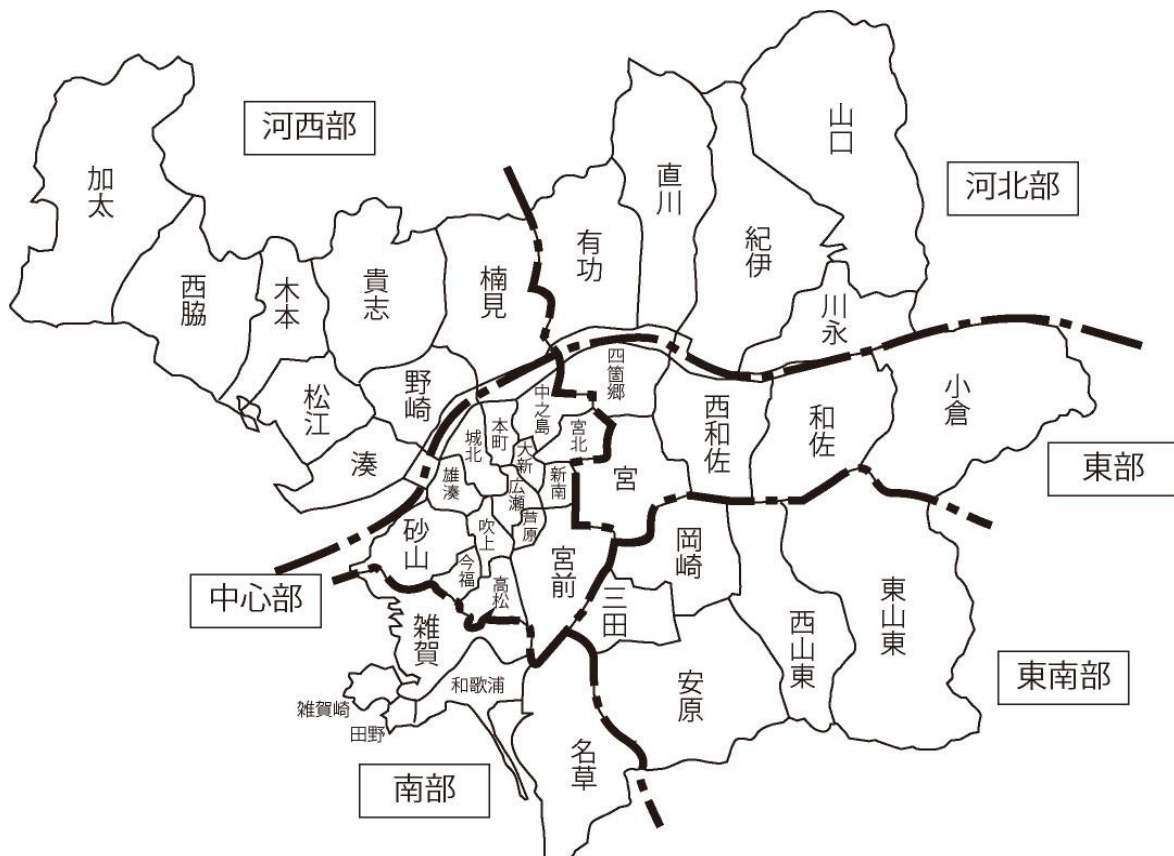
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



5. 回答者の属性

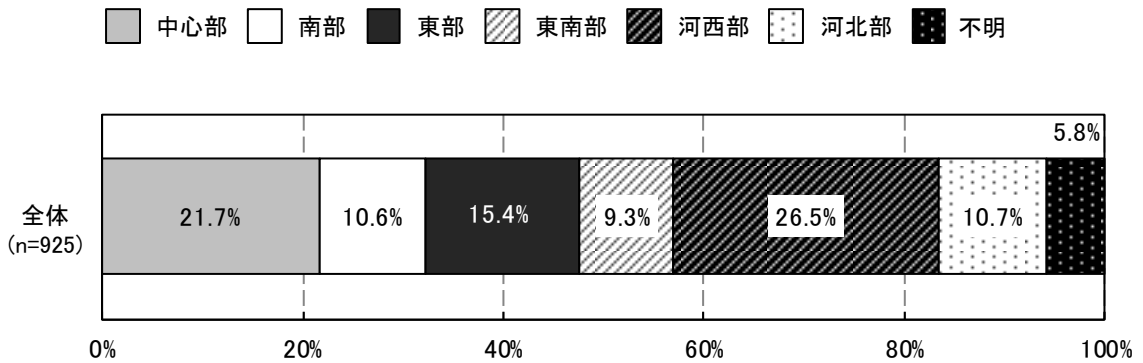
区分		総数	18 ～ 19歳	20 ～ 29歳	30 ～ 39歳	40 ～ 49歳	50 ～ 59歳	60 ～ 69歳	70 ～ 79歳	80歳 以上	不明
総数		925	10	53	89	143	161	198	199	65	7
地域別	中心部	201	2	17	15	38	36	39	39	15	0
	南部	98	2	4	8	17	13	24	23	6	1
	東部	142	1	11	9	20	31	24	35	10	1
	東南部	86	0	4	10	15	22	15	12	6	2
	河西部	245	4	12	28	38	37	54	53	17	2
	河北部	99	0	3	14	9	15	26	28	4	0
	不明	54	1	2	5	6	7	16	9	7	1
性別	男性	403	5	26	35	54	68	85	96	31	3
	女性	512	5	27	53	89	93	111	102	31	1
	不明	10	0	0	1	0	0	2	1	3	3
職業別	会社員	228	0	30	37	64	59	32	4	1	1
	自営業	69	0	1	4	10	11	24	15	4	0
	農林水産業	8	0	0	0	0	0	6	2	0	0
	公務員	39	0	1	12	10	13	2	0	0	1
	パート・アルバイト	136	0	3	14	37	33	32	17	0	0
	専業主婦	149	0	5	16	15	22	44	38	9	0
	学生	20	10	9	0	0	1	0	0	0	0
	無職	227	0	2	4	4	10	49	106	50	2
	その他	41	0	2	2	3	12	7	14	1	0
	不明	8	0	0	0	0	0	2	3	0	3
居住年数別	1年未満	10	2	2	5	0	0	1	0	0	0
	1～3年未満	13	0	3	5	3	2	0	0	0	0
	3～5年未満	15	0	3	7	3	0	2	0	0	0
	5～10年未満	30	0	2	12	9	1	2	2	2	0
	10～20年未満	57	8	6	9	19	9	2	4	0	0
	20～30年未満	100	0	35	11	19	19	9	6	1	0
	30年以上	696	0	2	40	90	130	182	187	61	4
	不明	4	0	0	0	0	0	0	0	1	3

問1 居住地区

問1 あなたの居住地区はどこですか？

- | | |
|--------|--------|
| 1. 中心部 | 4. 東南部 |
| 2. 南部 | 5. 河西部 |
| 3. 東部 | 6. 河北部 |

居住区構成は、「河西部」(26.5%)が最も多く、次いで「中心部」(21.7%)、「東部」(15.4%)の順となっている。

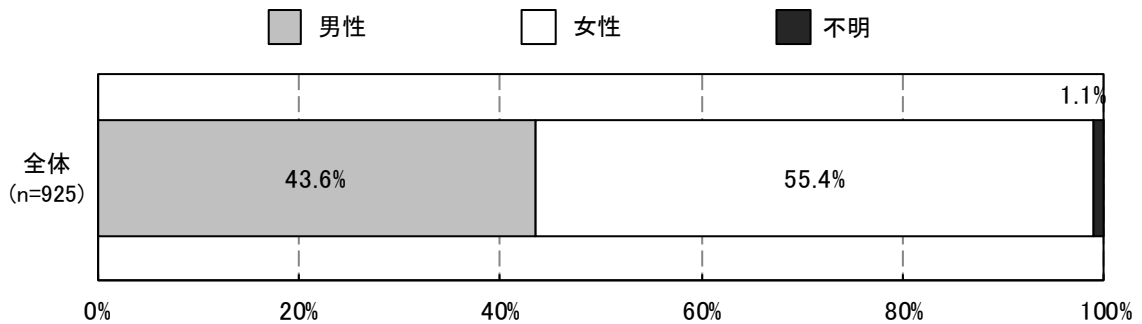


問2 男女別

問2 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

男女別構成は「男性」が43.6%、「女性」が55.4%で女性が男性を上回っている。

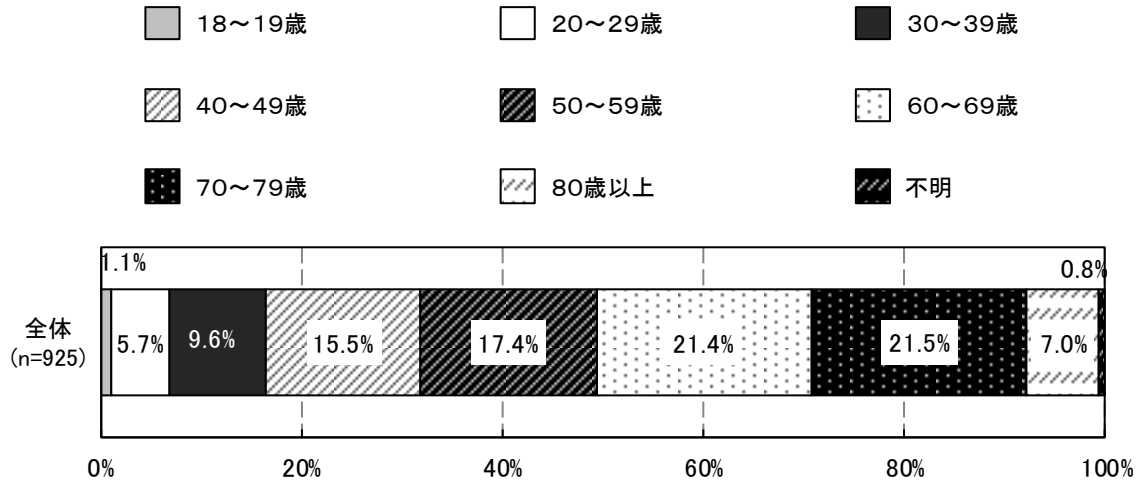


問3 年齢

問3 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | 8. 80歳以上 |

年齢構成は「70～79歳」(21.5%)が最も多く、次いで「60～69歳」(21.4%)となっている。60歳以上の割合が49.9%を占める。

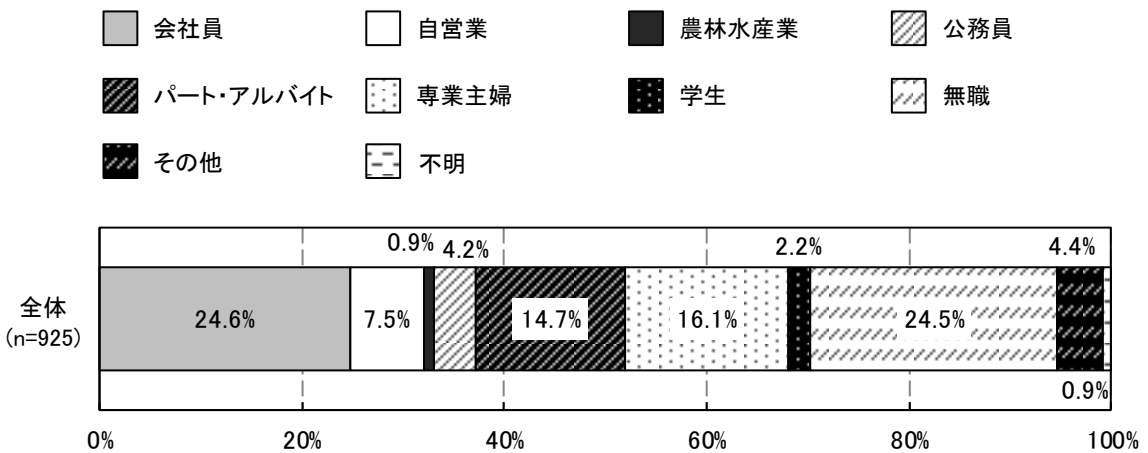


問4 職業

問4 あなたの職業は？

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 会社員 | 6. 専業主婦 |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 農林水産業 | 8. 無職 |
| 4. 公務員 | 9. その他 |
| 5. パート・アルバイト | |

職業構成は「会社員」(24.6%)、「無職」(24.5%)、「専業主婦」(16.1%)の順となっている。



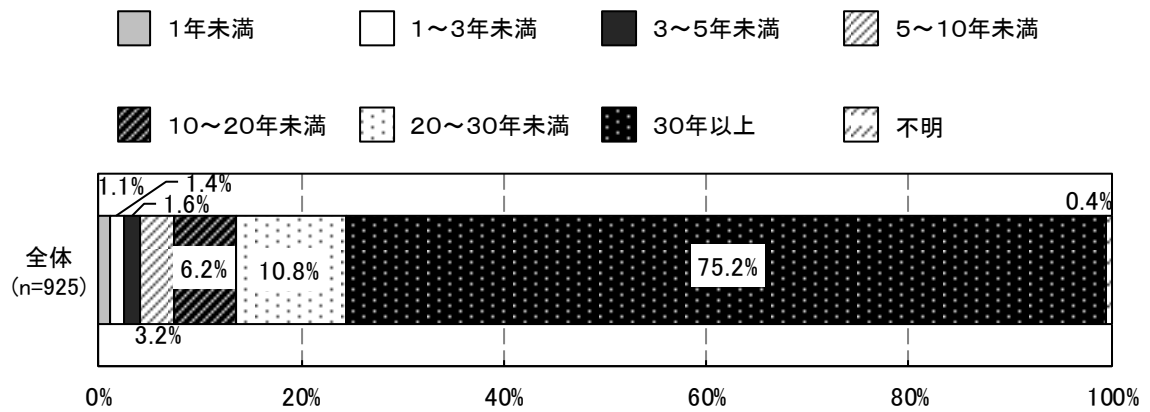
その他：「役員・経営者」、「医療関係者」、「年金生活者」など

問5 居住年数

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満
2. 1～3年未満
3. 3～5年未満
4. 5～10年未満
5. 10～20年未満
6. 20～30年未満
7. 30年以上

居住年数構成は「30年以上」(75.2%)で最も多く、次いで「20～30年未満」(10.8%)が続く。



6. 回答者の家族環境

回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

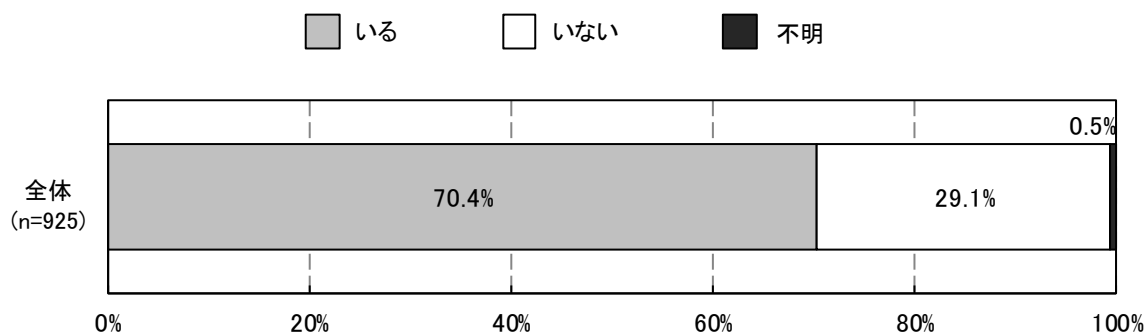
問6 配偶者の有無

問6 あなたは現在、配偶者がいますか？

1. いる

2. いない

配偶者が「いる」と回答された方の割合は70.4%、「いない」が29.1%となった。



問6-1 共働き

問6-1 問6で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

どちらも働いていますか？

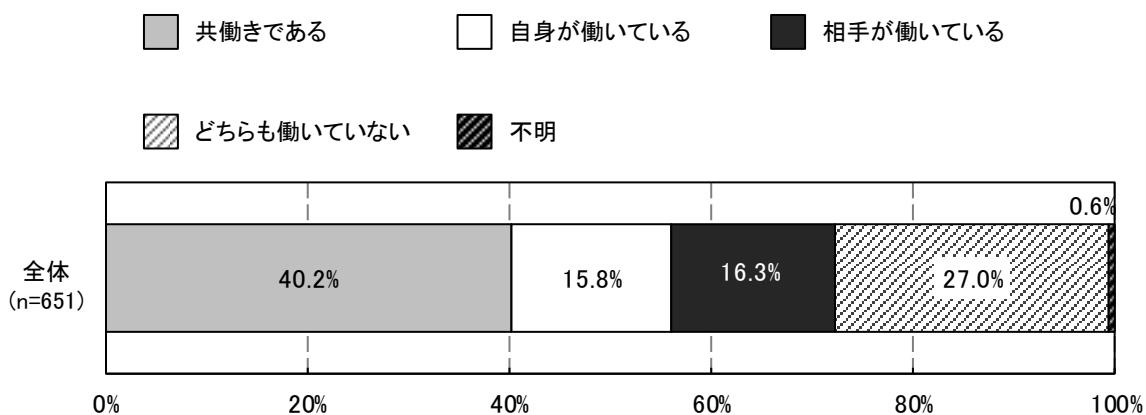
1. 共働きである

3. 相手が働いている

2. 自身が働いている

4. どちらも働いていない

問6で配偶者が「いる」と回答された651人について、「共働きである」(40.2%)が最も多く、次いで「どちらも働いていない」(27.0%)、「相手が働いている」(16.3%)と続いた。

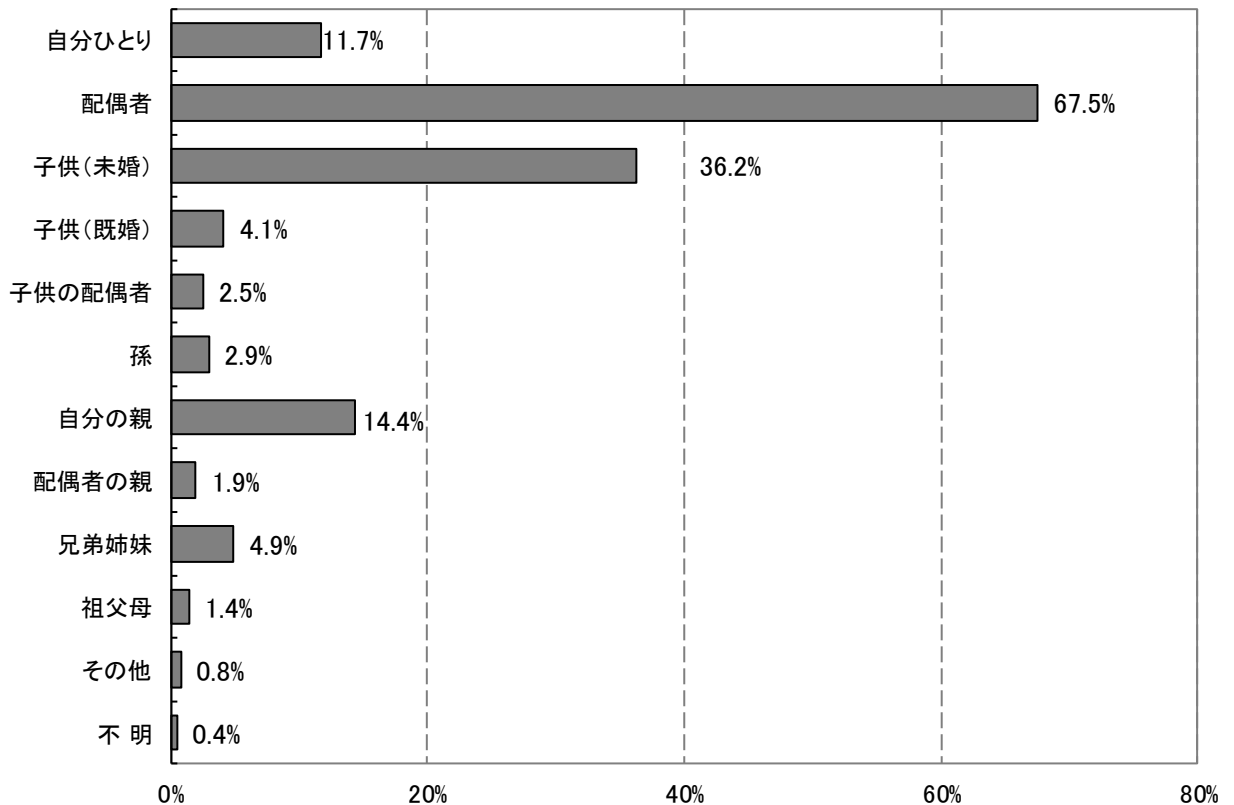


問7 家族構成

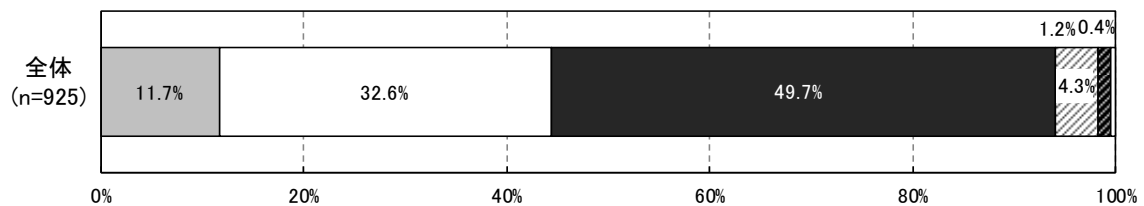
問7 あなたは現在、どなたと一緒に住みますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子供（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子供（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子供の配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | |

同居人は「配偶者」(67.5%)が最も多く、次いで「子供（未婚）」(36.2%)、「自分の親」(14.4%)の順となっている。回答から家族構成を分類すると「2世代世帯」(49.7%)が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」(32.6%)、「単独世帯」(11.7%)、「3、4世代世帯」(4.3%)の順となっている。



■ 単独世帯 □ 夫婦のみ世帯 ■ 2世代世帯 ▨ 3、4世代世帯 ■ その他 □ 不明



その他：「親族」、「内縁の相手」 など

調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 和歌山市のまち・ひと・しごと創生について

問8 和歌山市への移住を勧めたいか

問8 あなたは、県外にお住まいのご家族やご友人に和歌山市への移住を勧めたいですか？

1. 勧めたい

2. 勧めたくない

全体では、「勧めたい」が41.0%、「勧めたくない」が56.6%となった。

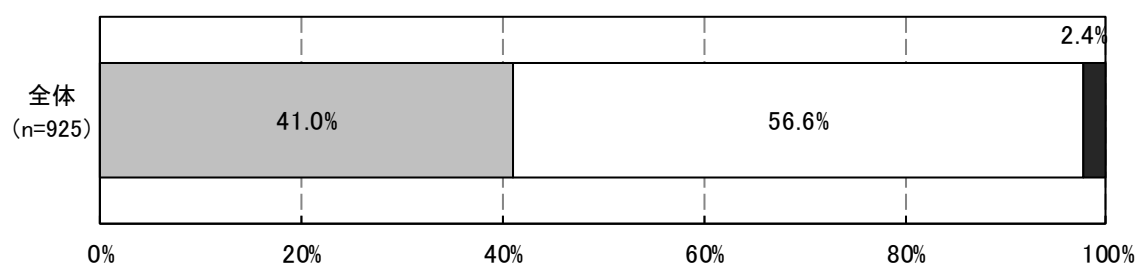
男女別では、「勧めたい」と回答された男性の割合は39.0%、女性は42.4%となり、女性のほうが勧めたいと考えている傾向が見られる。

年代別では、「勧めたい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「80歳以上」(49.2%)となった。次いで、「50～59歳」(45.3%)、「40～49歳」(42.7%)と続いた。

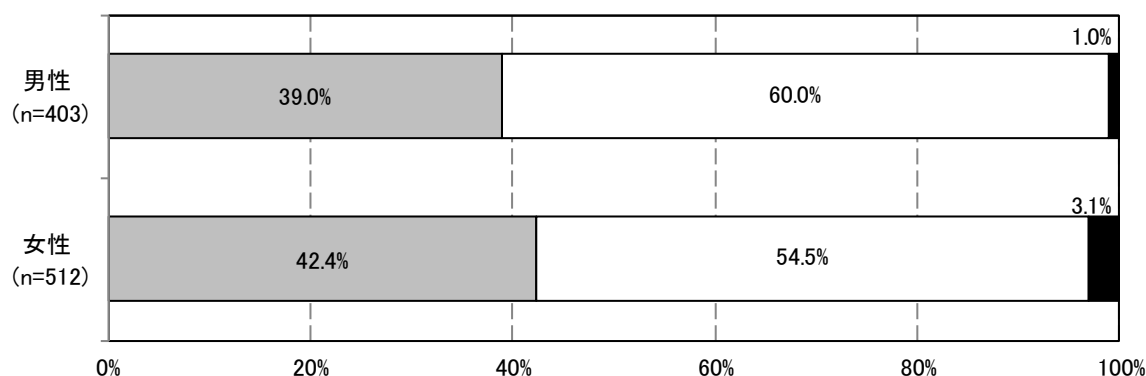
地域別では、「中心部」、「河西部」にて「勧めたい」と回答された方の割合が40%を超える結果となった。

<全体>

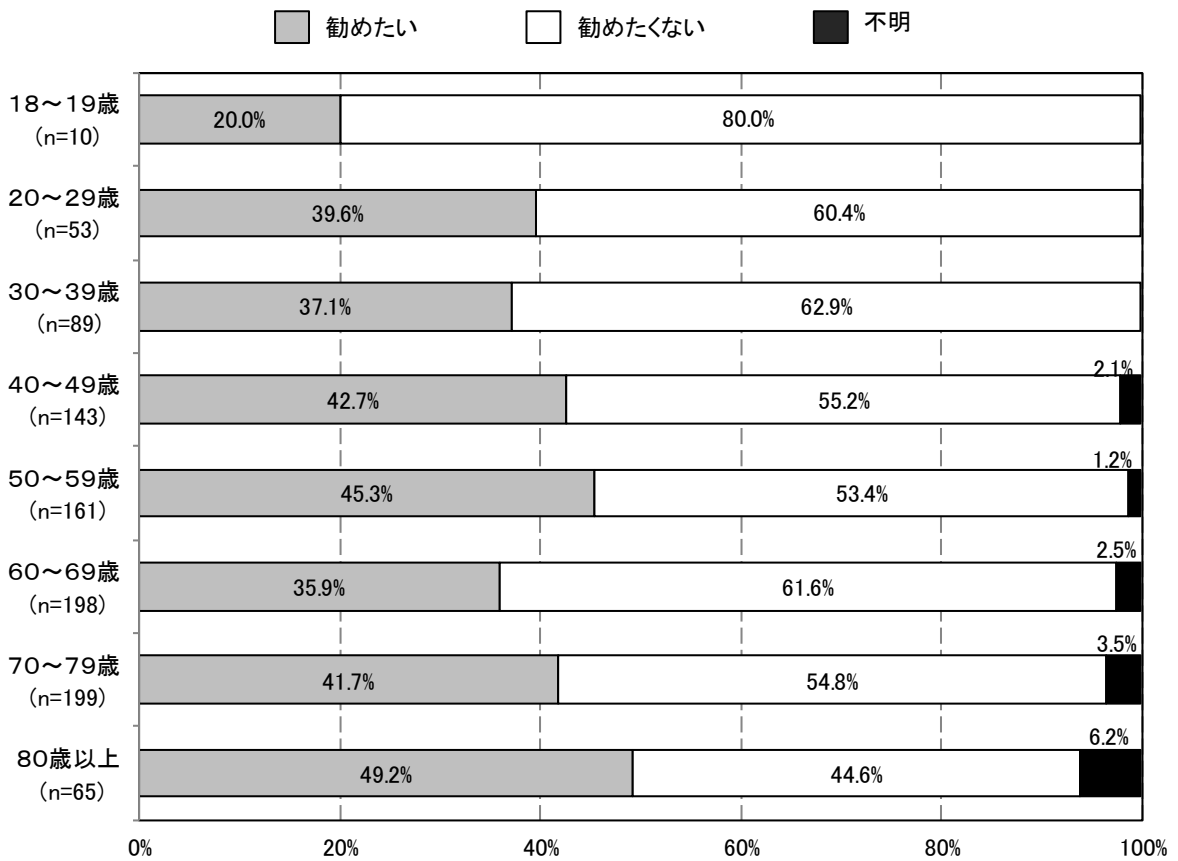
■ 勧めたい □ 勧めたくない ■ 不明



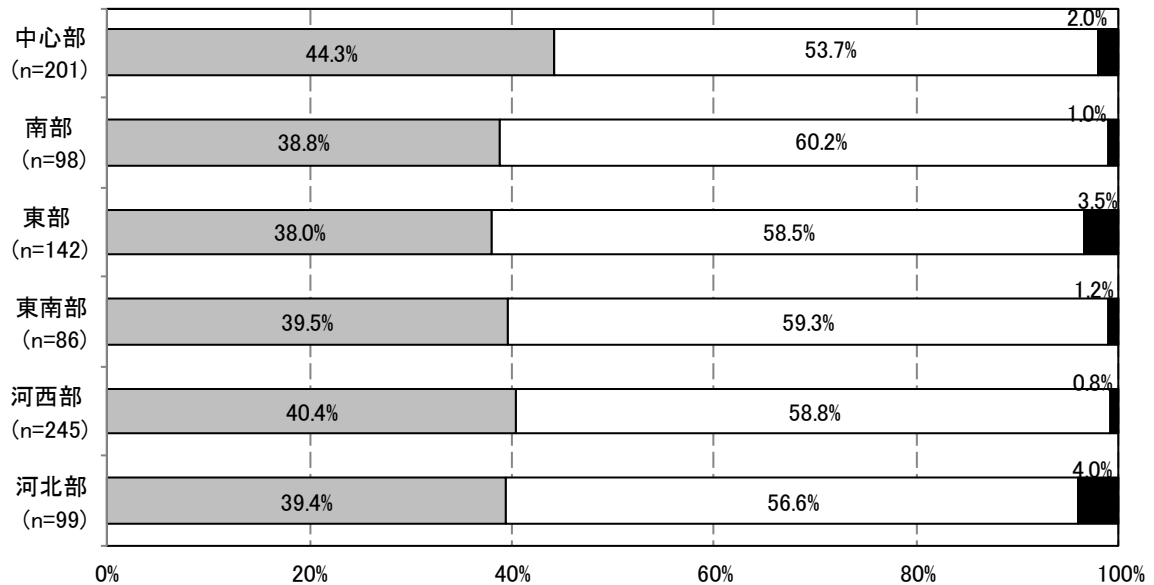
<男女別>



<年代別>



<地域別>



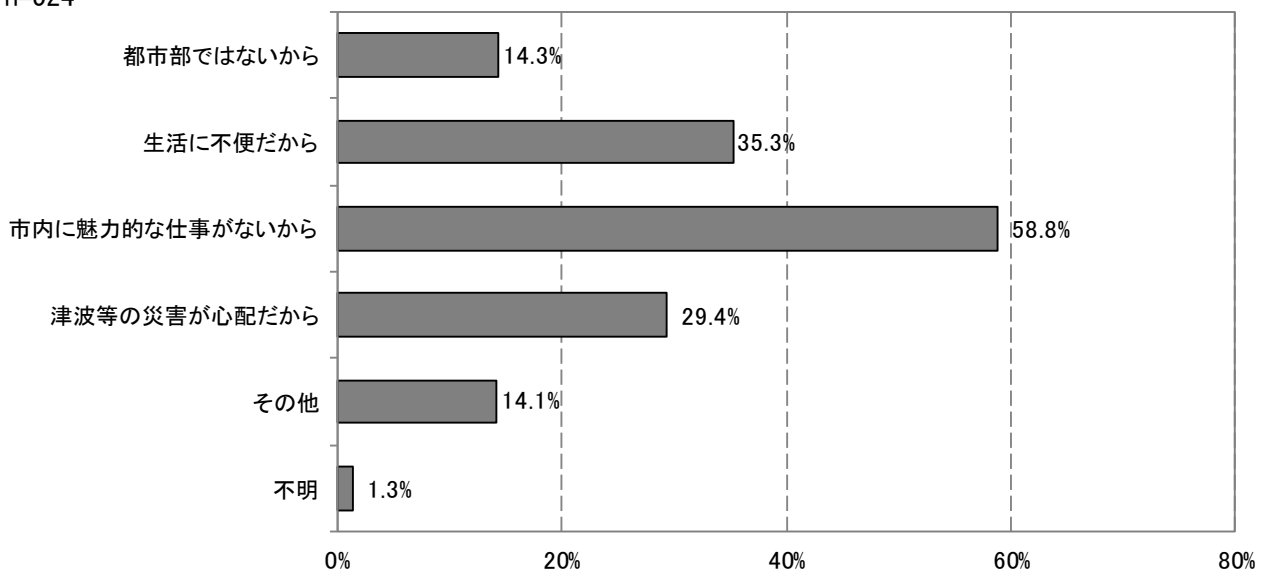
問8-1 移住を勧めたくない理由

問8-1 問8で「2. 勧めたくない」と回答された方のみお答えください。勧めたくない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 都市部ではないから
2. 生活に不便だから
3. 市内に魅力的な仕事がないから
4. 津波等の災害が心配だから
5. その他

移住を勧めたくない理由として、最も多かった回答は、「市内に魅力的な仕事がないから」でその割合は58.8%となった。次いで「生活に不便だから」(35.3%)、「津波等の災害が心配だから」(29.4%)と続いた。

n=524



その他：「公共交通が不便」、「魅力が薄い」、「待遇のよい仕事が少ない」 など

問9 市外に向けたPR状況

問9 市外に向けた和歌山市のPRは十分だと思いますか？

1. 思う

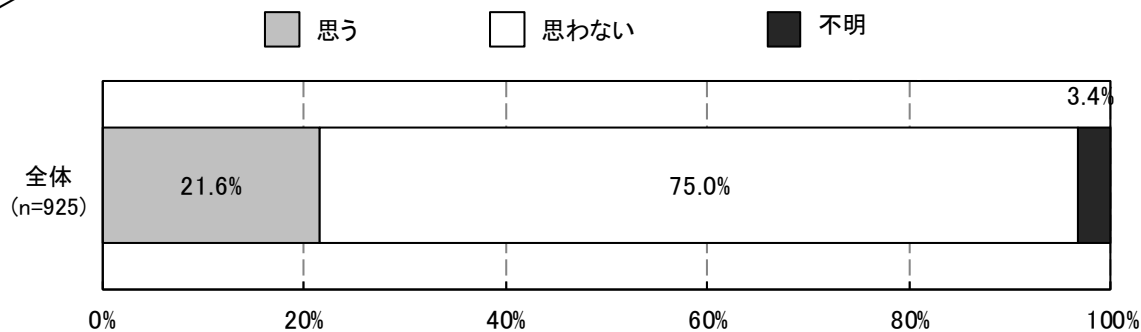
2. 思わない

全体では、市外に向けたPRが十分だと「思う」と回答された方の割合は21.6%、「思わない」の割合は75.0%となった。

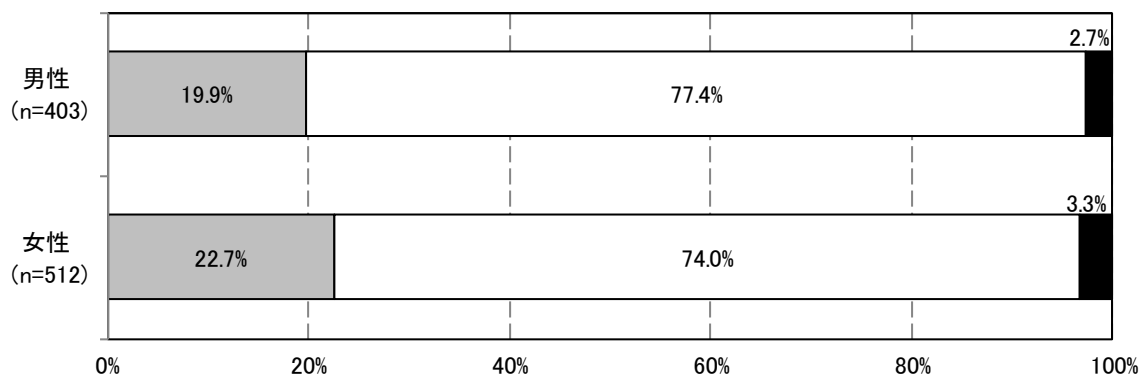
男女別では、PRが十分だと思う方の割合は男性で19.9%、女性で22.7%となった。

年代別では、PRが十分だと思う方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」(30.3%)、次いで「18～19歳」(30.0%)、「20～29歳」(24.5%)となった。

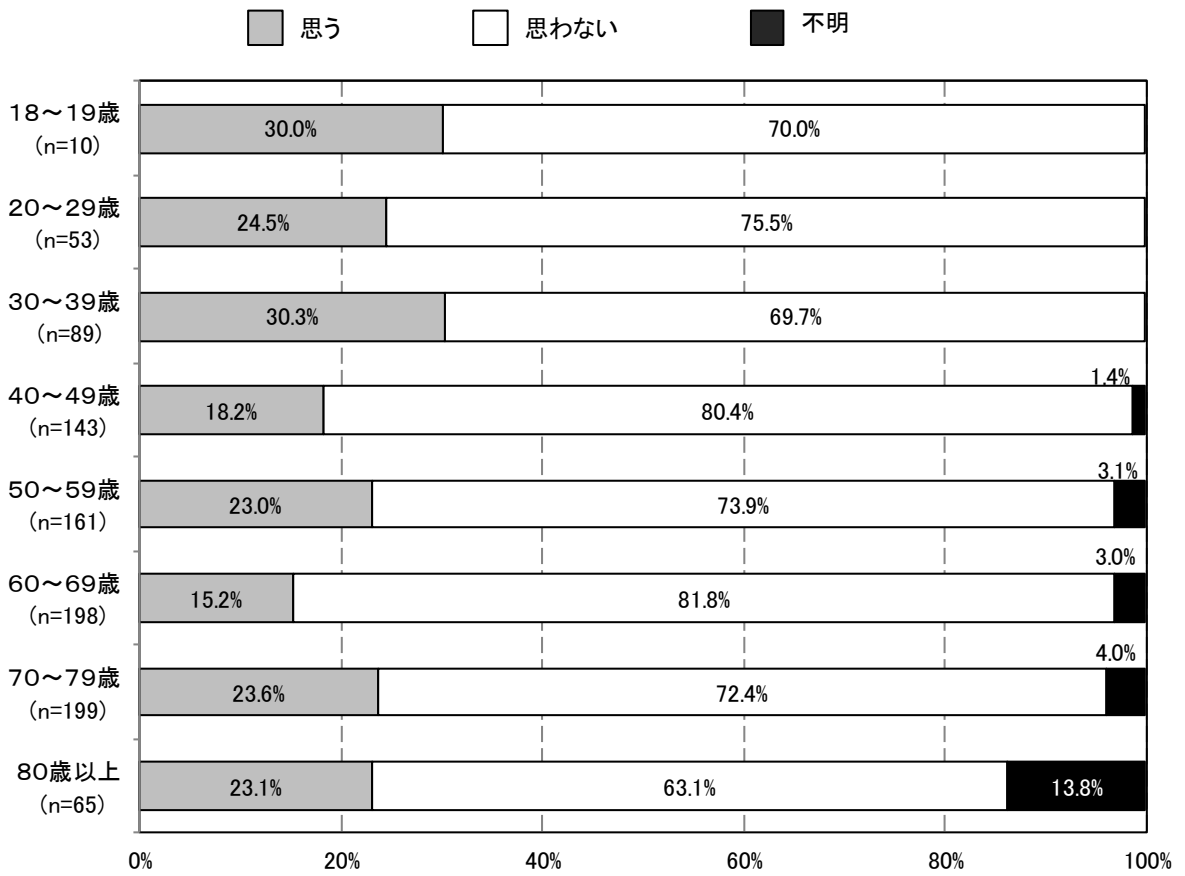
<全体>



<男女別>



<年代別>



問9-1 和歌山市のPRが不十分だと思う利用

問9-1 問9で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。最も不十分だと思う理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

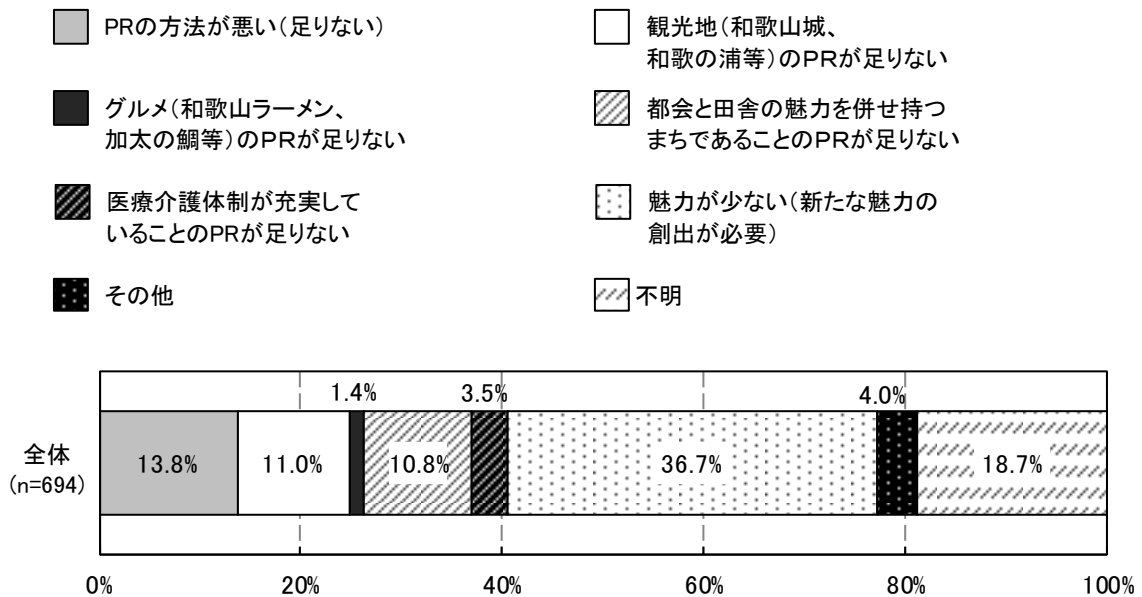
1. PRの方法が悪い(足りない)
2. 観光地(和歌山城、和歌の浦等)のPRが足りない
3. グルメ(和歌山ラーメン、加太の鯛等)のPRが足りない
4. 都会と田舎の魅力を併せ持つまちであることのPRが足りない
5. 医療介護体制が充実していることのPRが足りない
6. 魅力が少ない(新たな魅力の創出が必要)
7. その他

全体では和歌山市のPRが不十分だと思う理由で、最も多かった回答は「魅力が少ない(新たな魅力の創出が必要)」(36.7%)となった。次いで、「PRの方法が悪い(足りない)」(13.8%)、「観光地(和歌山城、和歌の浦等)のPRが足りない」(11.0%)と続いた。

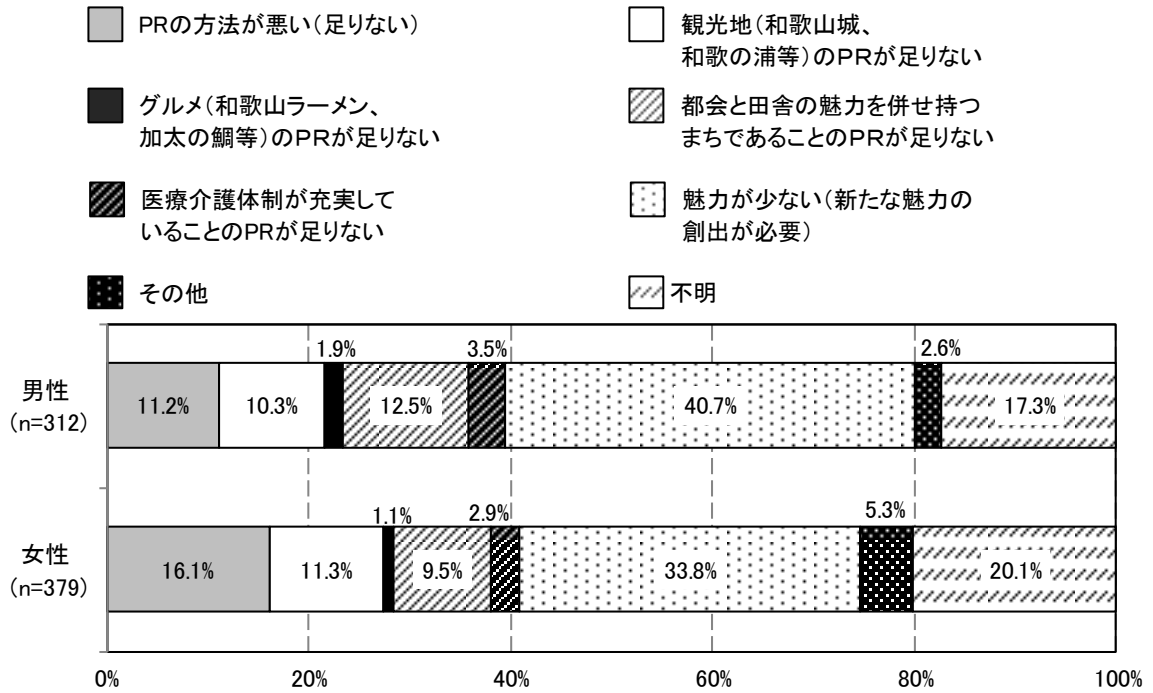
男女別では、「魅力が少ない(新たな魅力の創出が必要)」と回答された方の割合は、男性が40.7%、女性は33.8%となり、男性のほうが魅力が少ないと考える傾向が見られた。

年代別では、「18~19歳」、「20~29歳」にて「魅力が少ない(新たな魅力の創出が必要)」と回答された方の割合が40%を超える結果となった。

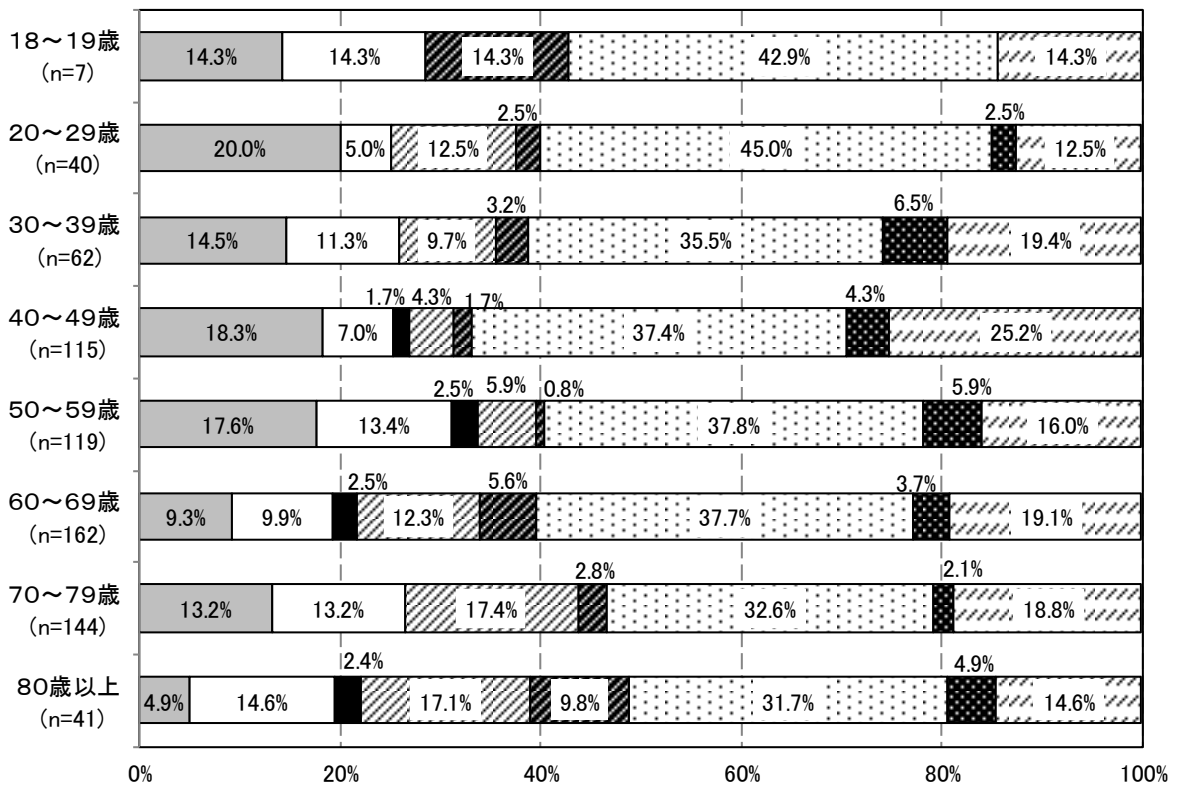
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「PR していることを知らない」、「PR の前にすべきことがある」 など

問10 まちなかエリアに住みたいかどうかについて

問10 あなたは、まちなかエリアに住みたいと思いますか？

1. 思う

2. 思わない

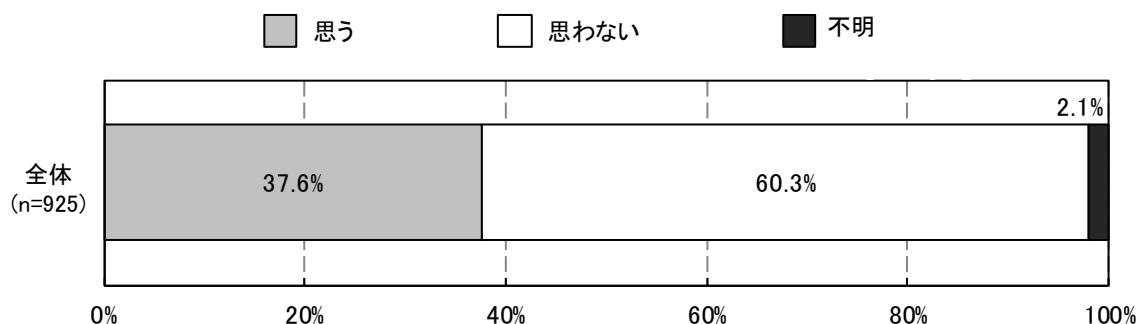
まちなかエリアに住みたいかどうかについて、全体では、住みたいと「思う」と回答された方の割合は37.6%、「思わない」が60.3%となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

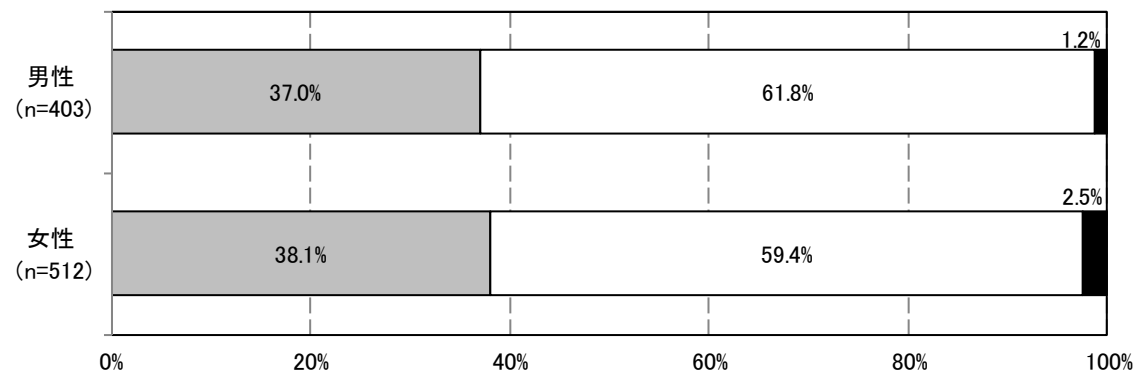
年代別では、住みたいと「思う」と回答された方の割合が最も高かった年代が「18～19歳」で80.0%となったが、他の年代では50%以下となり、「30～39歳」で41.6%、「50～59歳」で41.0%と続いた。

地域別では、住みたいと「思う」と回答された方の割合が最も高かった地域は「中心部」で67.2%となったが、他の地域では40%以下となり、「東部」で34.5%、「南部」で28.6%と続いた。

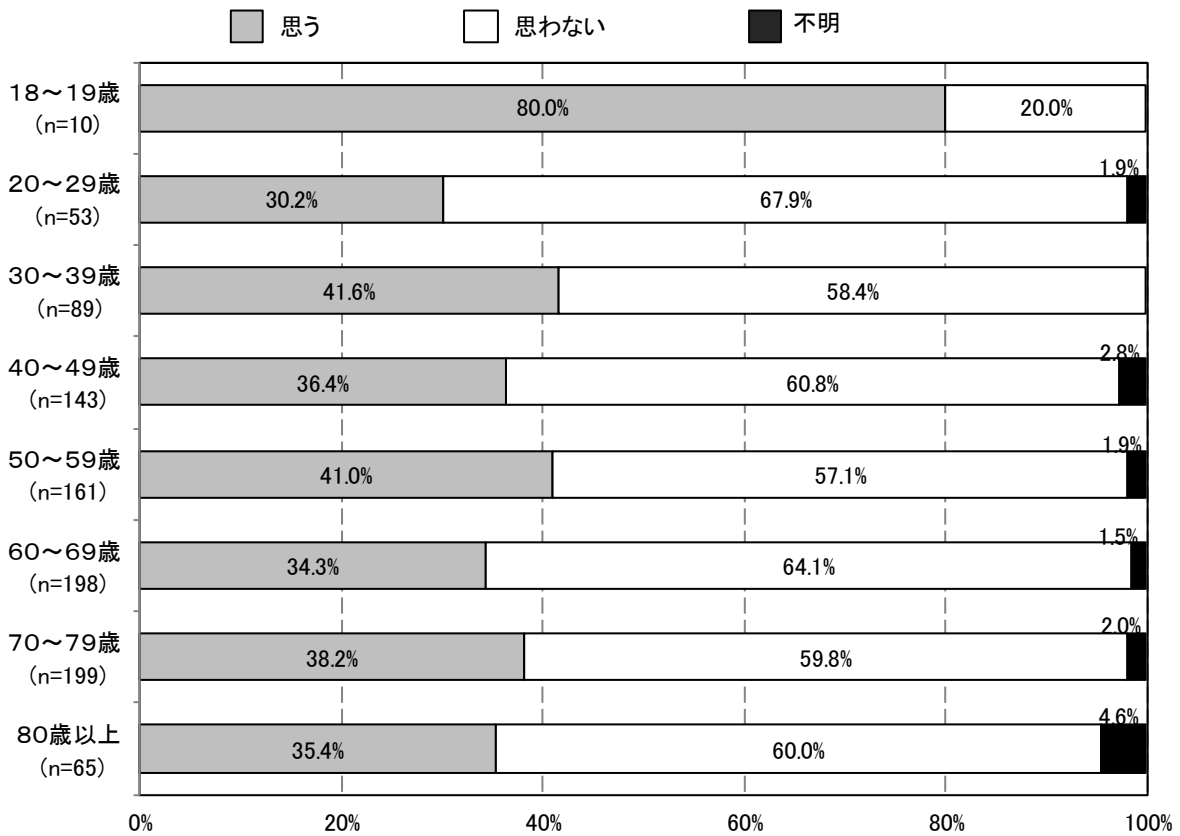
<全体>



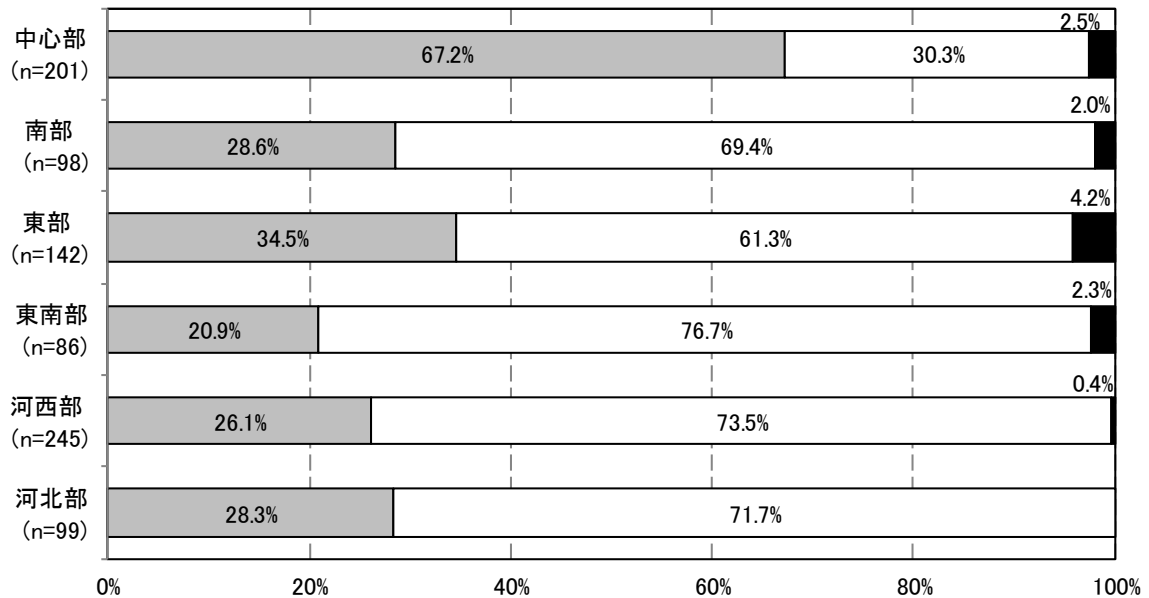
<男女別>



<年代別>



<地域別>

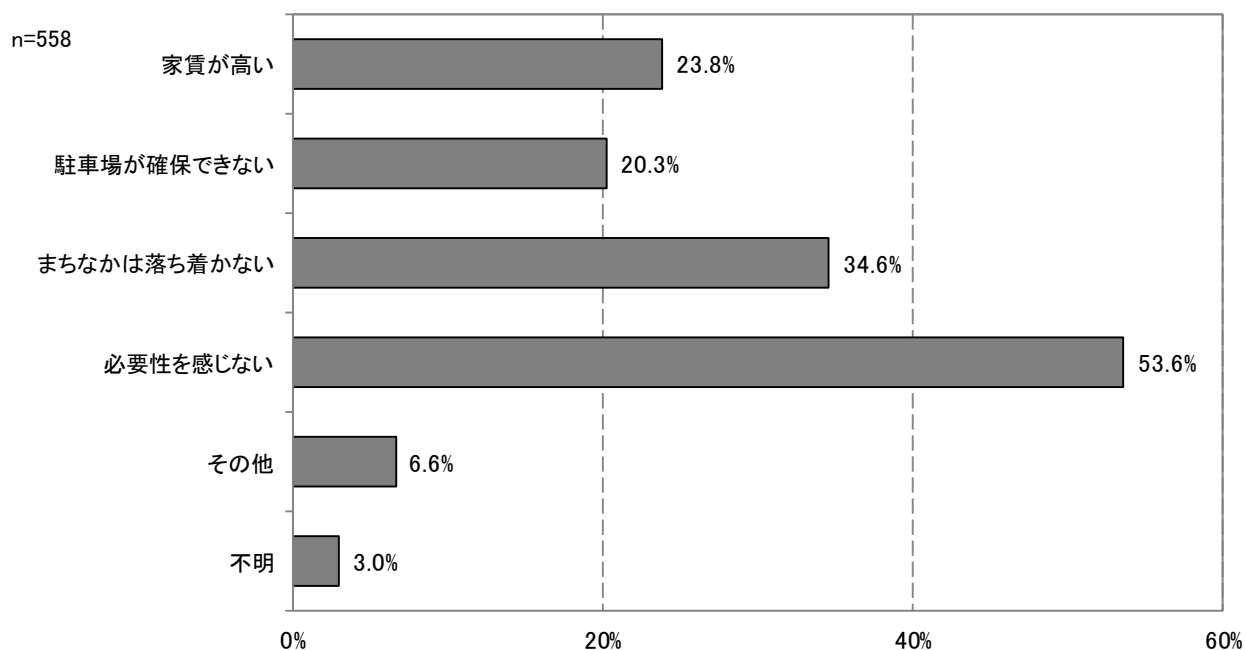


問10-1 まちなかエリアに住みたくない理由

問10-1 問10で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。理由としてあてはまるものを全てお選びください。

1. 家賃が高い
2. 駐車場が確保できない
3. まちなかは落ち着かない
4. 必要性を感じない
5. その他

まちなかエリアに住みたくない理由として最も多かった回答が「必要性を感じない」でその割合は53.6%となった。次いで、「まちなかは落ち着かない」(34.6%)、「家賃が高い」(23.8%)と続いた。



その他：「まちなかでも交通の不便なところがある」、「畑が遠い」 など

問 1 1 男性に育児参加を促すために必要なこと

問 1 1 今まで以上に、男性の育児参加を促すため、特に必要なことは何だと思えますか？あてはまるものを1つお選びください。

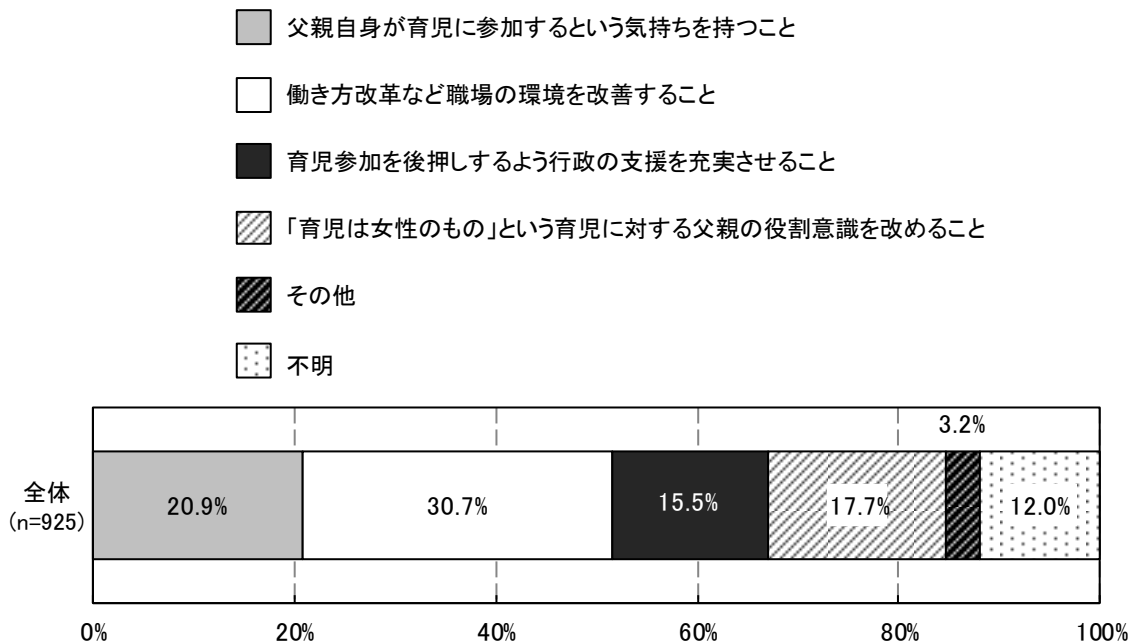
1. 父親自身が育児に参加するという気持ちを持つこと
2. 働き方改革など職場の環境を改善すること
3. 育児参加を後押しするよう行政の支援を充実させること
4. 「育児は女性のもの」という育児に対する父親の役割意識を改めること
5. その他

男性に育児参加を促すために必要なこととして、全体で最も多かった回答は「働き方改革など職場の環境を改善すること」でその割合は 30.7%となった。次いで、「父親自身が育児に参加するという気持ちを持つこと」(20.9%)、「『育児は女性のもの』という育児に対する父親の役割意識を改めること」(17.7%)と続いた。

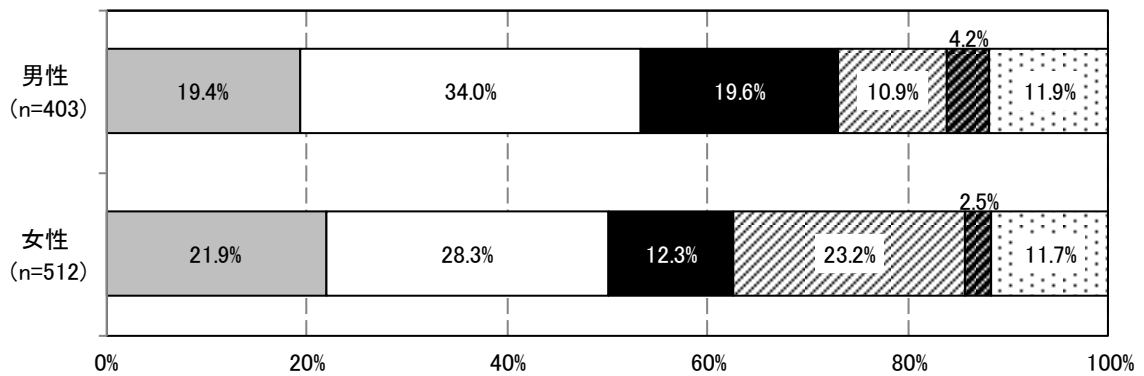
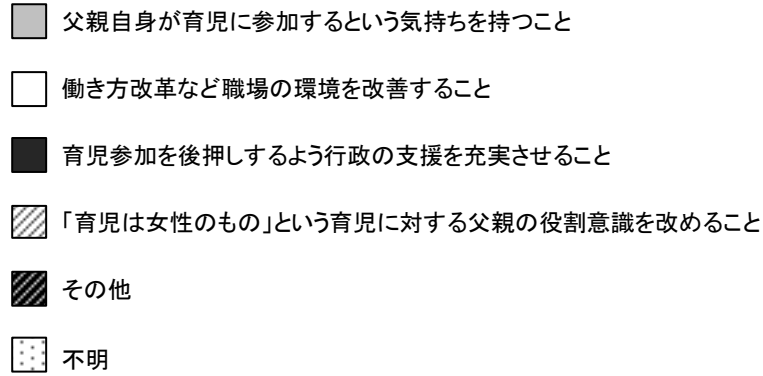
男女別では、「『育児は女性のもの』という育児に対する父親の役割意識を改めること」にて男女間で大きく差異が見られ、男性の割合は 10.9%、女性は 23.2%となった。

年代別では、「働き方改革など職場の環境を改善すること」と回答された方の割合が最も高かったのは「20~29 歳」(43.4%)となった。次いで「18~19 歳」(40.0%)となり、若い世代において、40%以上の回答となった。

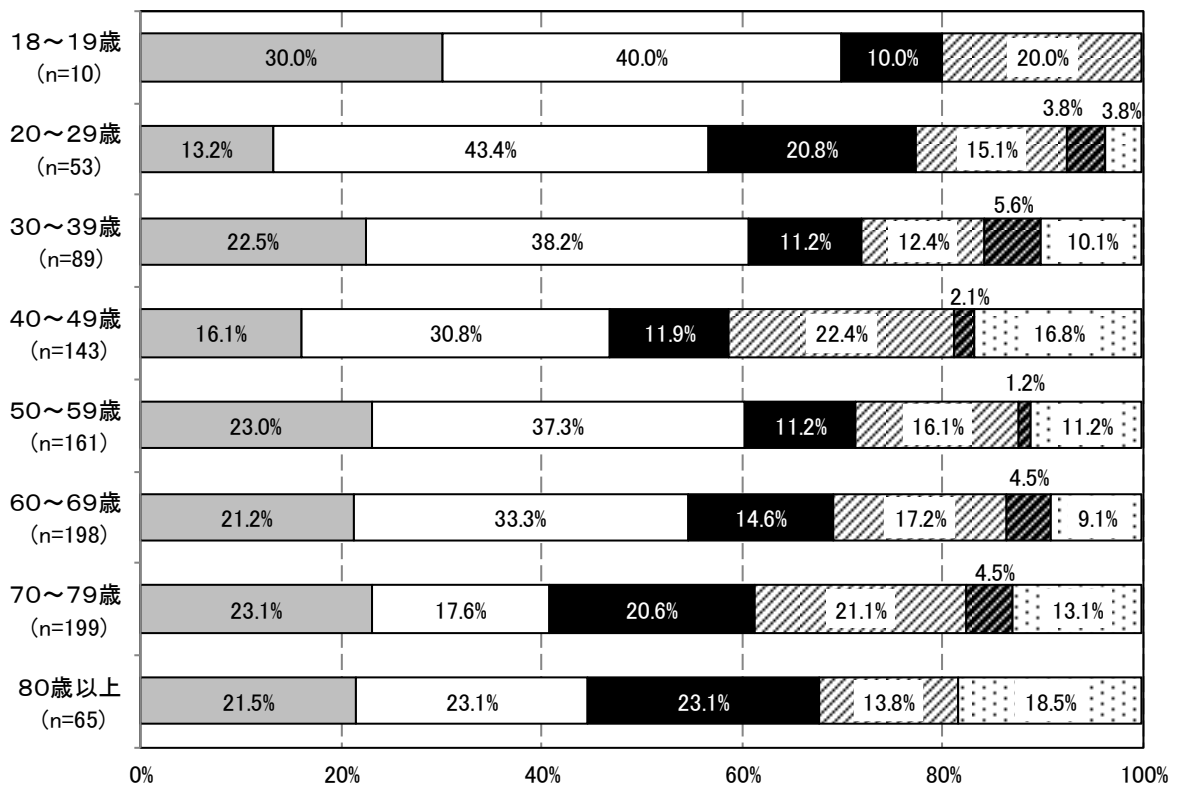
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「不要」、「意識を変える」 など

問 1 2 生涯学習活動の実施状況

問 1 2 あなたは、日頃から趣味的、教養的な活動やスポーツ的な活動等の生涯学習活動を行っていますか？

1. はい

2. いいえ

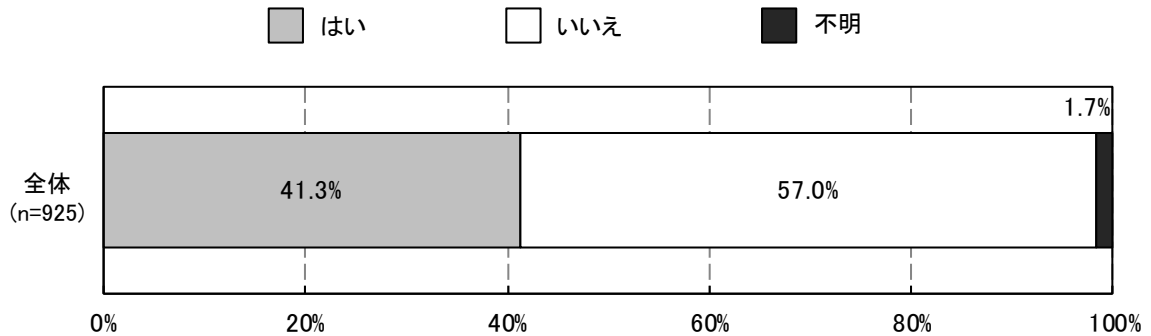
生涯学習活動の実施状況について、全体では行っている方の割合は41.3%、行っていない方の割合は57.0%となった。

男女別では、生涯学習活動を行っている男性の割合は43.7%、女性は39.5%となり、男性のほうが高い割合となった。

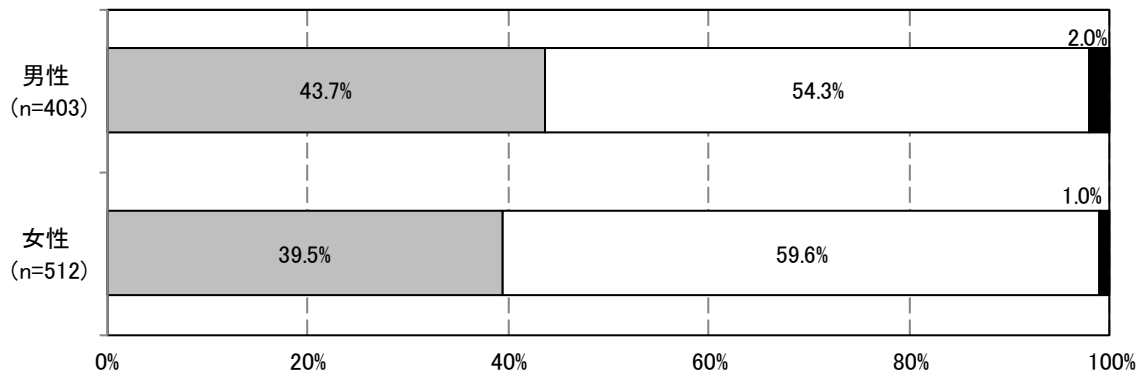
年代別では、生涯学習活動を行っている方の割合が最も高かった年代が「18～19歳」(50.0%)となり、次いで「70～79歳」(47.7%)、「60～69歳」(41.4%)と続いた。

地域別では、すべての地域において生涯学習活動を行っている方の割合が40%を超える結果となった。

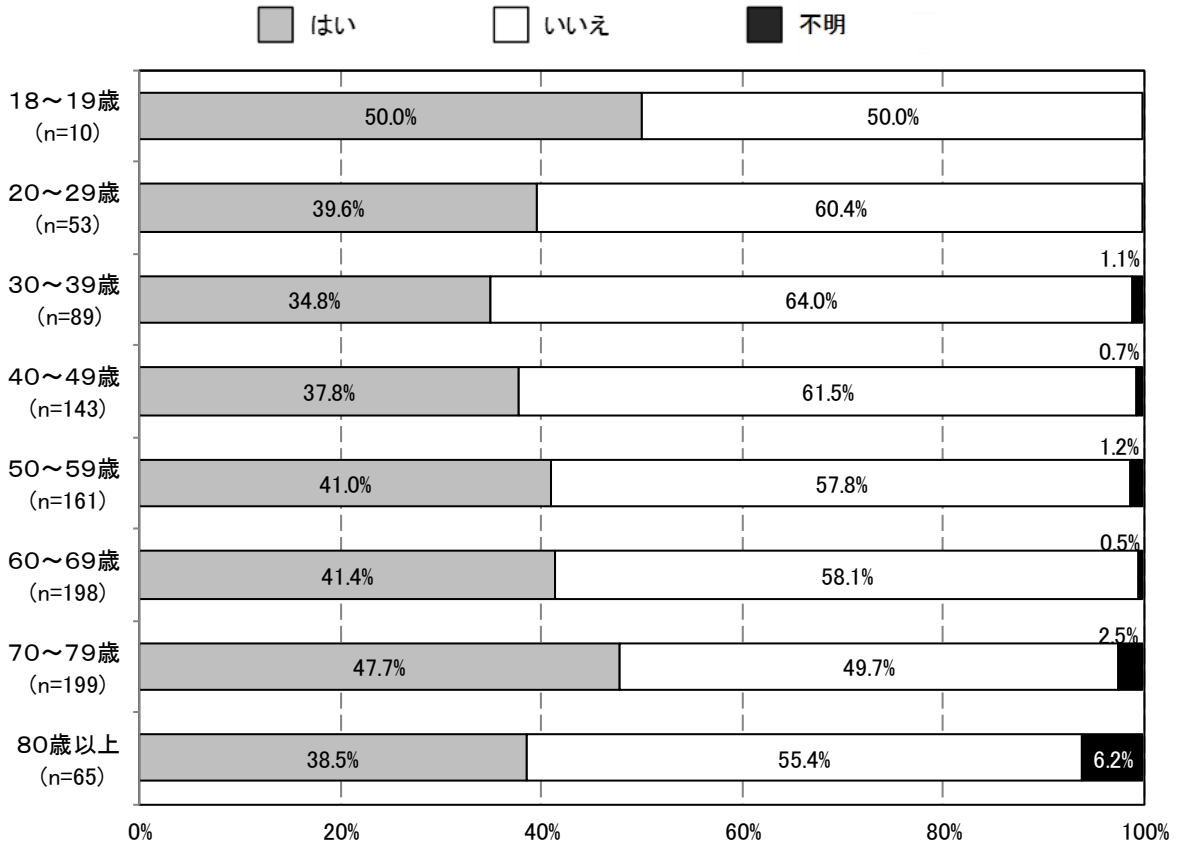
<全体>



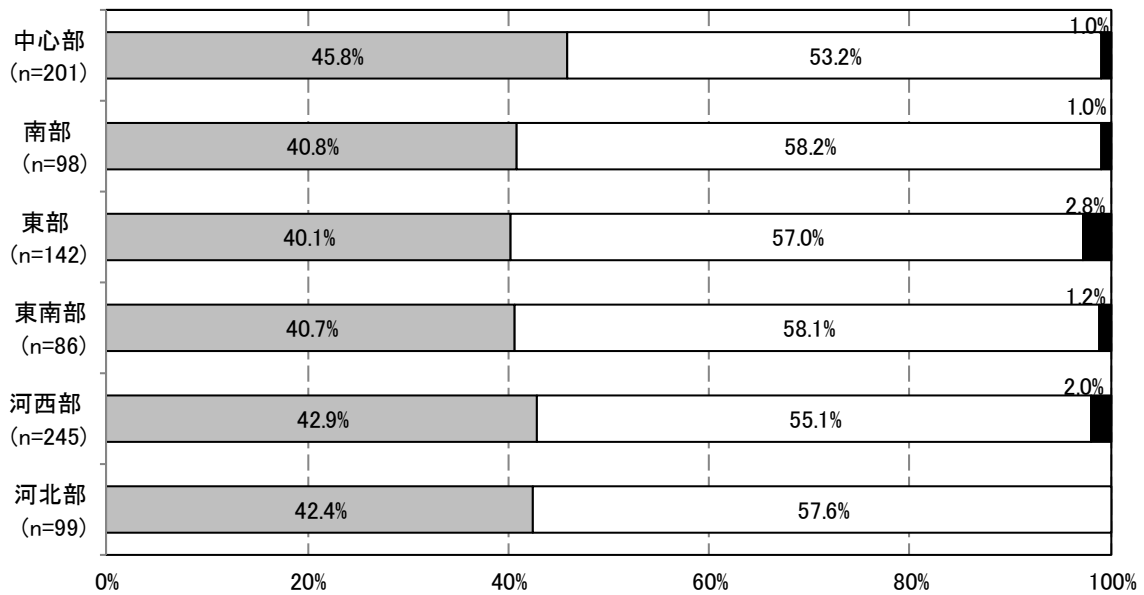
<男女別>



<年代別>



<地域別>



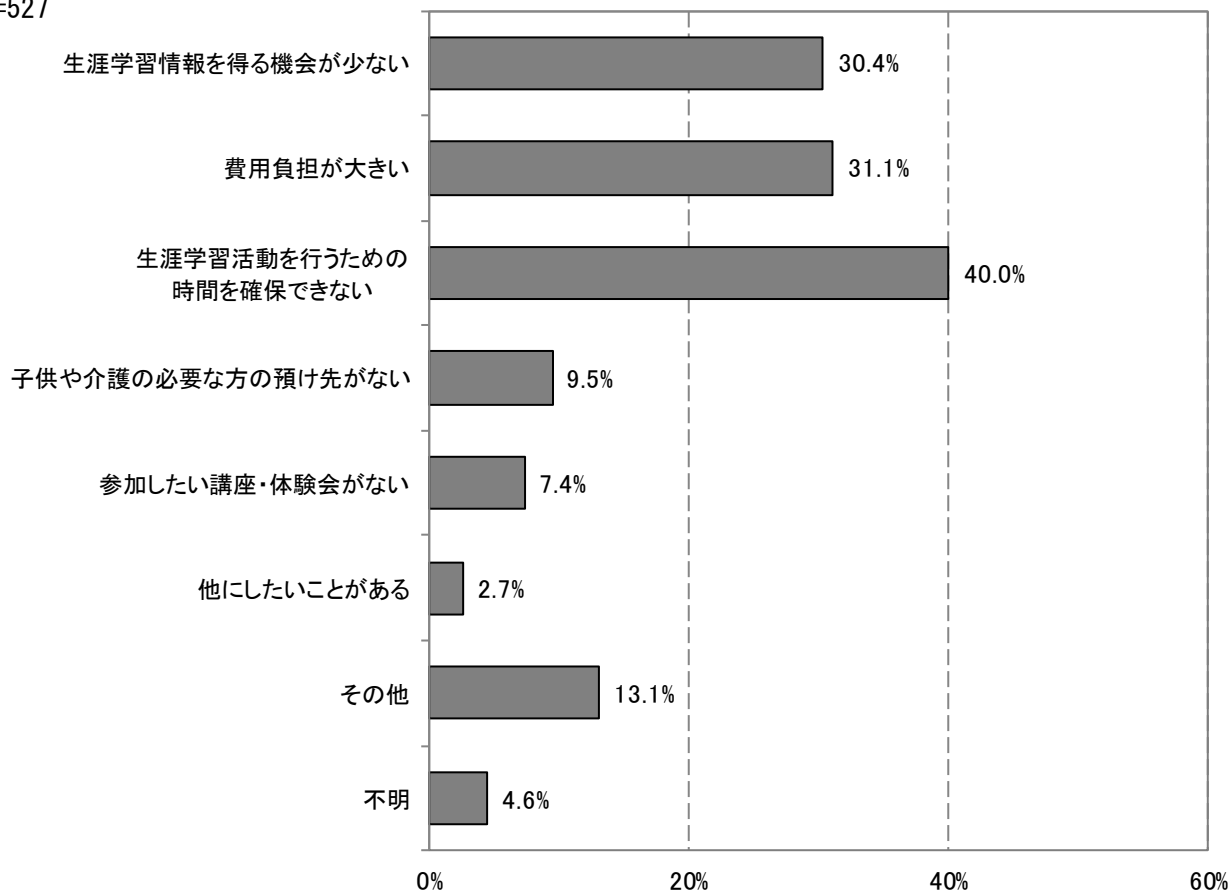
問12-1 生涯学習活動を行わない理由

問12-1 問12で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。生涯学習活動を行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 生涯学習情報を得る機会が少ない
2. 費用負担が大きい
3. 生涯学習活動を行うための時間を確保できない
4. 子供や介護の必要な方の預け先がない
5. 参加したい講座・体験会がない【参加したい講座等：】
6. 他にしたいことがある【したいことの例：】
7. その他

生涯学習活動を行っていない理由として最も多かった回答は「生涯学習活動を行うための時間を確保できない」(40.0%)となった。次いで、「費用負担が大きい」(31.1%)、「生涯学習情報を得る機会が少ない」(30.4%)と続いた。

n=527



参加したい講座等：「ステンドグラス」など

したいことの例：「休息・睡眠」など

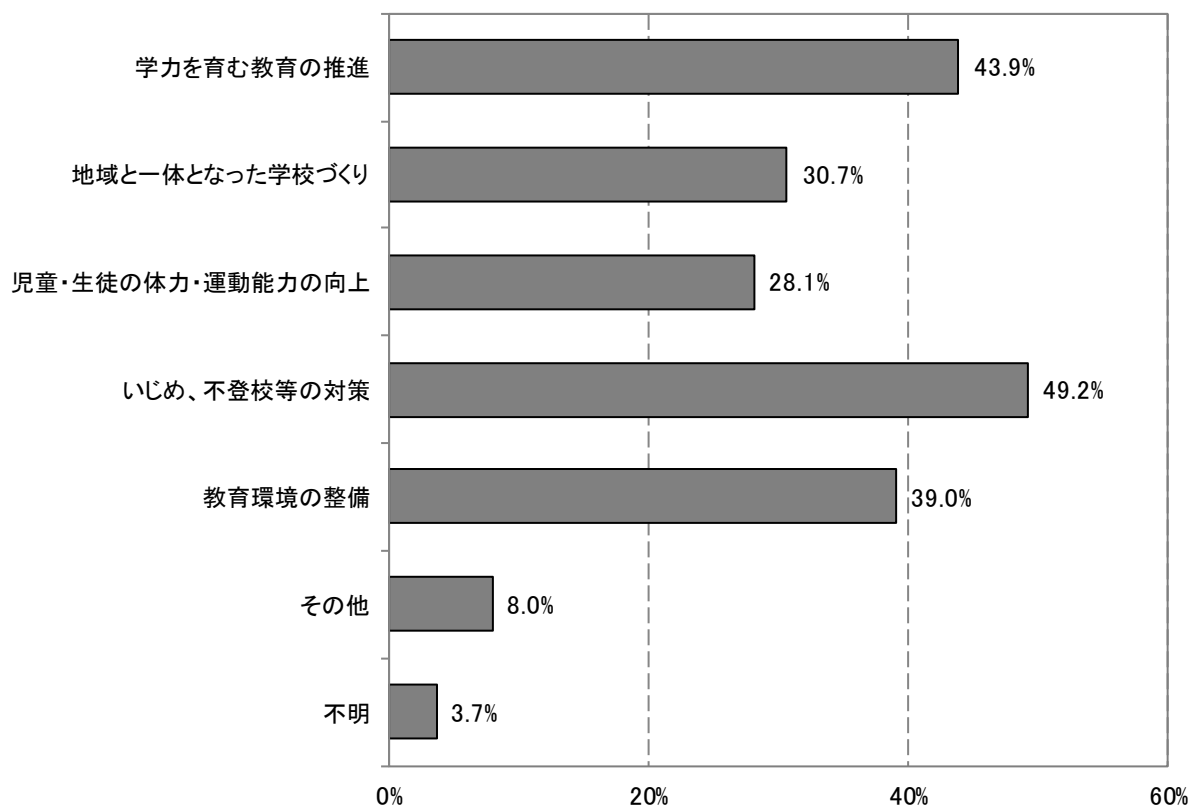
その他：「健康的・体力的に困難」、「したくない」など

問 1 3 学校教育の充実に向けて必要なこと

問 1 3 学校教育の充実に向けて特に必要なことは何だと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 学力を育む教育の推進
2. 地域と一体となった学校づくり
3. 児童・生徒の体力・運動能力の向上
4. いじめ、不登校等の対策
5. 教育環境の整備
6. その他

学校教育の充実に向けて必要なこととして、最も多かった回答は「いじめ、不登校等の対策」(49.2%)となった。次いで、「学力を育む教育の推進」(43.9%)、「教育環境の整備」(39.0%)と続いた。



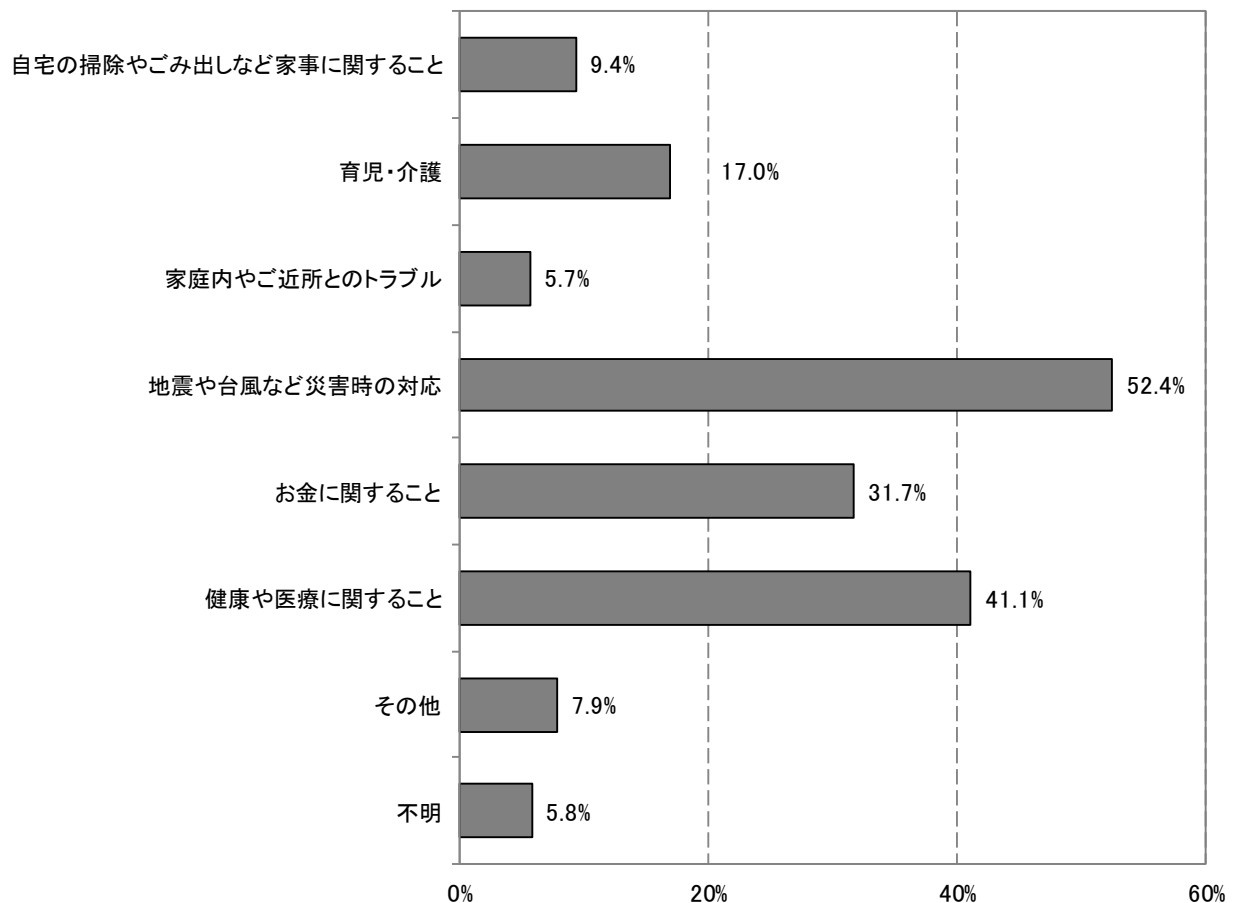
その他：「教員の質の向上」、「道徳・マナー・モラル教育」、「教員の増員」など

問14 日常生活における不安や困りごと

問14 日常生活においてどのような不安や困りごとがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自宅の掃除やごみ出しなど家事に関すること
2. 育児・介護
3. 家庭内やご近所とのトラブル
4. 地震や台風など災害時の対応
5. お金に関すること
6. 健康や医療に関すること
7. その他

日常生活における不安や困りごとで最も多かった回答は、「地震や台風など災害時の対応」(52.4%)となった。次いで、「健康や医療に関すること」(41.1%)、「お金に関すること」(31.7%)と続いた。



その他：「公共交通機関による移動が不便」、「自分もしくは家族の健康」、「道路メンテナンスが不十分で通行しにくい」、「周辺住民との関係」など

問15 相談役として支え合いの活動への参加意向

問15 地域における困りごとの相談役となり、支え合いの活動に参加したいですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 参加したい
2. 今は難しいがいずれ参加したい
3. 参加したくない

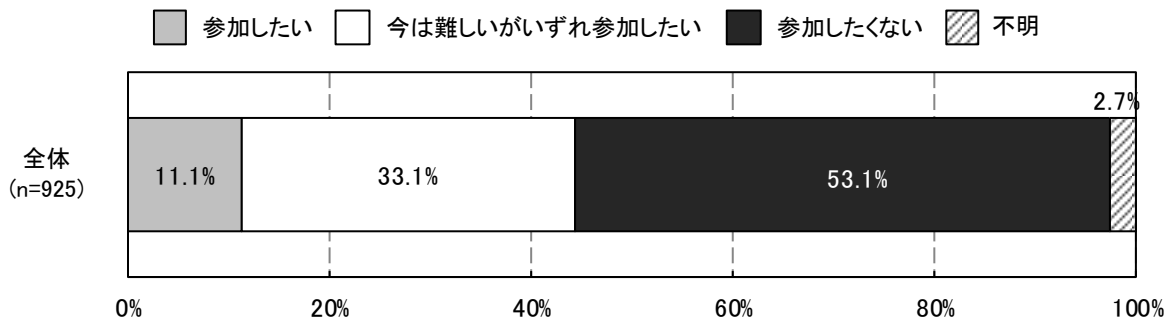
相談役として支え合いの活動への参加意向について、全体で最も多かった回答は「参加したくない」(53.1%)となった。次いで、「今は難しいがいずれ参加したい」(33.1%)、「参加したい」(11.1%)と続いた。

男女別では、「参加したい」と回答された男性の割合は14.1%、女性は8.8%となり、男性のほうが参加したいと考える傾向が見られた。

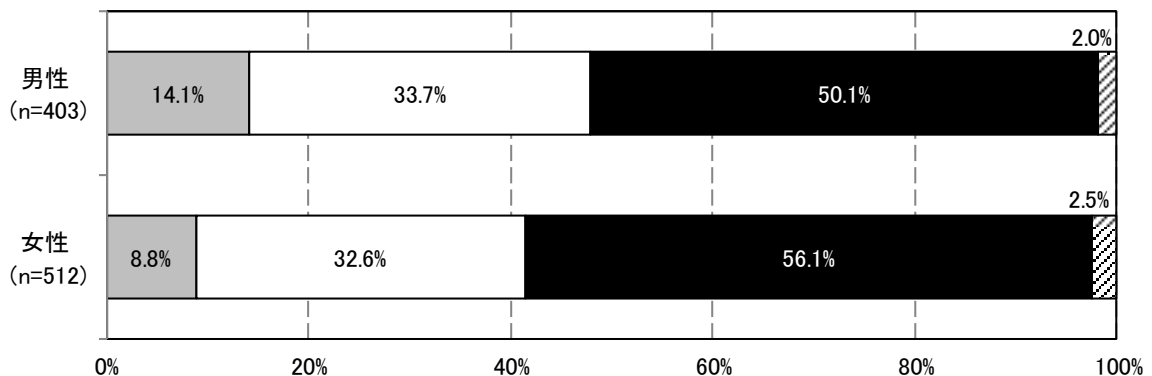
年代別では、「参加したい」と回答された割合が最も高かった年代は「80歳以上」(20.0%)であった。また、「70~79歳」も19.1%となり、70代以上の年代において高い割合となる傾向が見られた。

地域別では、「参加したい」と回答された方の割合が最も高かった地域は「南部」(14.3%)となった。次いで、「東部」(13.4%)、「河北部」(13.1%)と続いた。

<全体>

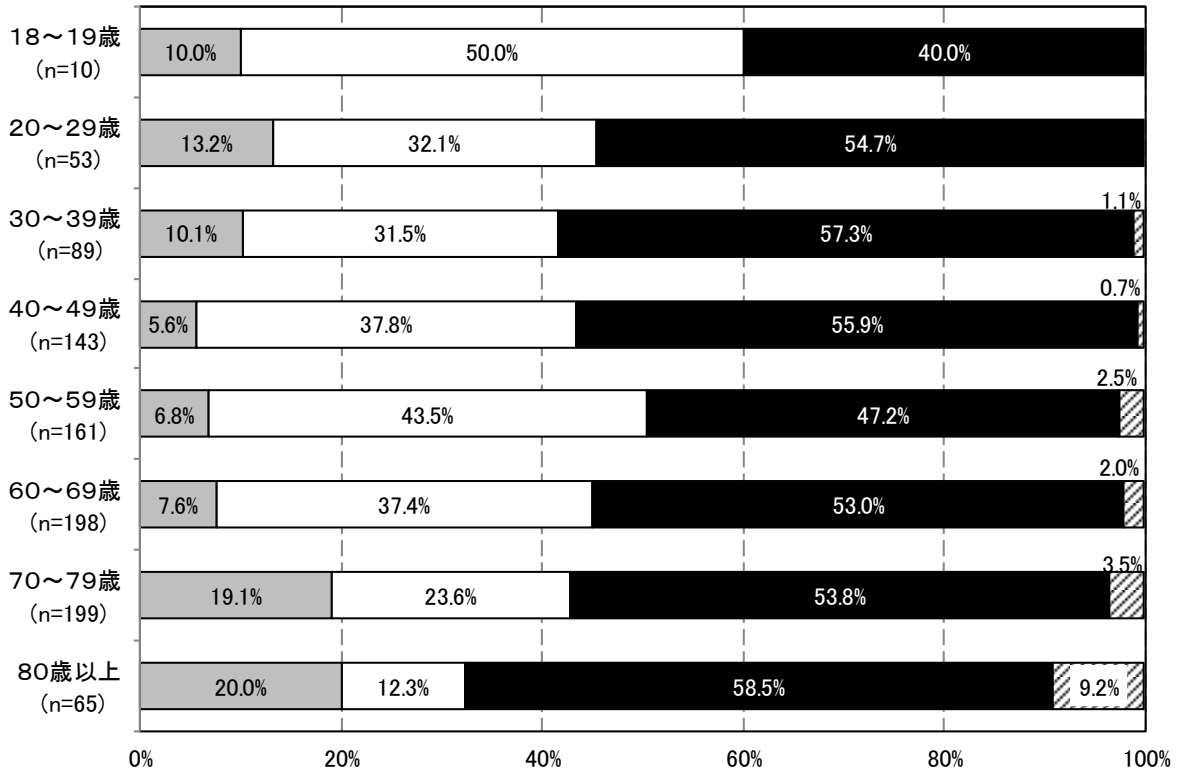


<男女別>

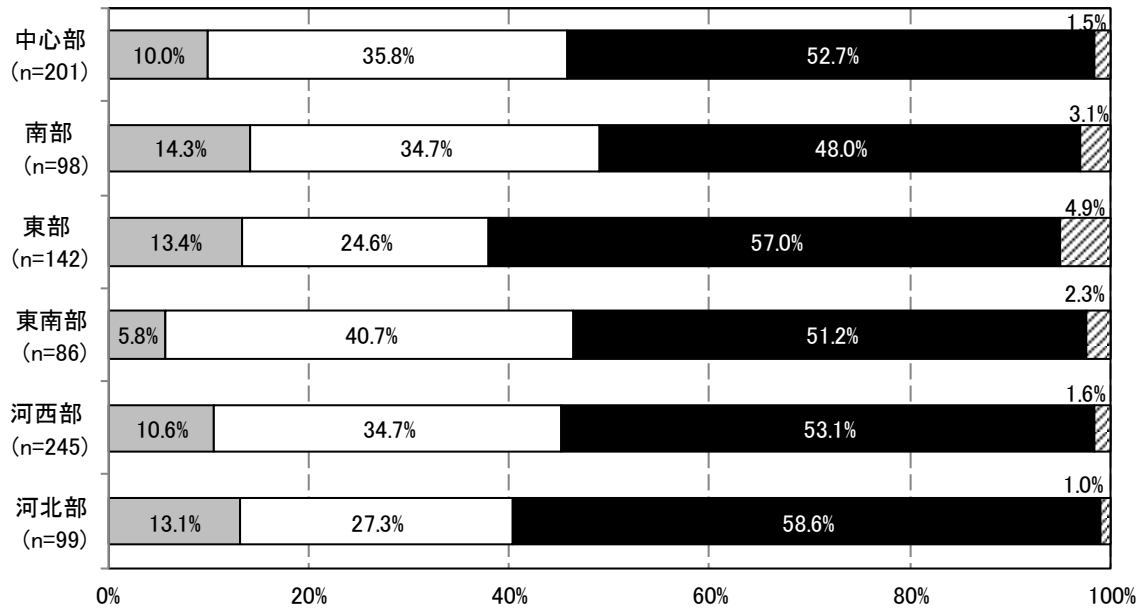


<年代別>

■ 参加したい □ 今は難しいがいずれ参加したい ■ 参加したくない ▨ 不明



<地域別>



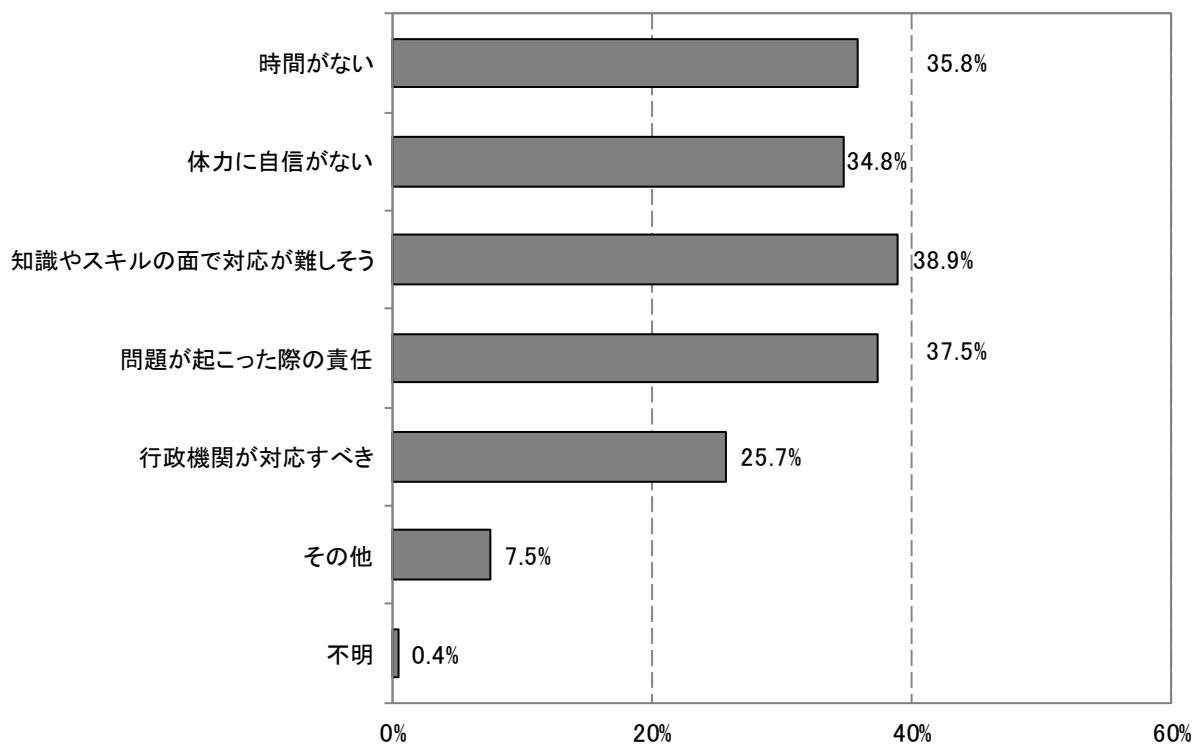
問15-1 相談役として支え合いの活動に参加したくない理由

問15-1 問15で「3. 参加したくない」と回答された方のみお答えください。参加したくない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 時間がない
2. 体力に自信がない
3. 知識やスキルの面で対応が難しそう
4. 問題が起こった際の責任
5. 行政機関が対応すべき
6. その他

相談役として支え合いの活動に参加したくない理由として最も多かった回答は「知識やスキルの面で対応が難しそう」(38.9%)であった。次いで、「問題が起こった際の責任」(37.5%)、「時間がない」(35.8%)と続いた。

n=491



その他：「健康上できない」、「高齢」など

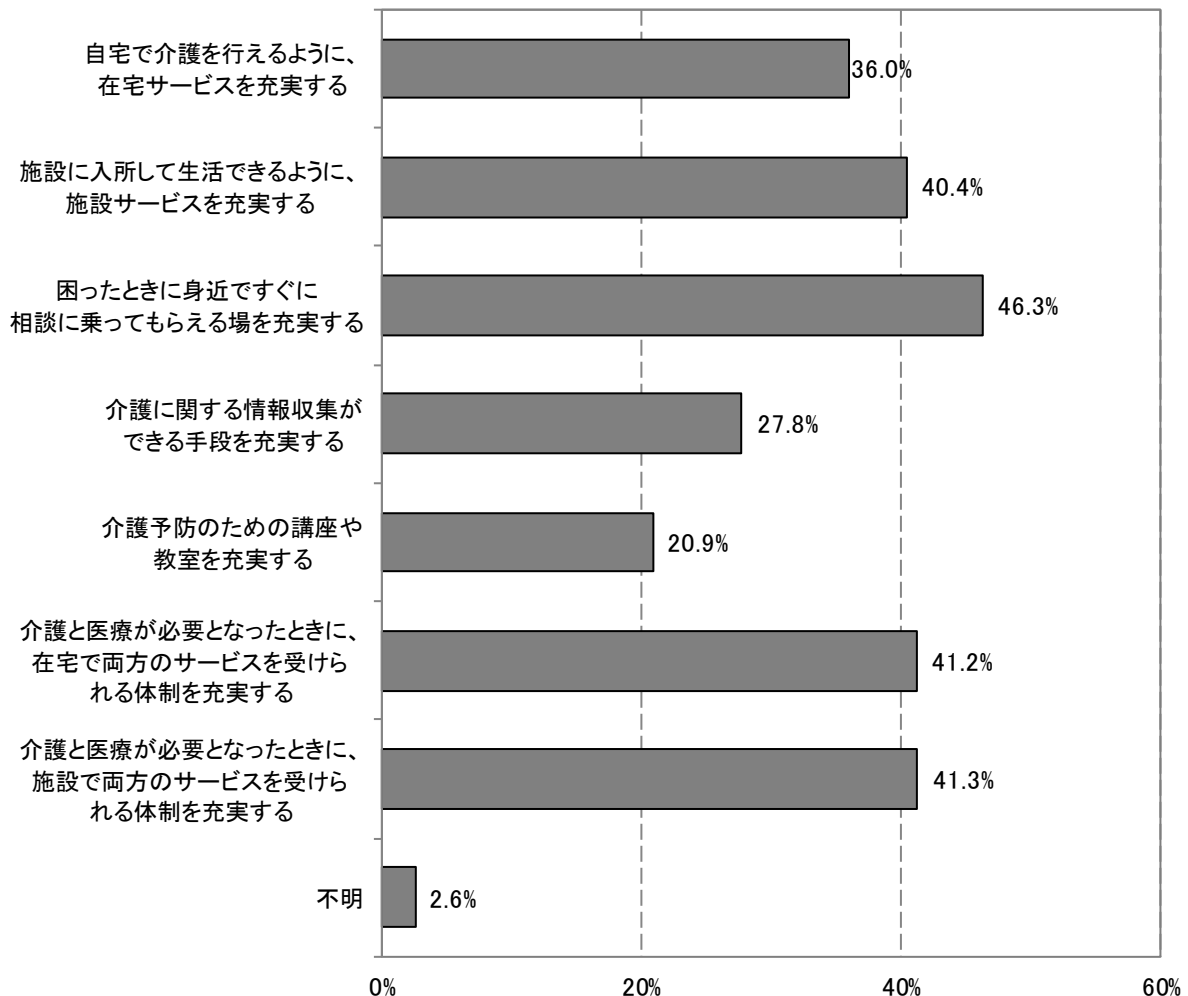
問 1 6 介護保険におけるサービス充実に向け必要な取組

問 1 6 介護保険におけるサービスの充実に向けてどのような取組が必要だと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自宅で介護を行えるように、在宅サービスを充実する
2. 施設に入所して生活できるように、施設サービスを充実する
3. 困ったときに身近ですぐに相談に乗ってもらえる場を充実する
4. 介護に関する情報収集ができる手段を充実する
5. 介護予防のための講座や教室を充実する
6. 介護と医療が必要となったときに、在宅で両方のサービスを受けられる体制を充実する
7. 介護と医療が必要となったときに、施設で両方のサービスを受けられる体制を充実する

※介護予防とは、「できる限り介護が必要にならないようにする」「もし介護が必要になっても、それ以上悪化させないようにする」ことです。

介護保険におけるサービス充実に向け必要な取組として、最も多かった回答は「困ったときに身近ですぐに相談に乗ってもらえる場を充実する」(46.3%)であった。次いで、「介護と医療が必要となったときに、施設で両方のサービスを受けられる体制を充実する」(41.3%)、「介護と医療が必要となったときに、在宅で両方のサービスを受けられる体制を充実する」(41.2%)と続いた。



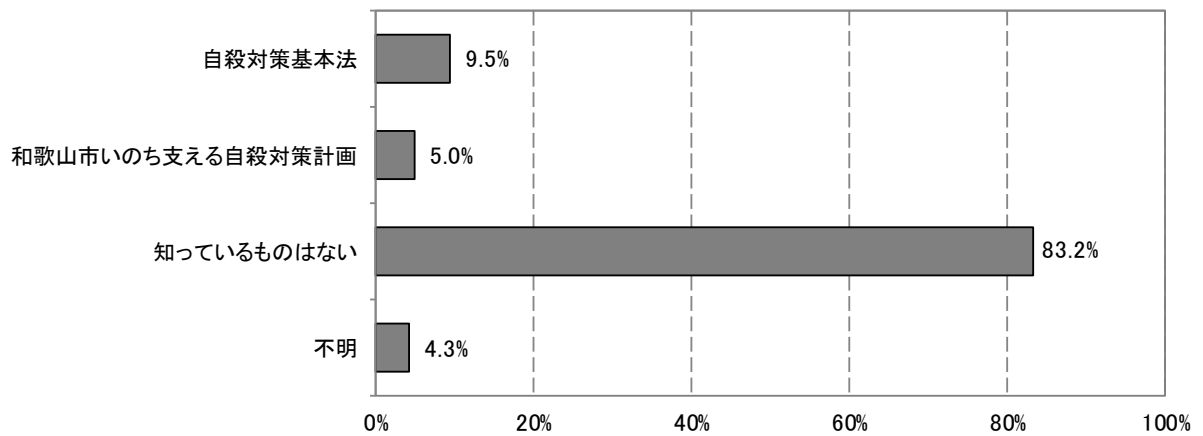
2. 自殺対策について

問17 自殺対策に関して知っているもの

問17 自殺対策に関して、知っているものがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自殺対策基本法
2. 和歌山市いのち支える自殺対策計画
3. 知っているものはない

自殺対策に関して知っているもので最も多かった回答は「知っているものはない」(83.2%)であった。また、「自殺対策基本法」を知っている方の割合は9.5%、「和歌山市いのち支える自殺対策計画」は5.0%となった。

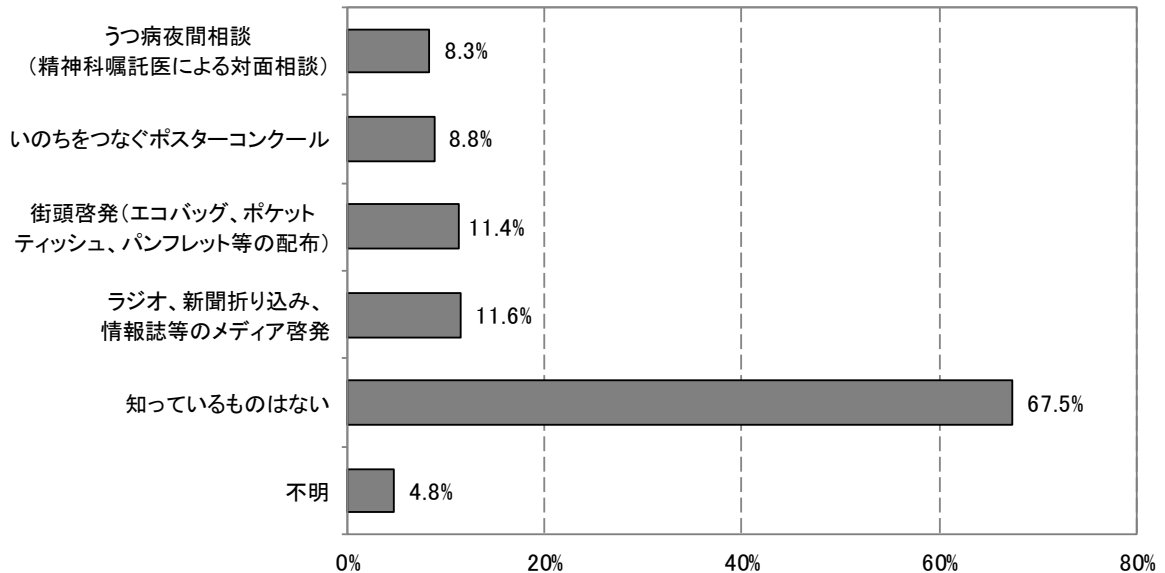


問18 自殺対策事業で知っているもの

問18 和歌山市における自殺対策に関する事業について知っているものはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. うつ病夜間相談（精神科嘱託医による対面相談）
2. いのちをつなぐポスターコンクール
3. 街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）
4. ラジオ、新聞折り込み、情報誌等のメディア啓発
5. 知っているものはない

自殺対策事業で知っているもので最も多かった回答は「知っているものはない」（67.5%）であった。「知っているものはない」以外の回答の中で最も多かった回答は、「ラジオ、新聞折り込み、情報誌等のメディア啓発」（11.6%）であった。次いで、「街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）」（11.4%）となった。



問 19 自殺に関する相談状況

問 19 あなたは、過去 1 年以内に自殺したいまたはそれに近いことを相談されたことがありますか？

1. 相談されたことがある

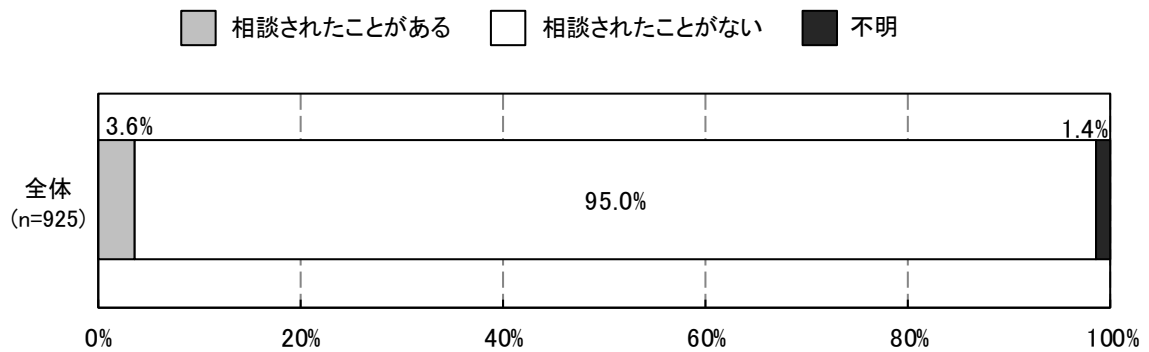
2. 相談されたことがない

自殺に関する相談状況で「相談されたことがある」を回答された方の割合は 3.6%、「相談されたことがない」は 95.0%となった。

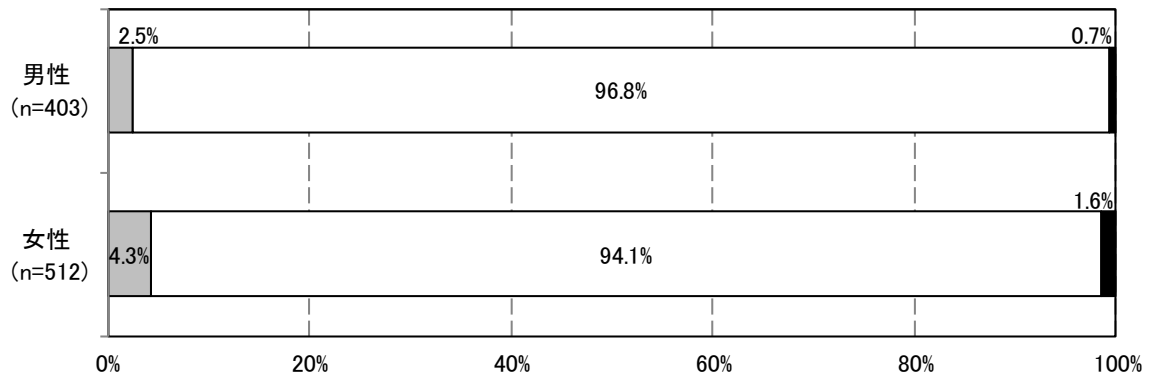
男女別では大きな差異は見られなかった。

年代別では、「相談されたことがある」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39 歳」(7.9%)であった。そこから年代が上がるに従って割合が低くなり「80 歳以上」では 1.5%となった。

<全体>

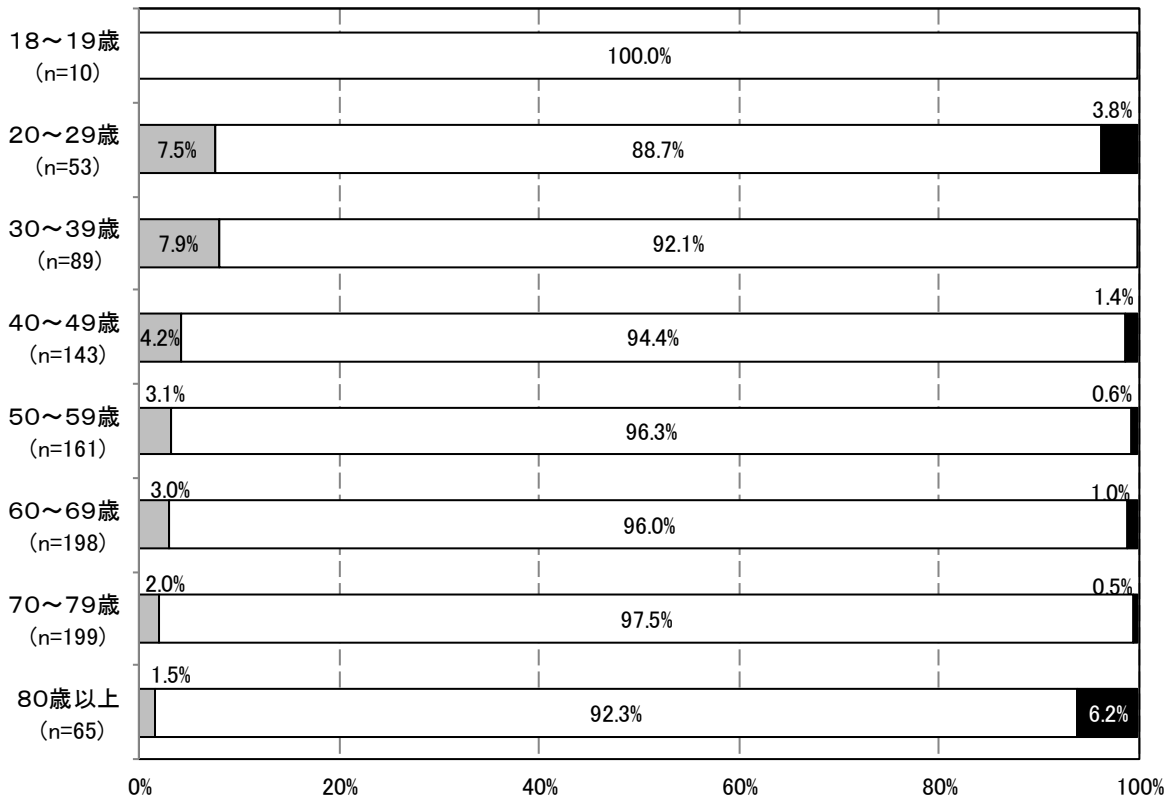


<男女別>



<年代別>

■ 相談されたことがある □ 相談されたことがない ■ 不明



問20 自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがあるかどうか

問20 あなたは、過去1年以内に自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがありますか？

1. 考えたことがある

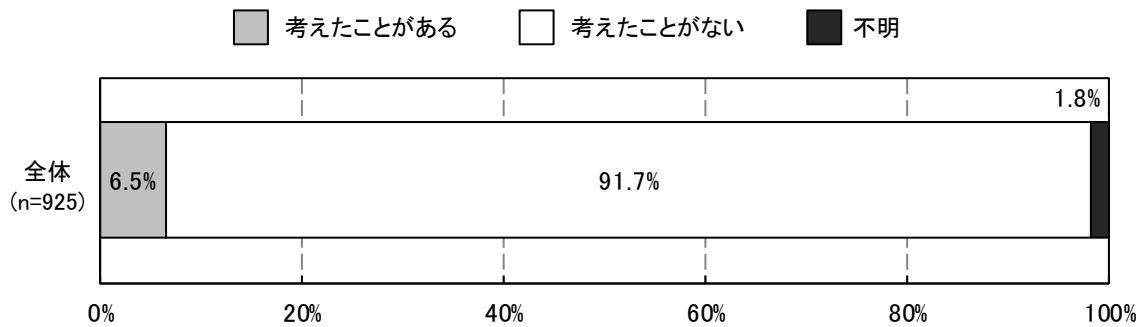
2. 考えたことがない

自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがあるかどうかについて、「考えたことがある」と回答された方の割合は6.5%となった。また、「考えたことがない」は91.7%となった。

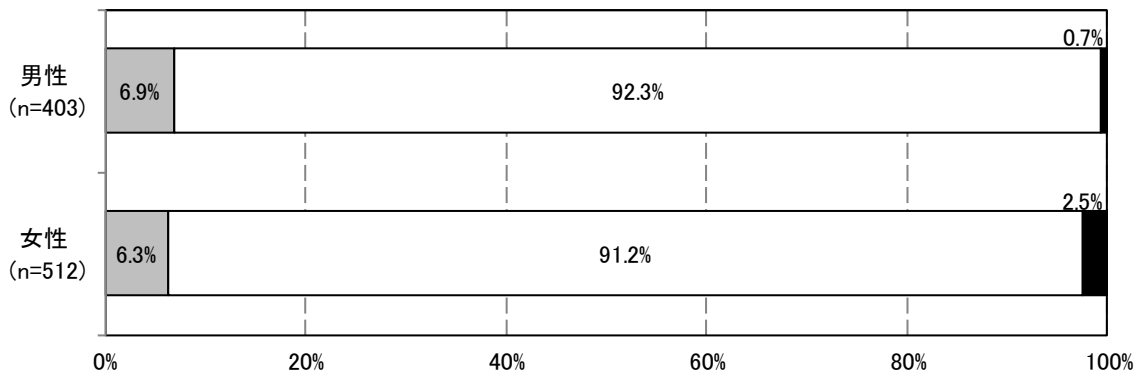
男女別では大きな差異は見られなかった。

年代別では、「考えたことがある」と回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(20.0%)であった。次いで、「20～29歳」(11.3%)、「30～39歳」(11.2%)となり、30歳代以下の各年代で10%を超える結果となった。

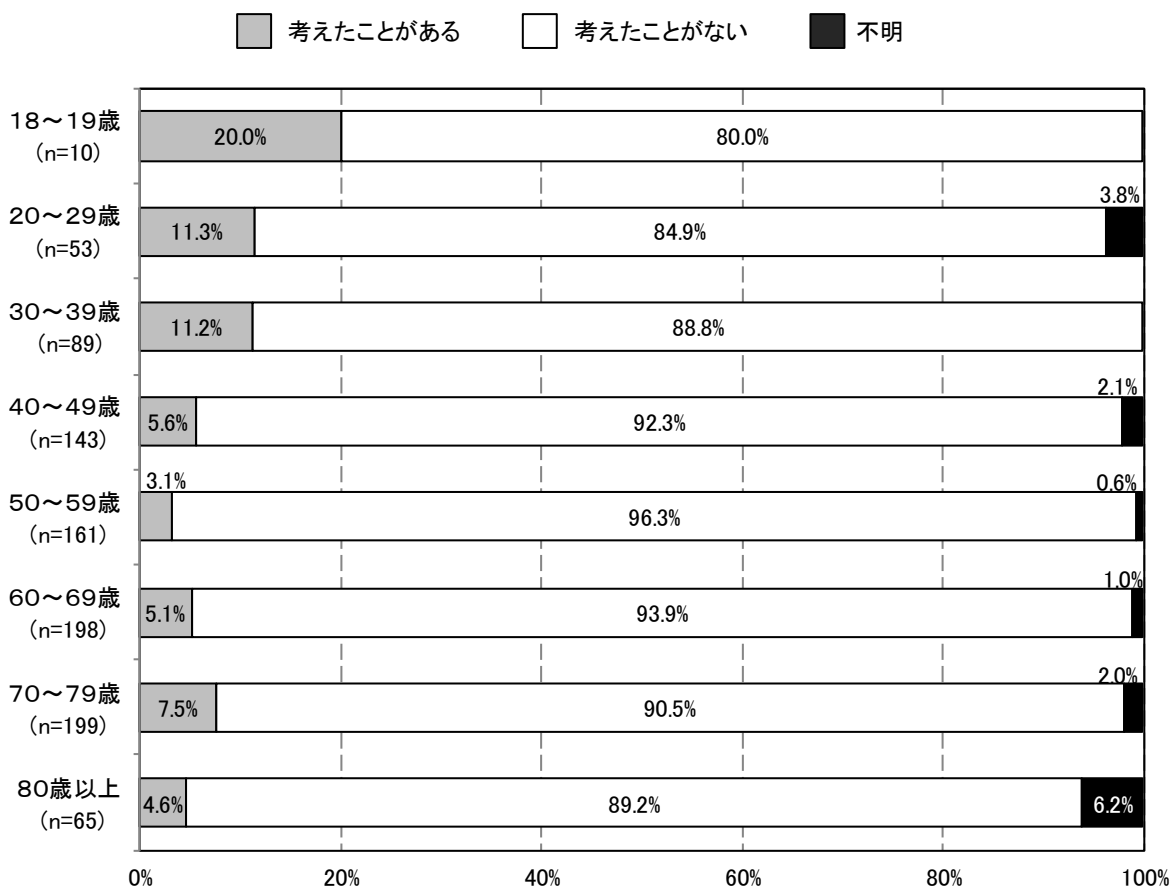
<全体>



<男女別>



<年代別>



3. 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭について

問21 「紀の国わかやま文化祭2021」の認知状況

問21 あなたは、2021年秋に和歌山県において、「紀の国わかやま文化祭2021」が開催されることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

※「紀の国わかやま文化祭2021」とは、「第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭」のことです。

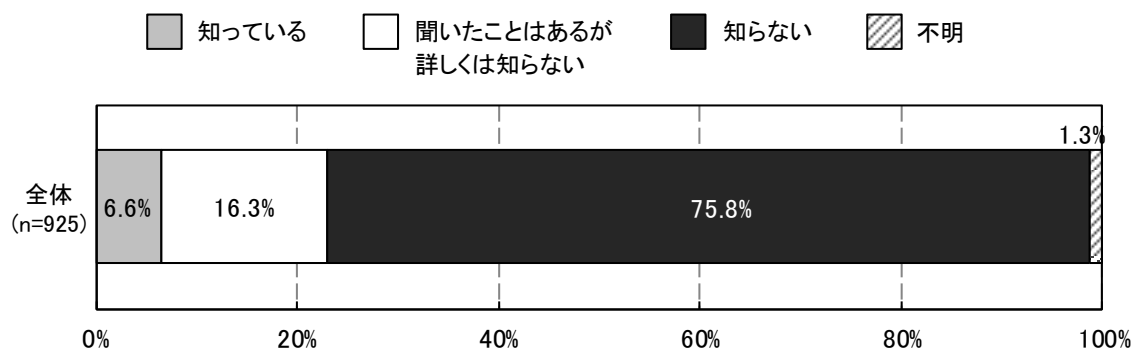
「紀の国わかやま文化祭2021」の認知状況について、全体で最も多かった回答は「知らない」(75.8%)であった。次いで、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(16.3%)、「知っている」(6.6%)と続いた。

男女別では、「知っている」と回答された男性の割合は8.4%、女性は5.1%となり、女性より男性のほうが高い割合を示した。

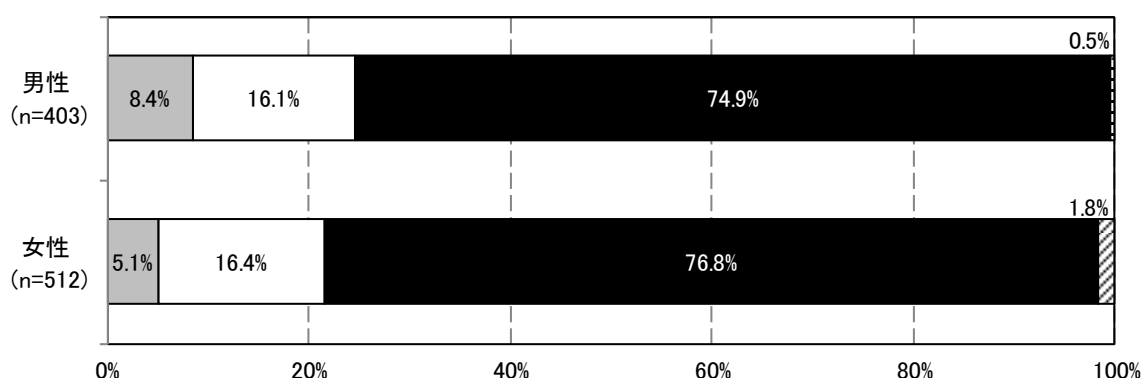
年代別では、「知っている」と回答された方の割合が最も高かった年代は、「40～49歳」(9.1%)となった。次いで、「30～39歳」(7.9%)、「80歳以上」(7.7%)と続いた。

地域別では、「知っている」と回答された方の割合が最も高かった地域は「河西部」(9.4%)であった。次いで、「東南部」(7.0%)、「東部」(5.6%)と続いた。

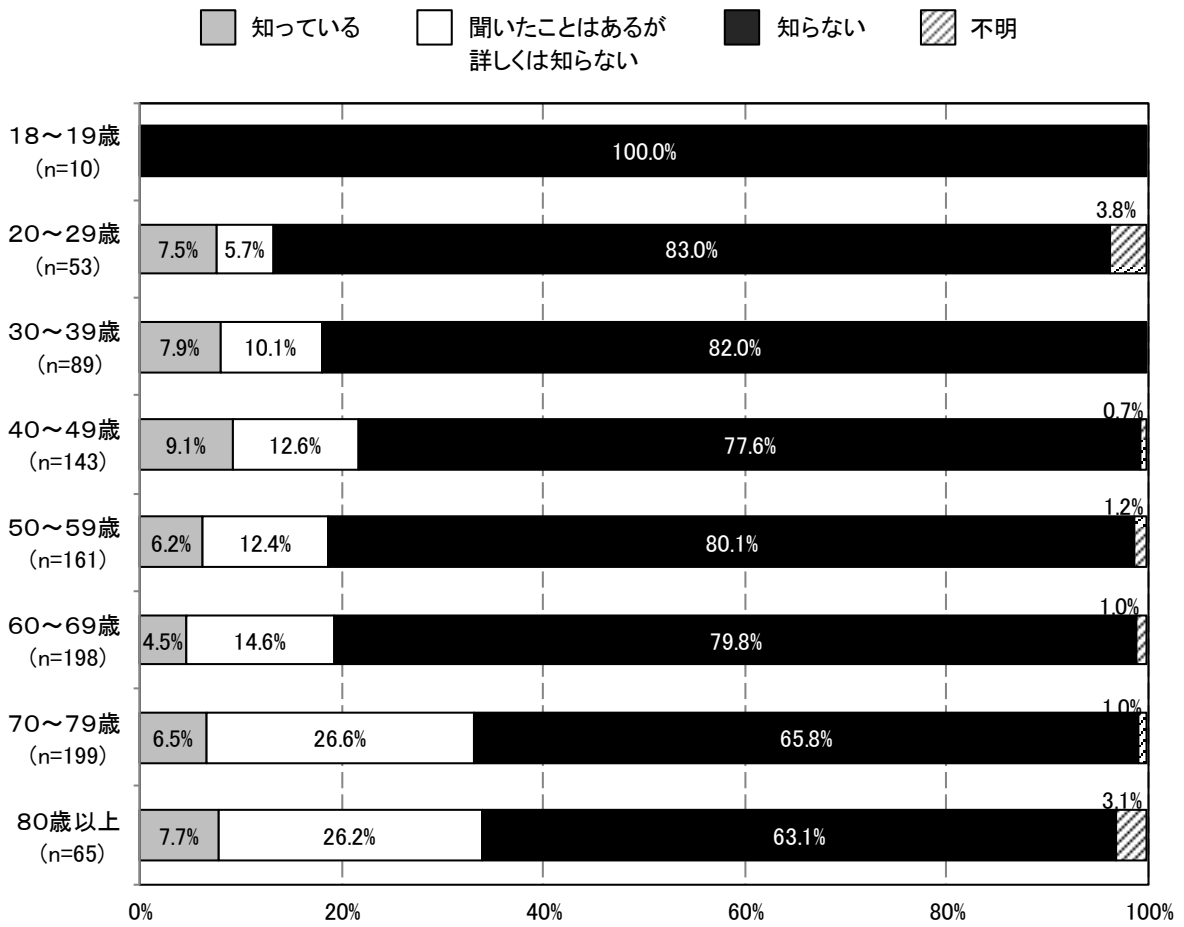
<全体>



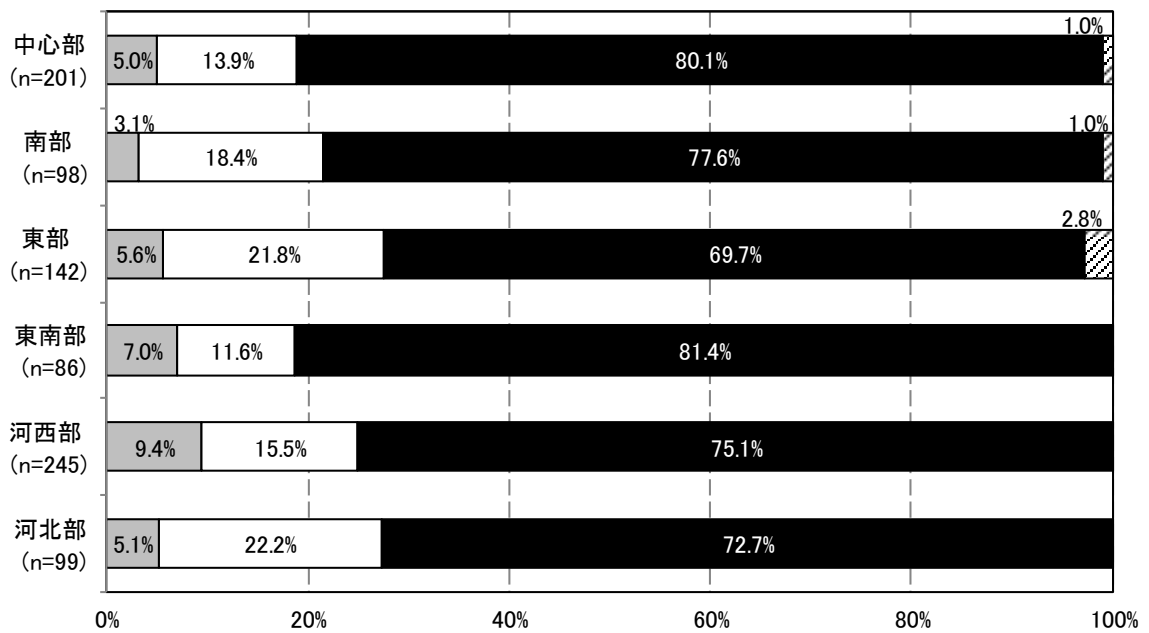
<男女別>



<年代別>



<地域別>



問 2 2 「紀の国わかやま文化祭 2 0 2 1」の周知と気運の醸成を図るための効果的広報手段

問 2 2 「紀の国わかやま文化祭 2 0 2 1」の周知と気運の醸成を図るためには、どのような広報手段が効果的だと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物
2. ホームページ、インターネット、SNS
3. テレビ、ラジオ、新聞等のメディア
4. イベント等でのPR活動
5. 広報誌や回覧板等
6. その他
7. わからない

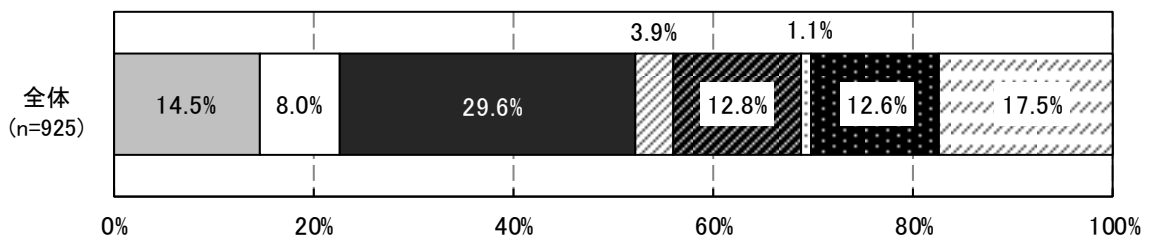
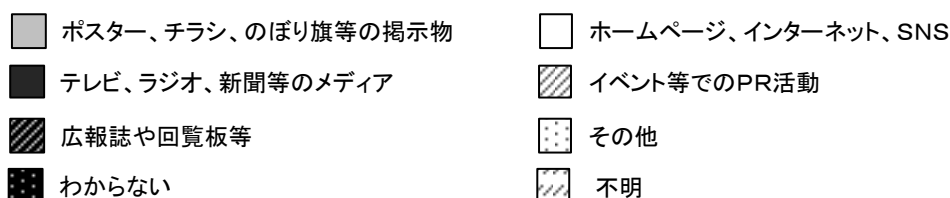
「紀の国わかやま文化祭 2 0 2 1」の周知と気運の醸成を図るための効果的広報手段として、全体で最も多かった回答は、「テレビ、ラジオ、新聞等のメディア」(29.6%)であった。次いで、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」(14.5%)、「広報誌や回覧板等」(12.8%)と続いた

男女別では、男性で「テレビ、ラジオ、新聞等のメディア」を回答された方の割合は34.0%、女性は26.6%となり、男性のほうが高い割合を示した。

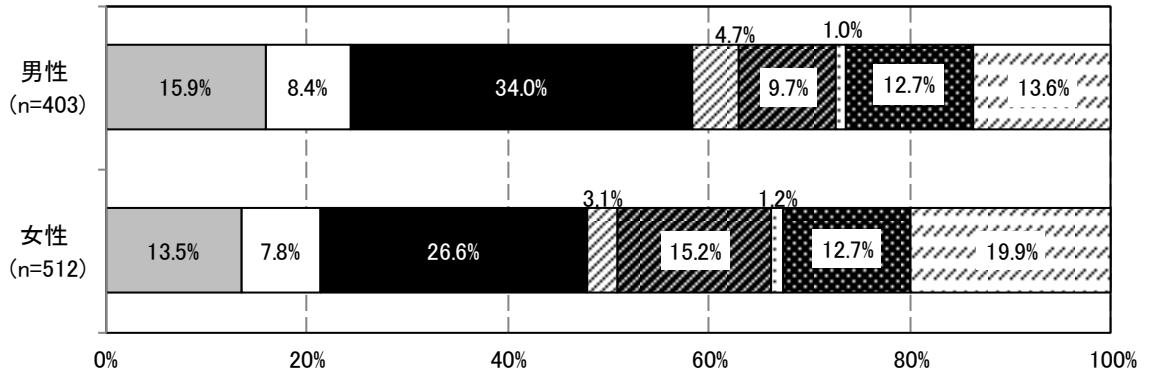
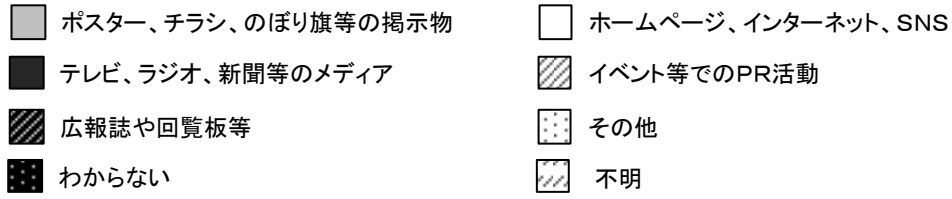
年代別では、「ホームページ、インターネット、SNS」を回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(40.0%)であった。そこから年代が上がるに従って割合が低くなり「80歳以上」では1.5%となった。

地域別では、「テレビ、ラジオ、新聞等のメディア」を回答された方の割合が最も高かった地域は「河内北部」(35.4%)となった。また、「ホームページ、インターネット、SNS」を回答された方の割合が最も高かった地域は「東部」(12.7%)となった。

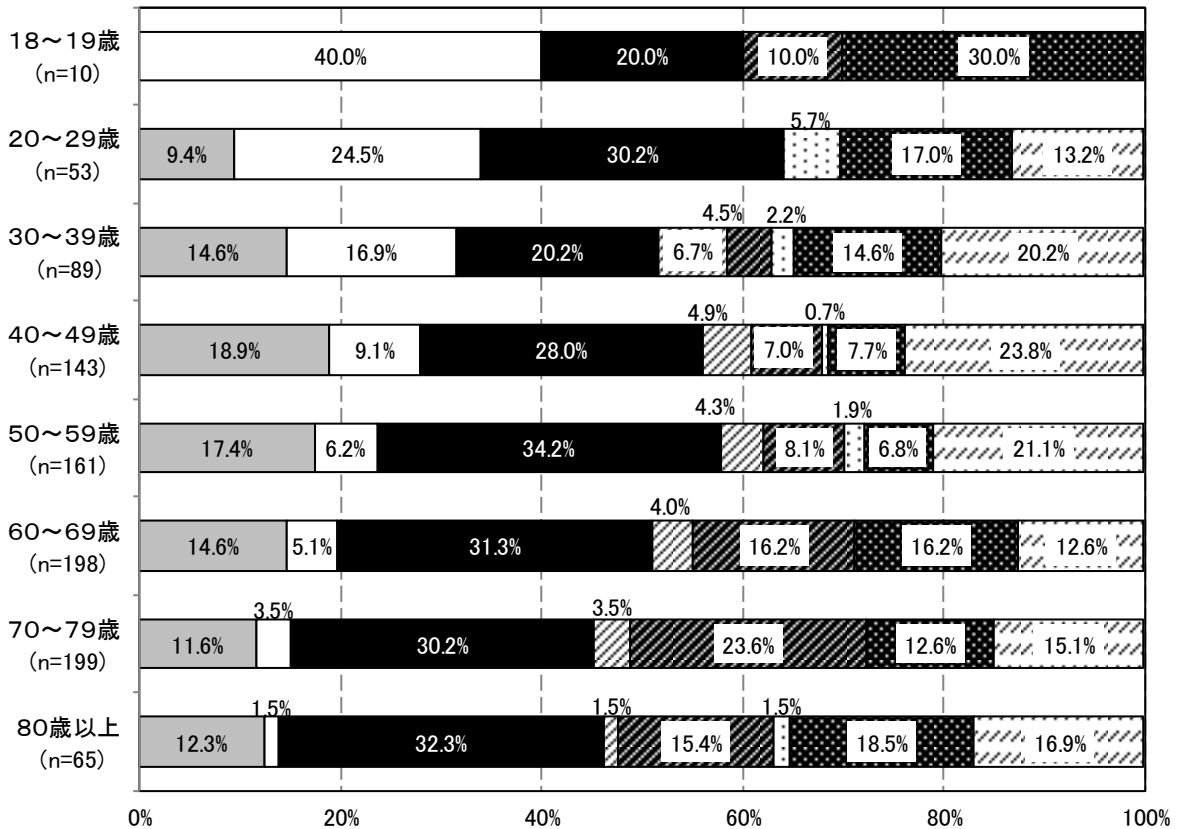
<全体>



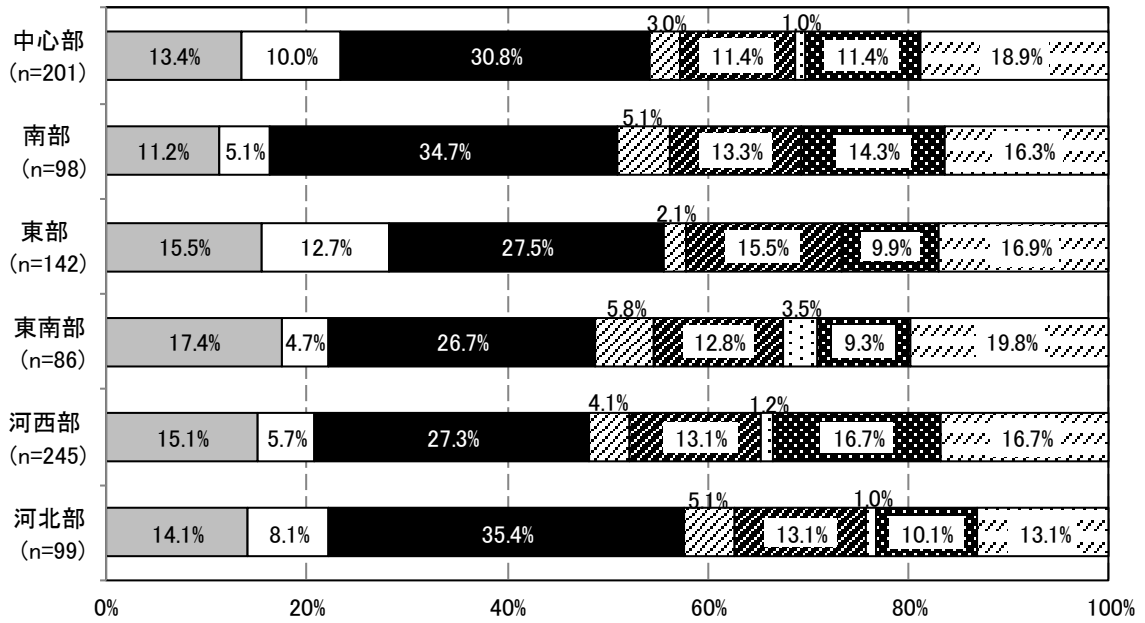
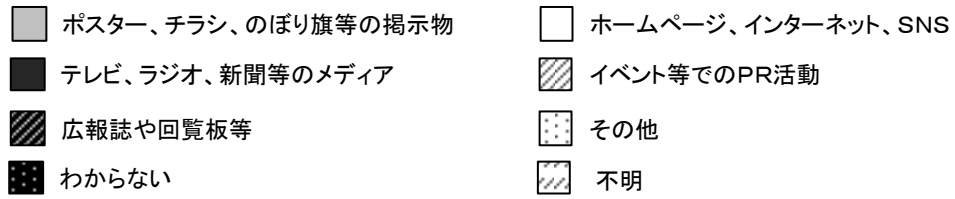
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「学校、職場、商業施設で周知」など

問23 「紀の国わかやま文化祭2021」への興味の有無

問23 「紀の国わかやま文化祭2021」では、和歌山市内でも多彩な文化イベント（合唱、吹奏楽、かるた、演劇、茶道、華道、作品展など）が開催されます。あなたは、「紀の国わかやま文化祭2021」に興味はありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ある
2. ない
3. わからない

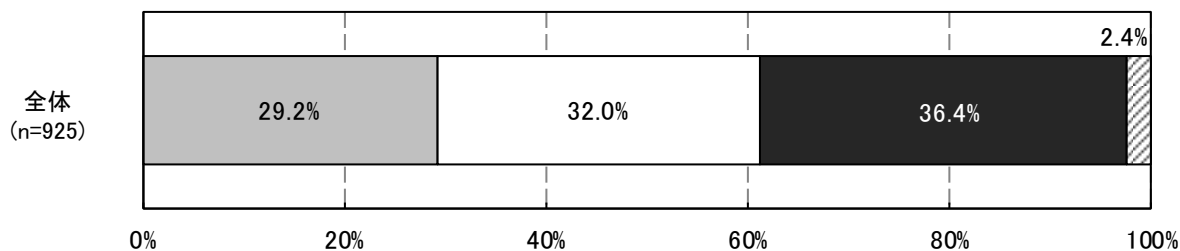
「紀の国わかやま文化祭2021」への興味の有無について、全体では「ある」と回答された方の割合は29.2%、「ない」が32.0%、「わからない」が36.4%となった。

男女別では、男性で「ある」と回答された方の割合は24.1%、女性で33.2%となり、女性のほうが高い割合を示した。

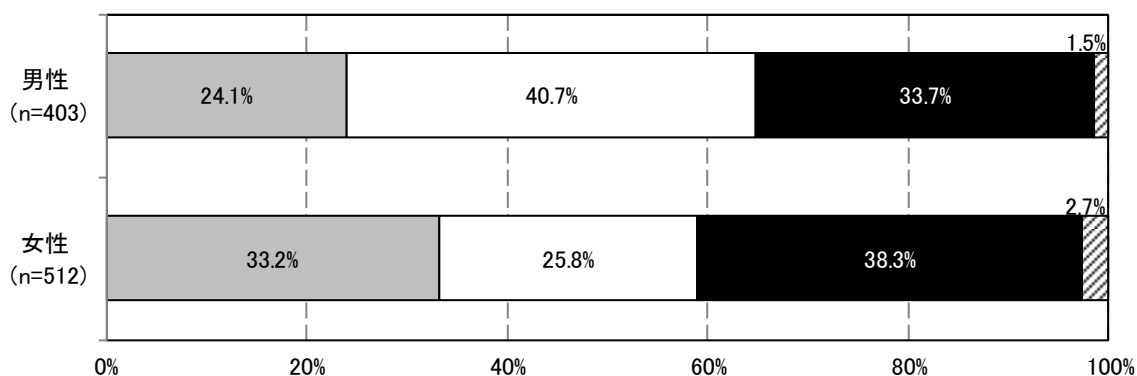
年代別では、「ある」と回答された方の割合が最も高かった年代は「80歳以上」（36.9%）であった。次いで「70～79歳」（31.7%）、「50～59歳」（31.1%）と続いた。

<全体>

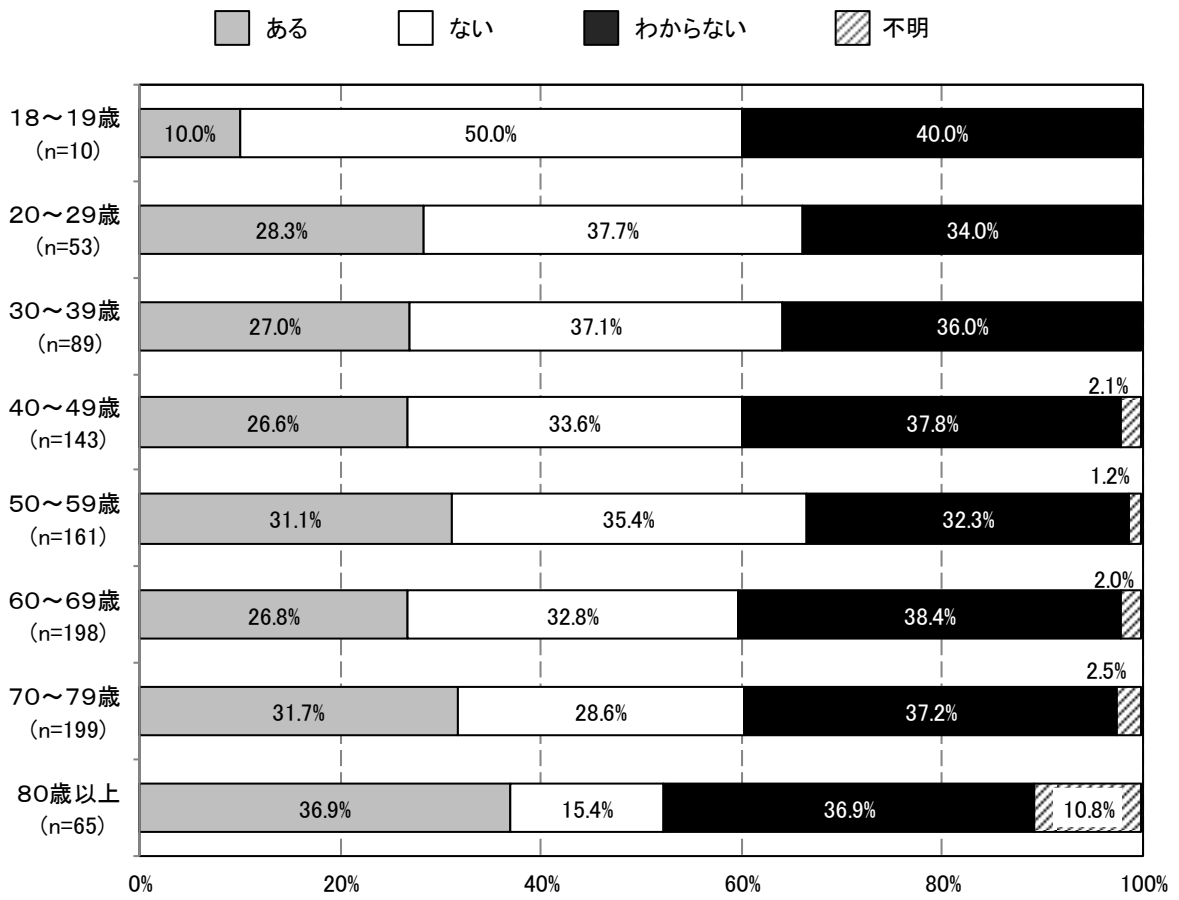
■ ある □ ない ■ わからない ▨ 不明



<男女別>



<年代別>



問24 「紀の国わかやま文化祭2021」への参加意向の有無

問24 あなたは、「紀の国わかやま文化祭2021」に何らかの形で参加してみたいと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

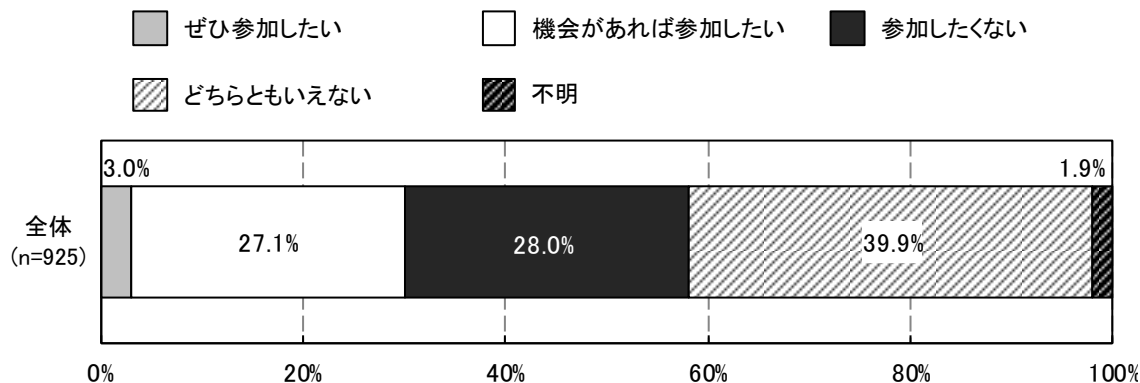
1. ぜひ参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. 参加したくない
4. どちらともいえない

「紀の国わかやま文化祭2021」への参加意向の有無について、全体では「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は30.1%となり、「参加したくない」(28.0%)を上回る結果となった。

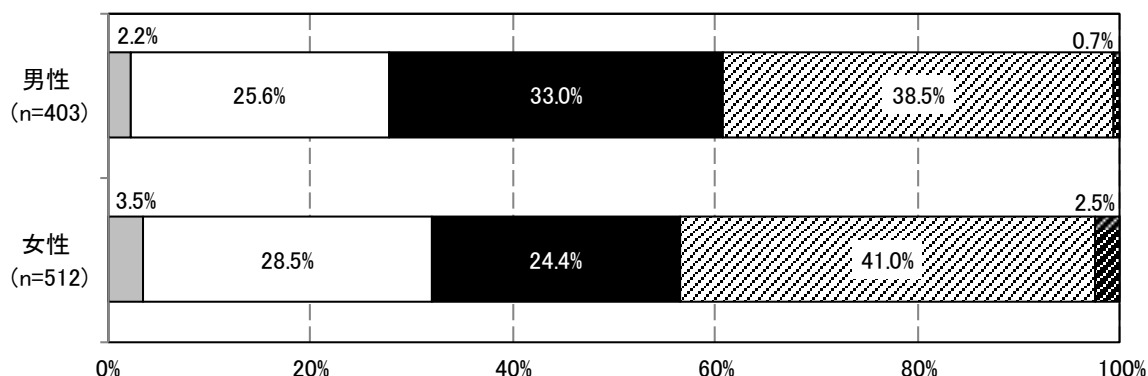
男女別では、「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は男性で27.8%、女性で32.0%となり、女性のほうが参加したいと考える傾向が見られた。

年代別では、「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は50歳代以下の各年代で30%以上となった。

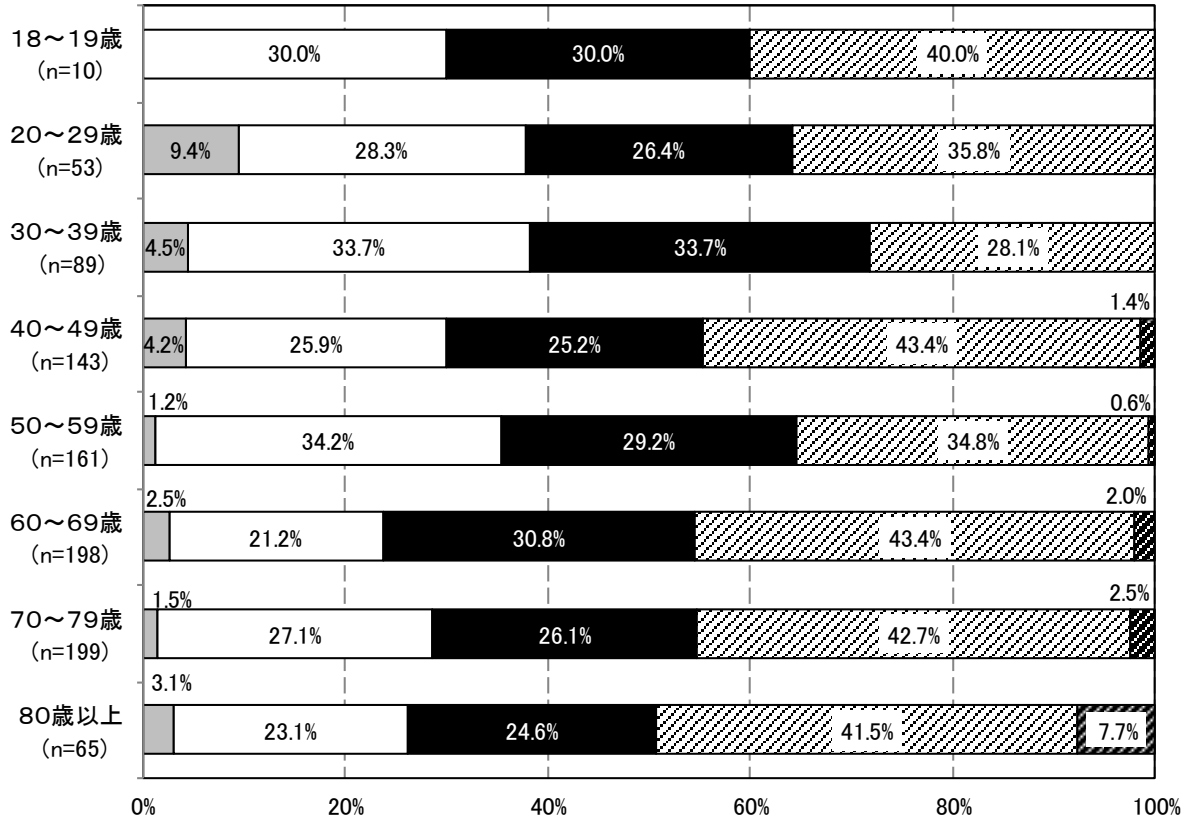
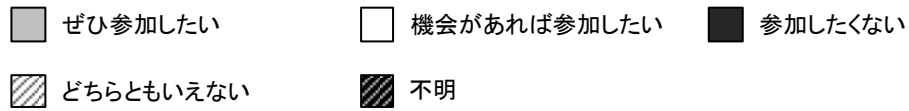
<全体>



<男女別>



<年代別>



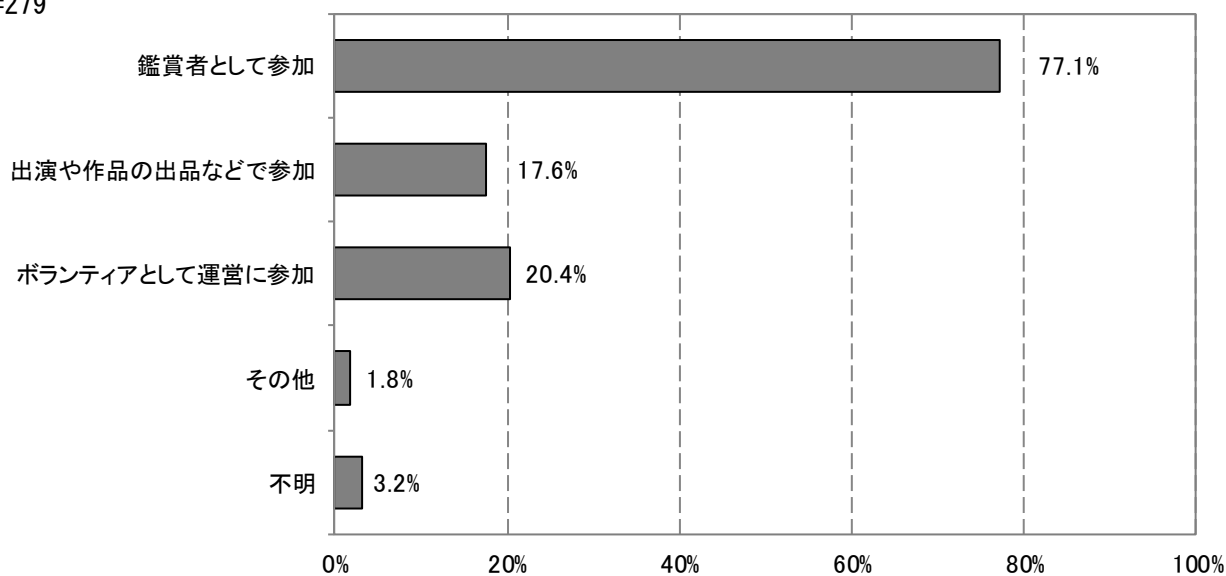
問24-1 「紀の国わかやま文化祭2021」への参加方法

問24-1 問24で「1. ぜひ参加したい」「2. 機会があれば参加したい」と回答された方のお答えください。どのような形で参加したいと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 鑑賞者として参加
2. 出演や作品の出品などで参加
3. ボランティアとして運営に参加
4. その他

「紀の国わかやま文化祭2021」への参加方法として最も多かった回答は、「鑑賞者として参加」(77.1%)となり、他の回答と比べ大きな割合を示した。次いで「ボランティアとして運営に参加」(20.4%)、「出演や作品の出品などで参加」(17.6%)と続いた。

n=279



その他：「楽器演奏」など

4. 家庭教育支援について

問25 子育て等で悩みや不安、孤立感を感じているかどうか

問25 あなたは、子育てや家庭教育について悩みや不安、孤立感を感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

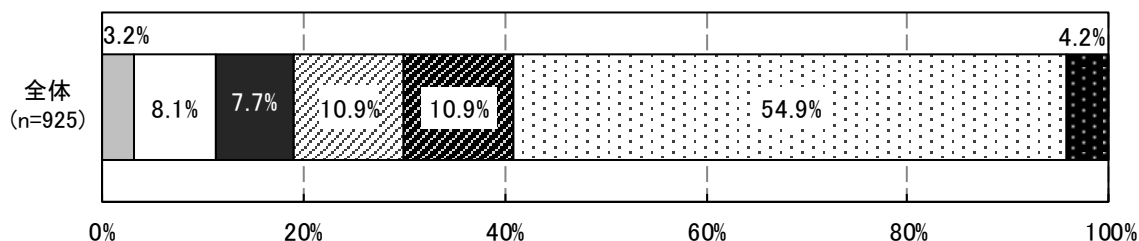
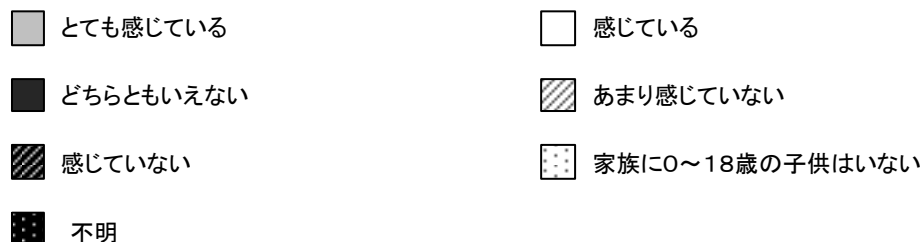
1. とても感じている
2. 感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. 感じていない
6. 家族に0～18歳の子供はいない

子育て等で悩みや不安、孤立感を感じているかどうかについて、「家族に0～18歳の子供はいない」の回答を除くと、全体で最も多かった回答は「あまり感じていない」、「感じていない」がともに10.9%となった。

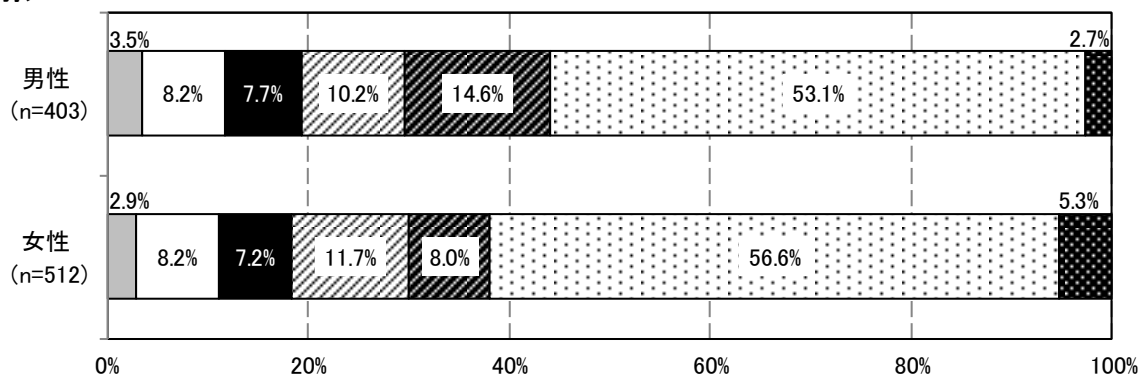
男女別では、男性で「感じていない」と回答された方の割合は14.6%、女性で8.0%となった。

年代別では、「とても感じている」と「感じている」を合わせた割合が最も高かった年代は「40～49歳」（20.3%）、「30～39歳」（17.9%）と他の年代に比べ高い割合を示した。

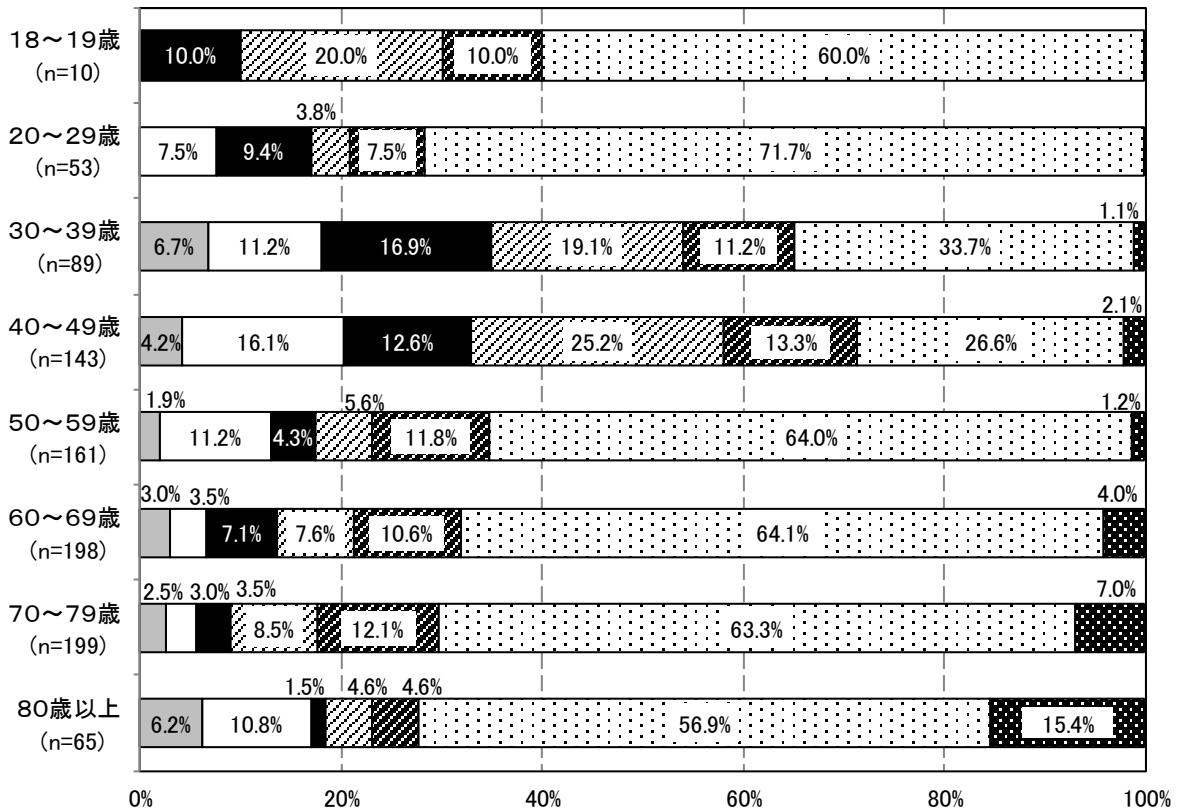
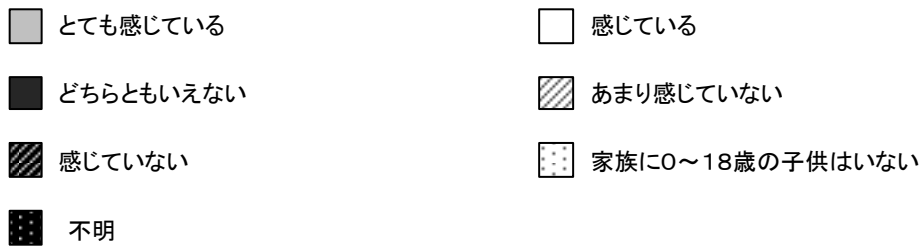
<全体>



<男女別>



<年代別>



問25-1 どのようなことで悩みや不安、孤立感を感じているかについて

問25-1 問25で「1. とても感じている」「2. 感じている」と回答された方のみお答えください。主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

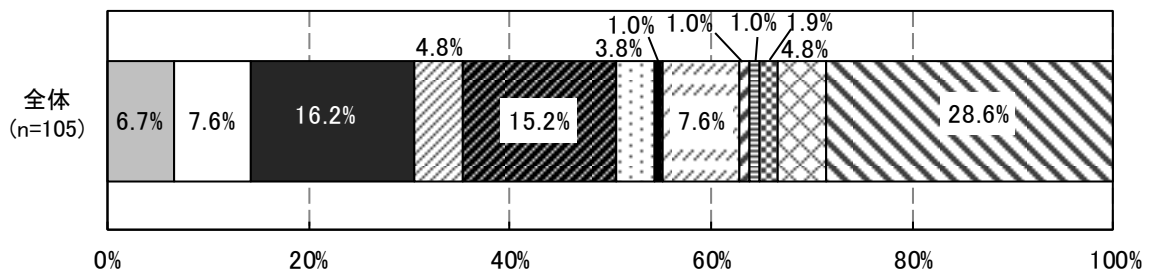
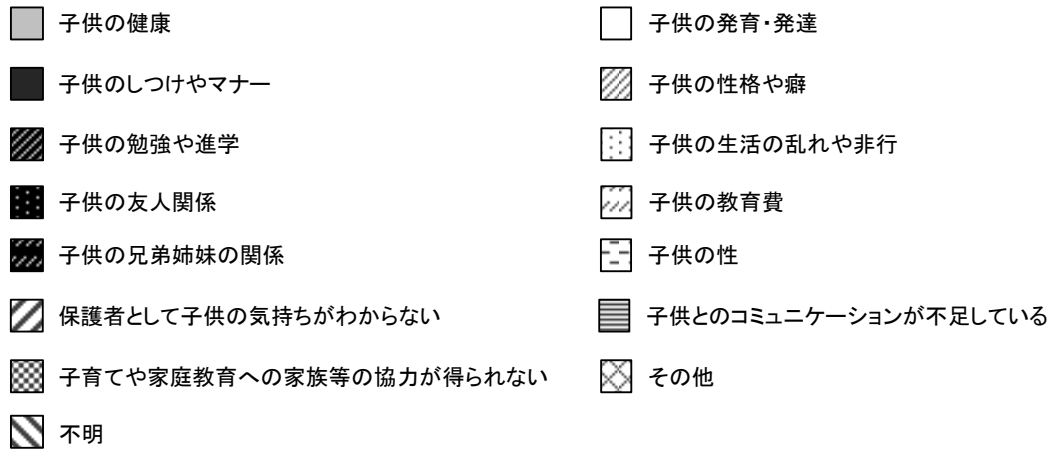
1. 子供の健康
2. 子供の発育・発達
3. 子供のしつけやマナー
4. 子供の性格や癖
5. 子供の勉強や進学
6. 子供の生活の乱れや非行
7. 子供の友人関係
8. 子供の教育費
9. 子供の兄弟姉妹の関係
10. 子供の性
11. 保護者として子供の気持ちがわからない
12. 子供とのコミュニケーションが不足している
13. 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない
14. その他

どのようなことで悩みや不安、孤立感を感じているかについて、全体で最も多かった回答は「子供のしつけやマナー」(16.2%)となった。次いで、「子供の勉強や進学」(15.2%)、「子供の発育・発達」(7.6%)、「子供の教育費」(7.6%)と続いた。

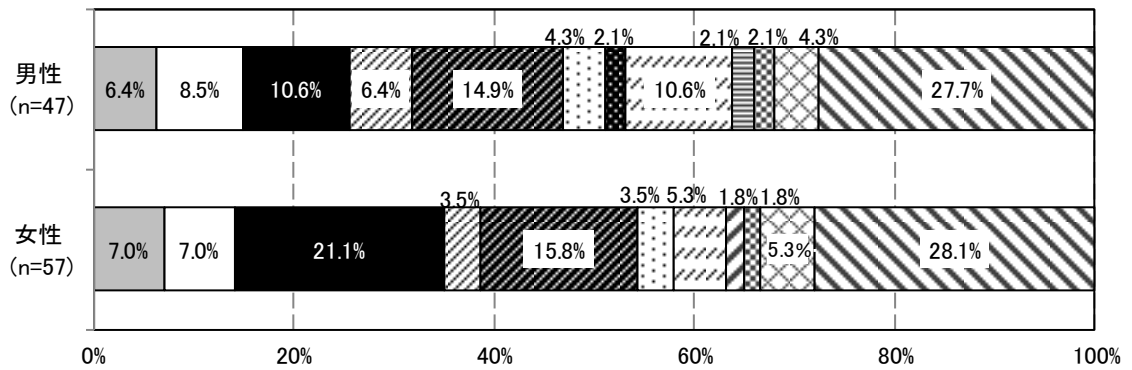
男女別では、男性で「子供のしつけやマナー」を回答された方の割合は10.6%、女性で21.1%となり、女性のほうが高い割合を示した。

年代別では、「子供のしつけやマナー」を回答された方の割合が最も多かった年代は「80歳以上」(36.4%)であった。また、「子供の勉強や進学」を回答された方の割合が最も多かった年代は「30～39歳」(31.3%)となった。

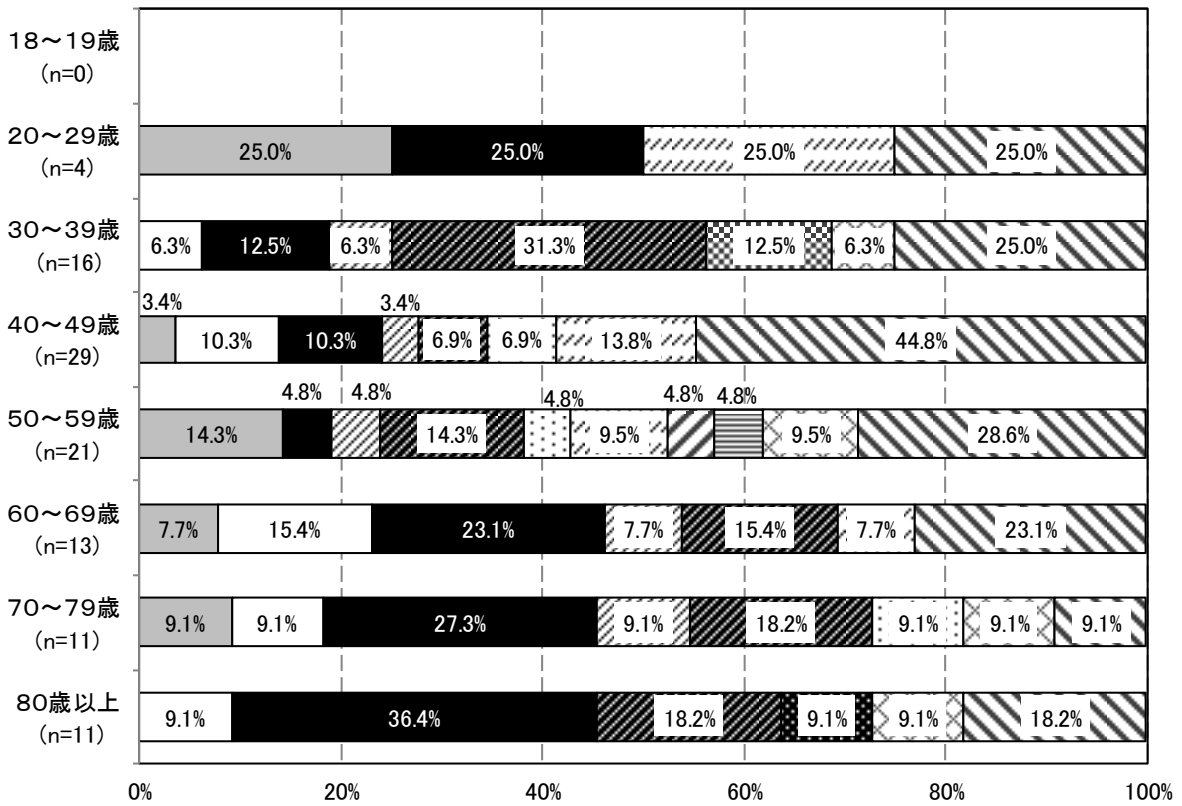
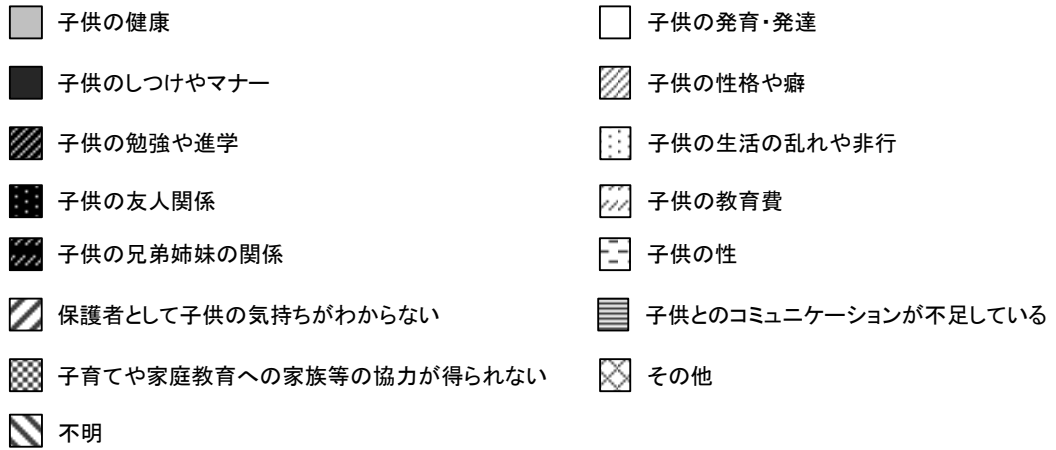
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「子供の安全」、「将来について」など

問26 子育て支援に必要なこと

問26 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？あてはまるものを1つお選びください。

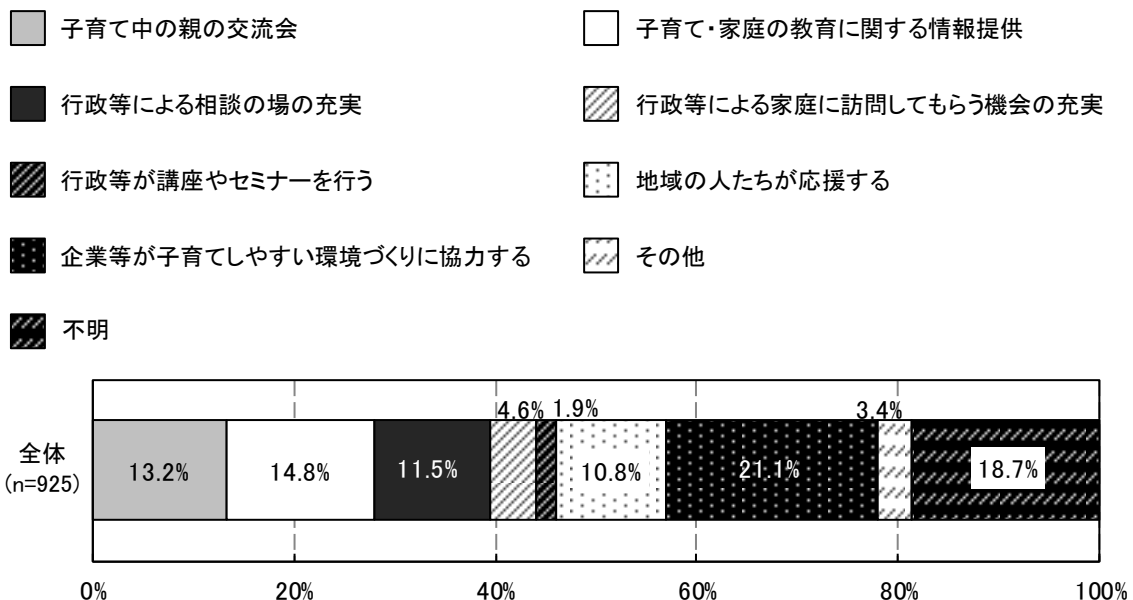
1. 子育て中の親の交流会
2. 子育て・家庭の教育に関する情報提供
3. 行政等による相談の場の充実
4. 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実
5. 行政等が講座やセミナーを行う
6. 地域の人たちが応援する
7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する
8. その他

子育て支援に必要なこととして、全体で最も多かった回答は「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」(21.1%)となった。次いで、「子育て・家庭の教育に関する情報提供」(14.8%)、「子育て中の親の交流会」(13.2%)と続いた。

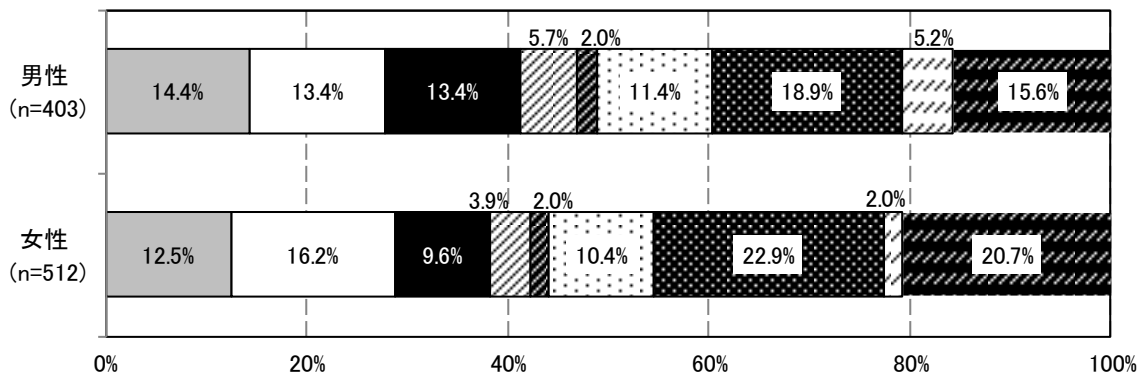
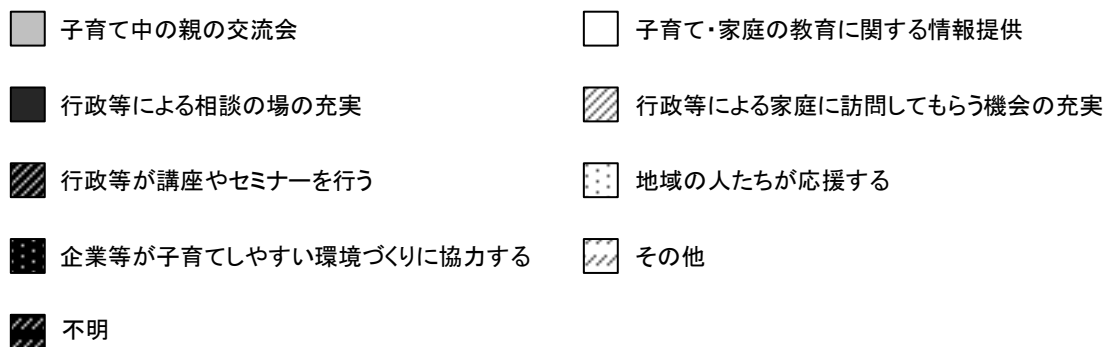
男女別では、男性で「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」を回答された方の割合は18.9%、女性は22.9%となり、女性のほうが高い割合を示した。

年代別では、「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」を回答された方の割合が最も高かった年代は「20～29歳」(35.8%)となった。次いで「40～49歳」(30.8%)、「30～39歳」(24.7%)となり、20歳代から40歳代の各年代にて企業に協力を求める傾向が見られた。

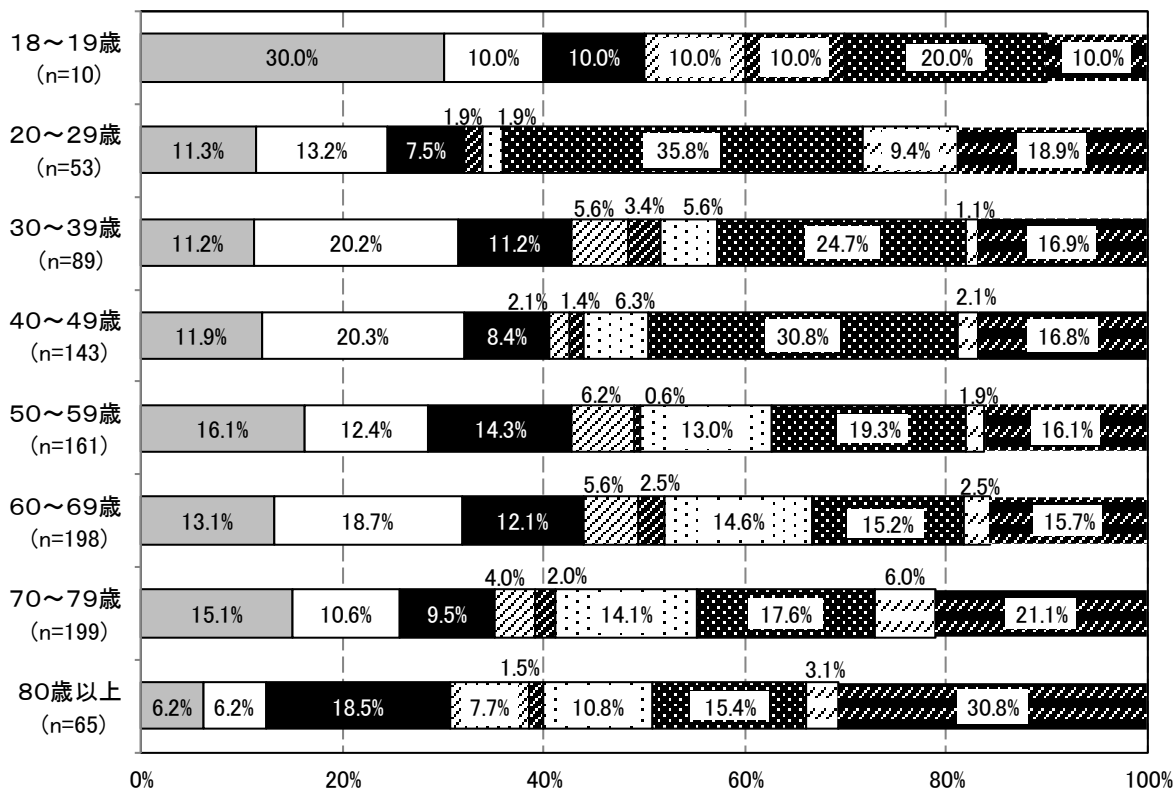
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「経済的援助」、「保育所の充実、保育所職員の待遇改善」など

5. 歴史まちづくりについて

問27 和歌山市歴史的風致維持向上計画の認知状況

問27 和歌山市歴史的風致維持向上計画を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

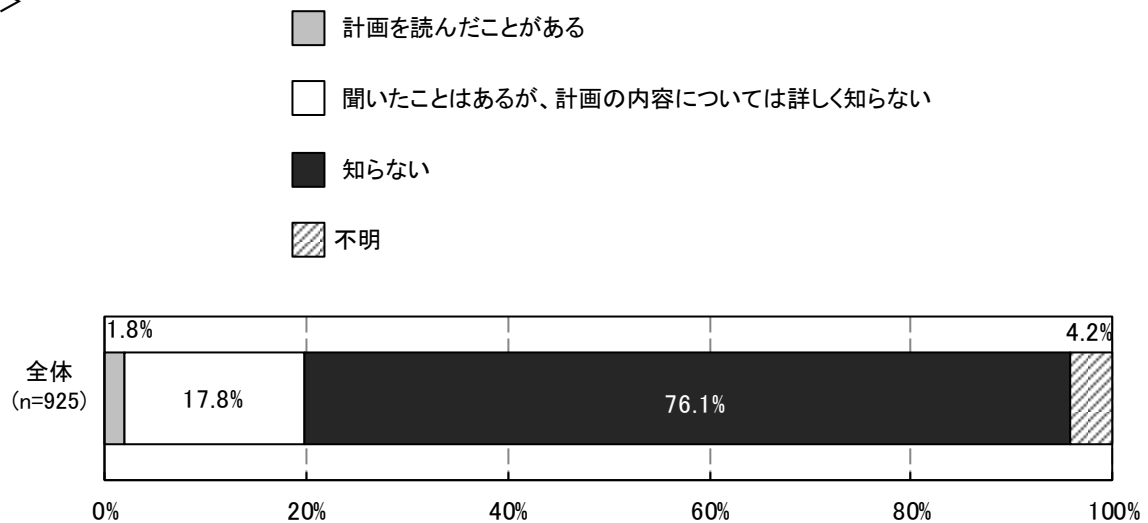
1. 計画を読んだことがある
2. 聞いたことはあるが、計画の内容については詳しく知らない
3. 知らない

和歌山市歴史的風致維持向上計画の認知状況について、全体では「知らない」と回答された方の割合が最も高く76.1%となった。

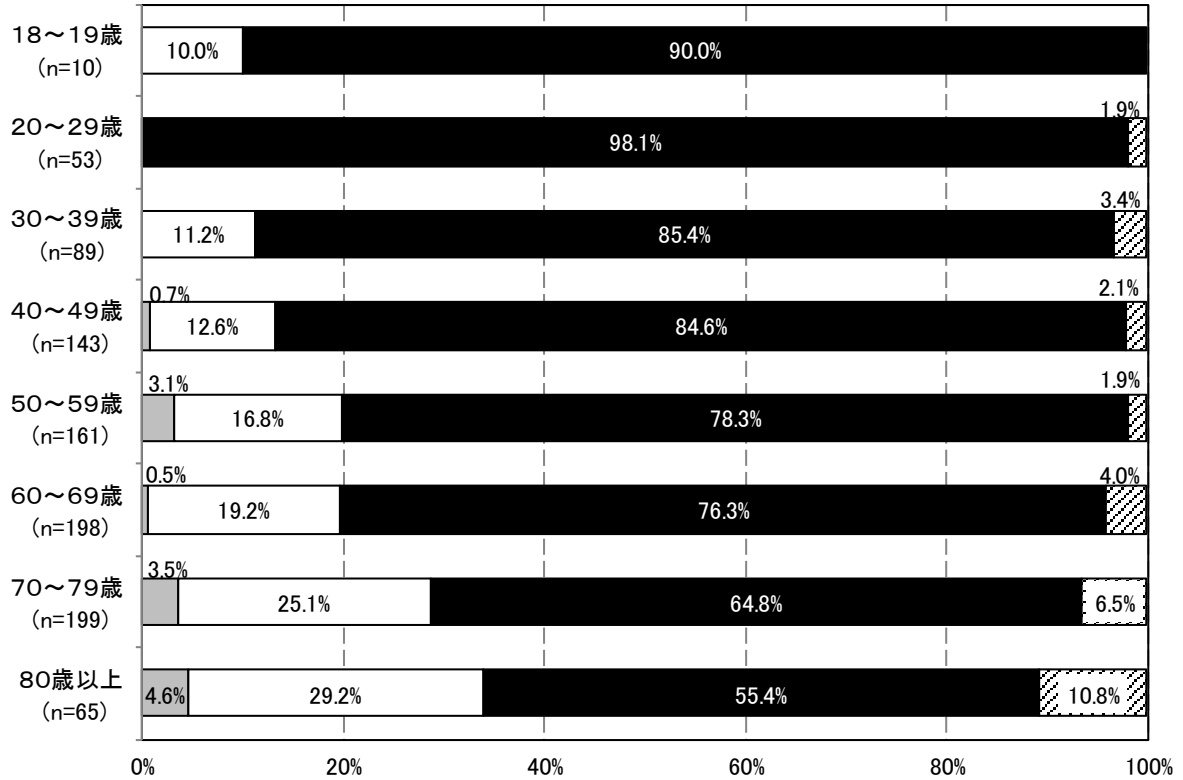
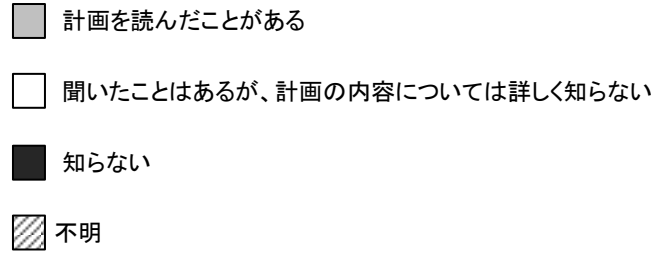
年代別では、「計画を読んだことがある」と「聞いたことはあるが、計画の内容については詳しく知らない」を合わせた割合が最も高かったのは「80歳以上」(33.8%)となった。次いで「70～79歳」(28.6%)と続き、高い年代において認知されている傾向が見られた。

地域別では、いずれの地域も「知らない」が70%を超えている。

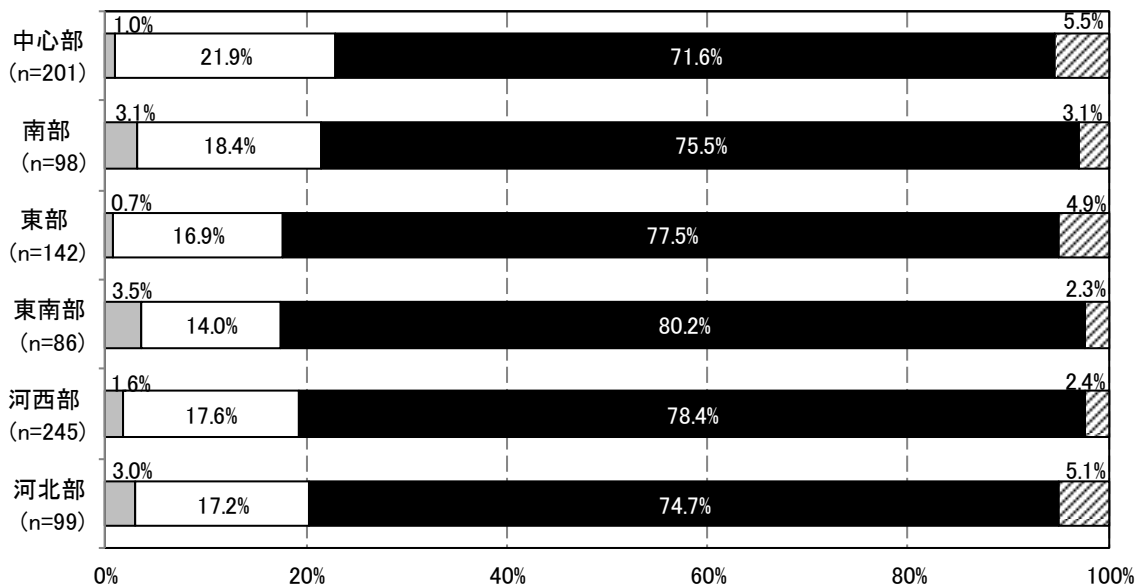
<全体>



<年代別>



<地域別>

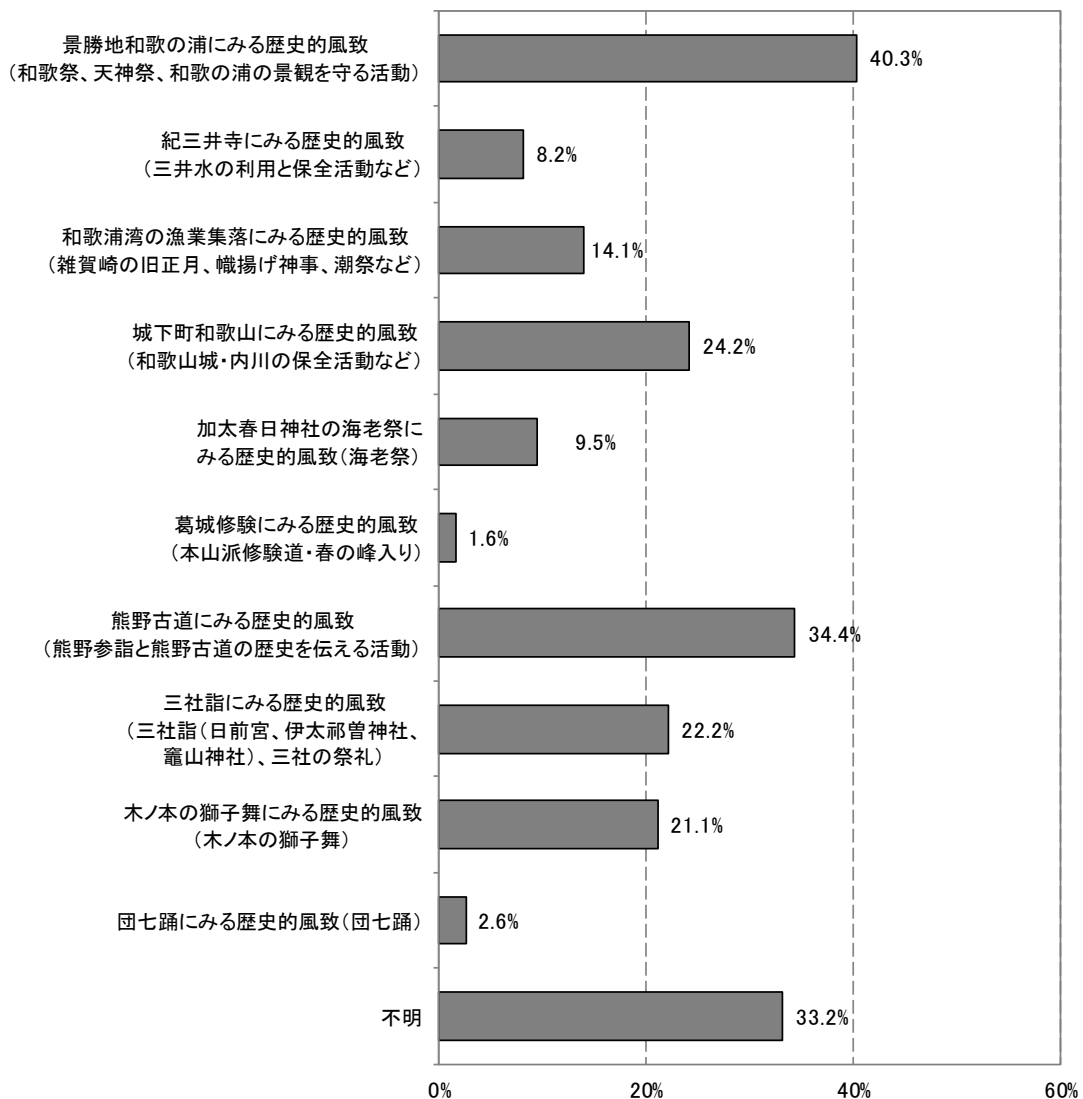


問 2 8 各歴史的風致の認知状況

問 2 8 和歌山市歴史的風致維持向上計画では 10 の歴史的風致を定めていますが、各歴史的風致の人々の営みを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 景勝地和歌の浦にみる歴史的風致（和歌祭、天神祭、和歌の浦の景観を守る活動）
2. 紀三井寺にみる歴史的風致（三井水の利用と保全活動など）
3. 和歌浦湾の漁業集落にみる歴史的風致（雑賀崎の旧正月、幟揚げ神事、潮祭など）
4. 城下町和歌山にみる歴史的風致（和歌山城・内川の保全活動など）
5. 加太春日神社の海老祭にみる歴史的風致（海老祭）
6. 葛城修験にみる歴史的風致（本山派修験道・春の峰入り）
7. 熊野古道にみる歴史的風致（熊野参詣と熊野古道の歴史を伝える活動）
8. 三社詣にみる歴史的風致（三社詣（日前宮、伊太祁曾神社、竈山神社）、三社の祭礼）
9. 木ノ本の獅子舞にみる歴史的風致（木ノ本の獅子舞）
10. 団七踊にみる歴史的風致（団七踊）

各歴史的風致の認知状況について、最も多かった回答は「景勝地和歌の浦にみる歴史的風致（和歌祭、天神祭、和歌の浦の景観を守る活動）」（40.3%）となった。次いで、「熊野古道にみる歴史的風致（熊野参詣と熊野古道の歴史を伝える活動）」（34.4%）、「城下町和歌山にみる歴史的風致（和歌山城・内川の保全活動など）」（24.2%）と続いた。



問29 重点区域にて歴史的風致の維持向上のために取り組むべきこと

問29 和歌山市歴史的風致維持向上計画では、1から3の歴史的風致のエリアを重点区域（和歌の浦区域）として、文化財や歴史的な建造物等とそれらに結び付いた人々の活動の維持や発展に重点的に取り組み、当該区域の歴史的風致の維持向上を効果的に推進することとしていますが、特に取り組むべきことは何だと思いませんか？あてはまるものを1つお選びください。

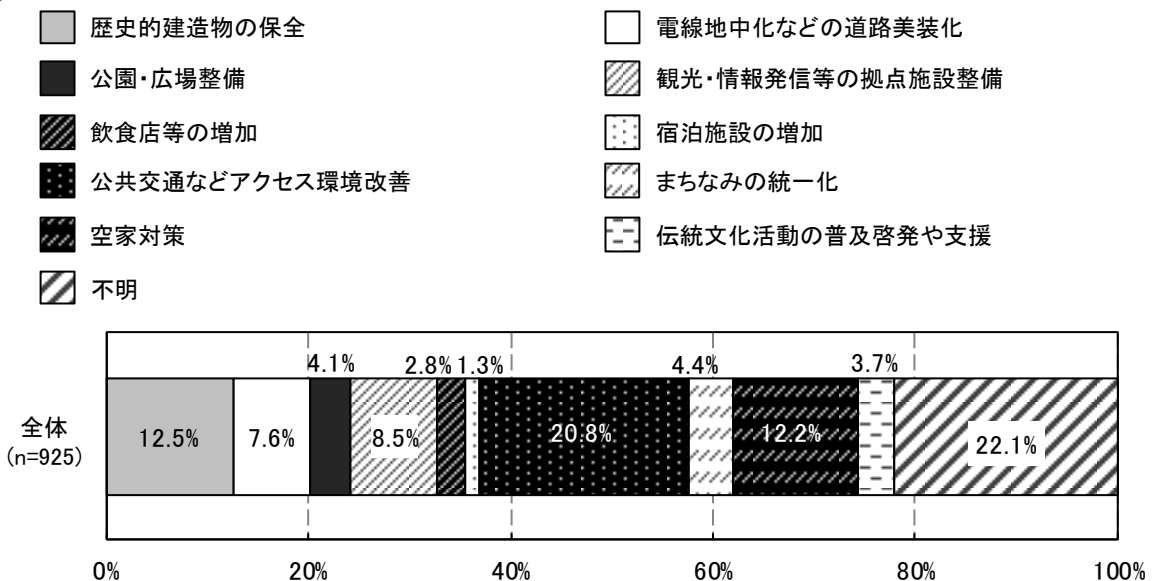
1. 歴史的建造物の保全
2. 電線地中化などの道路美化化
3. 公園・広場整備
4. 観光・情報発信等の拠点施設整備
5. 飲食店等の増加
6. 宿泊施設の増加
7. 公共交通などアクセス環境改善
8. まちなみの統一化
9. 空家対策
10. 伝統文化活動の普及啓発や支援

重点区域にて歴史的風致の維持向上のために取り組むべきこととして、全体で最も多かった回答は「公共交通などアクセス環境改善」（20.8%）となった。次いで「歴史的建造物の保全」（12.5%）、「空家対策」（12.2%）と続いた。

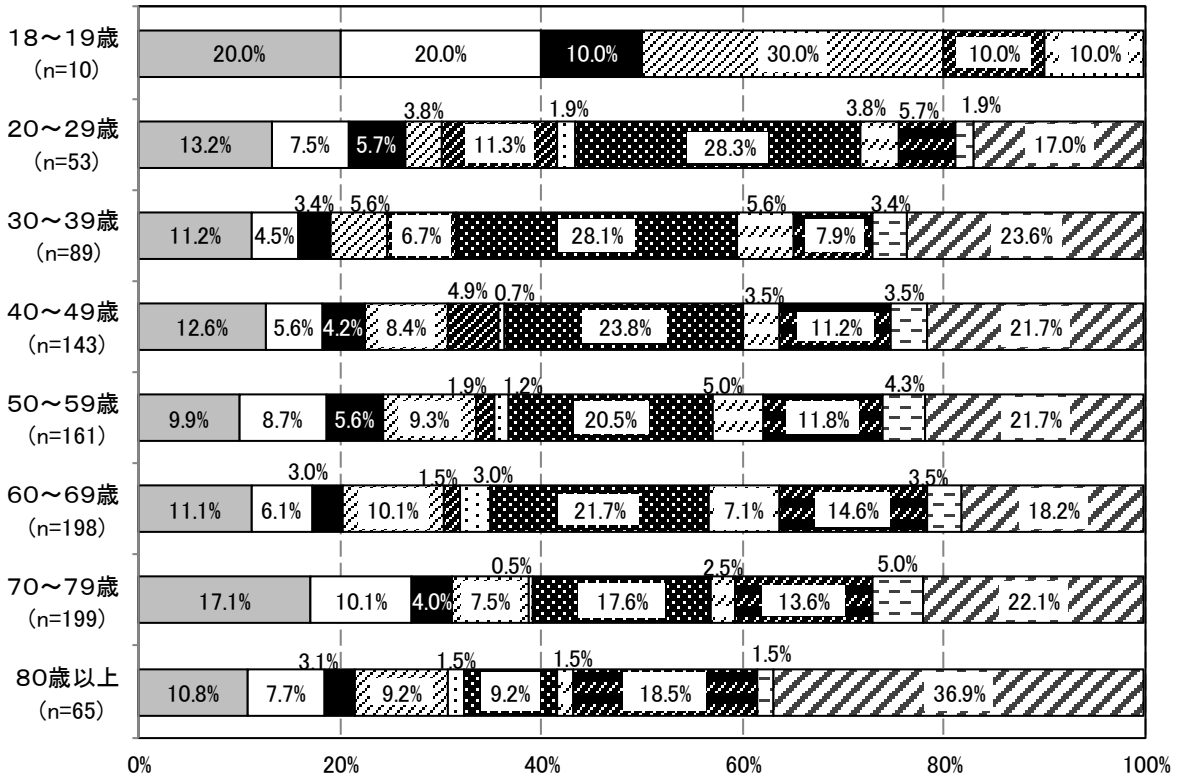
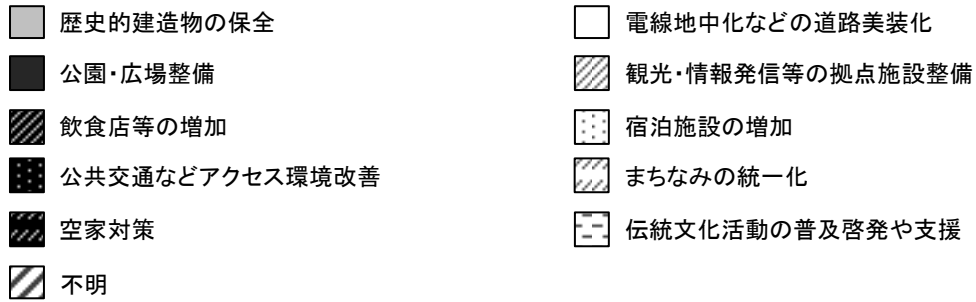
年代別では、「公共交通などアクセス環境改善」を回答した割合は20歳代～60歳代にて20%を超える結果となった。また、「空家対策」を回答した割合は40歳代以上の各年代で10%を超える結果となった。

地域別では、「公共交通などアクセス環境改善」を回答した割合が最も高かった地域は「河北部」（26.3%）となった。また、「空家対策」を回答した割合が最も高かった地域は「東部」（15.5%）となった。

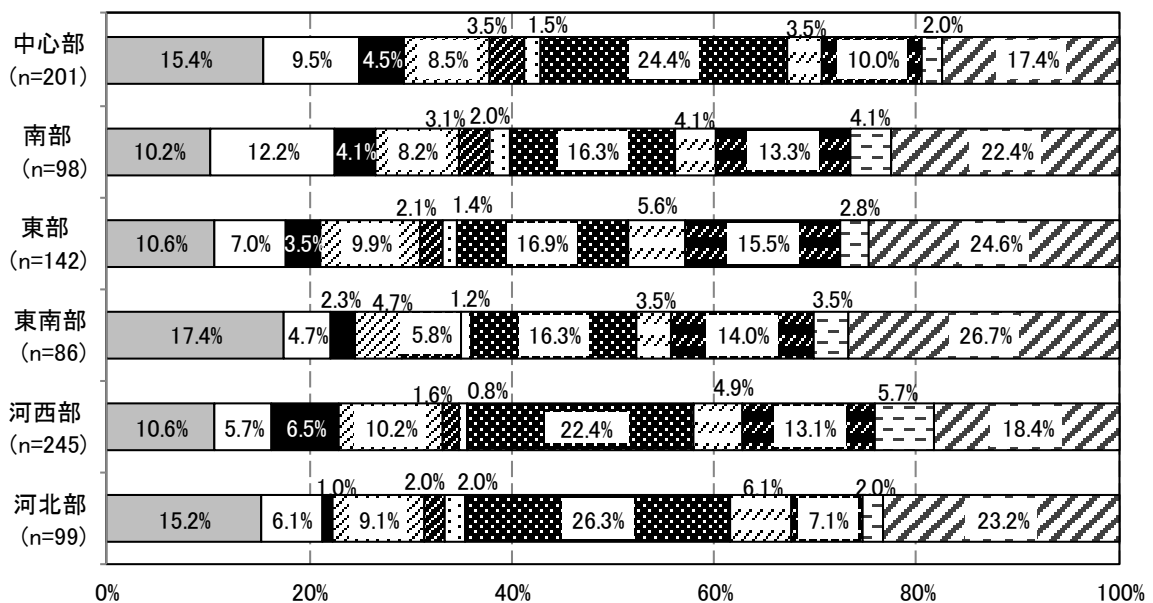
<全体>



<年代別>



<地域別>



6. 災害対策について

問30 災害への備え

問30 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい

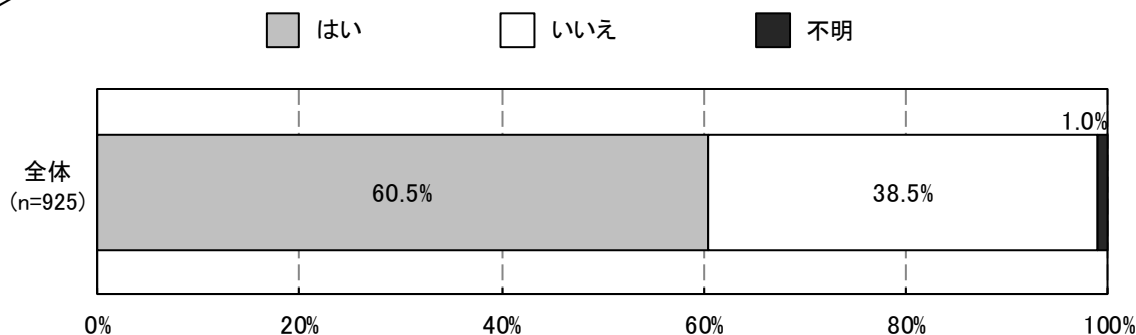
2. いいえ

災害への備えを行っているかについて、「はい」と回答された方の割合は60.5%となり半数以上の方が災害に対して何らかの備えを行っている。

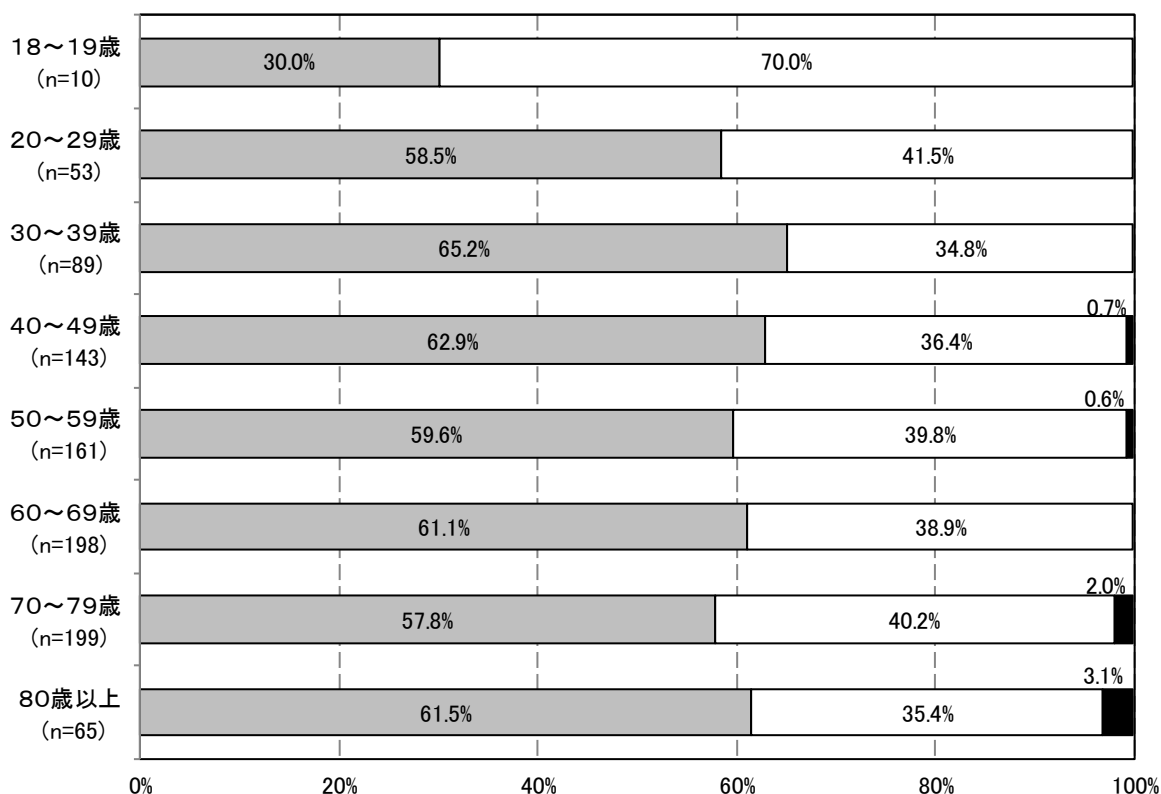
年代別で見ると、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」（65.2%）であった。次いで、「40～49歳」（62.9%）、「80歳以上」（61.5%）と続いた。

地域別では、「はい」と回答された方の割合は「河西部」で53.9%となったが、他の地域では60%を超える結果となった。

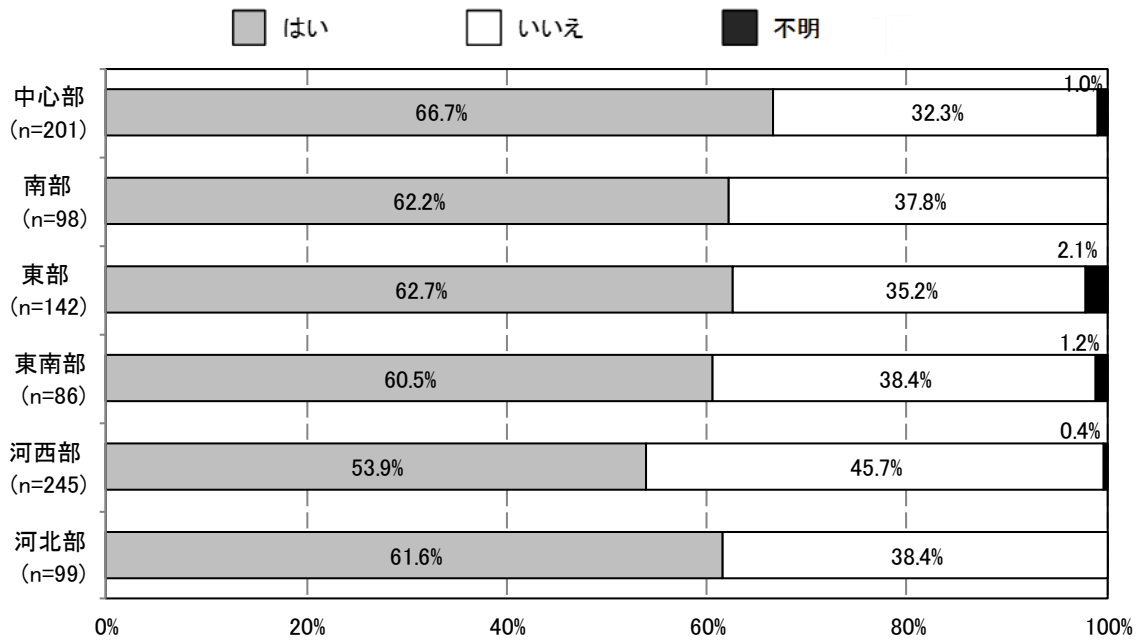
<全体>



<年代別>



<地域別>



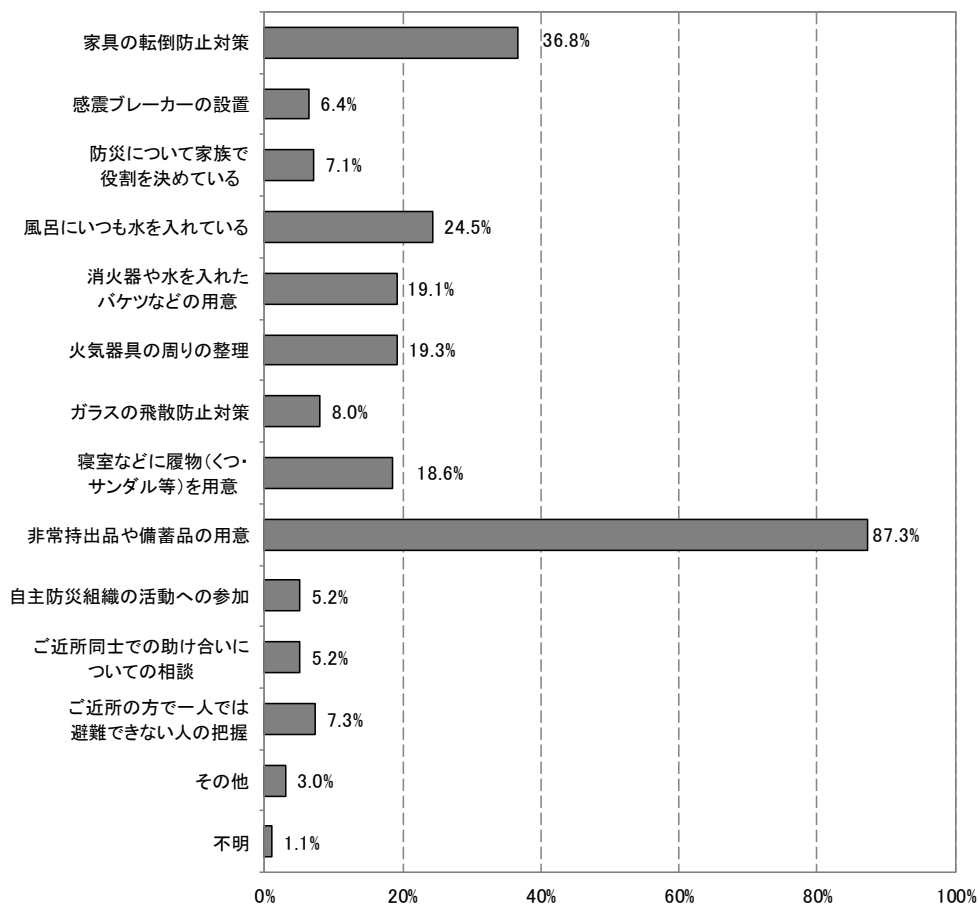
問30-1 災害に備えていること

問30-1 問30で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具の転倒防止対策
2. 感震ブレーカーの設置
3. 防災について家族で役割を決めている
4. 風呂にいつも水を入れている
5. 消火器や水を入れたバケツなどの用意
6. 火気器具の周りの整理
7. ガラスの飛散防止対策
8. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意
9. 非常持出品や備蓄品の用意
10. 自主防災組織の活動への参加
11. ご近所同士での助け合いについての相談
12. ご近所の方で一人では避難できない人の把握
13. その他

災害に備えていることで最も多かった回答は「非常持出品や備蓄品の用意」(87.3%)となった。次いで、「家具の転倒防止対策」(36.8%)、「風呂にいつも水を入れている」(24.5%)と続いた。

n=560



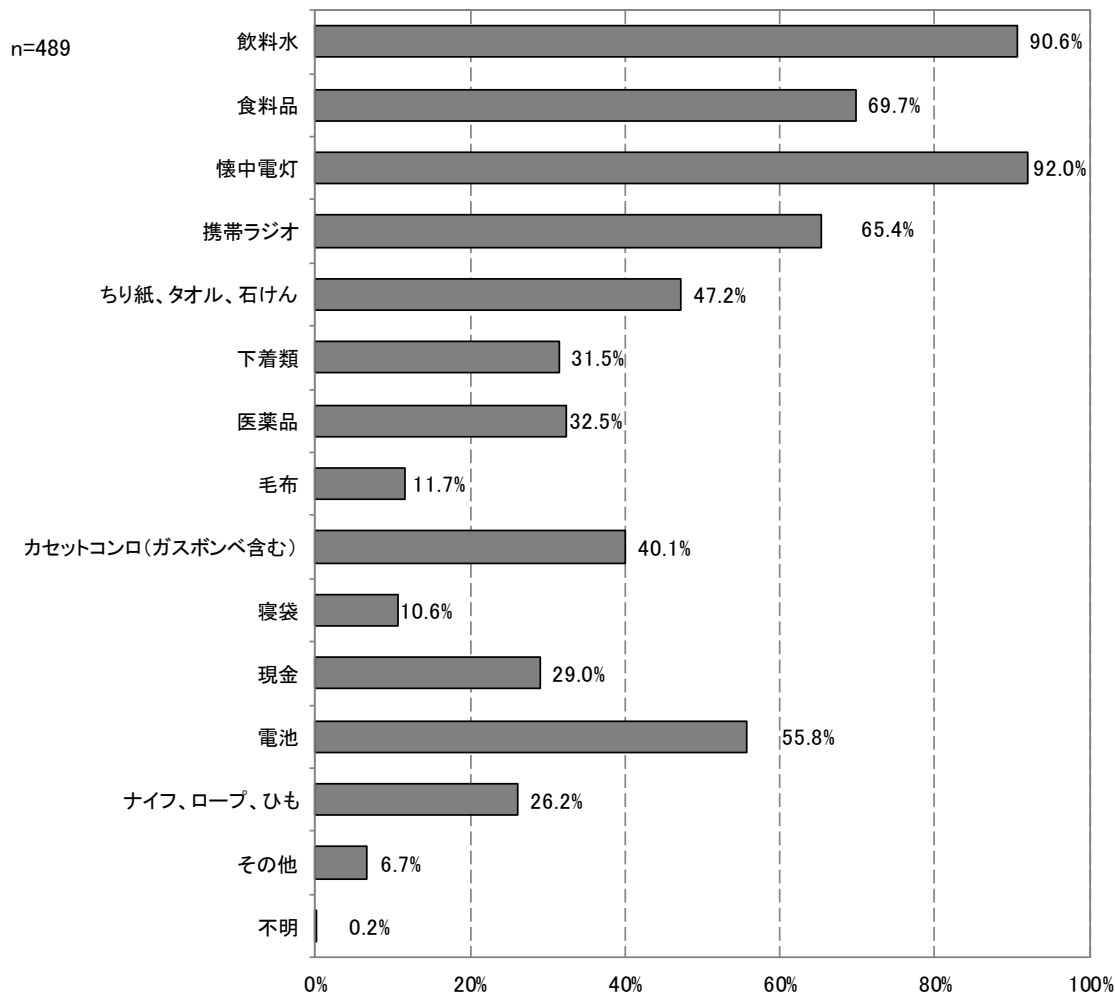
その他：「家族で避難場所を決める」、「飲料水の確保」など

問30-2 災害に備えているもの

問30-2 問30-1で「9. 非常持出品や備蓄品の用意」と回答された方のみお答えください。
 非常持出品や備蓄品としてどのようなものを用意していますか？あてはまるものを全
 てお選びください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 飲料水 | 8. 毛布 |
| 2. 食料品 | 9. カセットコンロ（ガスボンベ含む） |
| 3. 懐中電灯 | 10. 寝袋 |
| 4. 携帯ラジオ | 11. 現金 |
| 5. ちり紙、タオル、石けん | 12. 電池 |
| 6. 下着類 | 13. ナイフ、ロープ、ひも |
| 7. 医薬品 | 14. その他 |

災害に備えているものとして、最も多かった回答は「懐中電灯」（92.0%）となった。次いで、「飲料水」（90.6%）、「食料品」（69.7%）と続いた。



その他：「トイレ」、「ラップ」、「手袋」など

問3 1 家具等の固定状況

問3 1 あなたは、家具等の固定をしていますか？

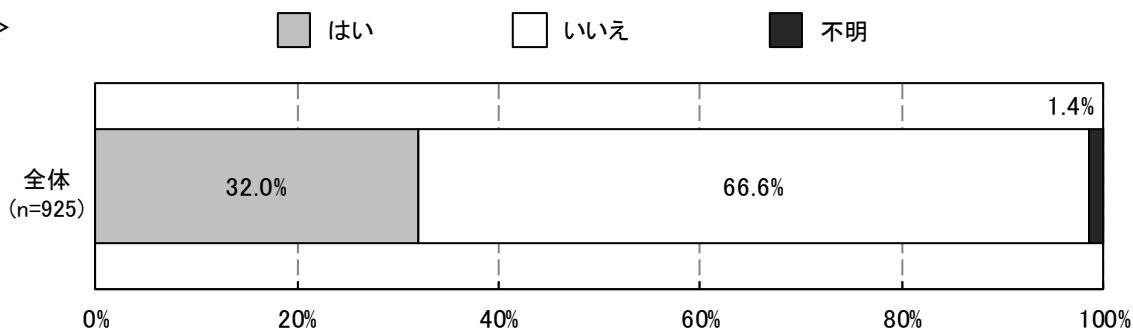
1. はい

2. いいえ

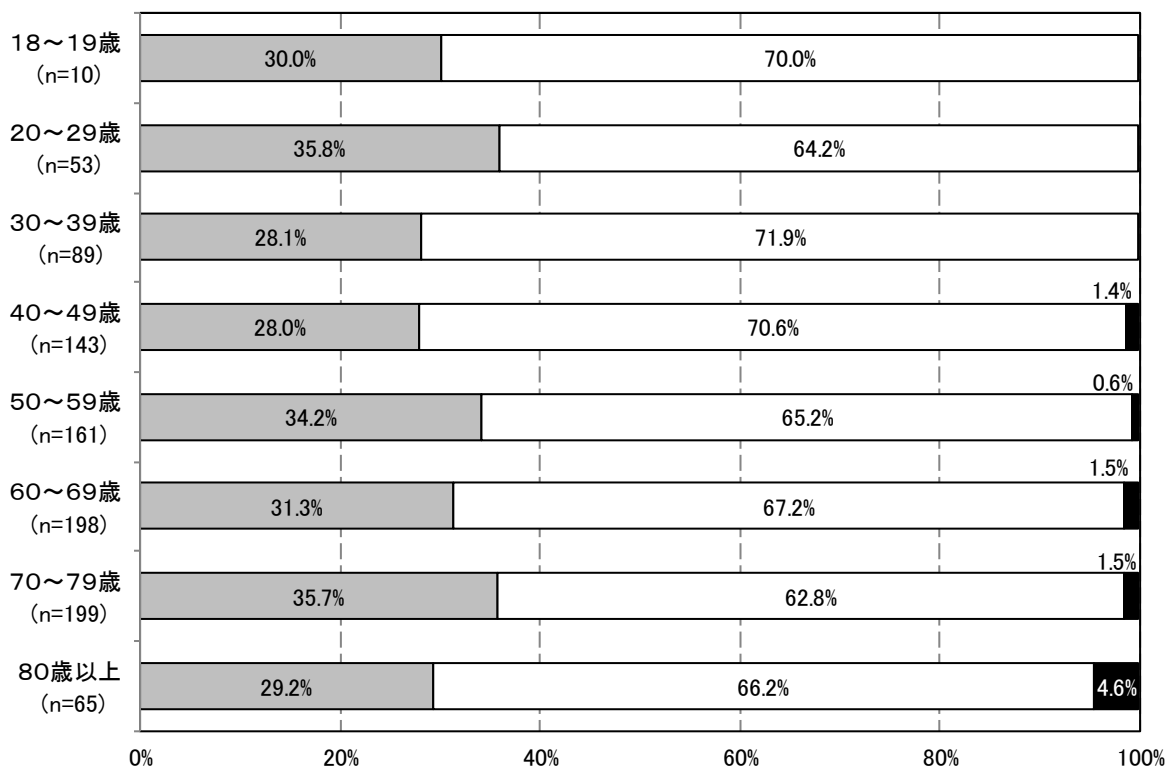
家具等を固定しているかについて、「はい」と回答された方の割合は32.0%、「いいえ」が66.6%となった。

年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「20～29歳」（35.8%）となった。次いで、「70～79歳」（35.7%）、「50～59歳」（34.2%）となった。

<全体>



<年代別>



問31-1 家具等を固定していない理由

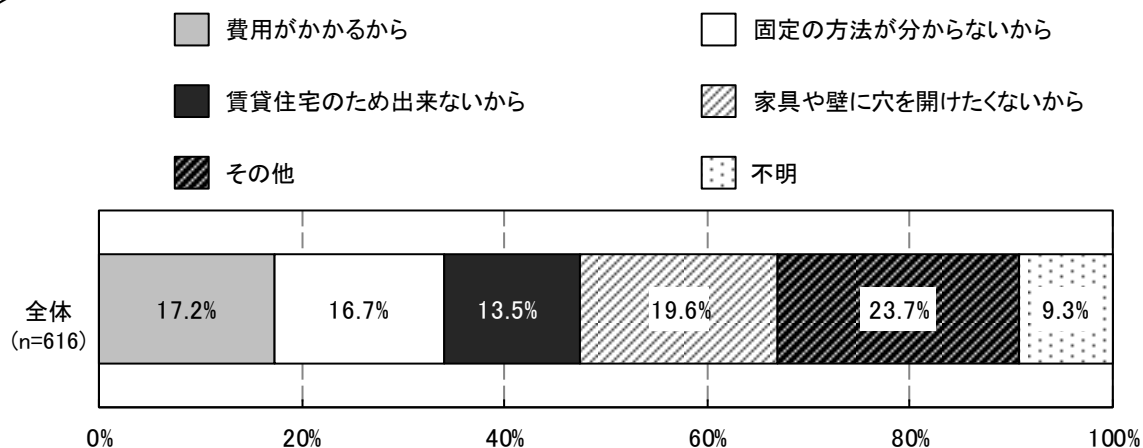
問31-1 問31で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法が分からないから
3. 賃貸住宅のため出来ないから
4. 家具や壁に穴を開けたくないから
5. その他

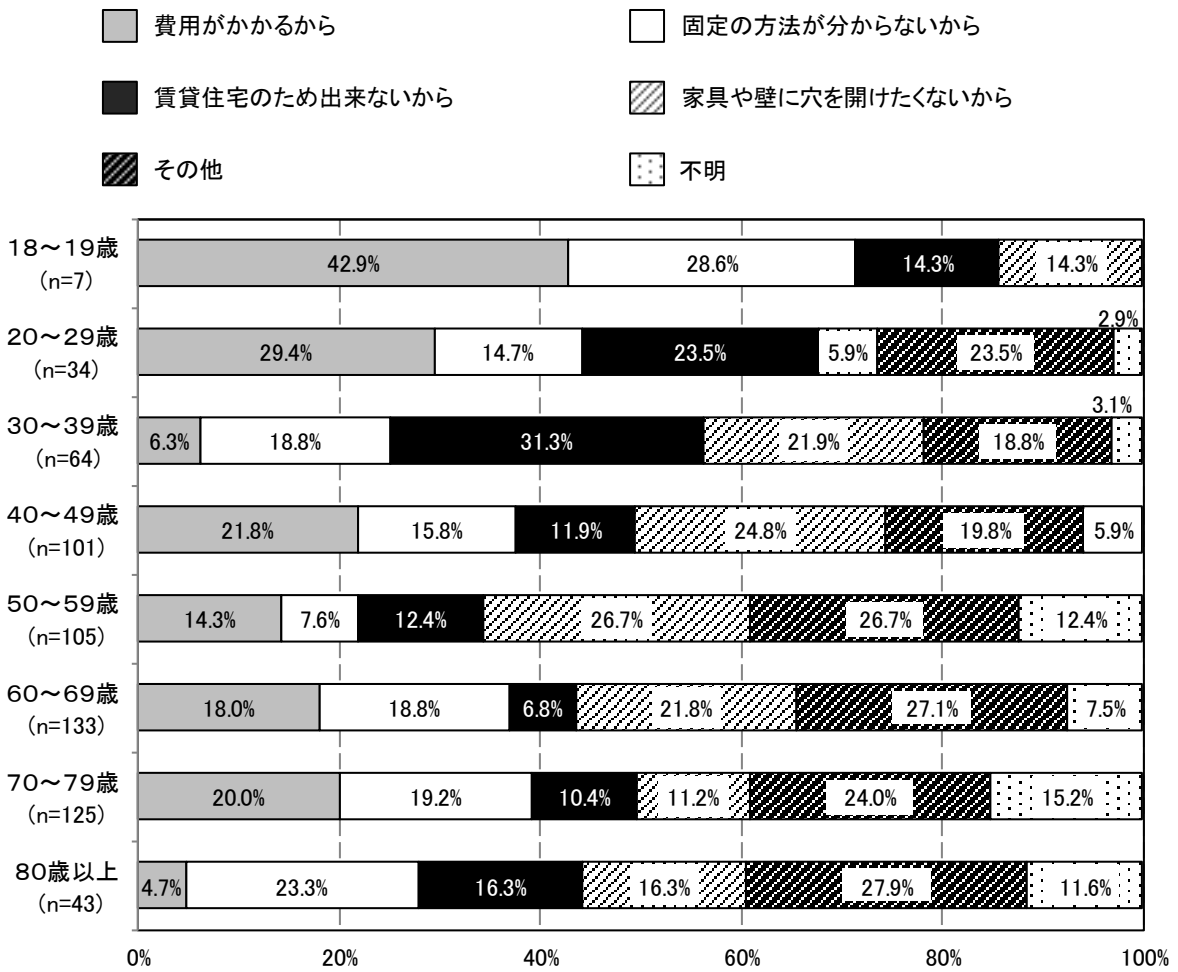
家具等を固定していない理由で最も多かった回答は「家具や壁に穴を開けたくないから」(19.6%)となった。次いで、「費用がかかるから」(17.2%)、「固定の方法が分からないから」(16.7%)と続いた。

年代別では、「家具や壁に穴を開けたくないから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「50～59歳」(26.7%)となった。また、「費用がかかるから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(42.9%)となった。

<全体>



<年代別>



その他：「固定の必要な家具がない」、「意識ややる気の問題」、「必要性を感じない」など

問3 2 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知状況

問3 2 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい

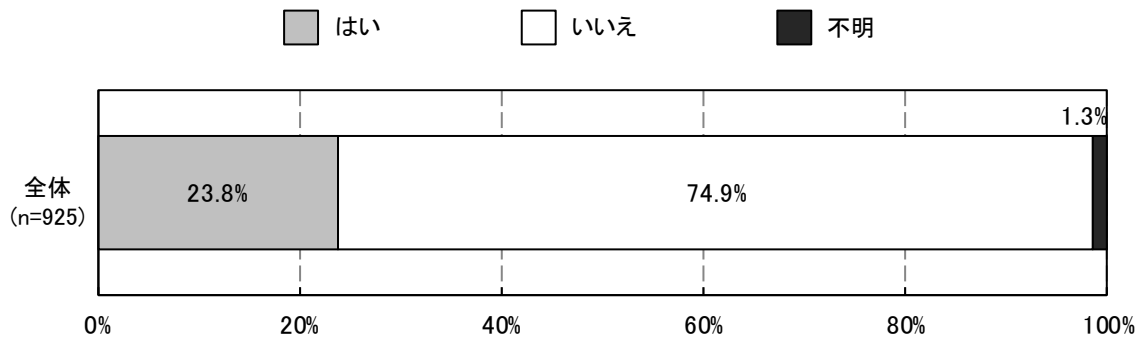
2. いいえ

家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知状況について、「はい」と回答された方の割合は23.8%、「いいえ」は74.9%となった。

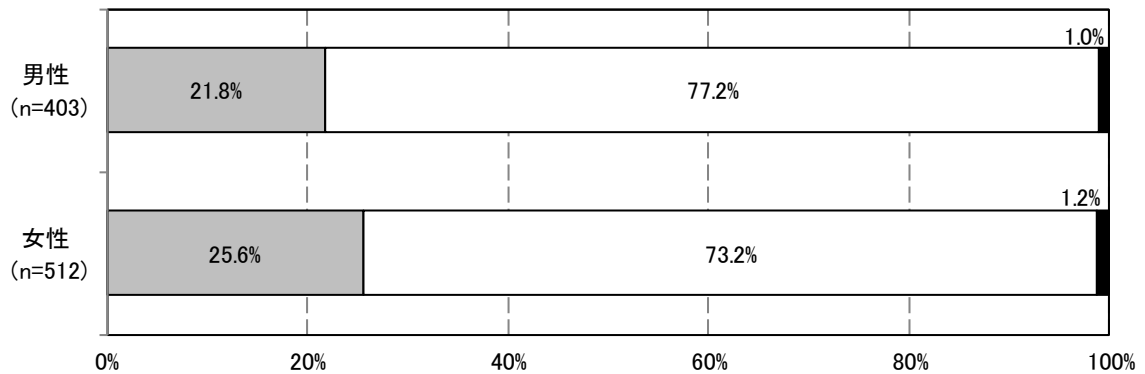
男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は21.8%、女性は25.6%となり、女性のほうが認知されている傾向が見られた。

年代別では、「はい」と回答された方の割合が高かった年代は「70～79歳」(39.2%)、「80歳以上」(36.9%)となったが、他の年代では低い傾向が見られた。

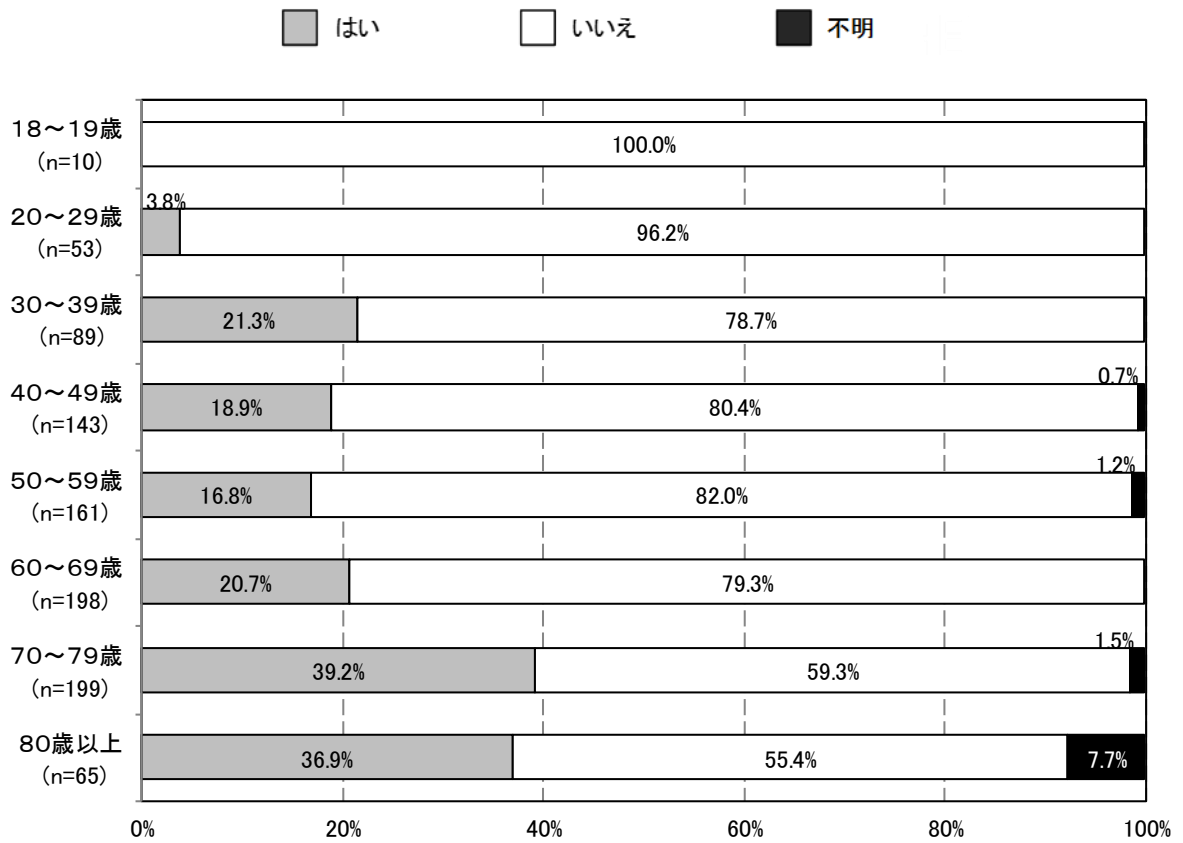
<全体>



<年代別>



<年代別>



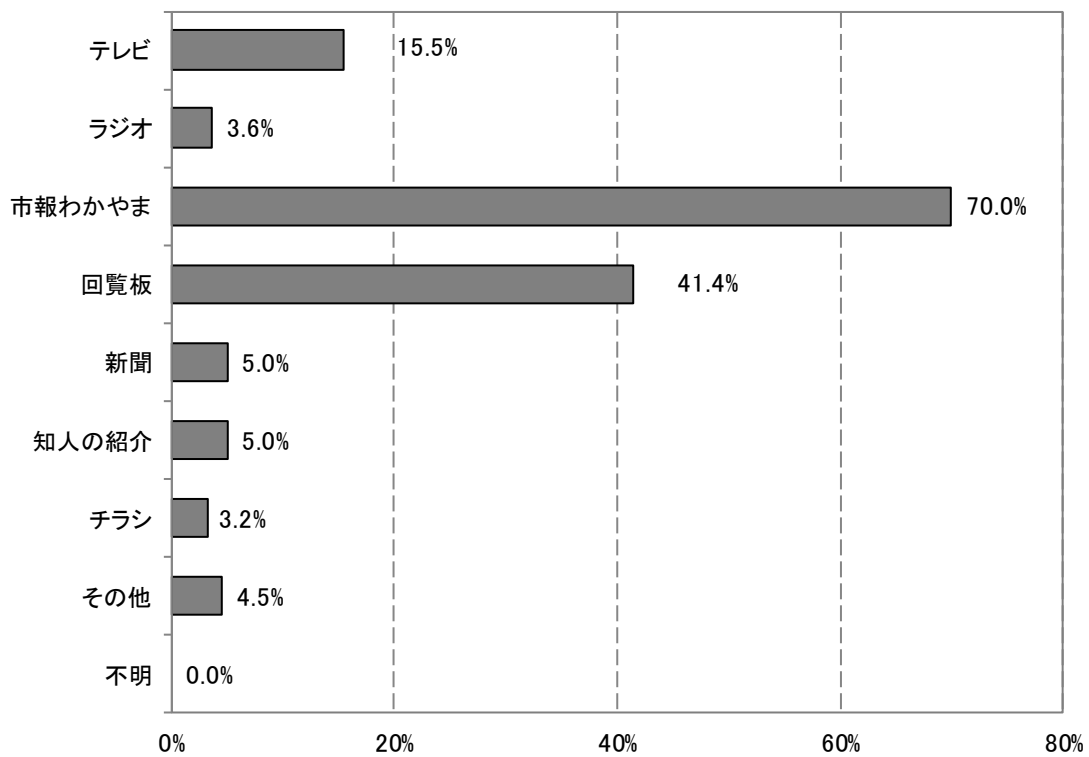
問32-1 家具の転倒防止対策を知った方法

問32-1 問32で「1. はい」と回答された方のみお答えください。家具の転倒防止対策を何で知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. テレビ | 5. 新聞 |
| 2. ラジオ | 6. 知人の紹介 |
| 3. 市報わかやま | 7. チラシ |
| 4. 回覧板 | 8. その他 |

家具の転倒防止対策を知った方法として、最も多い回答が「市報わかやま」で割合は70.0%となった。次いで、「回覧板」(41.4%)と続いた。

n=220



その他：「職場」、「ホームページ」など

問3 2-2 家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について

問3 2-2 あなたは、問3 2の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う

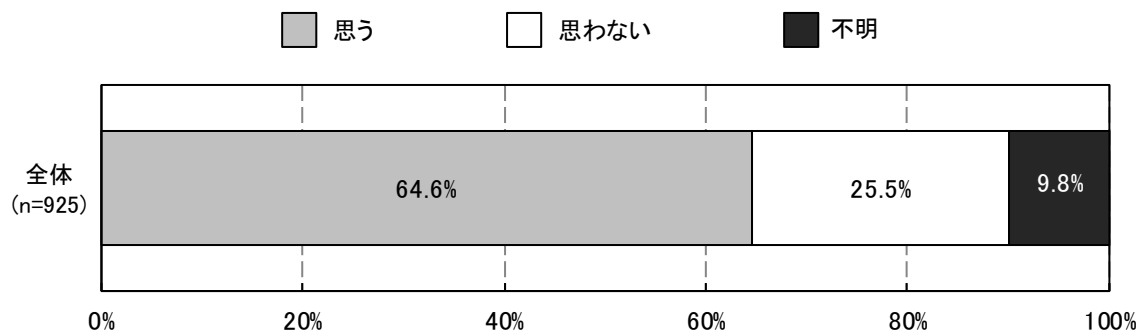
2. 思わない

家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について、利用したいと「思う」と回答された方の割合は64.6%となった。

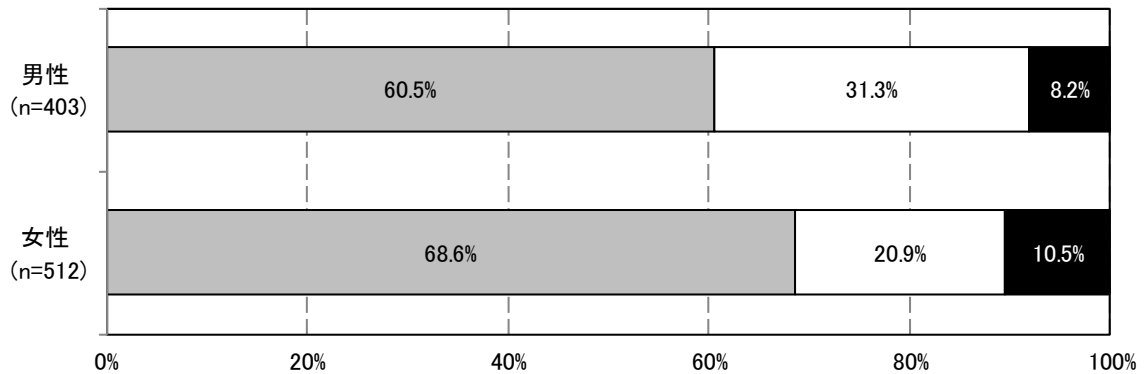
男女別では、男性で「思う」と回答された方の割合は60.5%、女性で68.6%となり、女性のほうが利用したいと考える傾向が見られた。

年代別では、「思う」と回答された方の割合が最も高かった年代は「18~19歳」(80.0%)であったが、60歳代以上の年代で、低い傾向となった。

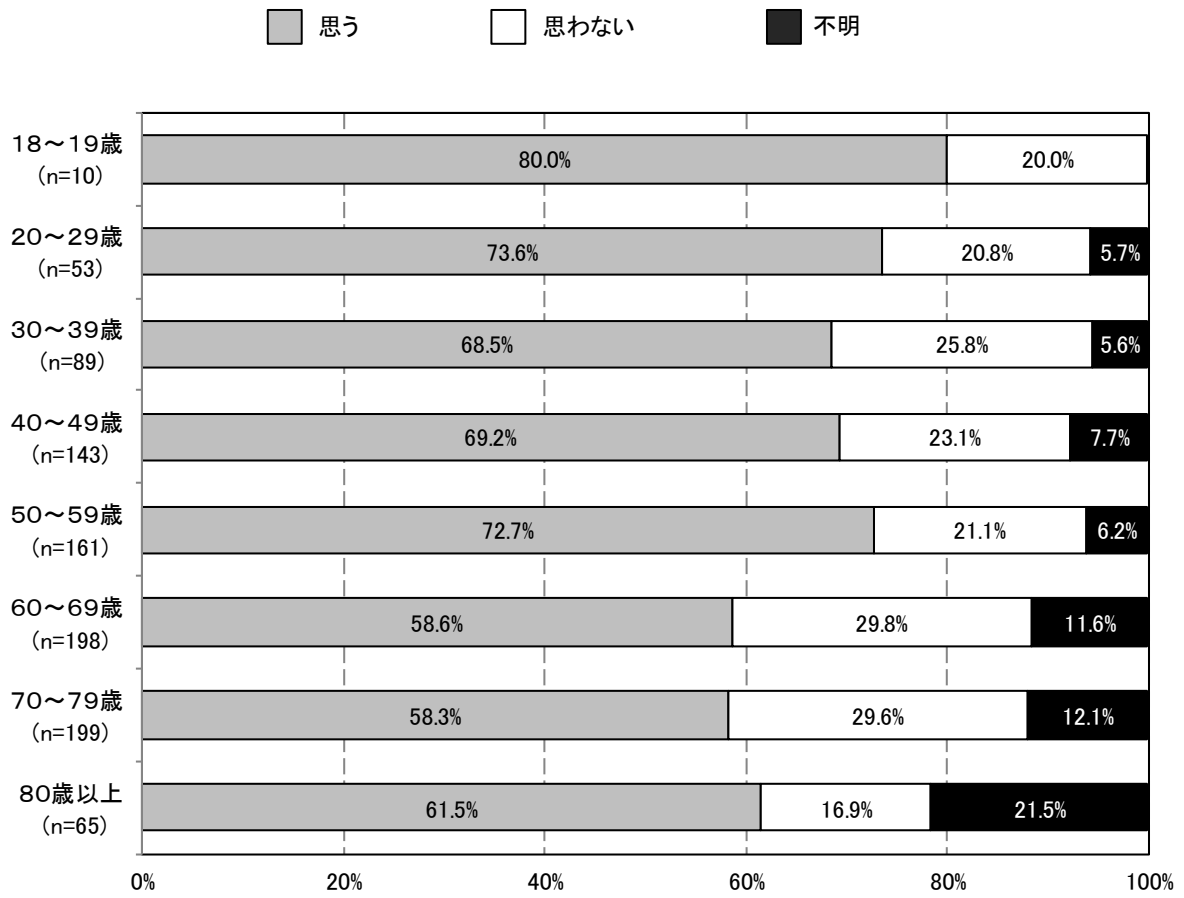
<全体>



<男女別>



<年代別>



問33 感震ブレーカーの認知状況

問33 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

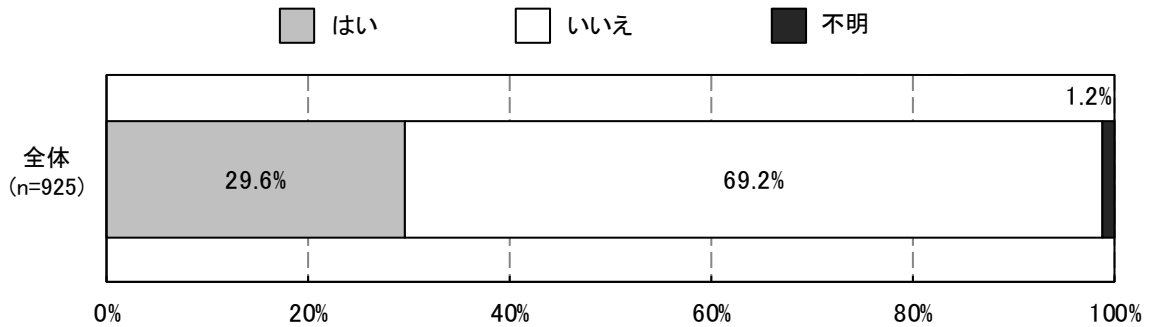
1. はい

2. いいえ

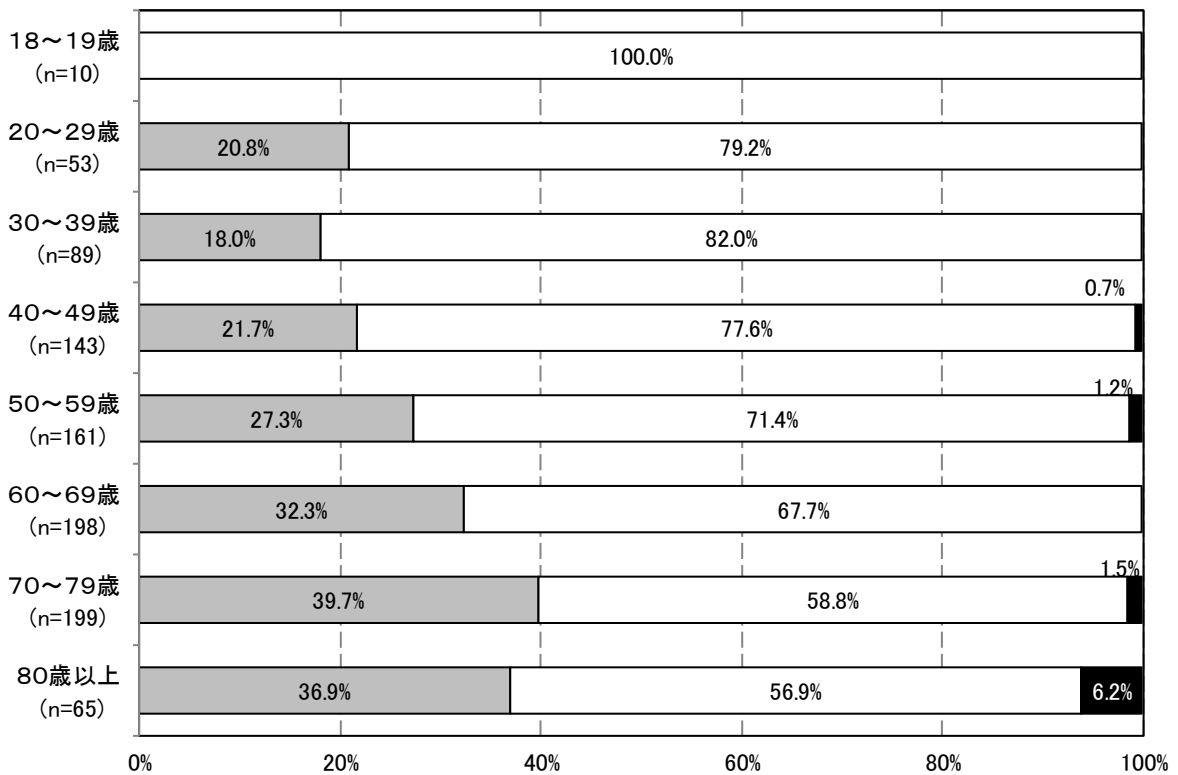
感震ブレーカーの認知状況について、「はい」と回答された方の割合は29.6%、「いいえ」は69.2%となった。

年代別では、「はい」と回答された方の割合は、60歳代以上の年代で30%を超える結果となった。

<全体>



<年代別>



問33-1 感震ブレーカーの設置状況

問33-1 問33で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している

2. 設置していない

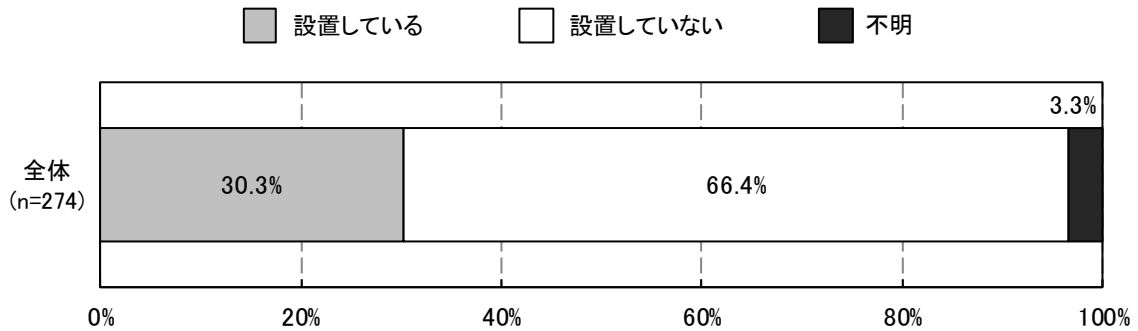
感震ブレーカーの設置状況について、「設置している」と回答された方の割合は30.3%、「設置していない」は66.4%となった。

年代別では、「設置している」と回答された割合が最も高かった年代は「70～79歳」（40.5%）となった。次いで「80歳以上」（37.5%）となり、70歳代以上の年代において、より設置している傾向が見られた。

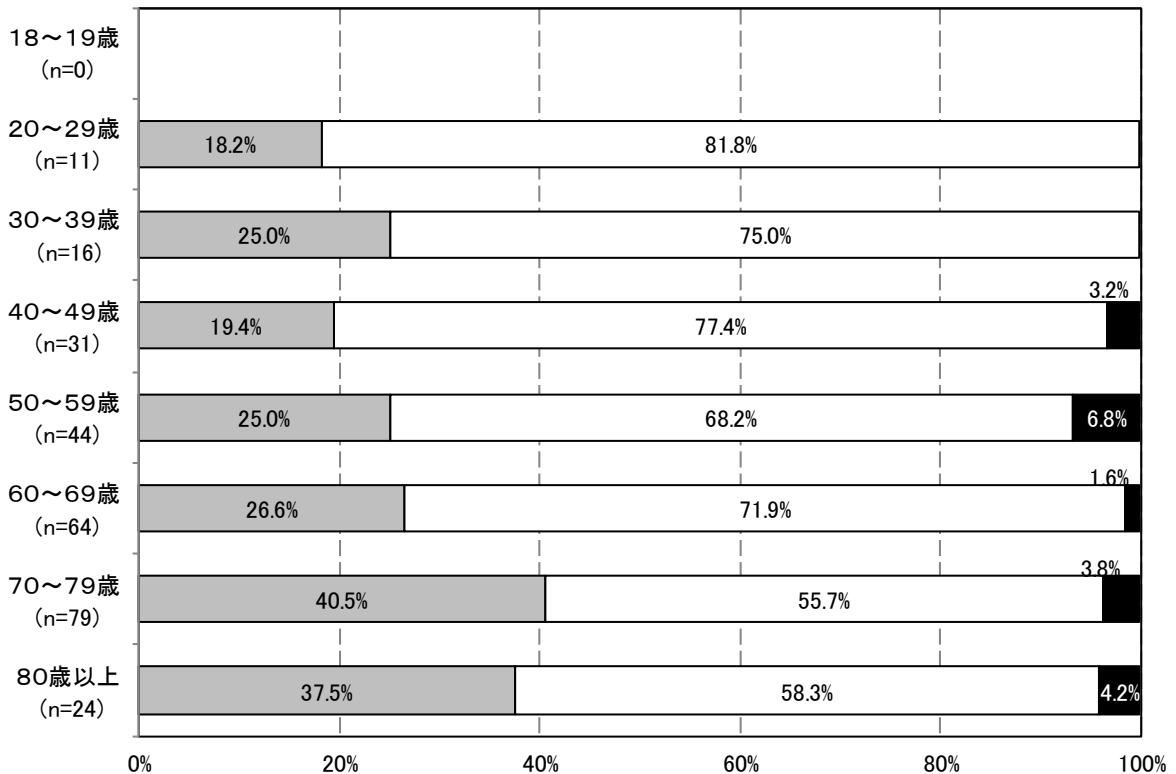
地域別では、「設置している」と回答された割合が最も高かった地域は「河西部」（36.4%）となった。

次いで、「東部」（28.6%）、「中心部」（27.6%）と続いた。

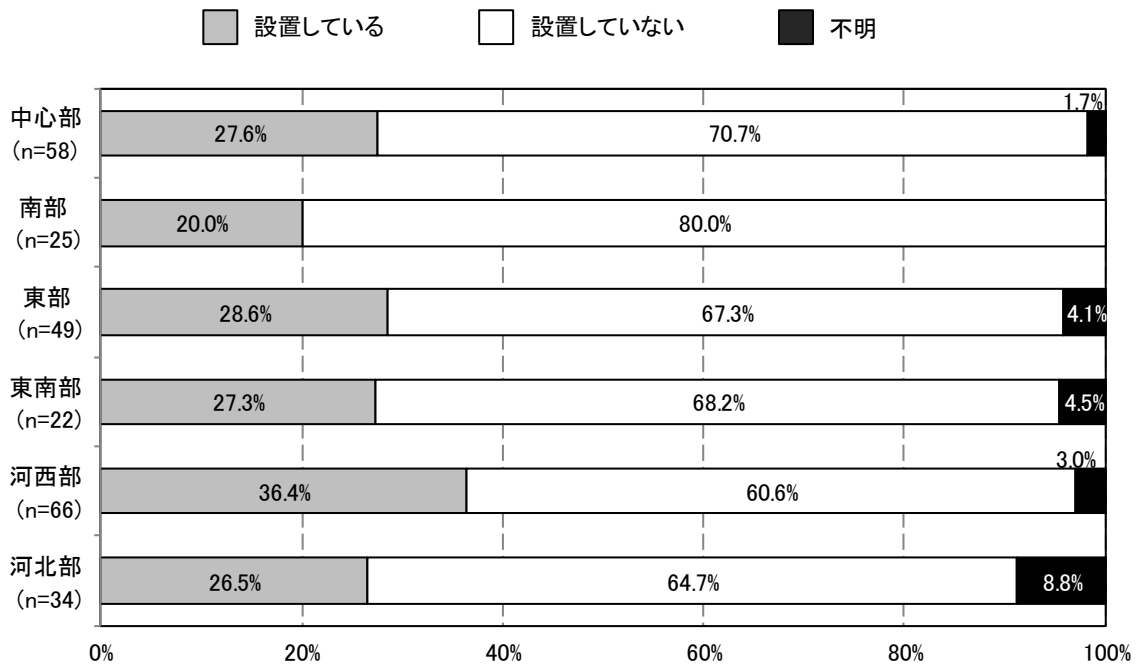
<全体>



<年代別>



<地域別>



問33-2 感震ブレイカー設置の希望状況

問33-2 問33で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい

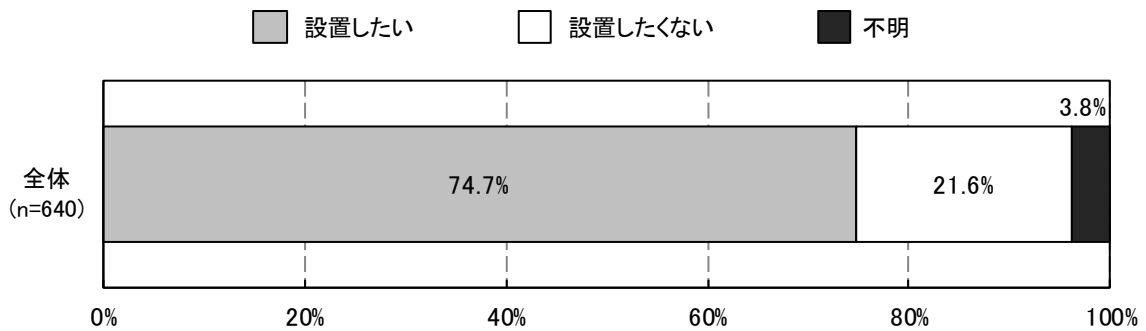
2. 設置したくない

感震ブレイカー設置の希望状況について、「設置したい」と回答された方の割合は74.7%、「設置したくない」は21.6%となった。

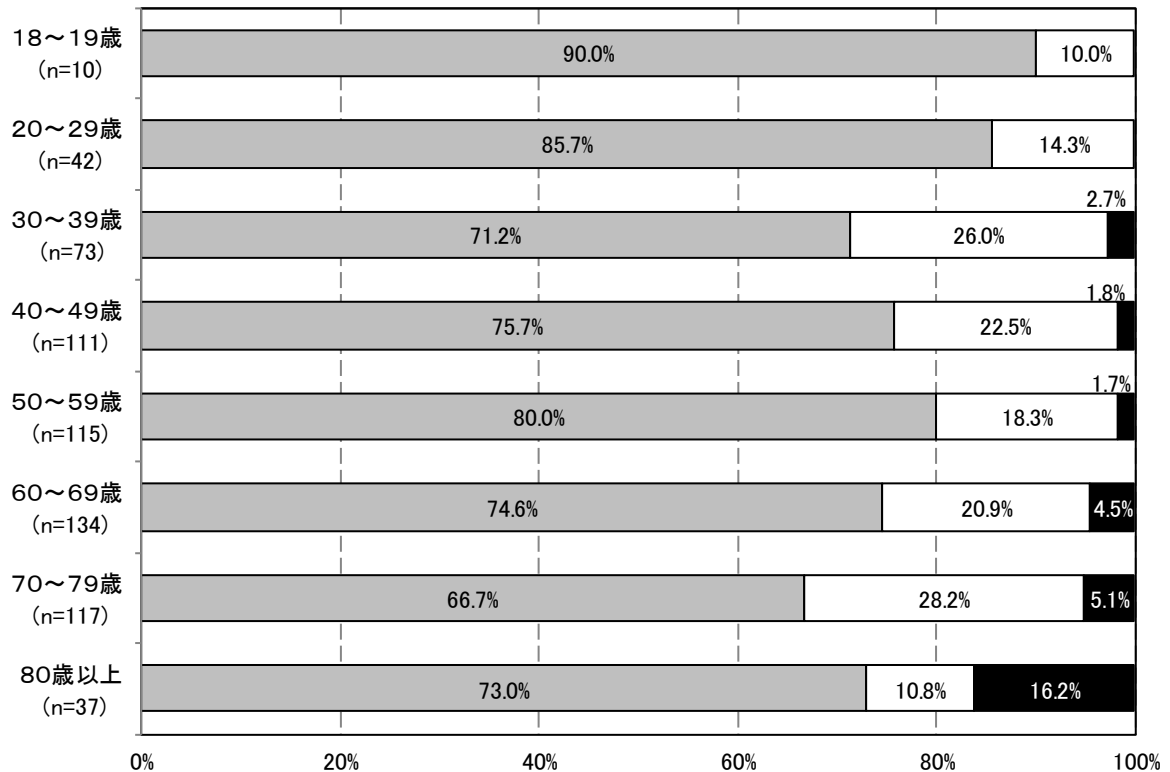
年代別では、「設置したい」と回答された方が最も高かった年代は「18～19歳」（90.0%）で、次いで「20～29歳」（85.7%）、「50～59歳」（80.0%）と続いた。

地域別では、「設置したい」と回答された方が最も高かった地域は「南部」（79.5%）で、次いで「東部」（78.9%）、「河北部」（75.0%）と続いた。

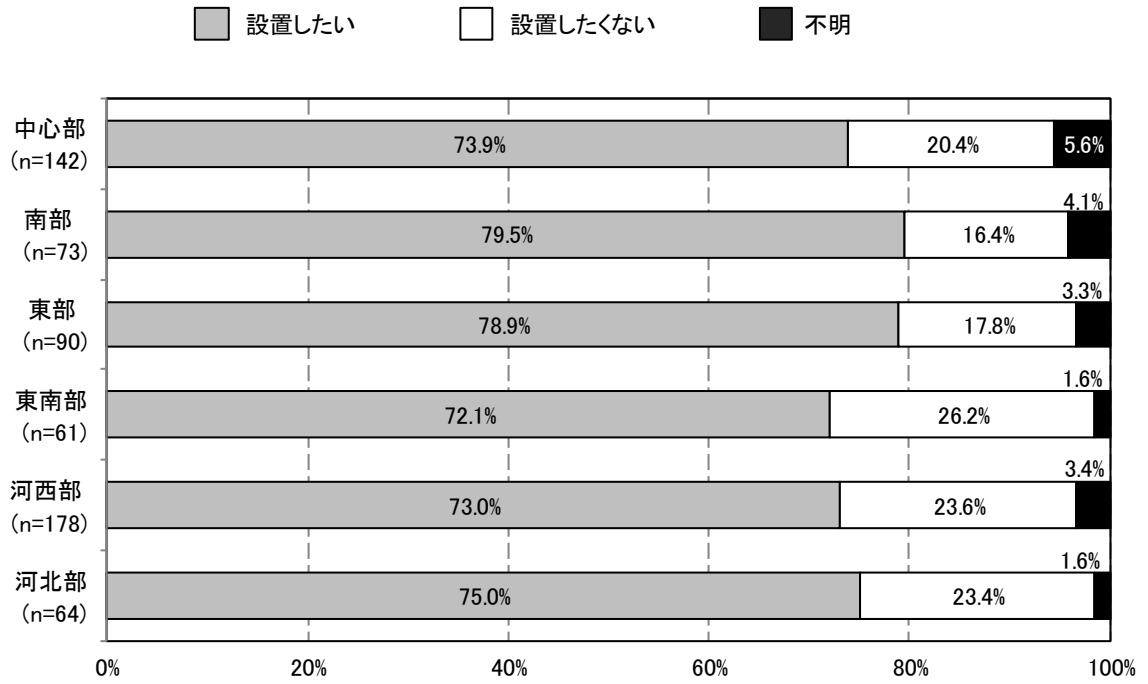
<全体>



<年代別>



<地域別>



問33-3 感震ブレイカー未設置または設置したくない理由

問33-3 問33-1で「2. 設置していない」または、問33-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

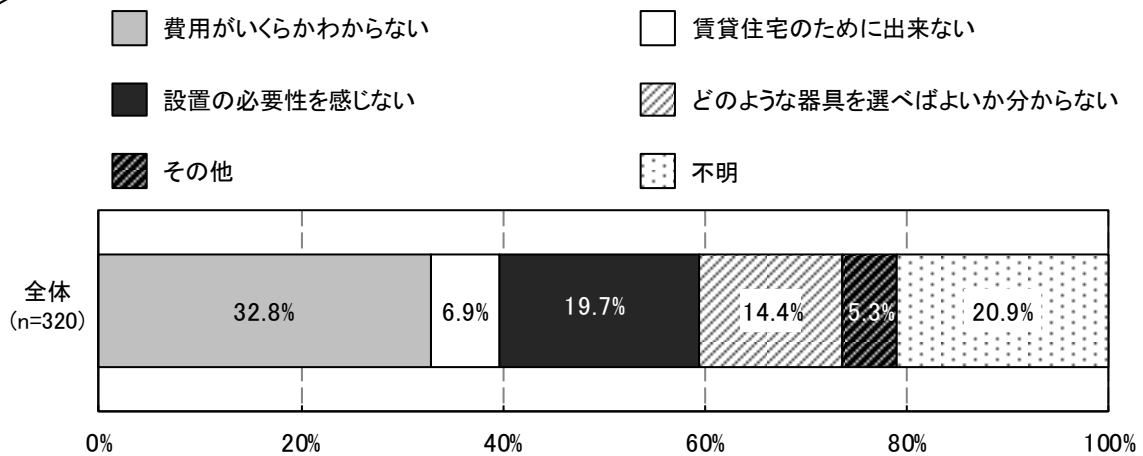
1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいか分からない
5. その他

感震ブレイカー未設置または設置したくない理由として、最も多かった回答は「費用がいくらかわからない」(32.8%)となった。次いで、「設置の必要性を感じない」(19.7%)、「どのような器具を選べばよいか分からない」(14.4%)と続いた。

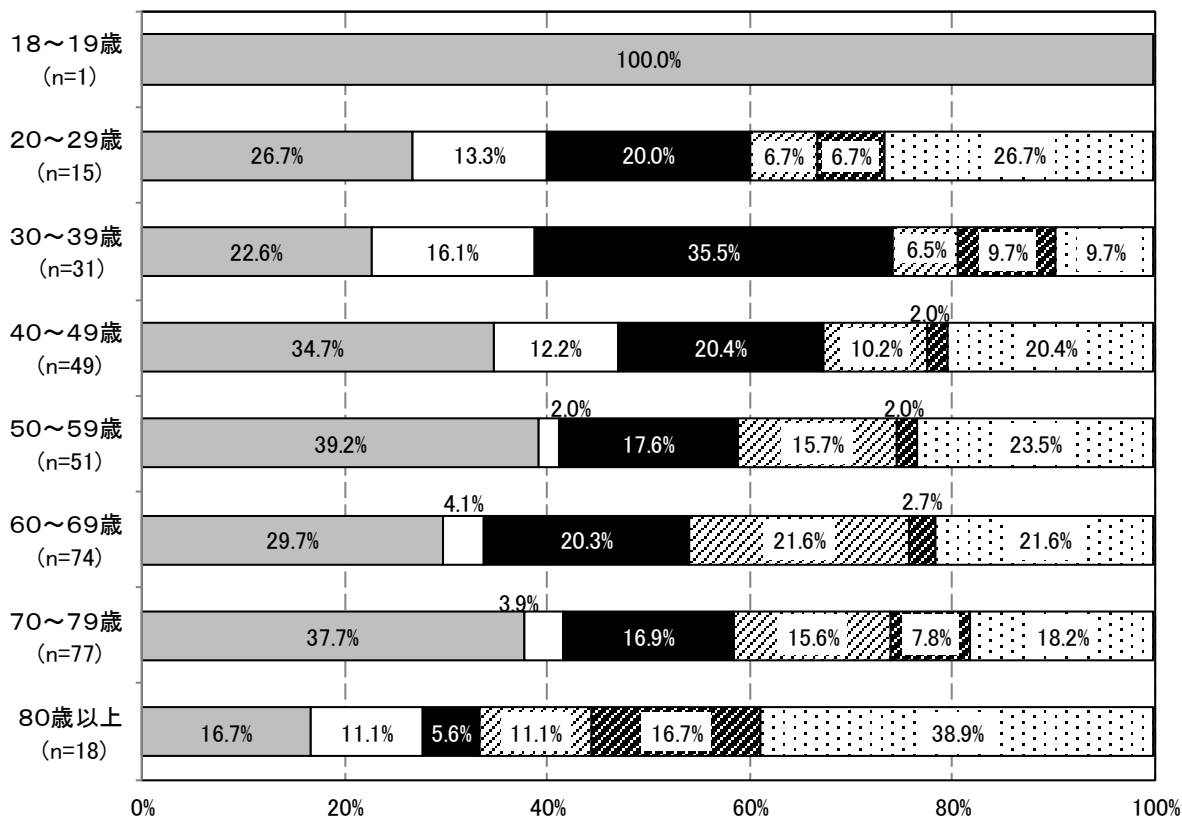
年代別では、「設置の必要性を感じない」を回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」(35.5%)となった。次いで、「40～49歳」(20.4%)、「60～69歳」(20.3%)と続いた。

地域別では、「費用がいくらかわからない」を回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」(40.5%)であった。また、「設置の必要性を感じない」を回答された方の割合は「南部」で6.3%と低かったが、他の地域では高い割合を示した。

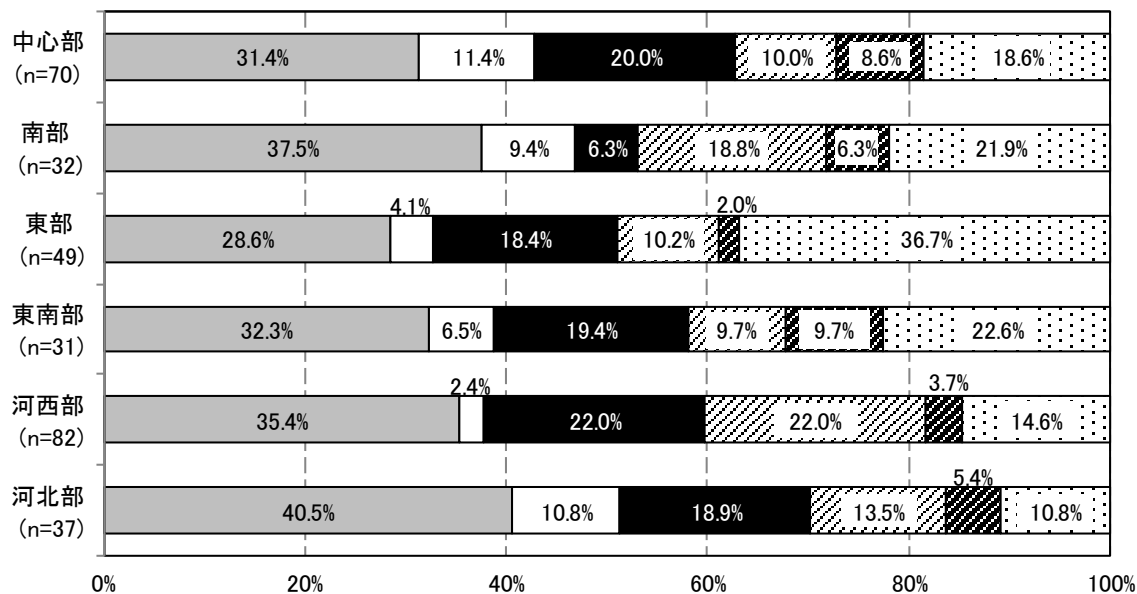
<全体>



<年代別>



<地域別>



その他：「使い方が困難」、「申請方法がわからない」、「誤作動すると面倒」など

問3 4 防災訓練の参加経験

問3 4 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい

2. いいえ

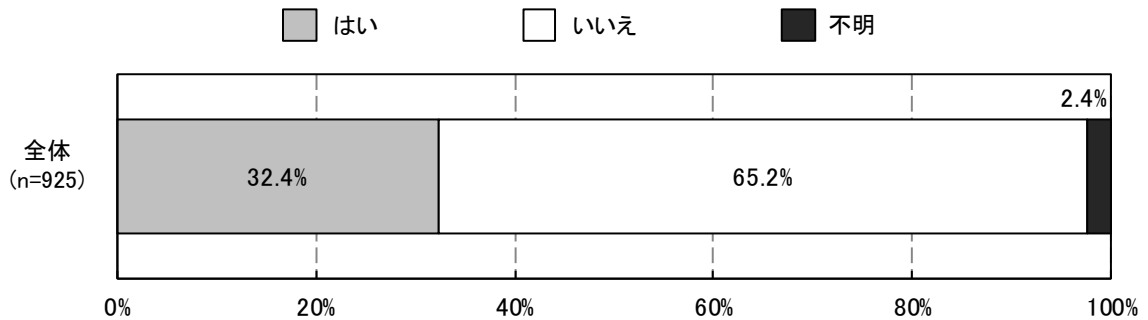
防災訓練の参加したことがあるかについて、「はい」と回答された方の割合は32.4%、「いいえ」が65.2%となった。

男女別では、大きな差異は見られなかった。

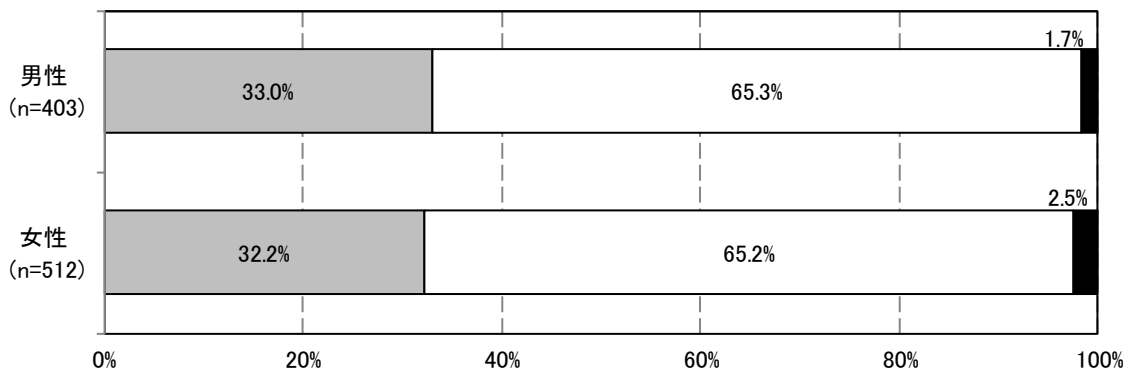
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も低かった年代は「20～29歳」(9.4%)であったが、そこから年代が上がるに従って割合が上がり、「70～79歳」では40.7%と最も高い割合を示した。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」(44.4%)となった。次いで、「河西部」(38.4%)、「南部」(32.7%)と続いた。

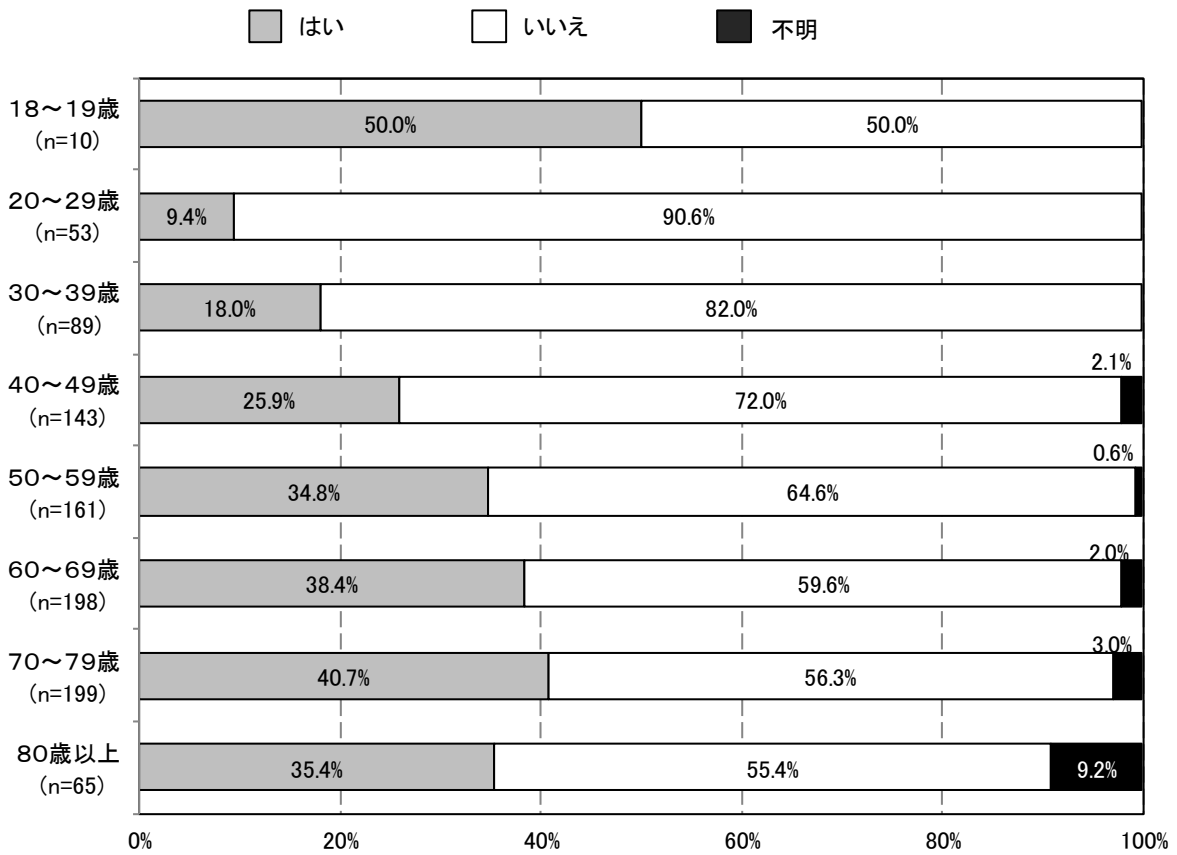
<全体>



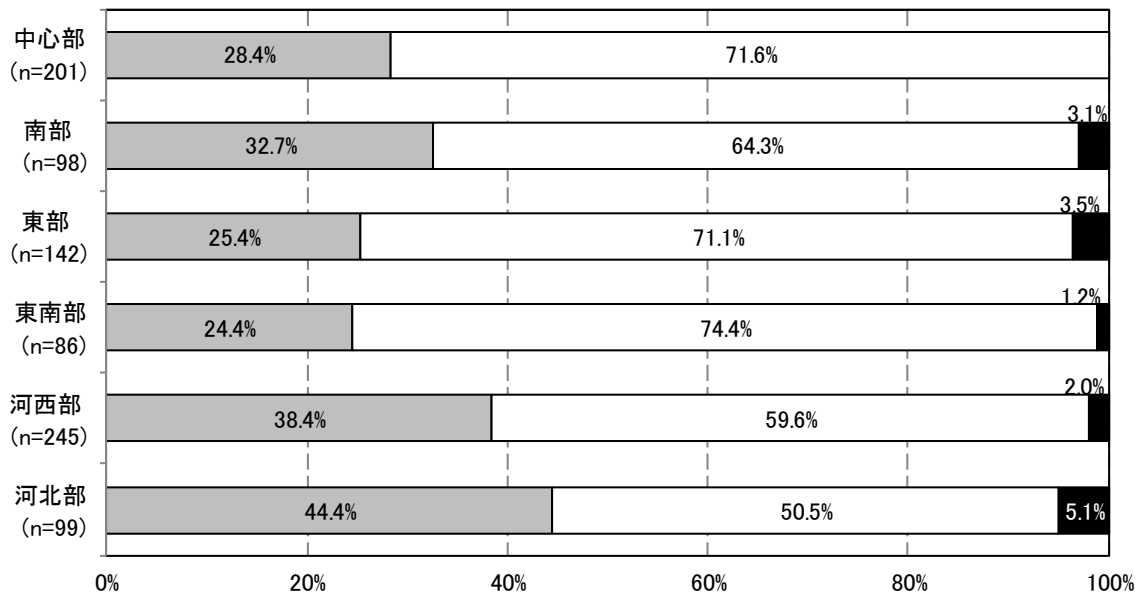
<男女別>



<年代別>



<地域別>



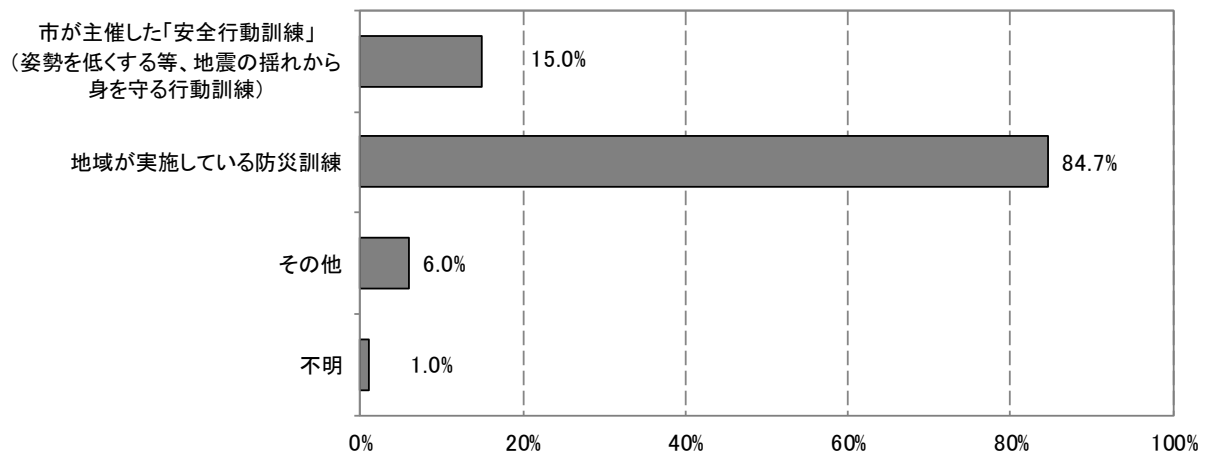
問34-1 防災訓練の内容

問34-1 問34で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他

どのような訓練に参加されたかについて、最も多かった回答は「地域が実施している防災訓練」（84.7%）となった。次いで、「市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）」（15.0%）と続いた。

n=300



その他：「会社が主催したもの」、「学校の避難訓練」など

問34-2 防災訓練に参加しなかった理由

問34-2 問34で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかったから
4. その他

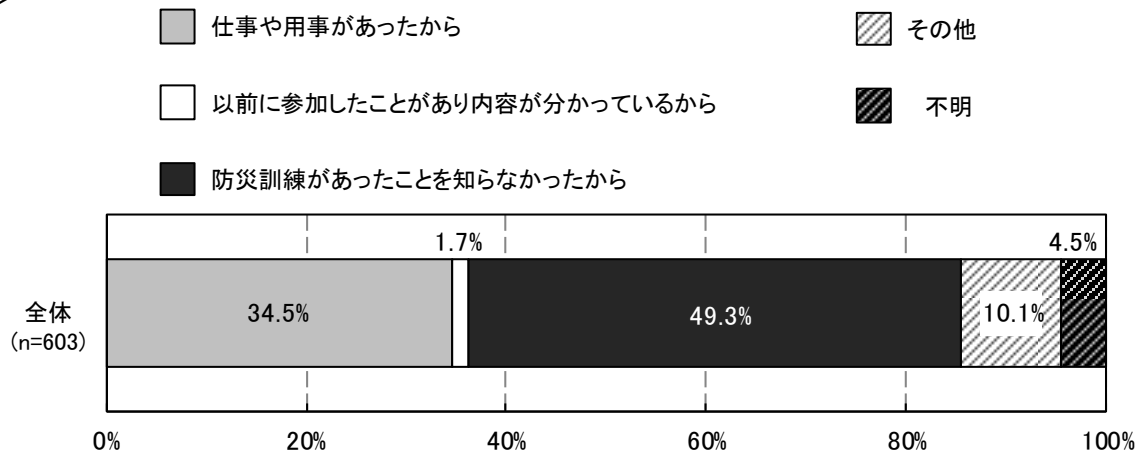
防災訓練に参加しなかった理由として、最も多かった回答は「防災訓練があったことを知らなかったから」(49.3%)となった。次いで、「仕事や用事があったから」(34.5%)、「以前に参加したことがあり内容が分かっているから」(1.7%)と続いた。

男女別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された男性の割合は47.5%、女性は50.9%となり、女性のほうがやや高い割合を示した。

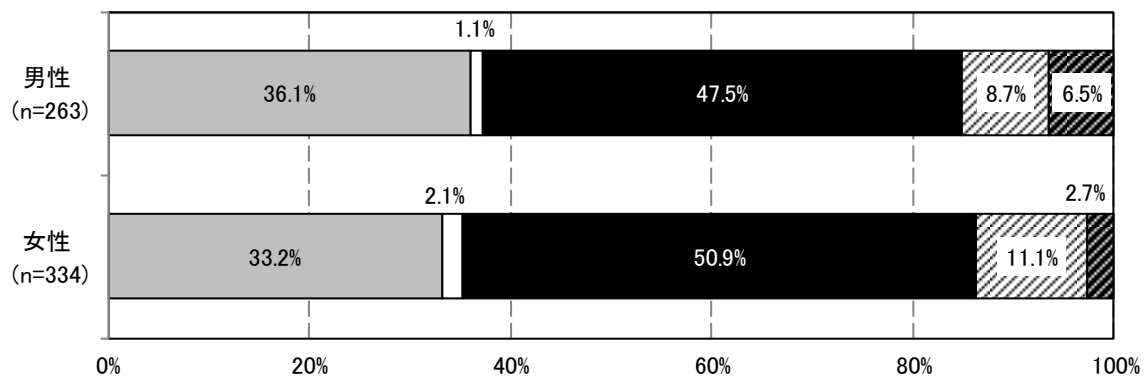
年代別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(80.0%)であったが、そこから年代が上がるに従って割合が低くなり、「60～69歳」で最も低く40.7%となった。

地域別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「中心部」(55.6%)、「仕事や用事があったから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「南部」(42.9%)となった。

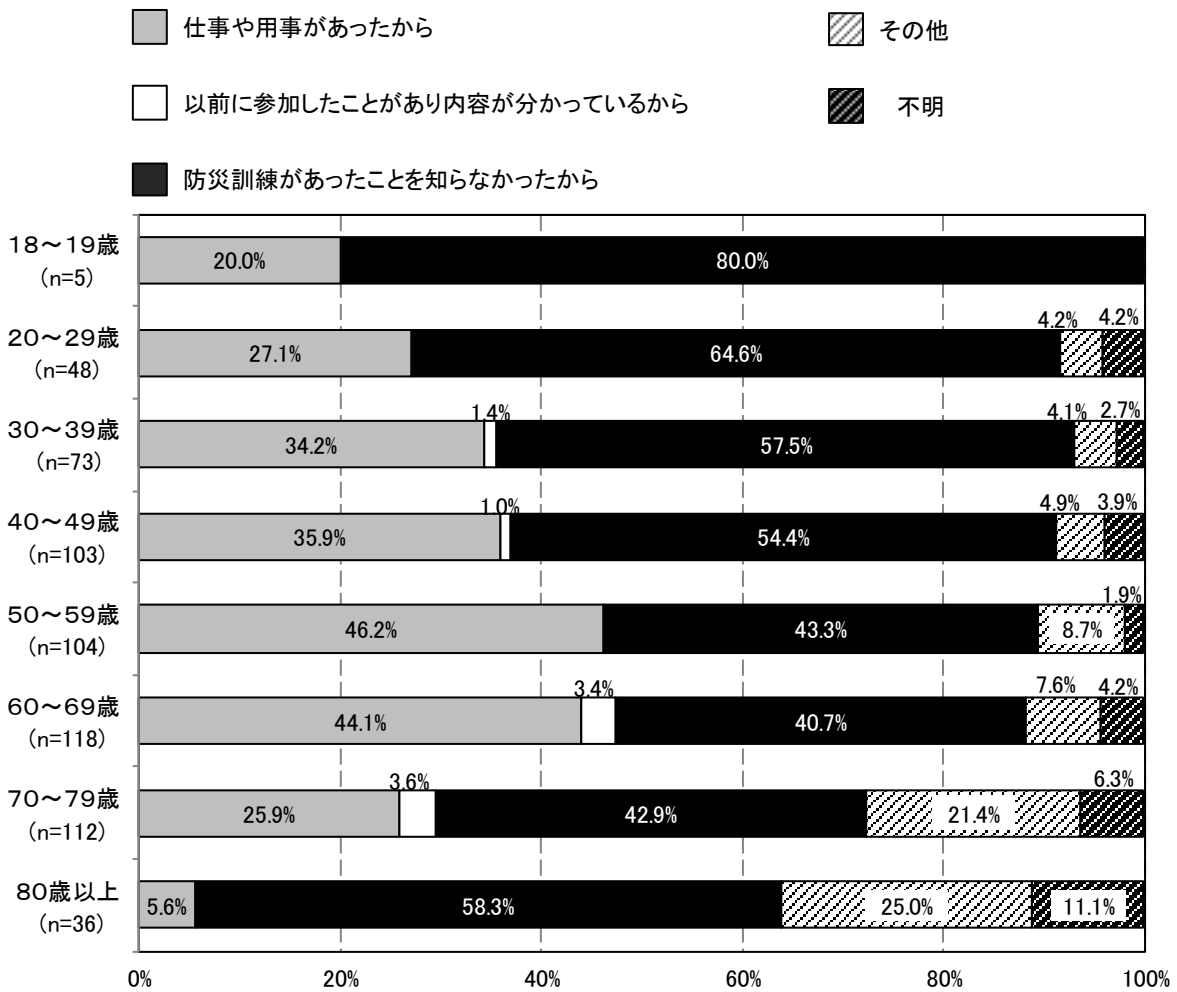
<全体>



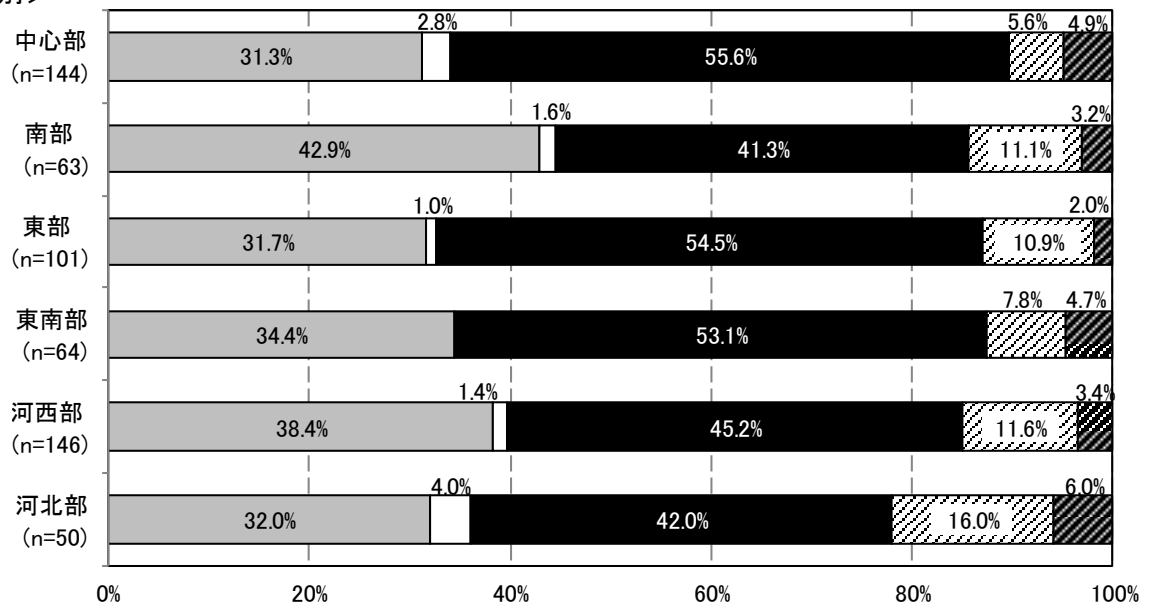
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「健康、体力的に困難」、「身近に訓練が行われていない」、「高齢のため」、「興味ない、必要性を感じない」など

問35 防災訓練参加への意向

問35 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい

2. いいえ

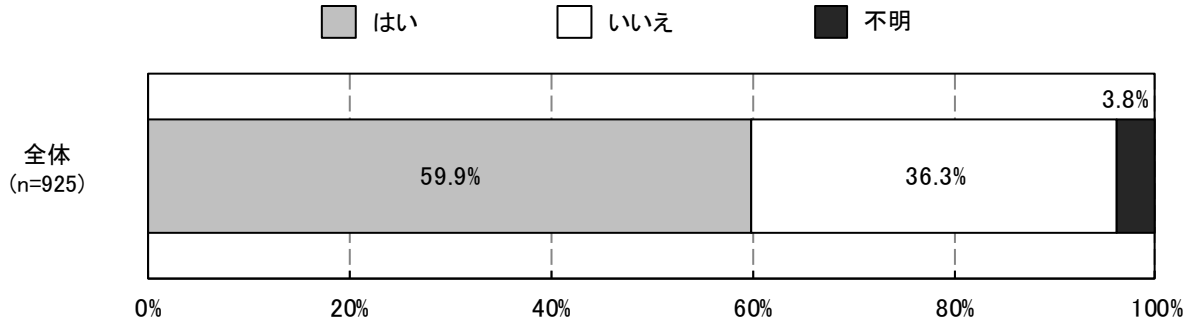
防災訓練へ参加するかについて、「はい」と回答された方の割合は59.9%、「いいえ」が36.3%となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

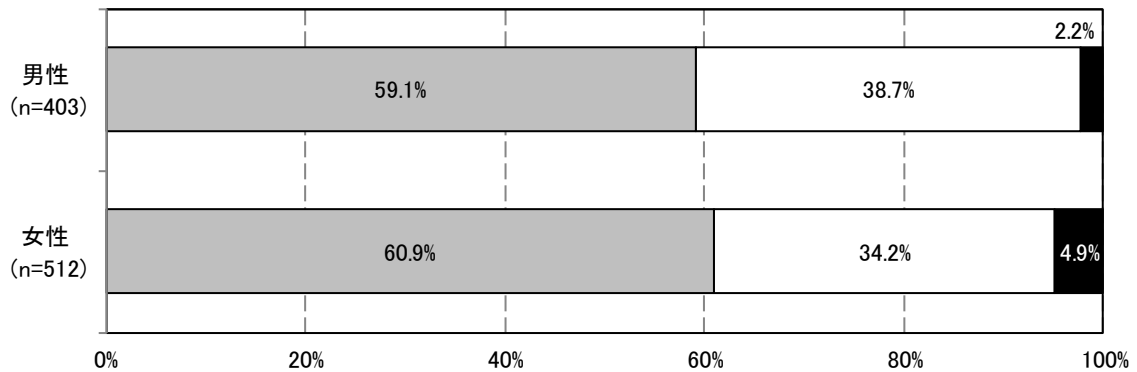
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も低かった年代は「20～29歳」（41.5%）であったが、50～70歳代の各年代で60%を超える結果となった。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」（67.7%）、次いで「南部」（64.3%）、「中心部」（61.7%）と続いた。

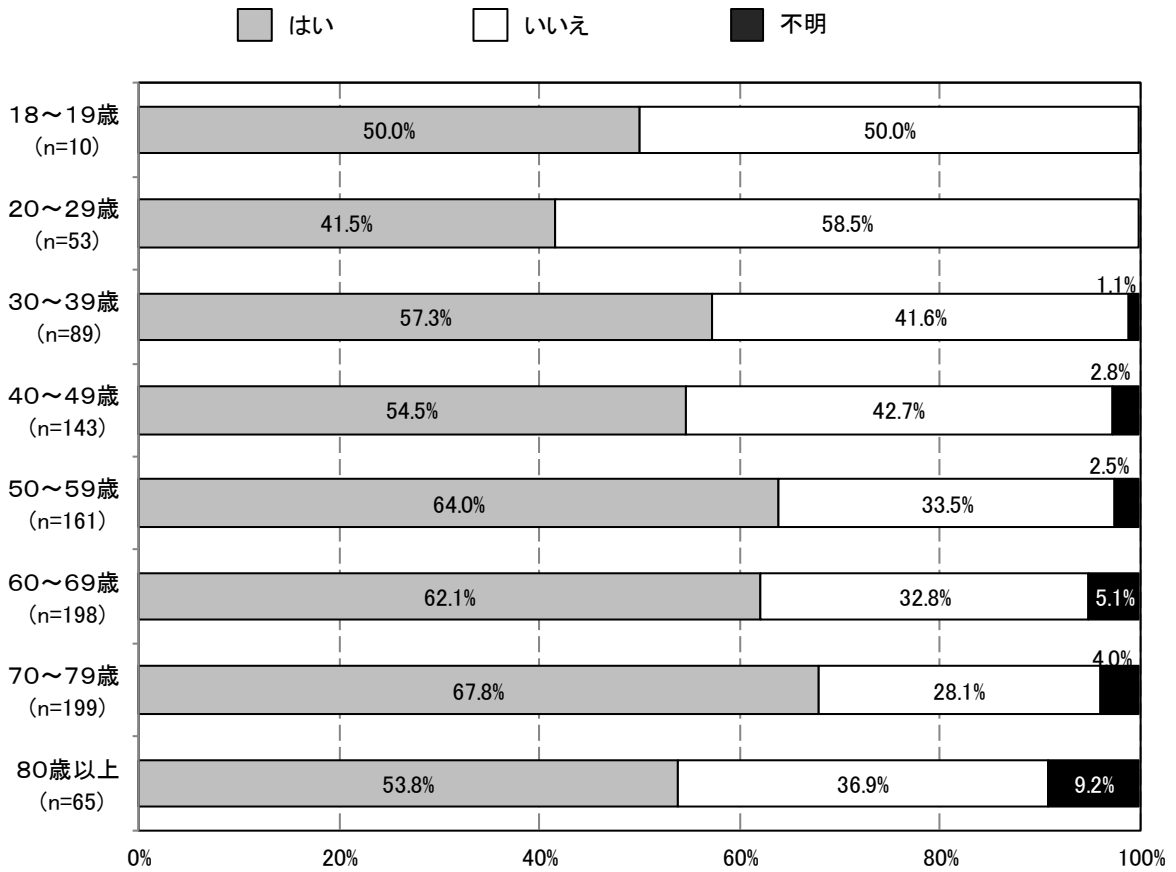
<全体>



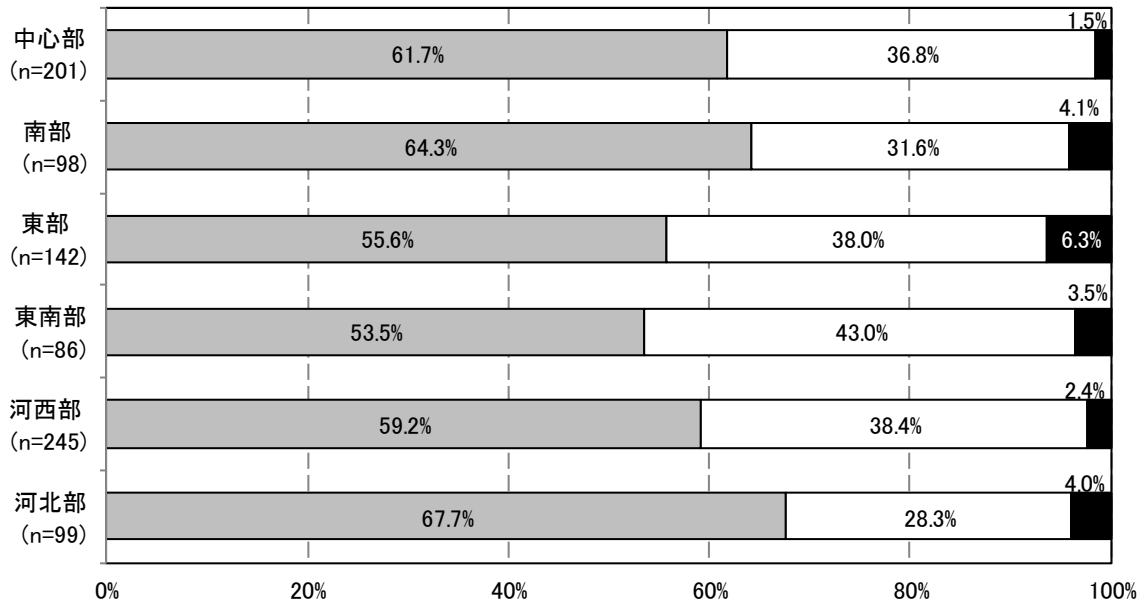
<男女別>



<年代別>



<地域別>



問35-1 防災訓練に参加しない理由

問35-1 問35で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できないから
5. その他

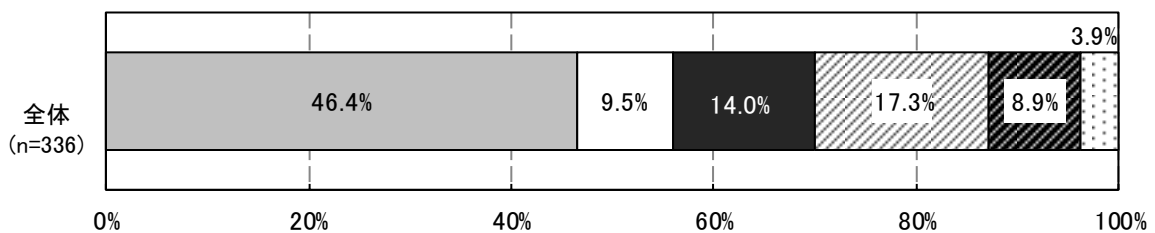
防災訓練に参加しない理由として最も多かった回答は、「仕事や用事があり忙しいから」(46.4%)であった。次いで、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」(17.3%)、「災害時に役に立つと思わないから」(14.0%)と続いた。

男女別では、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」と回答された方の割合は、男性が14.1%、女性は19.4%となり女性のほうがやや高い結果となった。

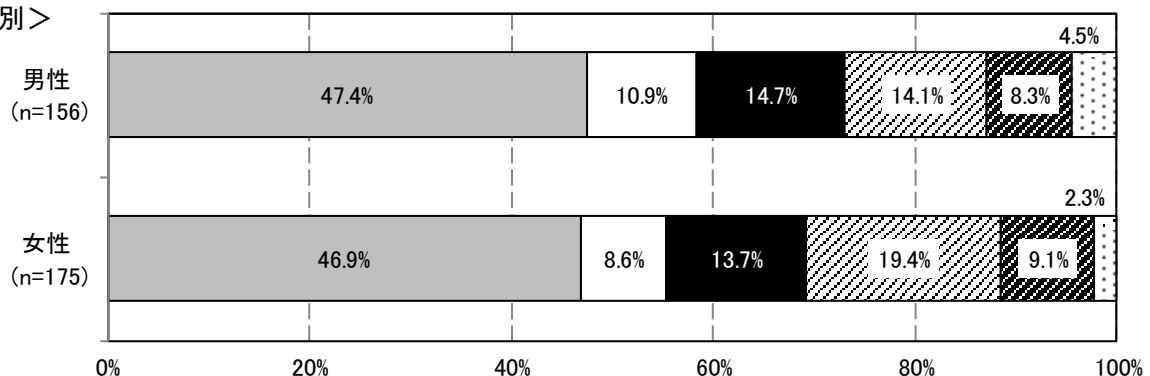
年代別では、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された40歳代以下の各年代では割合が60%を超えたが、年代が上がるに従って、低くなる傾向が見られた。また、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」と回答された方は70歳代以上の各年代で高くなり、「70～79歳」で39.3%、「80歳以上」で58.3%となった。

地域別では、「仕事や用事があり忙しいから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「東部」(55.6%)となった。

<全体>

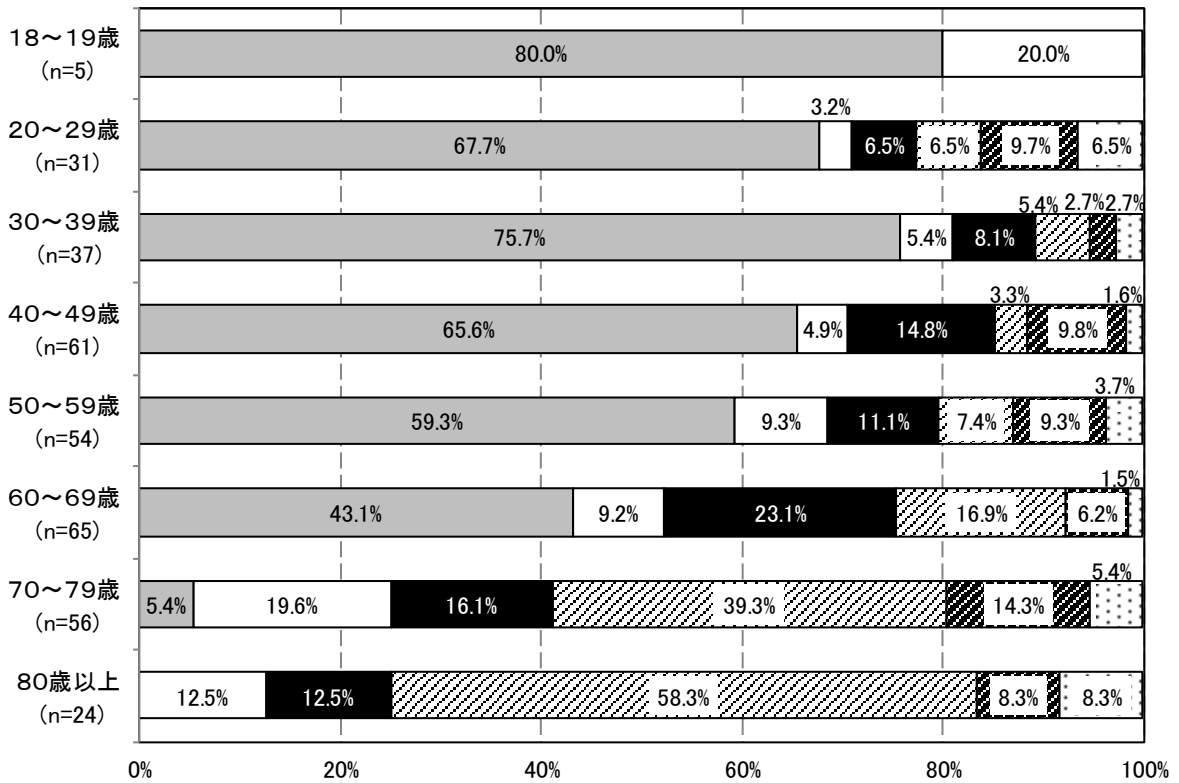


<男女別>

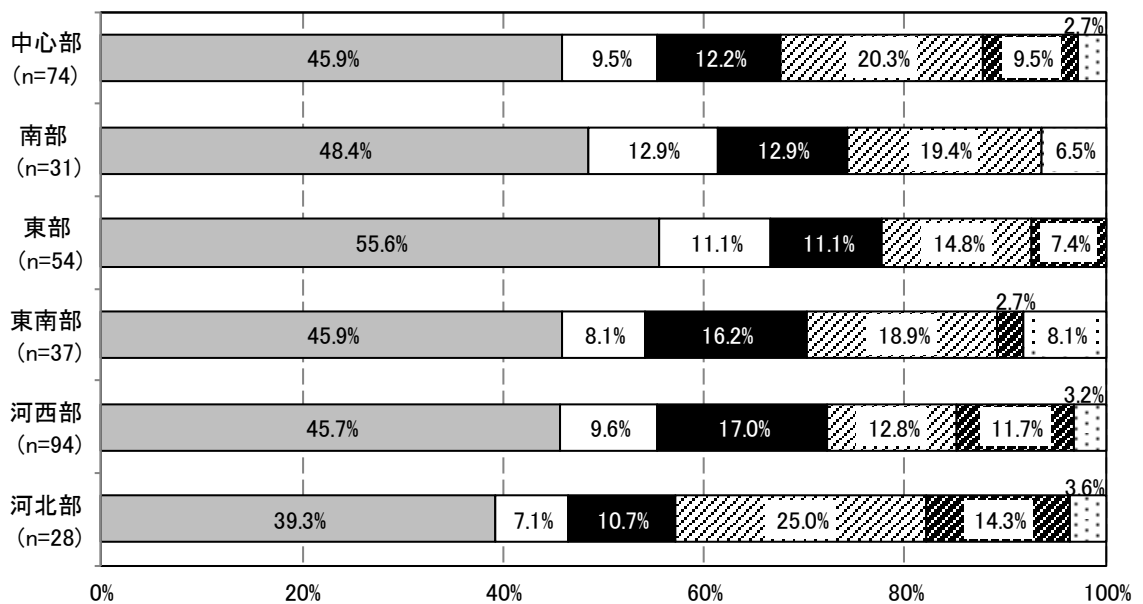


<年代別>

- 仕事や用事があり忙しいから
 - 災害時に役に立つと思わないから
 - その他
- 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
 - 参加したいが、体調が悪く参加できないから
 - 不明



<地域別>



その他：「行きたくない、面倒くさい」、「家族の介護、子育てがある」、「高齢のため」など

問36 避難場所の認知状況

問36 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている

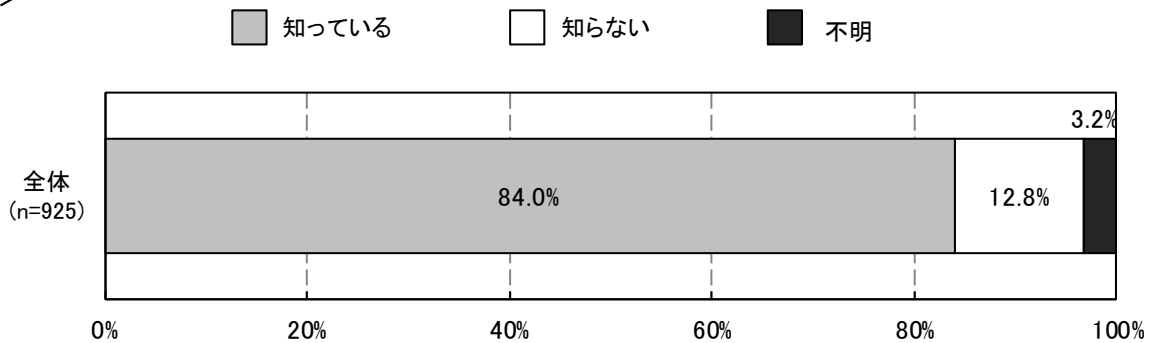
2. 知らない

避難場所を知っているかについて、全体では「知っている」と回答された方の割合は84.0%、「知らない」は12.8%となった。

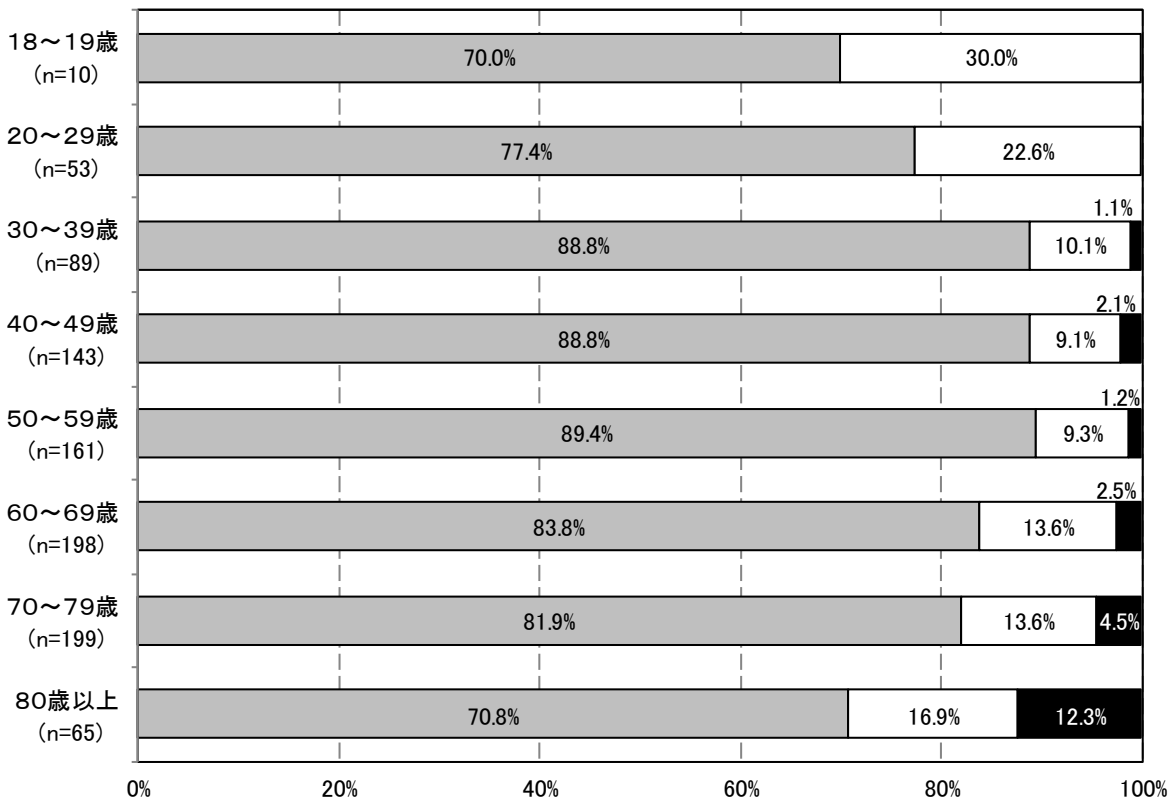
年代別では、「知っている」と回答された方の割合が最も低かったのは「18～19歳」（70.0%）であったが、30歳代から70歳代の各年代では80%を超える結果となった。

地域別では、「知っている」と回答された方の割合は「東部」（79.6%）で最も低かったが、他のいずれの地域でも80%を超える結果となった。

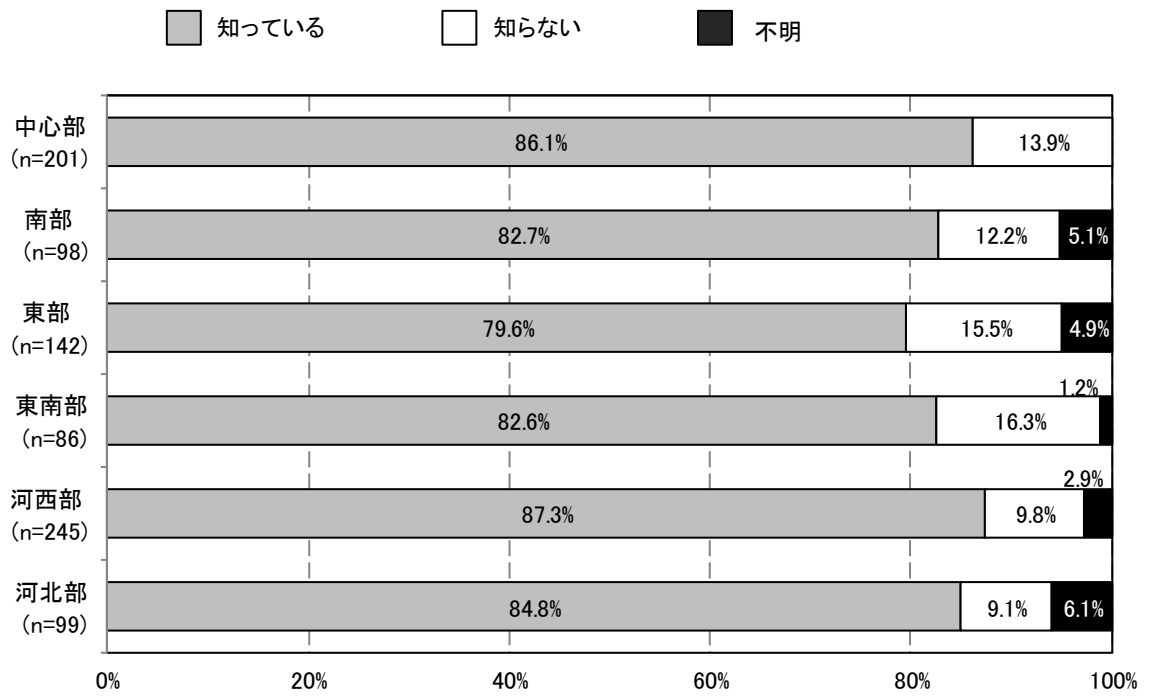
<全体>



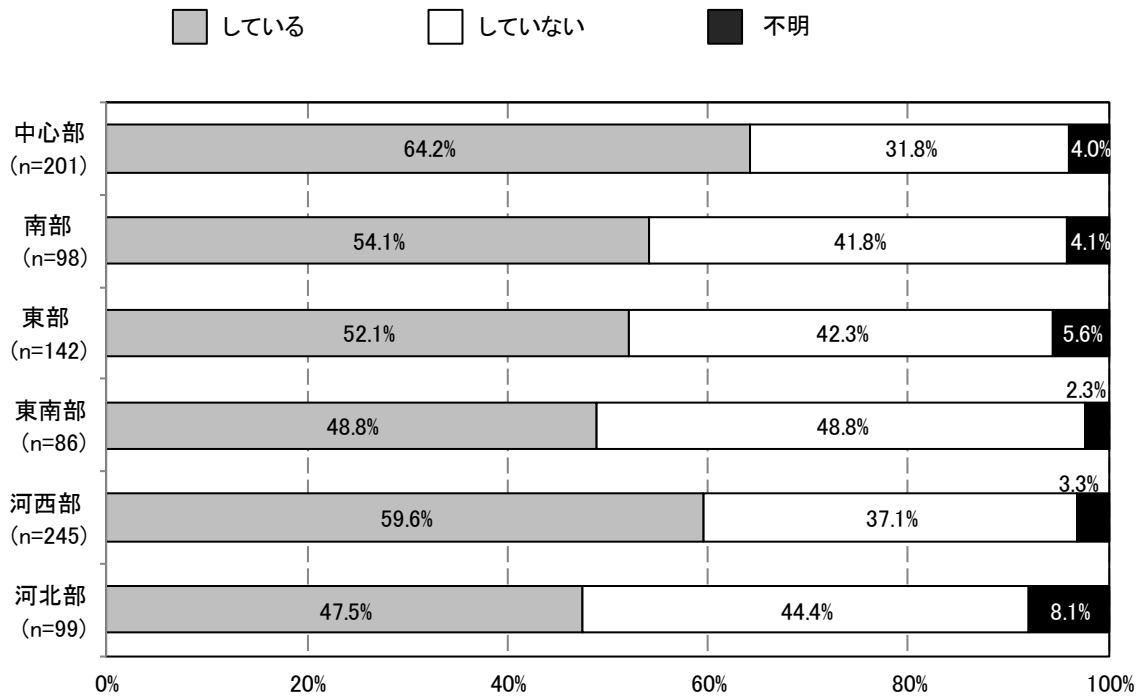
<年代別>



<地域別>



<地域別>

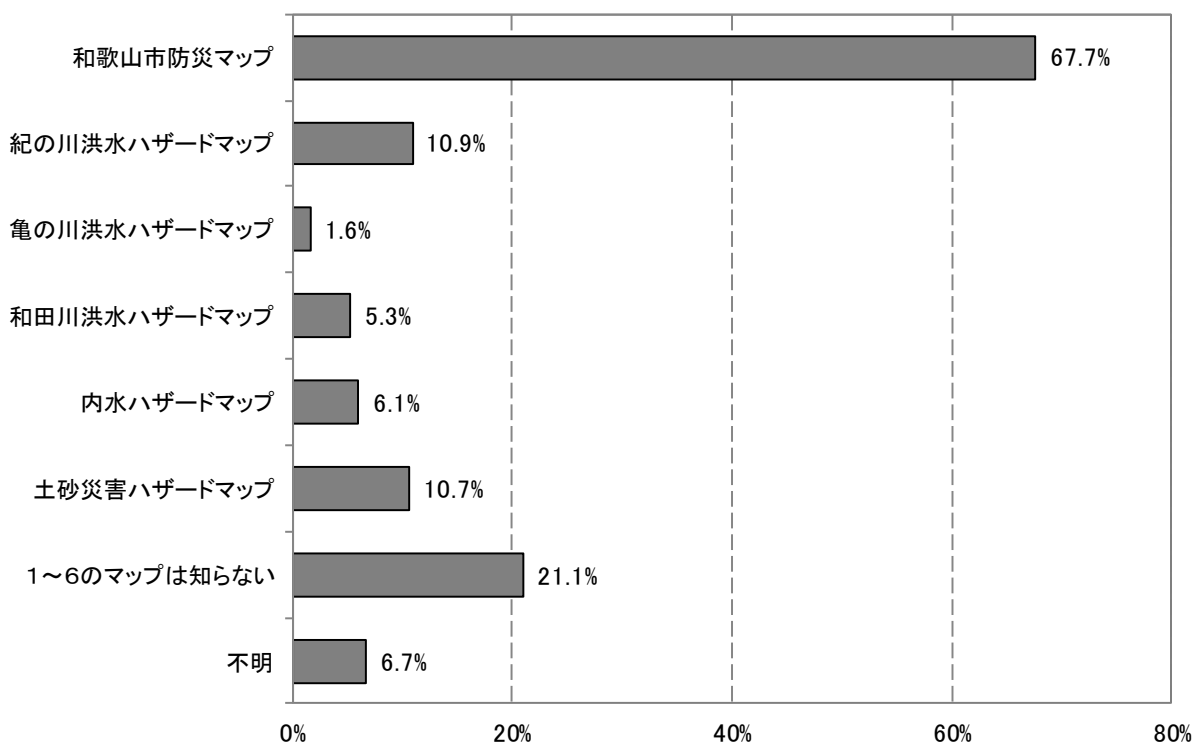


問38 ハザードマップの認知状況

問38 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 5. 内水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | 7. 1～6のマップは知らない |
| 4. 和田川洪水ハザードマップ | |

知っているハザードマップで最も多かったものが「和歌山市防災マップ」(67.7%)であった。次いで、「紀の川洪水ハザードマップ」(10.9%)、「土砂災害ハザードマップ」(10.7%)となった。また、「1～6のマップは知らない」と回答された方の割合も21.1%となった。

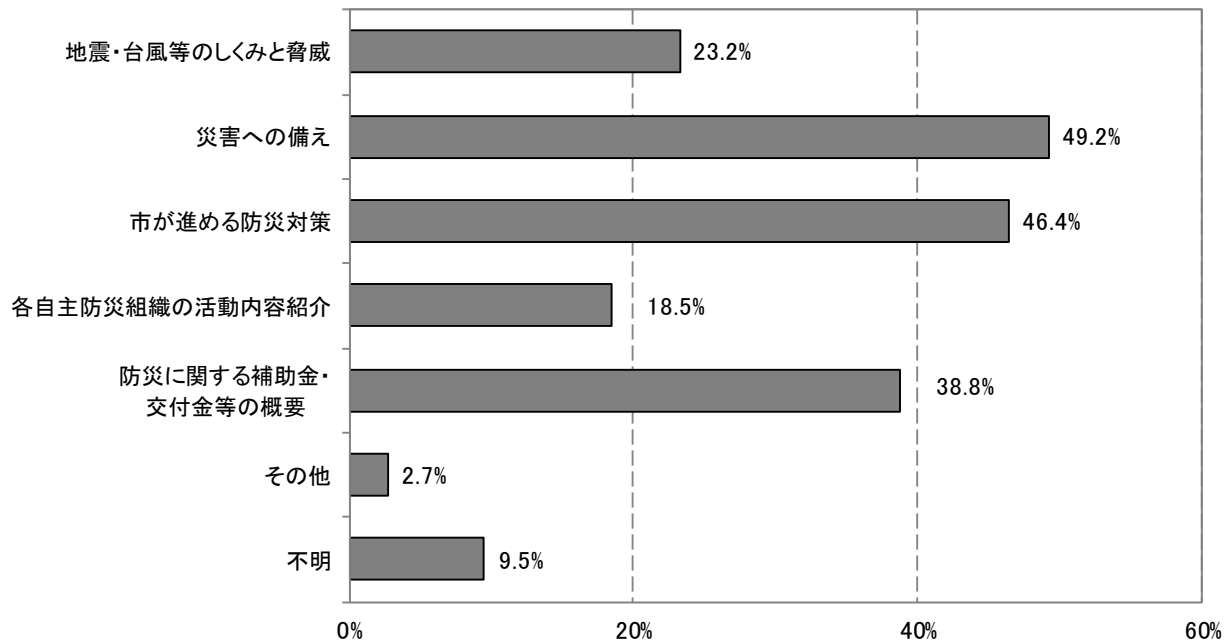


問39 市報わかやま等に掲載してほしい防災情報

問39 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他

市報わかやまや防災ホームページ等に掲載してほしい防災情報として、最も多かった回答は「災害への備え」(49.2%)であった。次いで、「市が進める防災対策」(46.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(38.8%)と続いた。



その他：「避難情報」、「わからない・見ない」など

問40 防災行政無線等による伝達状況

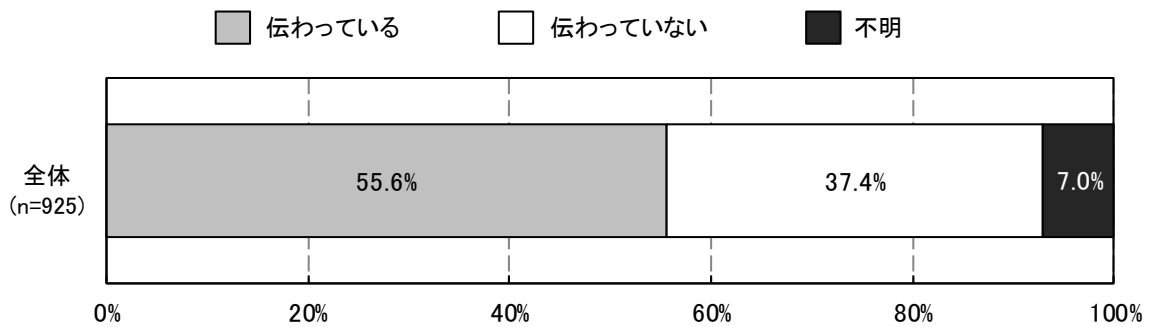
問40 防災行政無線等による市からの情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない（理由： ）

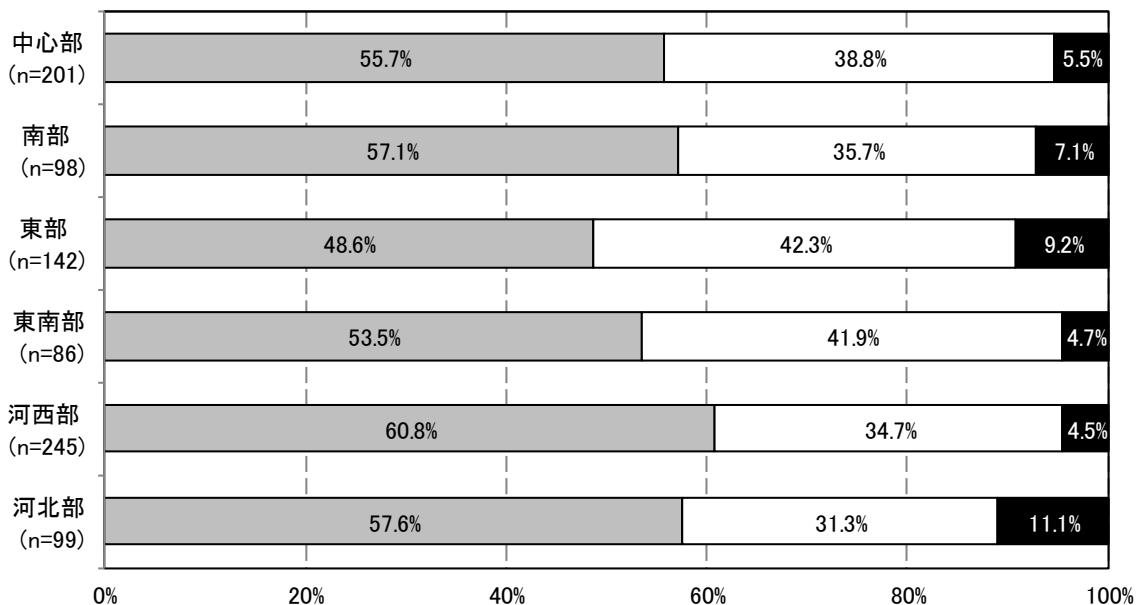
防災行政無線等による伝達状況について、全体では、「伝わっている」は55.6%、「伝わっていない」は37.4%となった。

地域別では、「伝わっている」と回答された方の割合が最も高かったのが「河西部」（60.8%）であった。また、最も低かったのが「東部」の48.6%であったが、「東部」以外の地域では半数を超える方が「伝わっている」と回答されている。

<全体>



<地域別>



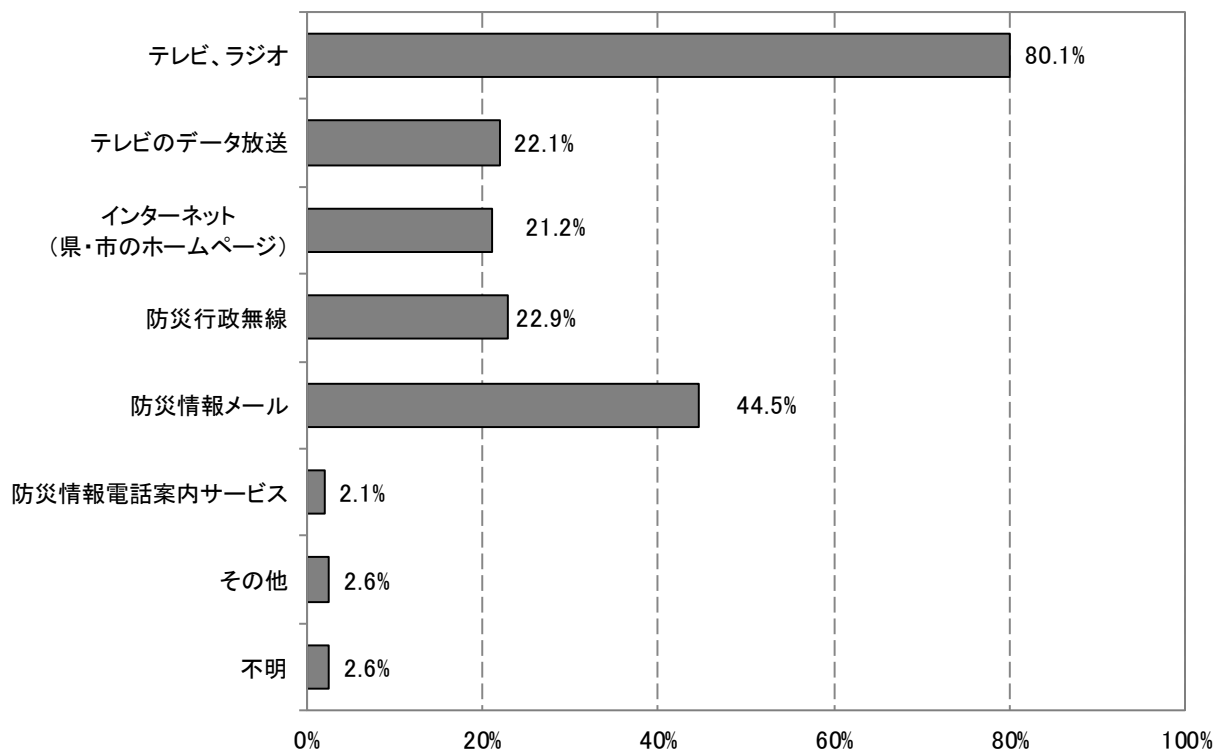
理由：「聞こえない・聞こえにくい」、「スピーカーの位置や向きが不適切」、「音が反響・割れる」など

問 4 1 災害に関する情報を得る手段

問 4 1 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他

災害に関する情報を得る手段として最も多かったのが「テレビ、ラジオ」で80.1%となった。次いで、「防災情報メール」（44.5%）となり、この2つが他の手段に比べ大きな割合を示した。



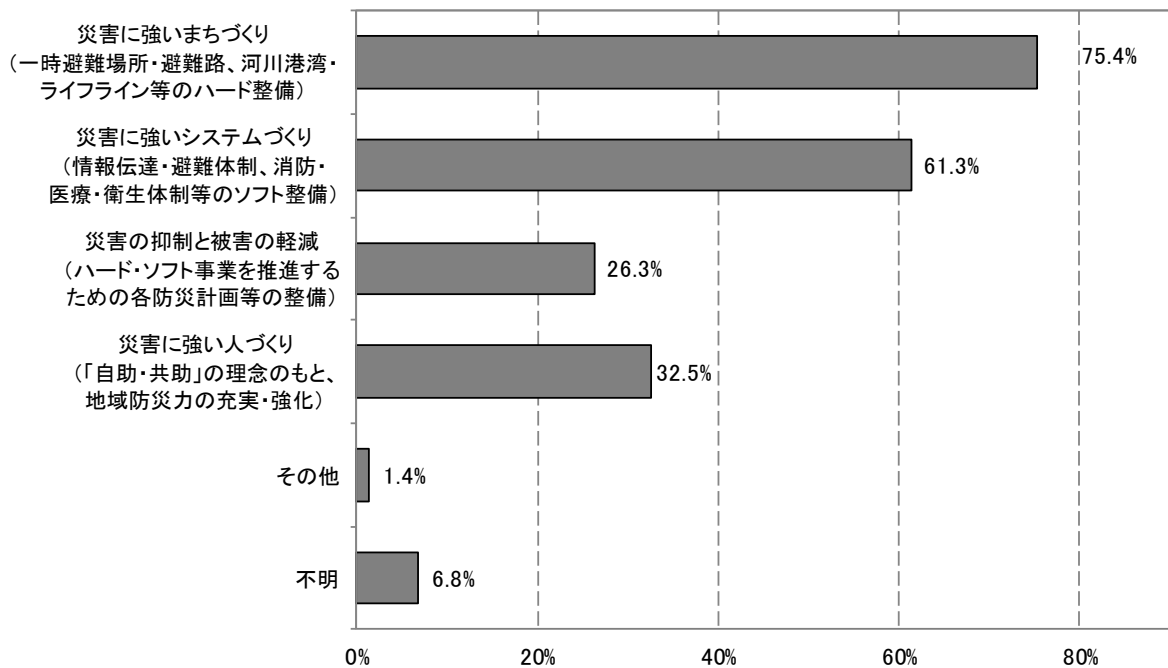
その他：「スマホ、携帯電話」、「アプリ」、「SNS」など

問4 2 災害に対する安全性向上に向け必要な取組

問4 2 災害に対する安全性向上に向けてどのような取組が必要だと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 災害に強いまちづくり（一時避難場所・避難路、河川港湾・ライフライン等のハード整備）
2. 災害に強いシステムづくり（情報伝達・避難体制、消防・医療・衛生体制等のソフト整備）
3. 災害の抑制と被害の軽減（ハード・ソフト事業を推進するための各防災計画等の整備）
4. 災害に強い人づくり（「自助・共助」の理念のもと、地域防災力の充実・強化）
5. その他

災害に対する安全性向上に向け必要な取組として、最も多かった回答は「災害に強いまちづくり（一時避難場所・避難路、河川港湾・ライフライン等のハード整備）」（75.4%）であった。次いで、「災害に強いシステムづくり（情報伝達・避難体制、消防・医療・衛生体制等のソフト整備）」（61.3%）と続き、この2つが他の取組に比べ大きな割合を示した。



その他：「下水道、用水路の改善」、「行政の意識改善」など

7. 防犯対策について

問43 治安状況

問43 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

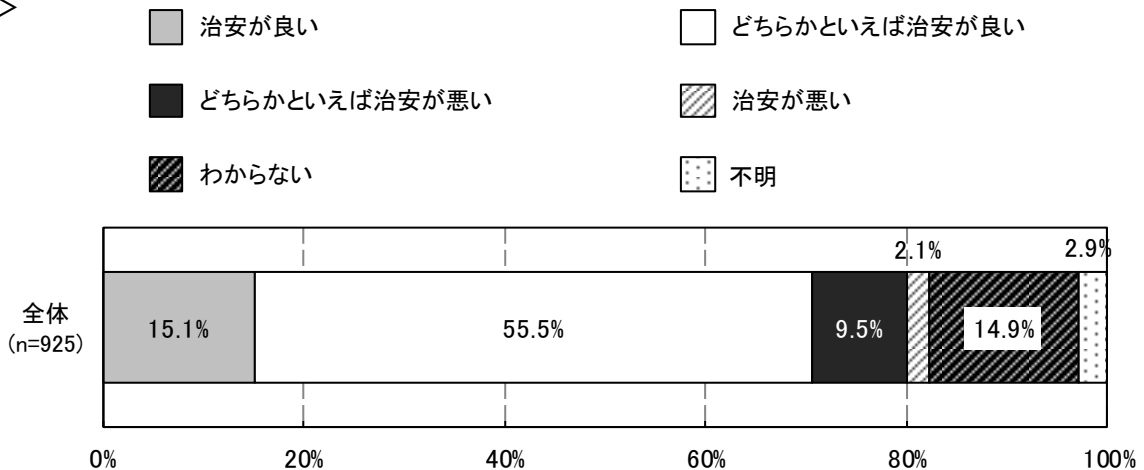
1. 治安が良い
2. どちらかといえば治安が良い
3. どちらかといえば治安が悪い
4. 治安が悪い
5. わからない

和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(15.1%)と「どちらかといえば治安が良い」(55.5%)を合わせた70.6%が治安が良いと感じている結果となった。

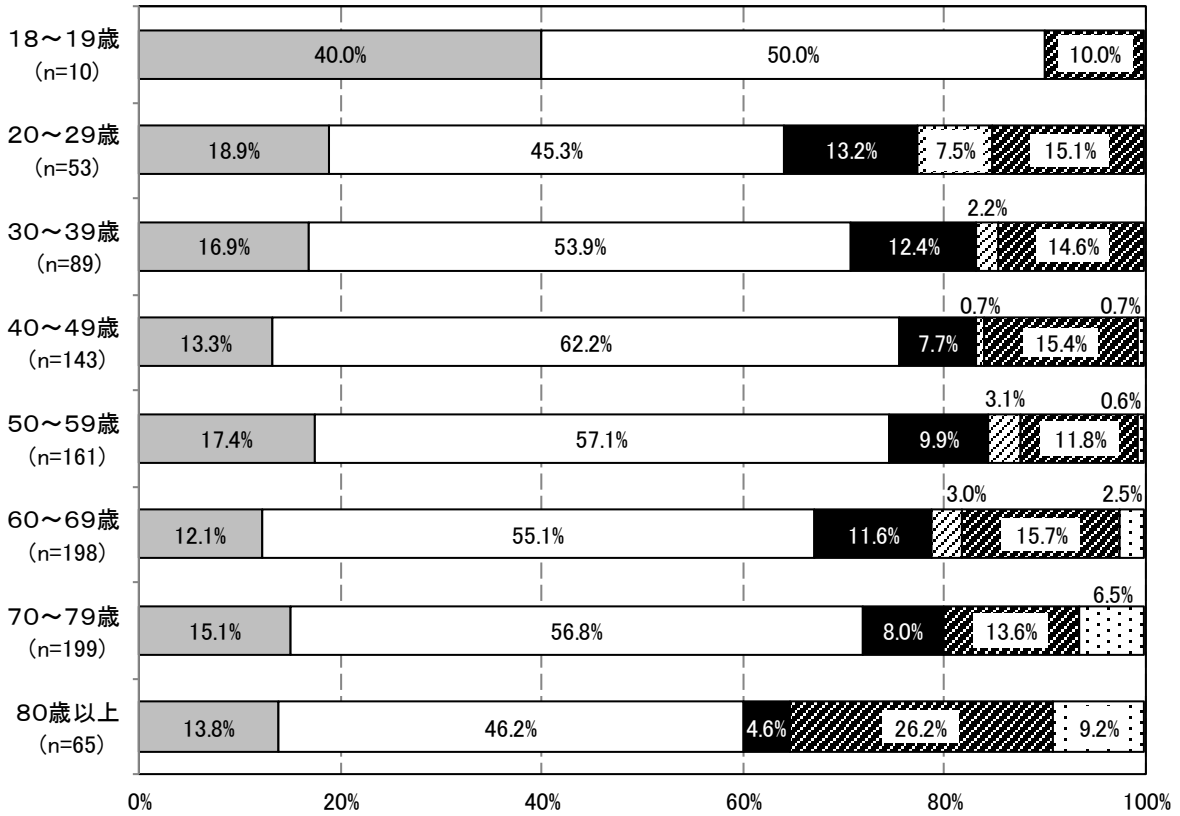
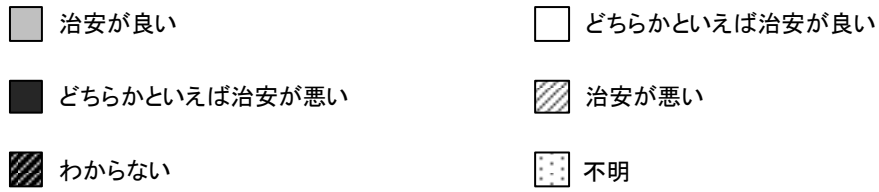
年代別では、治安が良いと感じている割合が最も高かったのが「18～19歳」(90.0%)、次いで「40～49歳」(75.5%)と続いた。最も低かったのが「80歳以上」(60.0%)となり、すべての年代で60%以上となった。

地域別では、治安が良いと感じている割合が最も高かったのが「南部」(72.4%)、最も低かったのは「河北部」(67.7%)となった。

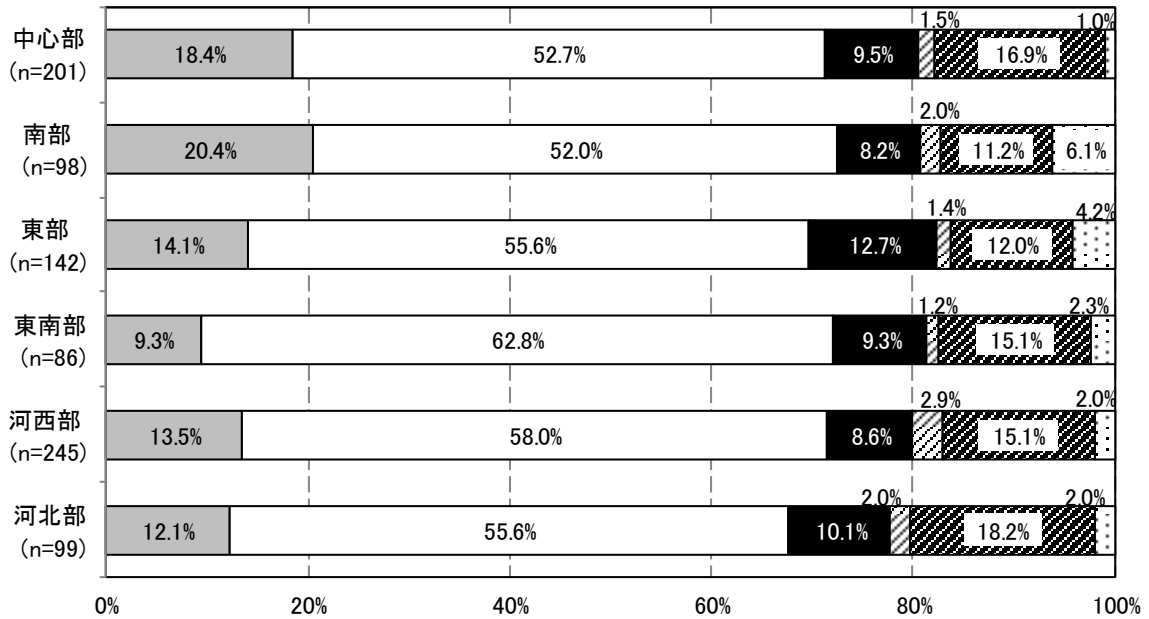
<全体>



<年代別>



<地域別>



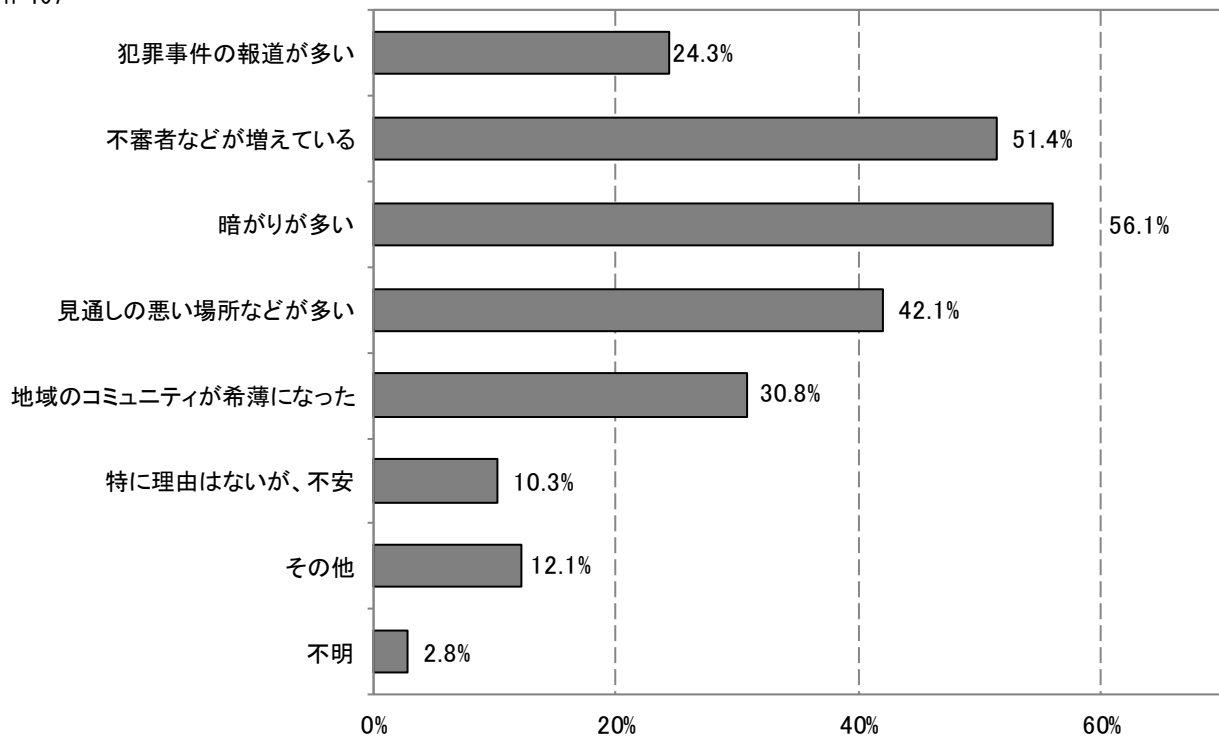
問43-1 治安が悪いと感じる理由

問43-1 問43で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 犯罪事件の報道が多い
2. 不審者などが増えている
3. 暗がりが多い
4. 見通しの悪い場所などが多い
5. 地域のコミュニティが希薄になった
6. 特に理由はないが、不安
7. その他

治安が悪いと感じる理由について、最も多かった回答は「暗がりが多い」(56.1%)であった。次いで、「不審者などが増えている」(51.4%)、「見通しの悪い場所などが多い」(42.1%)と続いた。

n=107



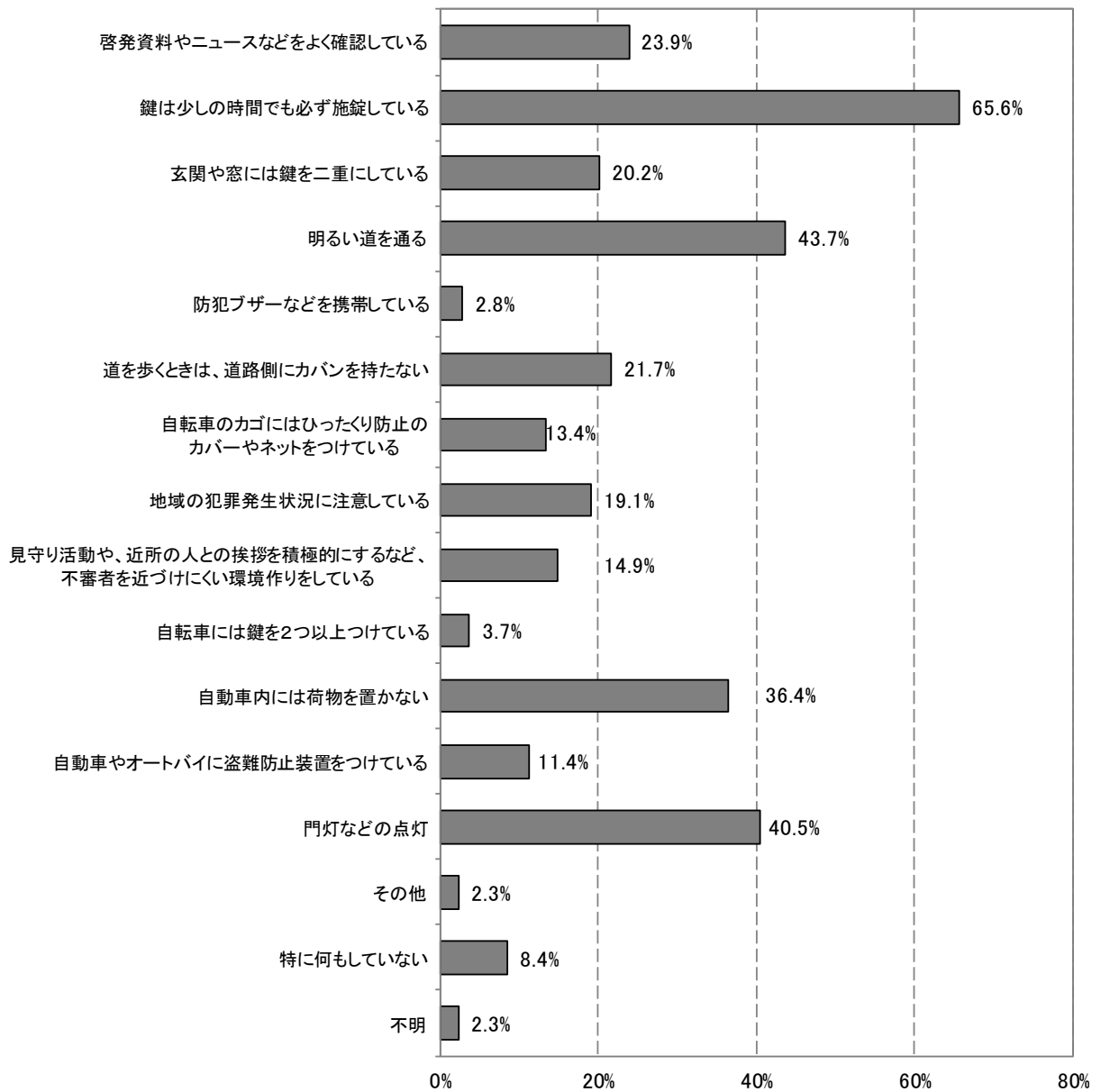
その他：「マナーが悪い」、「暴走族が多い」、「事件、犯罪が解決できていない」など

問4 4 犯罪の被害にあわないために心がけていること

問4 4 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどを携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たない
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りをしている
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かない
12. 自動車やオートバイに盗難防止装置をつけている
13. 門灯などの点灯
14. その他
15. 特に何もしていない

犯罪の被害にあわないために心がけていることについて、最も多かった回答は、「鍵は少しの時間でも必ず施錠している」(65.6%)であった。次いで「明るい道を通る」(43.7%)、「門灯などの点灯」(40.5%)となった。



その他：「セキュリティー会社と契約」、「防犯カメラの設置」、「周囲に注意を払う」など

8. 在宅医療について

問45 在宅医療の認知状況

問45 あなたは、在宅医療についてご存知ですか？

1. はい

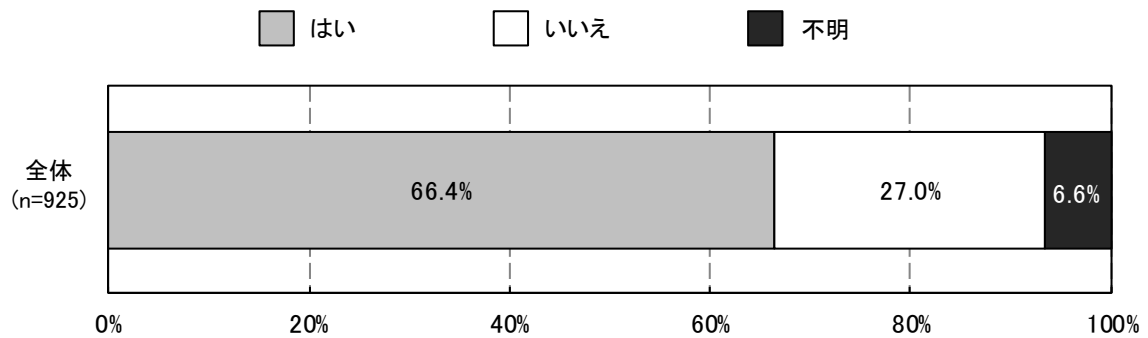
2. いいえ

在宅医療の認知状況について、「はい」と回答された方の割合は66.4%、「いいえ」は27.0%となった。

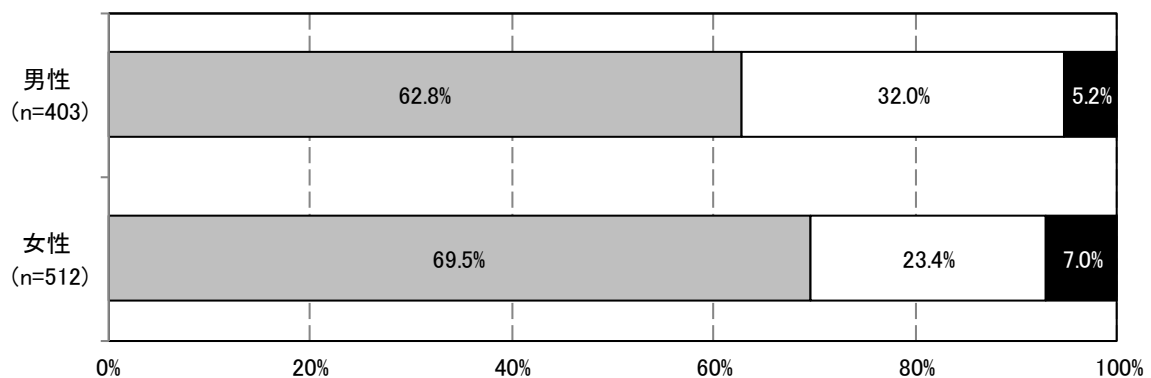
男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は62.8%、女性では69.5%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が最も高かったのは「50～59歳」（77.0%）最も低かったのは「18～19歳」（50.0%）であった。

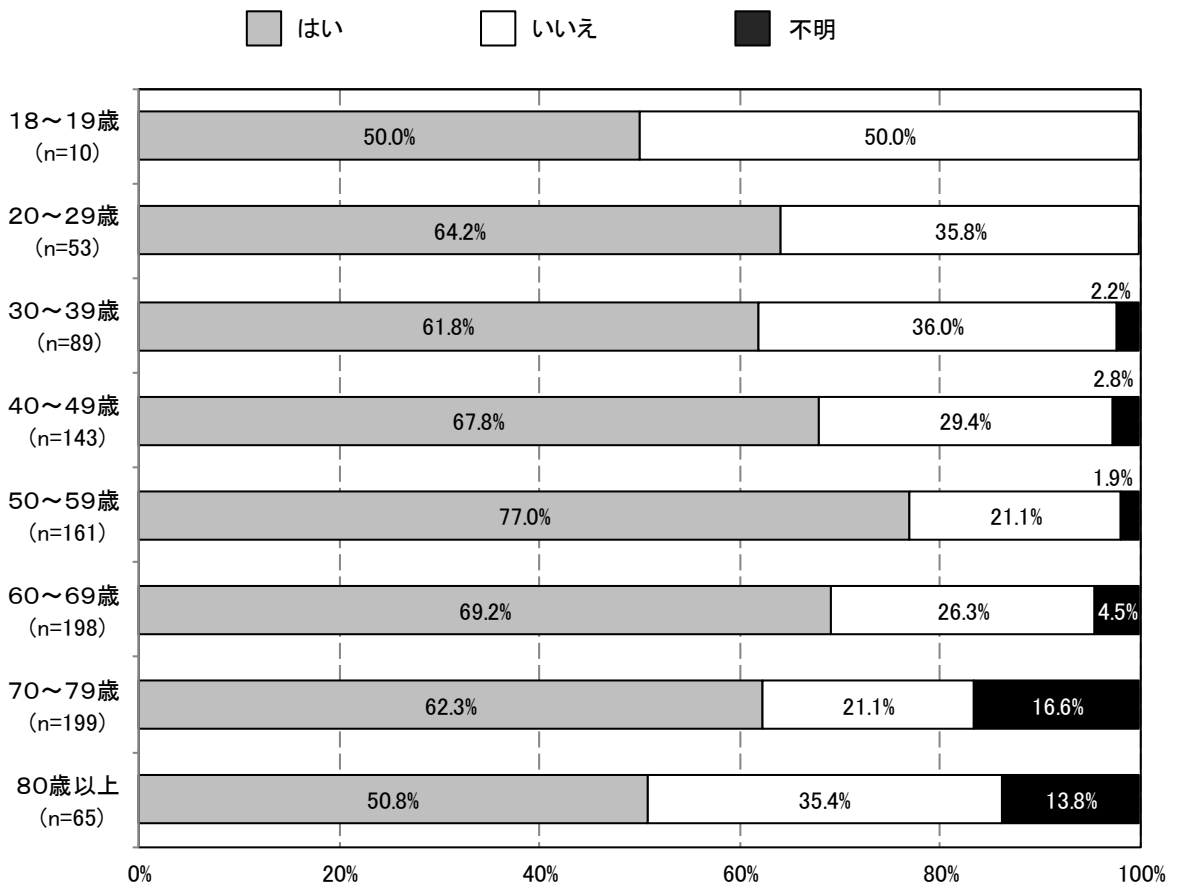
<全体>



<男女別>



<年代別>



問46 医療や介護が将来必要になったとき主に過ごしたい場所

問46 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

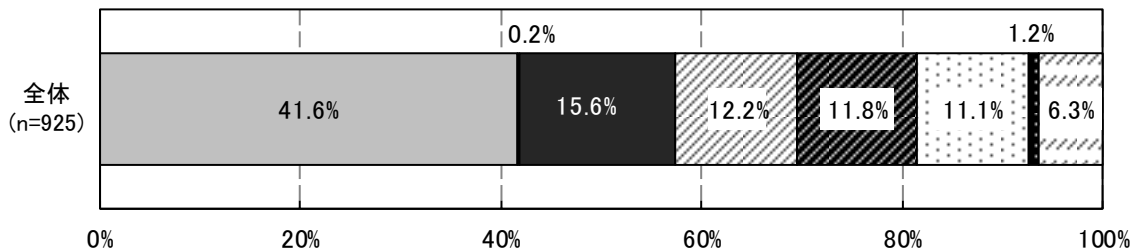
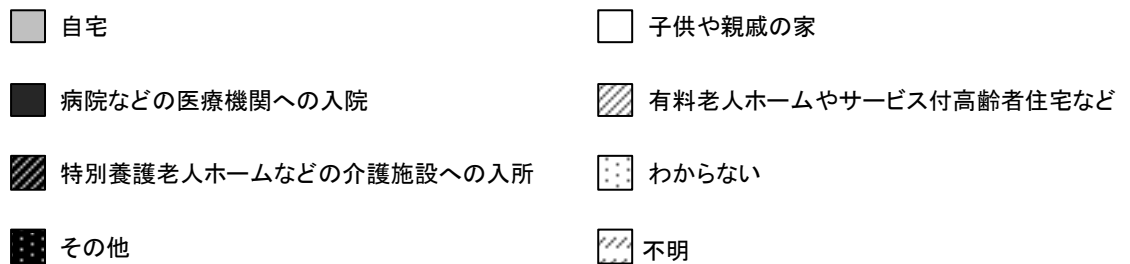
1. 自宅
2. 子供や親戚の家
3. 病院などの医療機関への入院
4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
6. わからない
7. その他

医療や介護が将来必要になったとき主に過ごしたい場所として、全体で最も多かった回答は、「自宅」(41.6%)であった。次いで「病院などの医療機関への入院」(15.6%)、「有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など」(12.2%)と続いた。

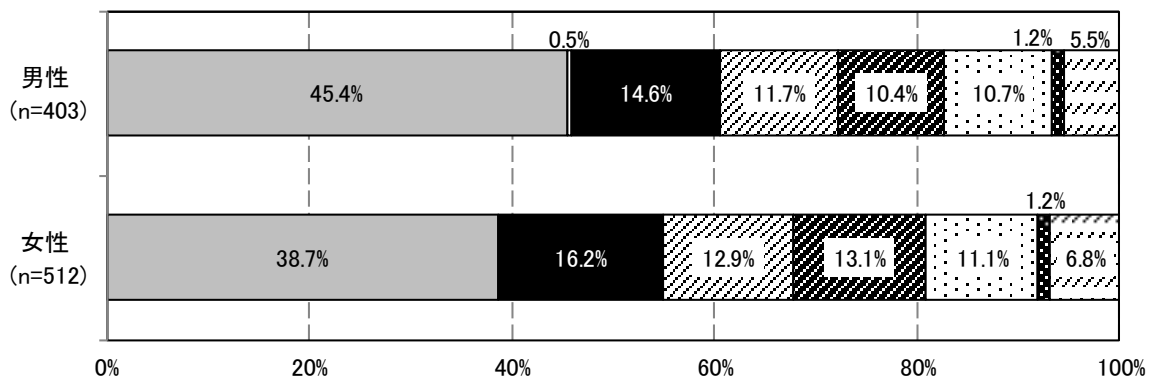
男女別では、男性で「自宅」と回答された方の割合は45.4%、女性では38.7%となった。

年代別では、「自宅」と回答された割合が最も低かったのは「50～59歳」(36.6%)であったが、そこから年代が上がるに従って高くなり、「80歳以上」では49.2%となった。

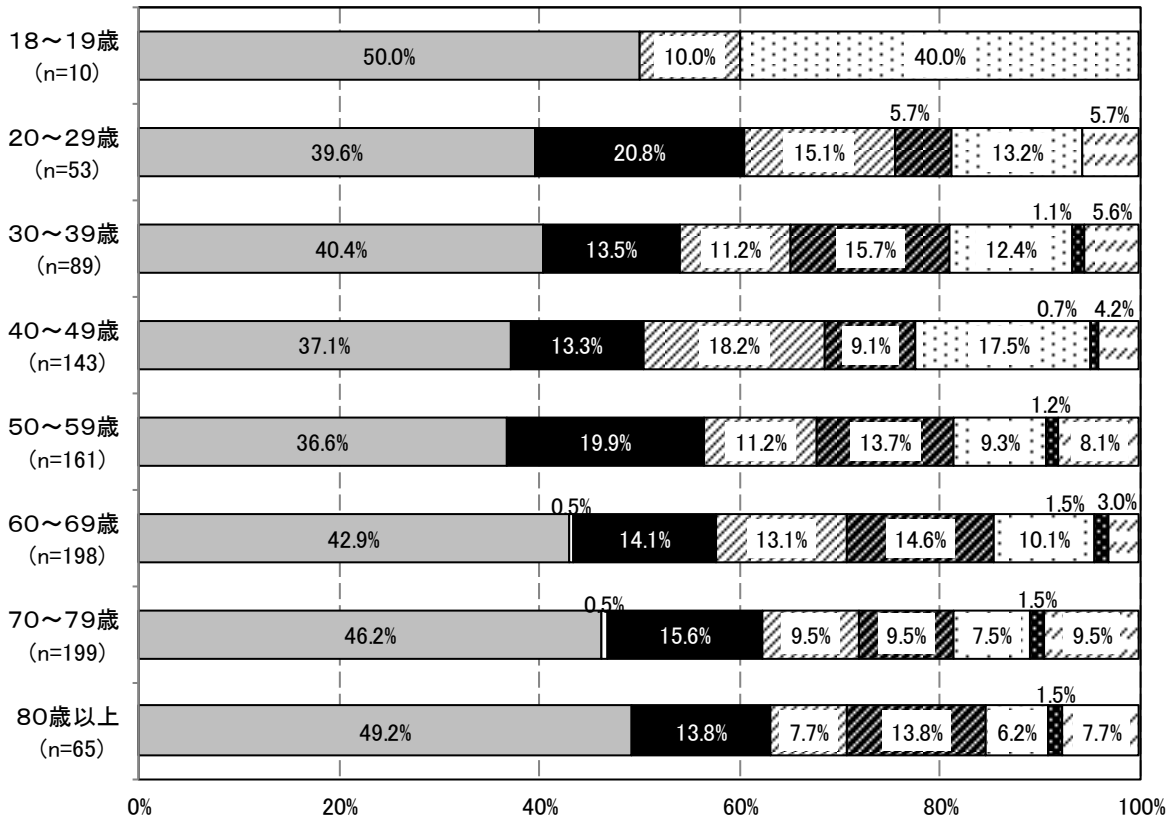
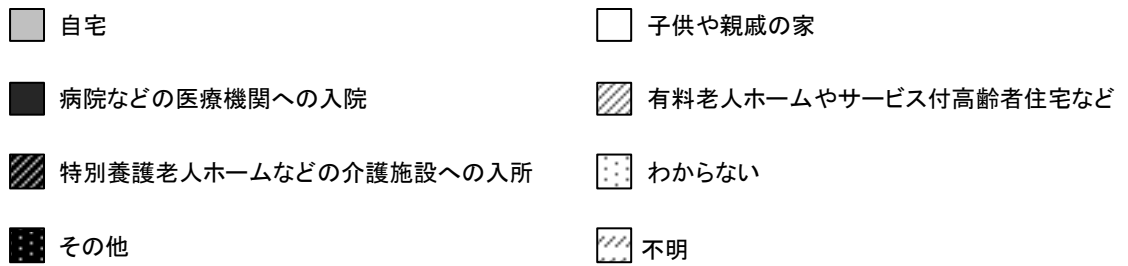
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「経済的負担の少ないところ」など

問47 自分の最期の過ごし方

問47 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいと考えていますか？あてはまるものを1つお選びください。

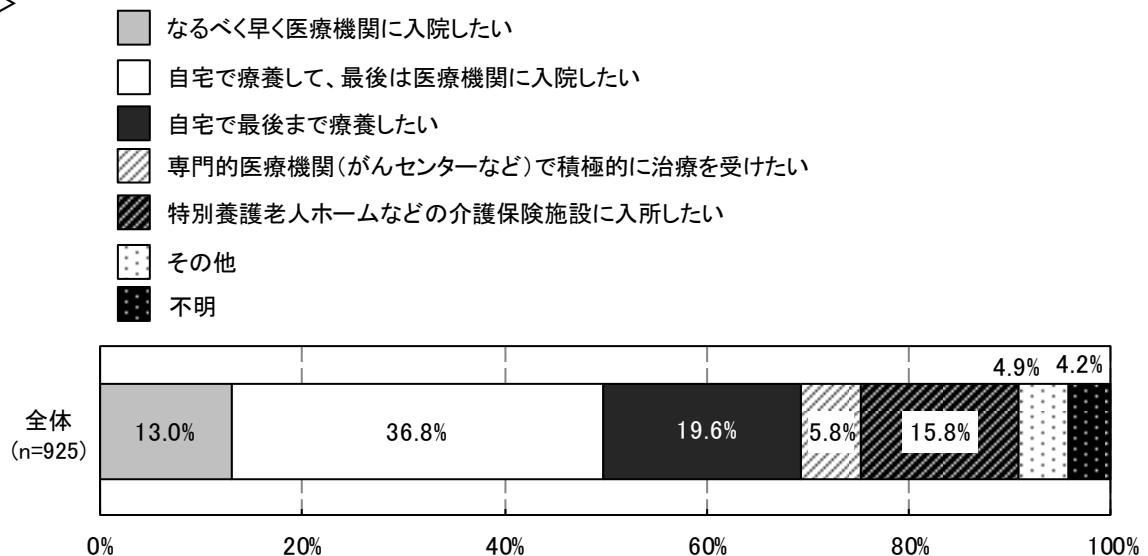
1. なるべく早く医療機関に入院したい
2. 自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい
3. 自宅で最後まで療養したい
4. 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
6. その他

自分の最期の過ごし方について、全体で最も多かった回答は、「自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい」（36.8%）であった。次いで「自宅で最後まで療養したい」（19.6%）、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」（15.8%）と続いた。

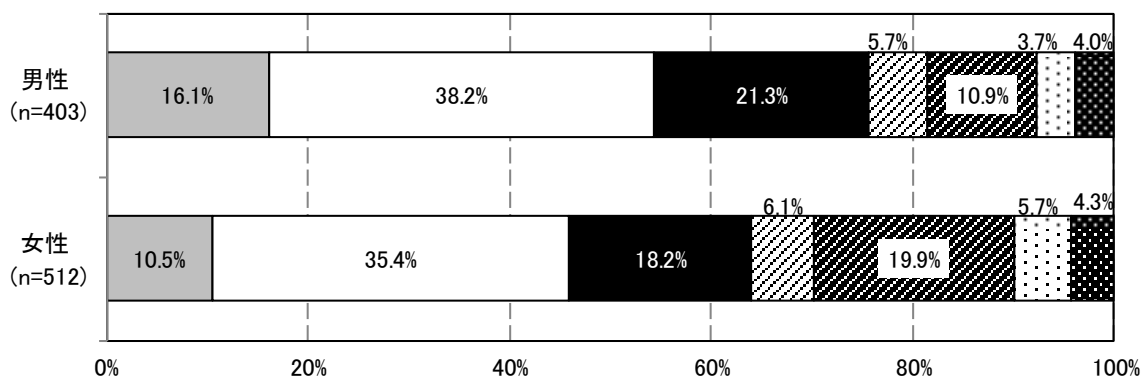
男女別では、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」を回答された方について、男性は10.9%、女性は19.9%となり、女性のほうが高い割合を示した。

年代別では、「自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい」を回答された方の割合が最も高かった年代は「70～79歳」（40.7%）であった。

<全体>

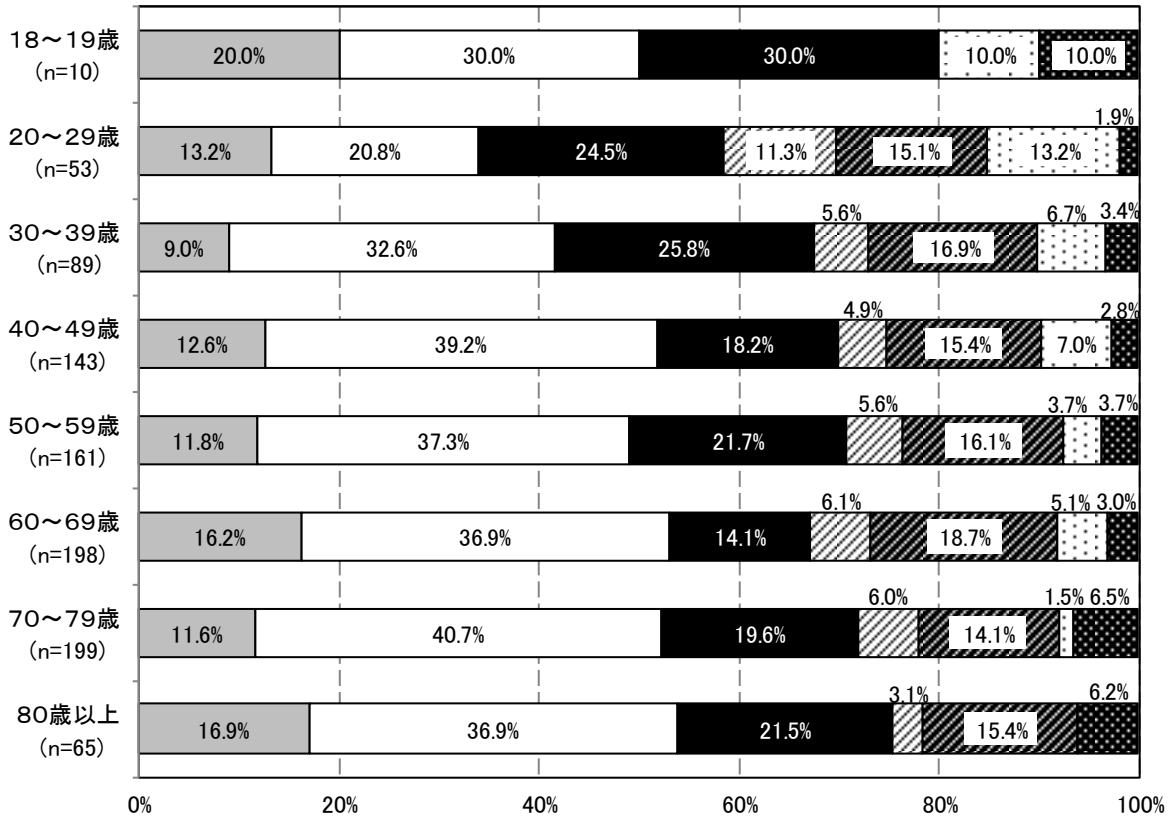


<男女別>



<年代別>

- なるべく早く医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- ▨ 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- ▩ 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
- ◻ その他
- 不明



その他：「周りに迷惑、負担をかけない」、「その時に状態によって変わる」など

問48 「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議)」の認知状況

問48 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議)」について、ご存知ですか？

1. はい

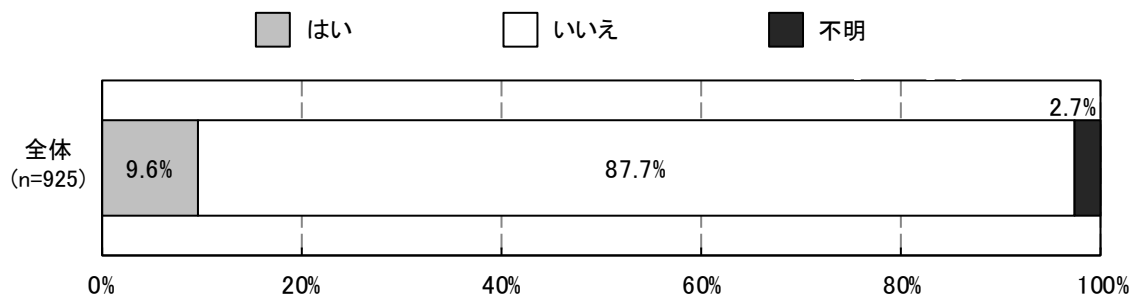
2. いいえ

「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議)」の認知状況について、全体では「はい」と回答された方の割合は9.6%、「いいえ」は87.7%となった。

男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は6.9%、女性では11.5%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が最も高かった年代は、「70～79歳」(14.1%)、次いで「30～39歳」(12.4%)、「50～59歳」(10.6%)と続いた。

<全体>

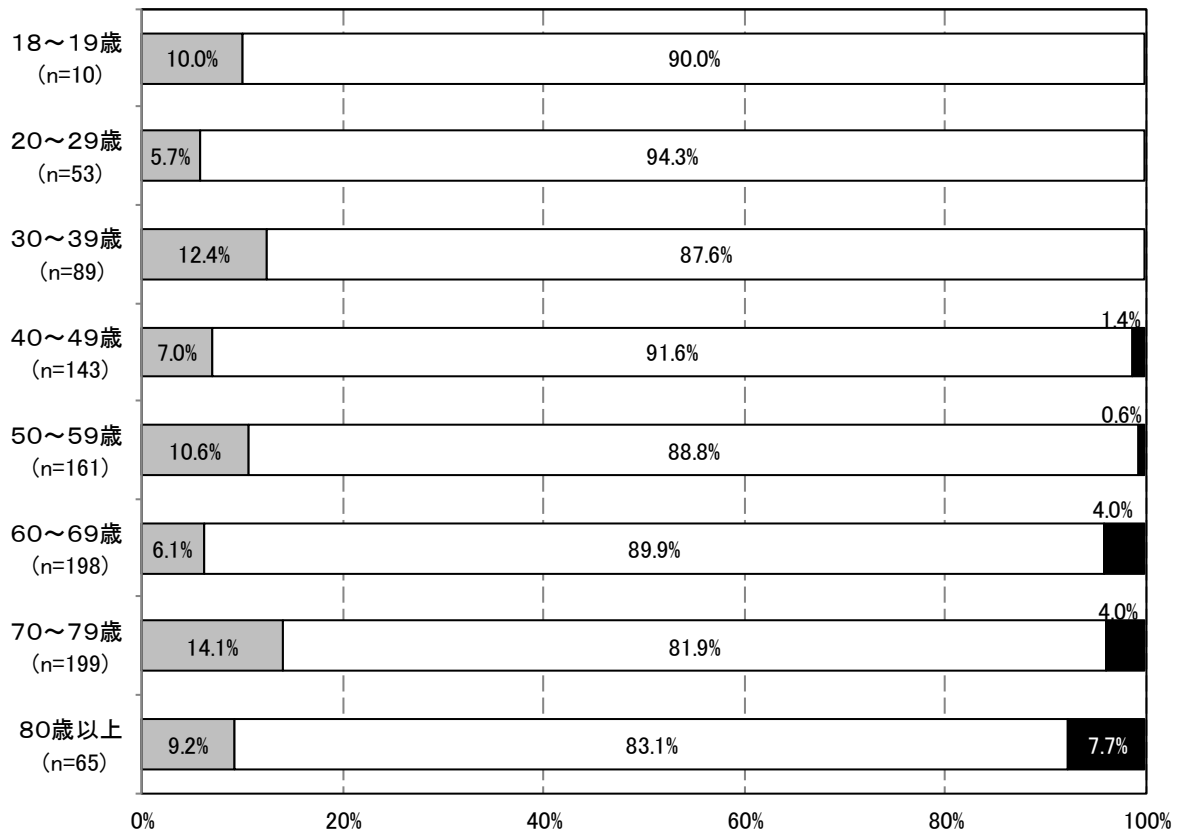


<男女別>



<年代別>

はい
 いいえ
 不明



9. 健康について

問49 健康づくりへの取り組み状況

問49 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい

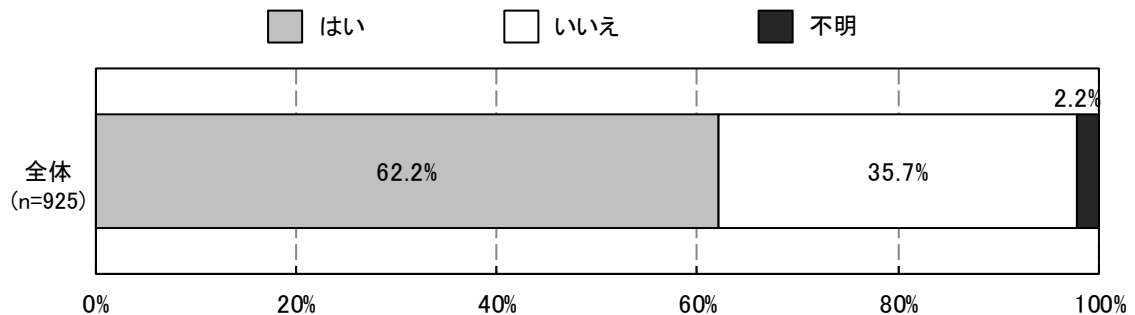
2. いいえ

健康づくりへの取り組み状況について、「はい」と回答された方の割合は62.2%、「いいえ」は35.7%となった。

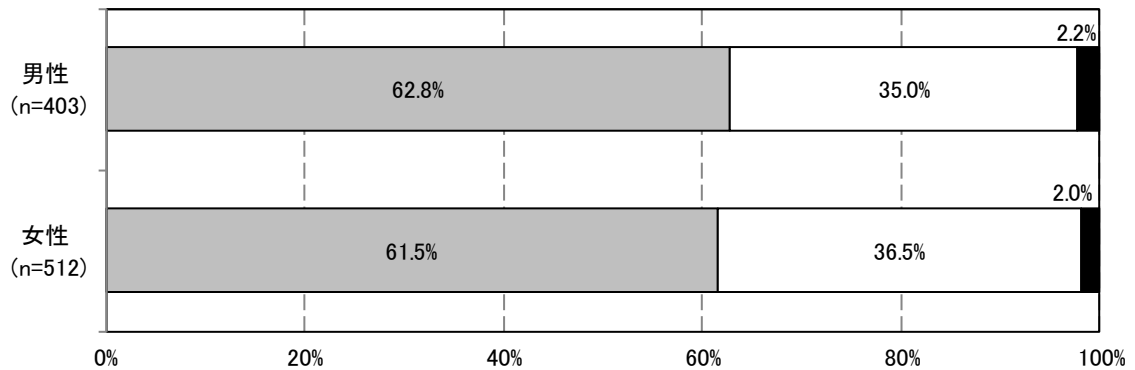
男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は62.8%、女性では61.5%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が低かったのは「18～19歳」（40.0%）と「30～39歳」（44.9%）であったが、他の年代ではいずれも半数を超えている。

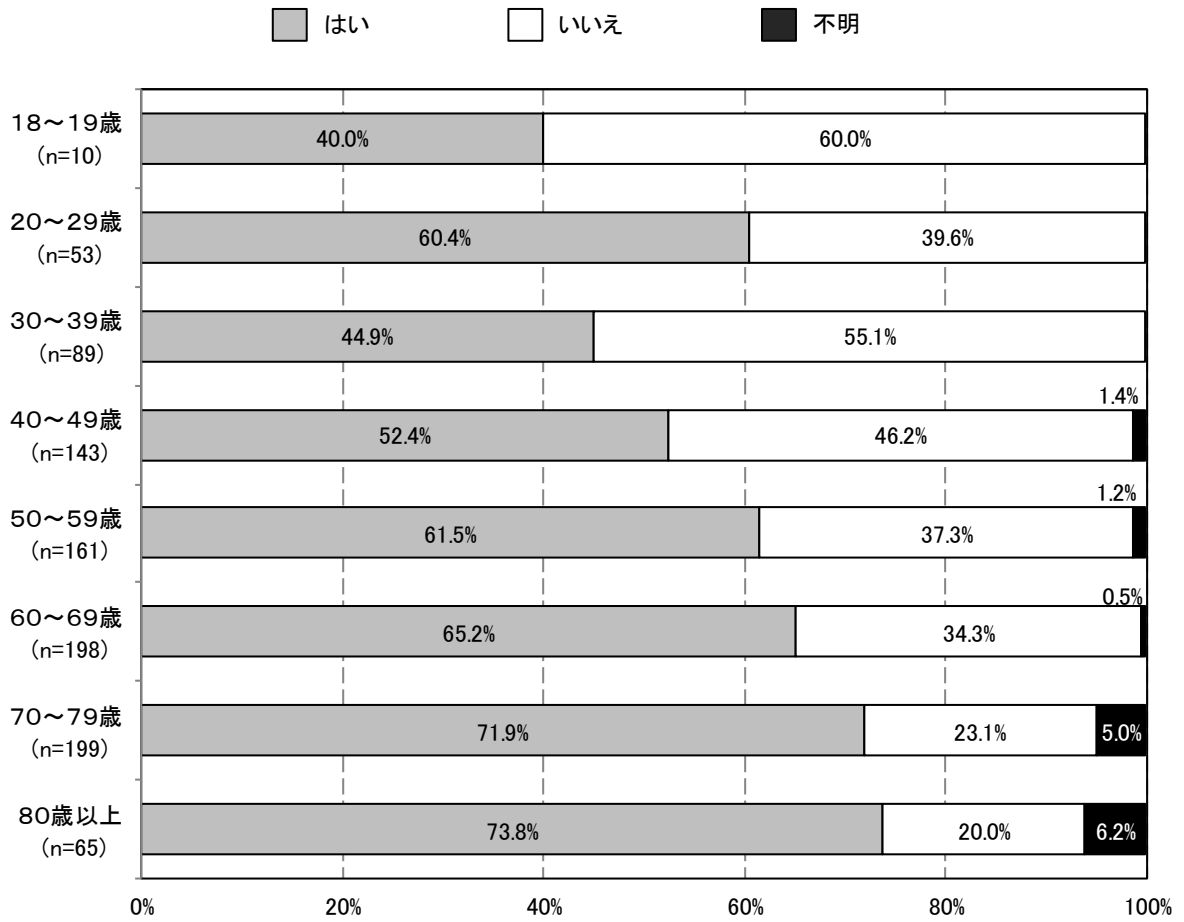
<全体>



<男女別>



<年代別>



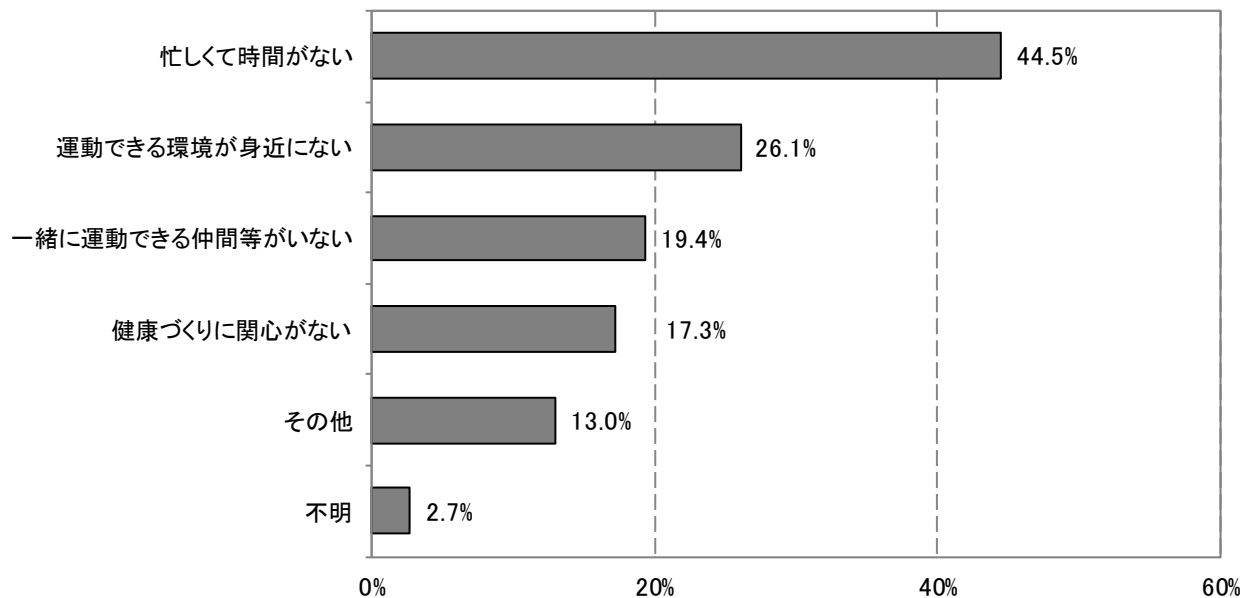
問49-1 健康づくりへの取り組んでいない理由

問49-1 問49で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。理由としてあてはまるものを全てお選びください。

1. 忙しくて時間がない
2. 運動できる環境が身近にない
3. 一緒に運動できる仲間等がない
4. 健康づくりに関心がない
5. その他

健康づくりへの取り組んでいない理由について、最も多かった回答は、「忙しくて時間がない」(44.5%)であった。次いで「運動できる環境が身近にない」(26.1%)、「一緒に運動できる仲間等がない」(19.4%)と続いた。

n=330



その他：「病気、体調が悪い」、「やる気が起きない」など

問50 喫煙状況

問50 あなたは、タバコを吸っていますか？（電子タバコを含む）（20歳以上の方のみお答えください。）

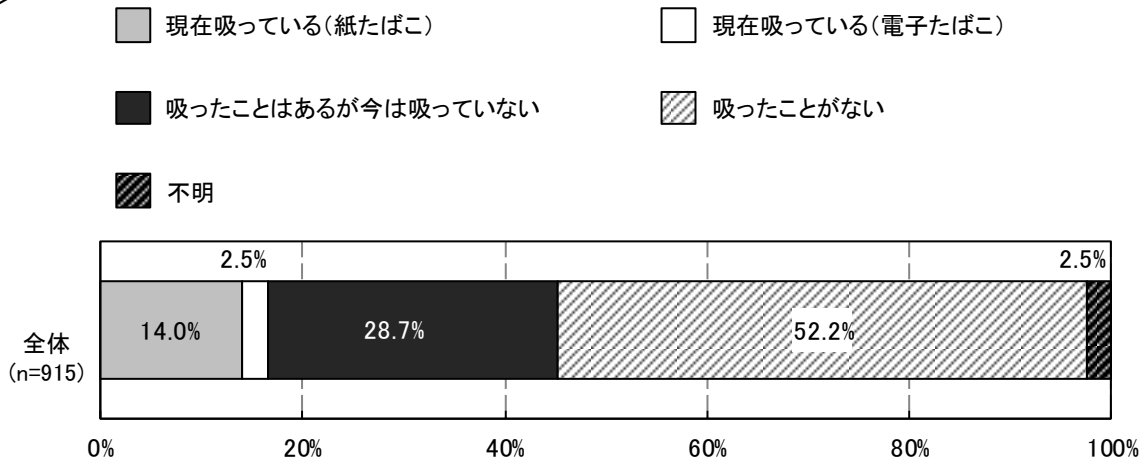
1. 現在吸っている（紙タバコ）
2. 現在吸っている（電子タバコ）
3. 吸ったことはあるが今は吸っていない
4. 吸ったことがない

喫煙状況について、全体で最も多かった回答は「吸ったことがない」（52.2%）であった。次いで「吸ったことはあるが今は吸っていない」（28.7%）、「現在吸っている（紙タバコ）」（14.0%）と続いた。

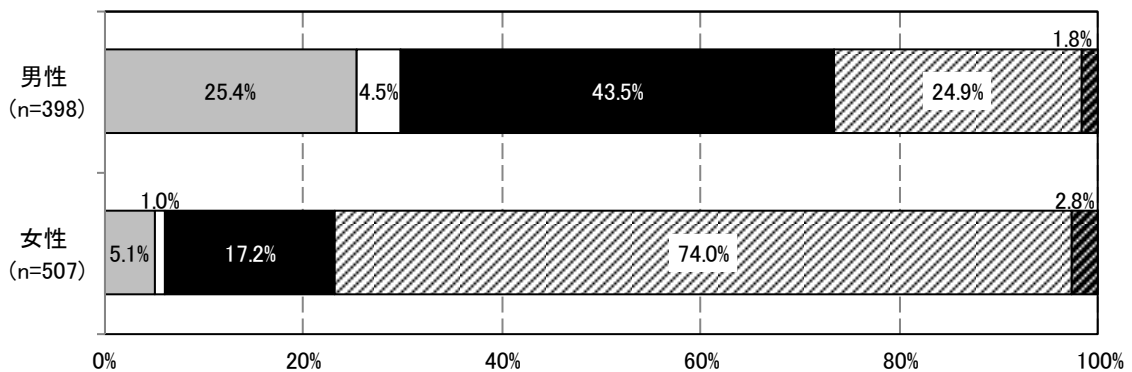
男女別では、「現在吸っている（紙タバコ）」と「現在吸っている（電子タバコ）」を回答された男性は29.9%、女性は6.1%となった。また、「吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された男性は43.5%、女性は17.2%となり、男性のほうが喫煙経験者の割合が高いことがわかる。

年代別では、「現在吸っている（紙タバコ）」と「現在吸っている（電子タバコ）」を回答された方の割合が最も高い年代は「30～39歳」（21.4%）となった。また、そこから年代が上がるに従ってその割合は減少し、「80歳以上」では6.2%となった。

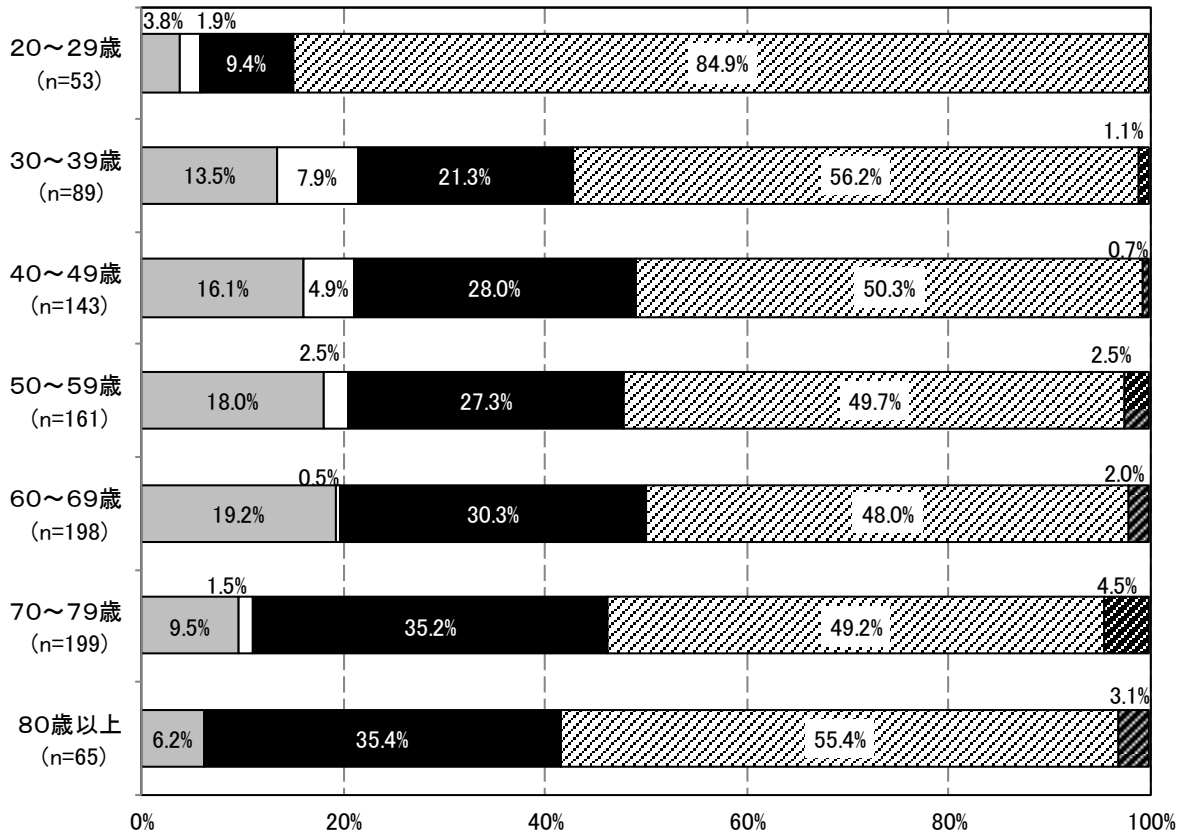
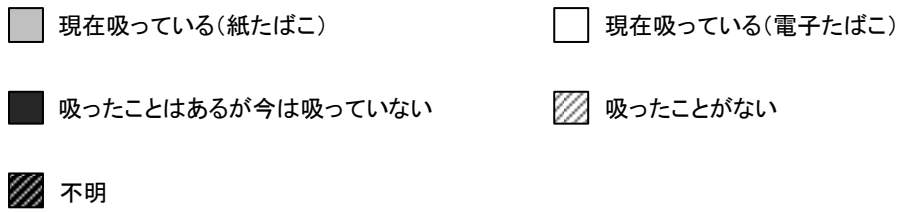
<全体>



<男女別>



<年代別>



問50-1 禁煙に対する考え方

問50-1 問50で「1. 現在吸っている（紙たばこ）」「2. 現在吸っている（電子たばこ）」と回答された方のみお答えください。あなたが、最もあてはまるものを1つお選びください。

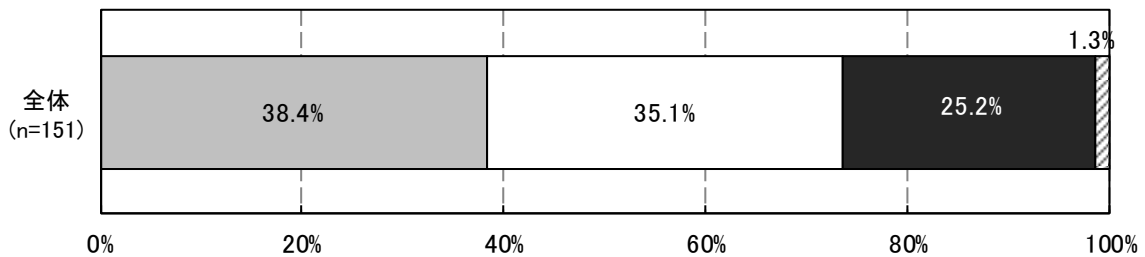
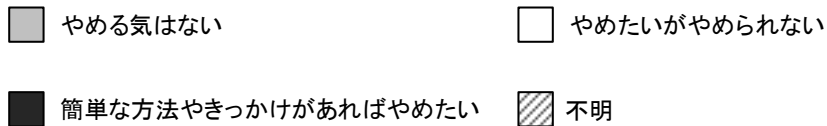
1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問50で「現在吸っている（紙たばこ）」と「現在吸っている（電子たばこ）」と回答された方の禁煙に対する考え方で、最も多い回答は「やめる気はない」（38.4%）となった。

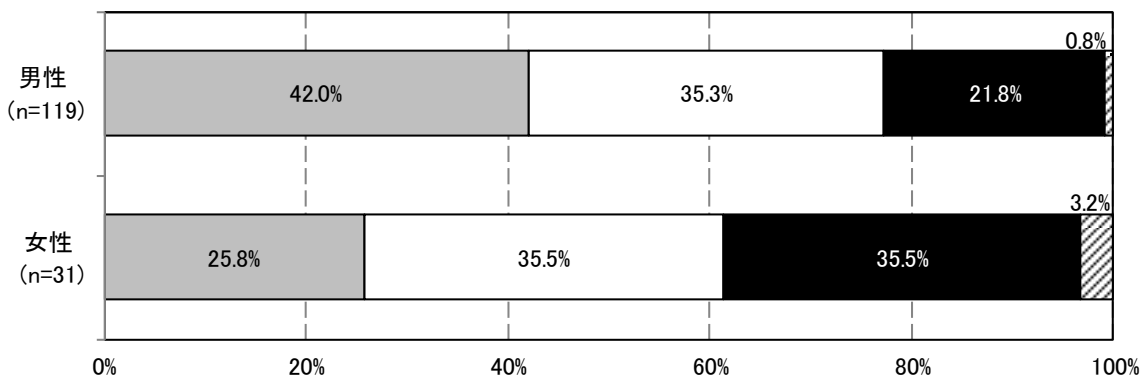
男女別では、男性で「やめる気はない」と回答された方の割合は42.0%、女性で25.8%となり、男性のほうが高い結果となった。

年代別では、「やめたいがやめられない」を回答された方の割合が最も高かった年代は「70～79歳」（45.5%）であった。

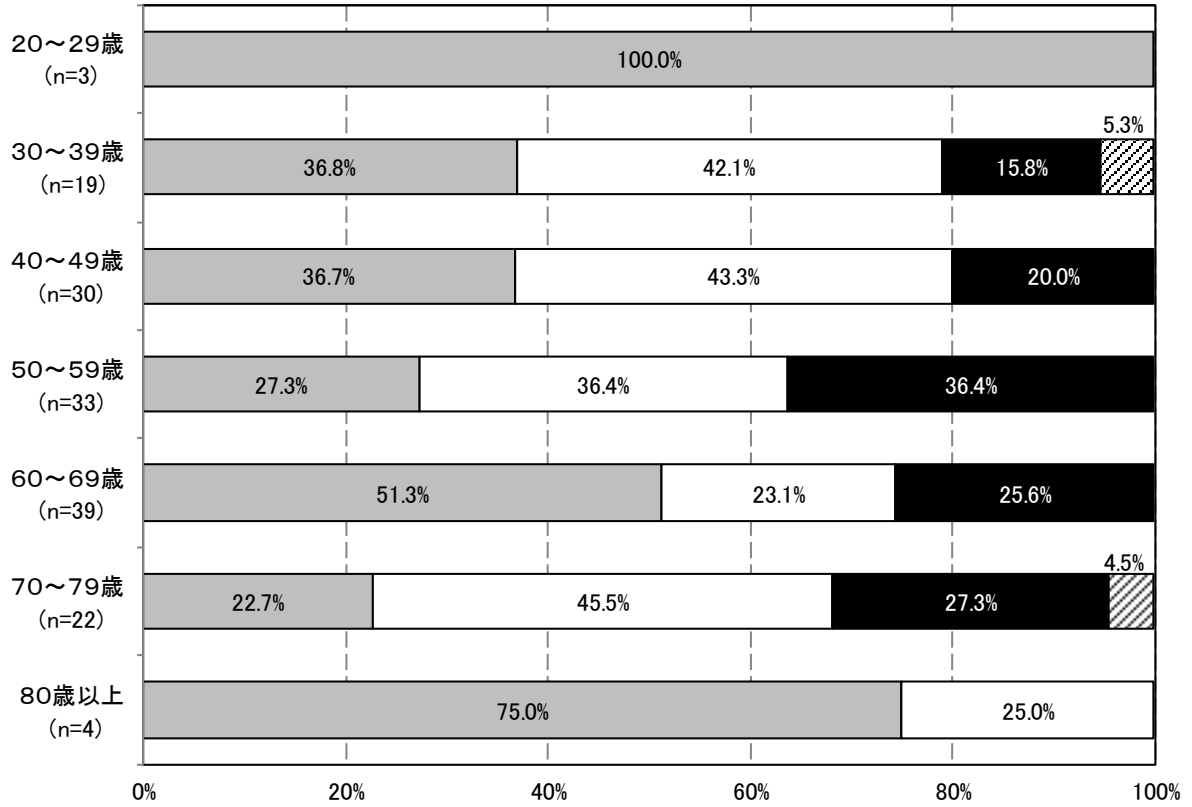
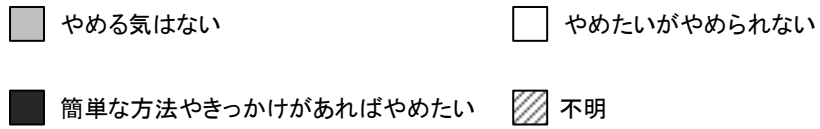
<全体>



<男女別>



<年代別>



問5 1 健康増進法の受動喫煙に関する変更内容の認知状況

問5 1 あなたは、健康増進法一部改正により望まない受動喫煙を防止するための取組がマナーからルールへ変わることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

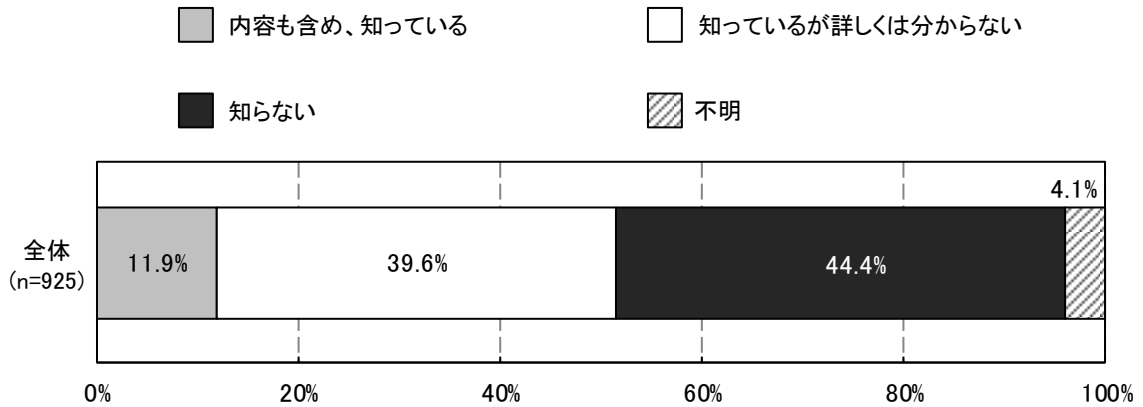
1. 内容も含め、知っている
2. 知っているが詳しくは分からない
3. 知らない

健康増進法の受動喫煙に関する変更内容について、全体で最も多かった回答は、「知らない」(44.4%)であった。次いで「知っているが詳しくは分からない」(39.6%)、「内容も含め、知っている」(11.9%)と続いた。

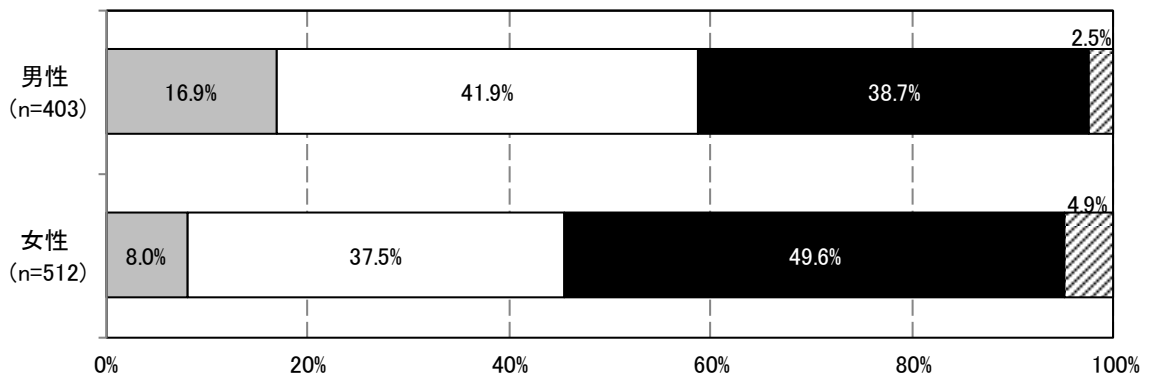
男女別では、男性で「内容も含め、知っている」と回答された方の割合は16.9%、女性は8.0%となり、男性のほうがより知っている傾向が見られた。

年代別では、「内容も含め、知っている」と回答された方の割合が最も高かった年代は「50～59歳」(16.1%)であった。次いで「30～39歳」(14.6%)、「80歳以上」(13.8%)と続いた。

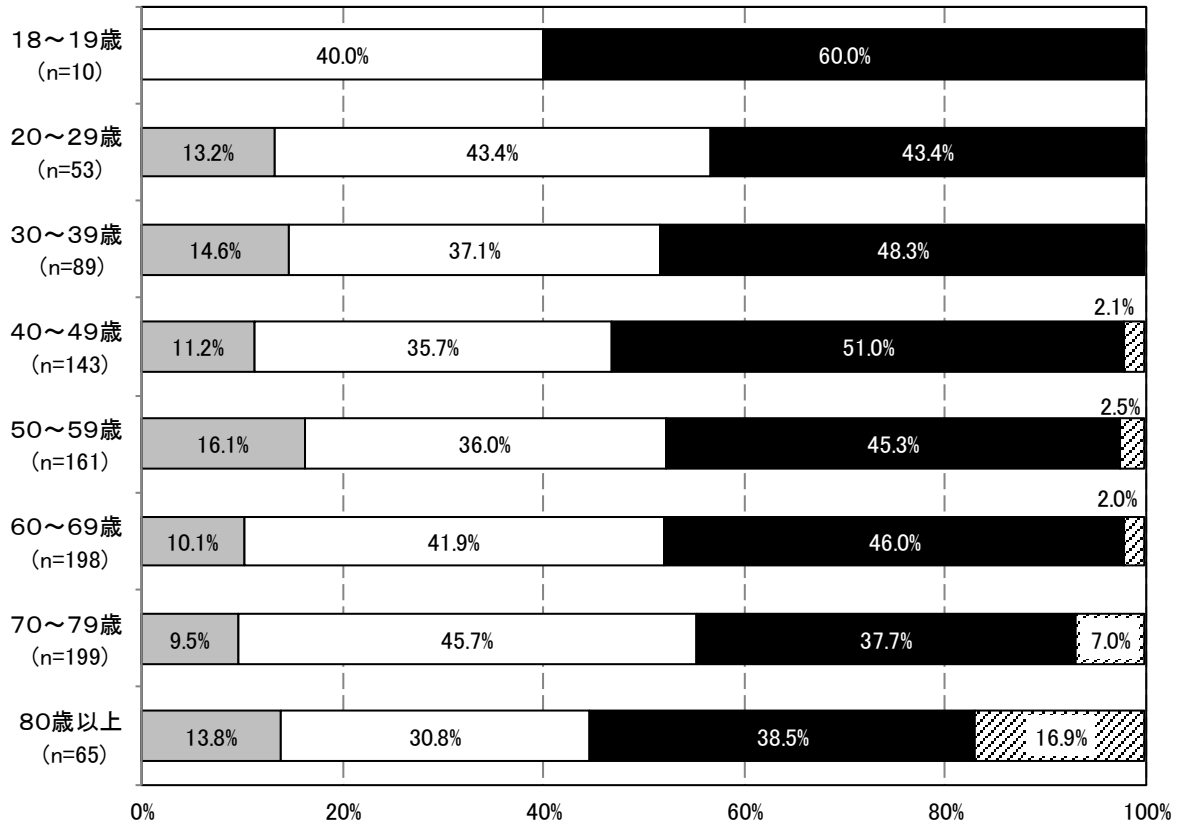
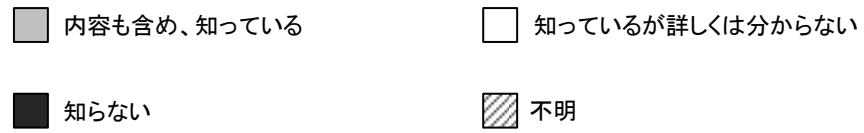
<全体>



<男女別>



<年代別>

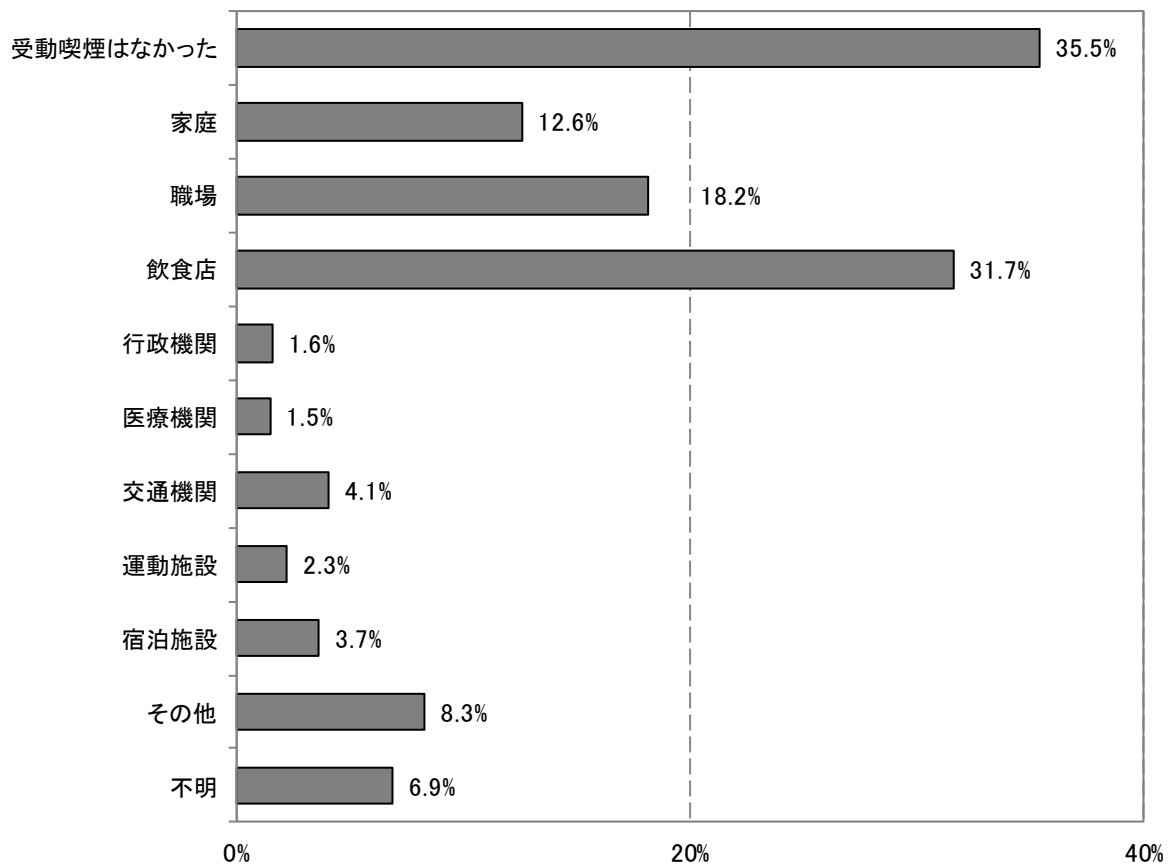


問52 受動喫煙の有無

問52 あなたは、この1か月間に自分以外の方が吸っていたタバコの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 受動喫煙はなかった | 6. 医療機関 |
| 2. 家庭 | 7. 交通機関 |
| 3. 職場 | 8. 運動施設 |
| 4. 飲食店 | 9. 宿泊施設 |
| 5. 行政機関 | 10. その他 |

受動喫煙の有無について、最も多かった回答は、「受動喫煙はなかった」(35.5%)であった。受動喫煙があった場所として最も多かった回答は「飲食店」(31.7%)であった。次いで「職場」(18.2%)、「家庭」(12.6%)と続いた。



その他：「道路」、「パチンコ店」、「商業施設、コンビニ、スーパー」など

問53 がん検診の受診状況

問53 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

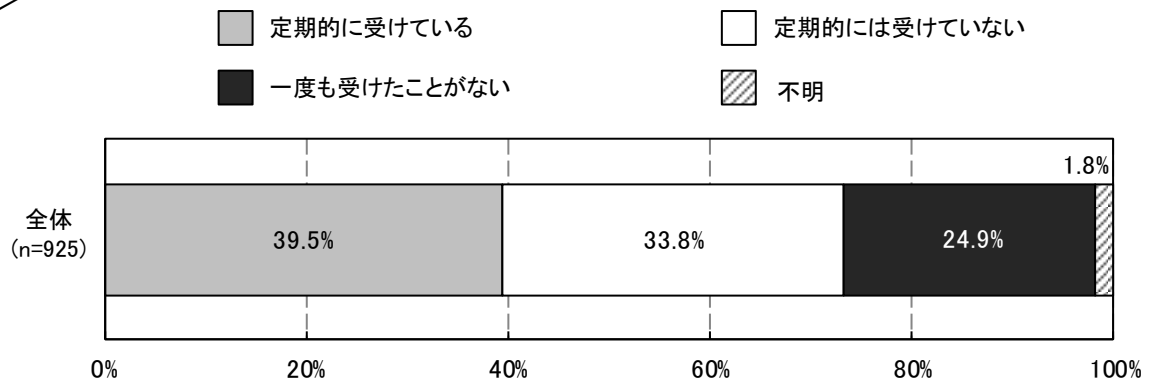
がん検診の受診状況について、全体で最も多かった回答は、「定期的に受けている」（39.5%）であった。次いで「定期的には受けていない」（33.8%）、「一度も受けたことがない」（24.9%）と続いた。

男女別では、男性で「一度も受けたことがない」を回答された方の割合は33.5%、女性は18.4%となった。

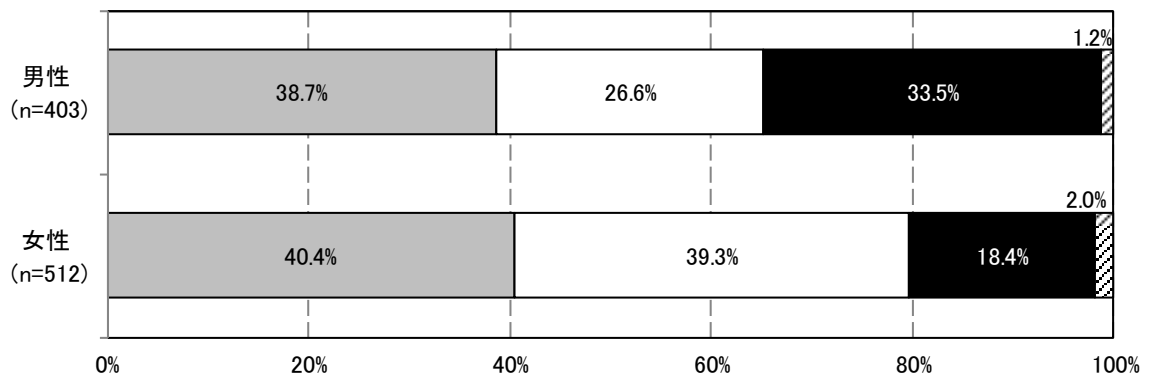
年代別では、「定期的に受けている」と回答された方の割合が最も高かった年代は「40～49歳」（50.3%）

であった。次いで「50～59歳」（47.8%）、「80歳以上」（40.0%）と続いた。

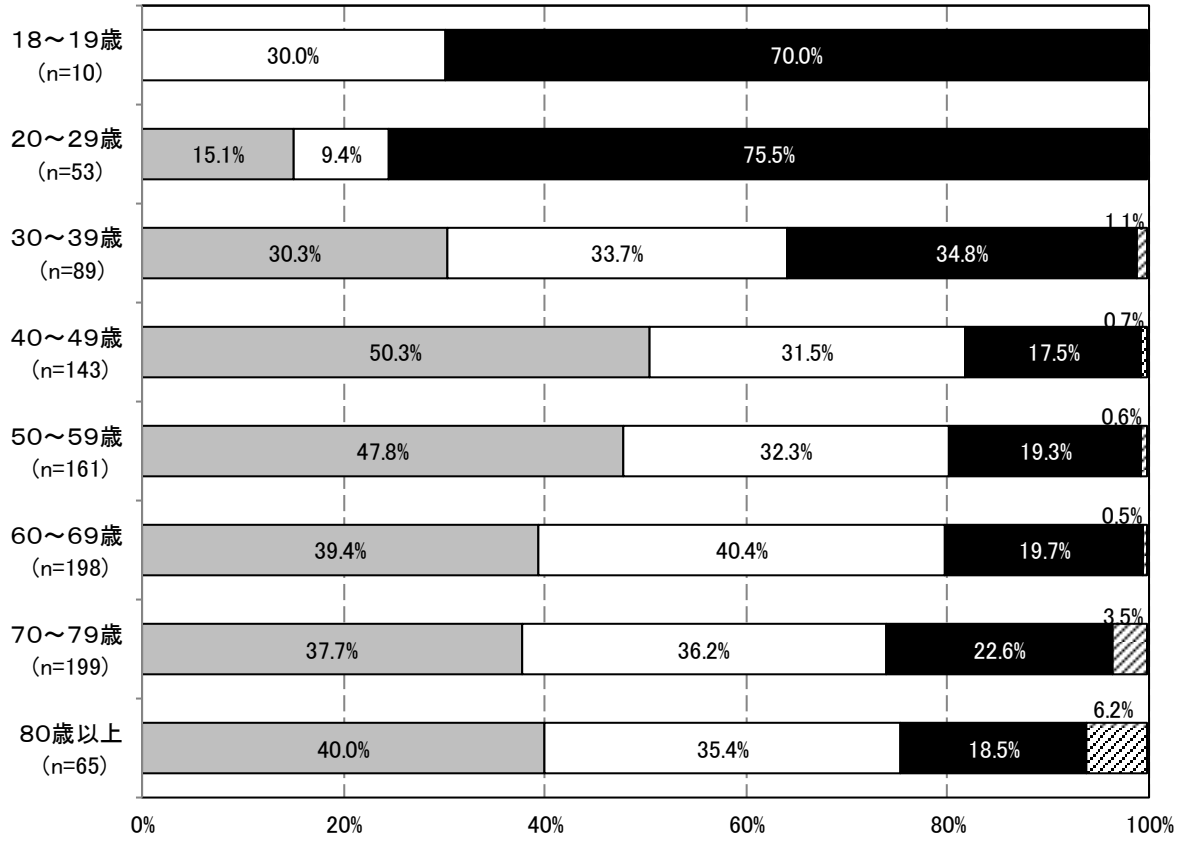
<全体>



<男女別>



<年代別>



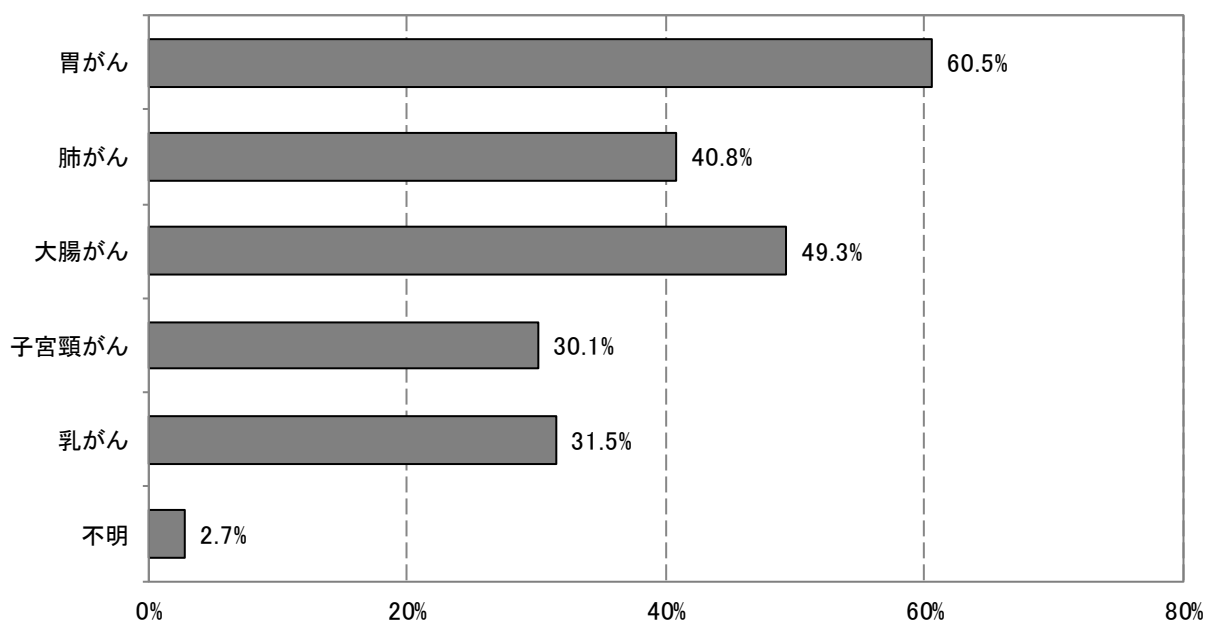
問53-1 定期的に受けているがん検診の種類

問53-1 問53で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。定期的に何の検診を受けていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- 1. 胃がん
- 2. 肺がん
- 3. 大腸がん
- 4. 子宮頸がん
- 5. 乳がん

定期的に受けているがん検診の種類で最も多かった回答は「胃がん」(60.5%)となった。次いで、「大腸がん」(49.3%)、「肺がん」(40.8%)と続いた。

n=365



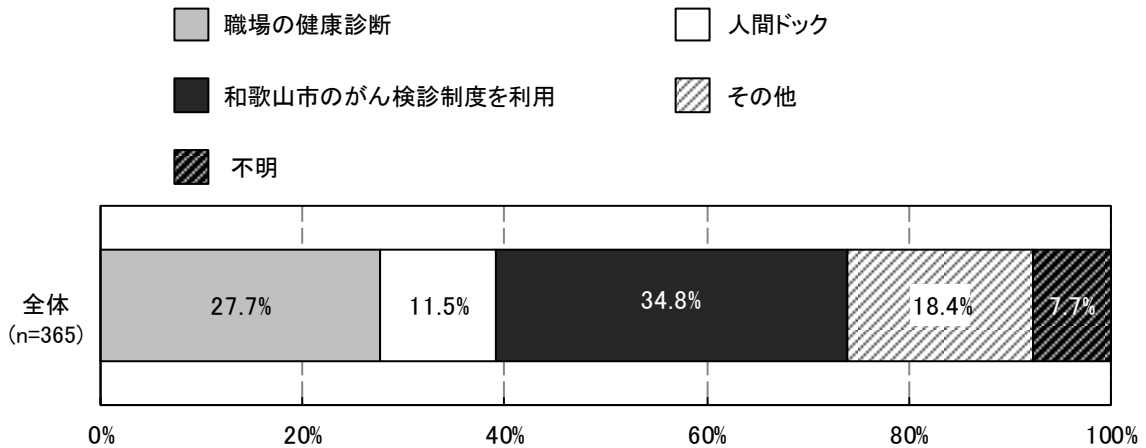
問53-2 定期的にがん検診を受診した手段

問53-2 問53で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。受診したがん検診は、つぎのどれに該当しますか？あてはまるものを1つお選びください。

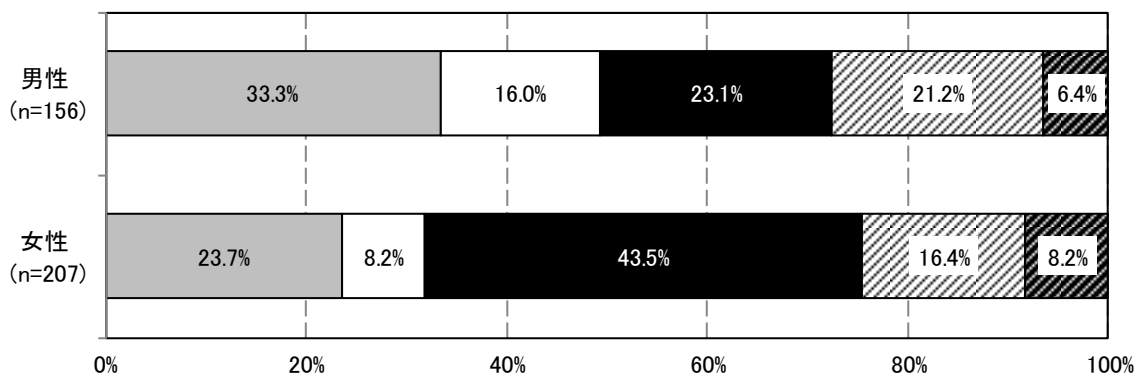
- 1. 職場の健康診断
- 2. 人間ドック
- 3. 和歌山市のがん検診制度を利用
- 4. その他

定期的にがん検診を受診した手段として、最も多かった回答が「和歌山市のがん検診制度を利用」(34.8%)であった。次いで、「職場の健康診断」(27.7%)、「人間ドック」(11.5%)と続いた。男女別では、男性で最も多かった回答が「職場の健康診断」(33.3%)となった。また、女性で最も多かった回答が「和歌山市のがん検診制度を利用」(43.5%)となり、男女別にて差異が見られた。年代別では、「職場の健康診断」を回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」(48.1%)となり、「40～49歳」、「50～59歳」の各年代においても高い傾向となった。

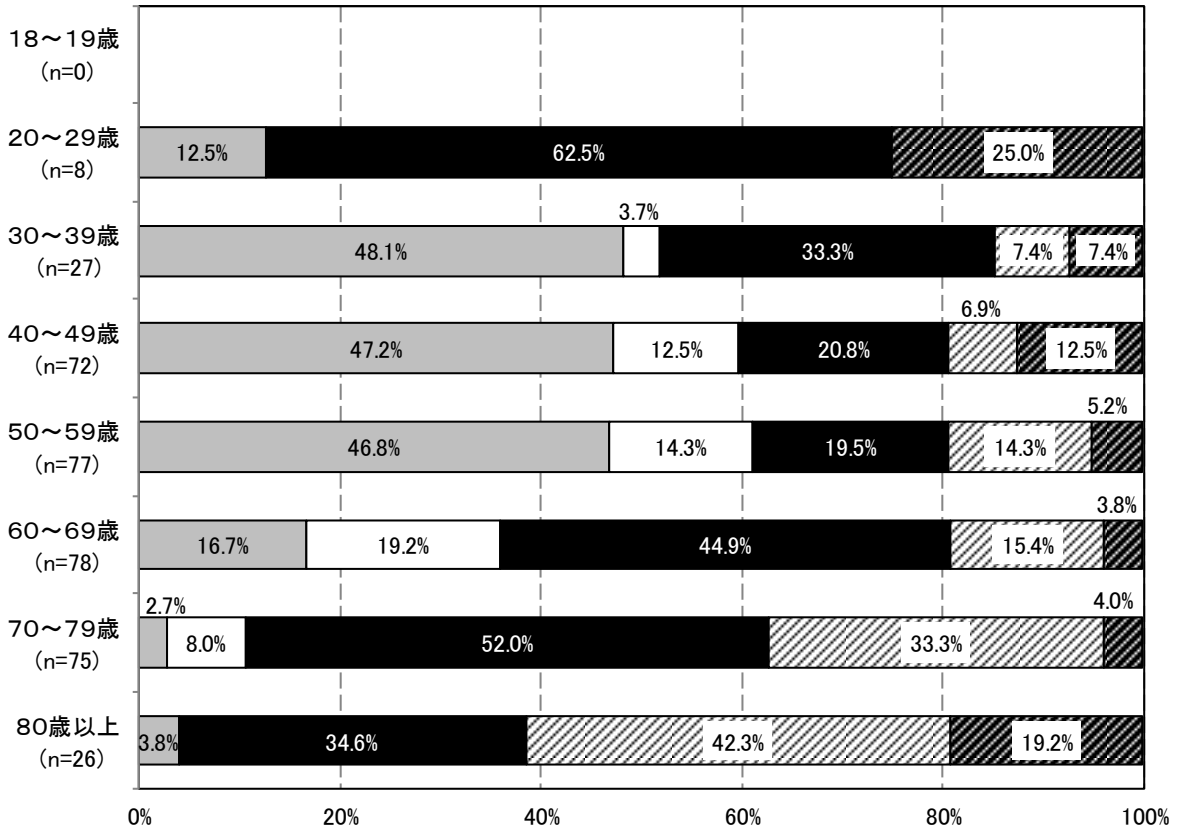
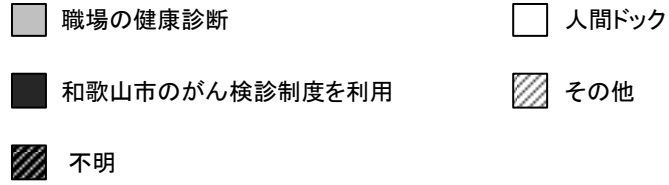
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「病院にて検診」、「自主的に検診」など

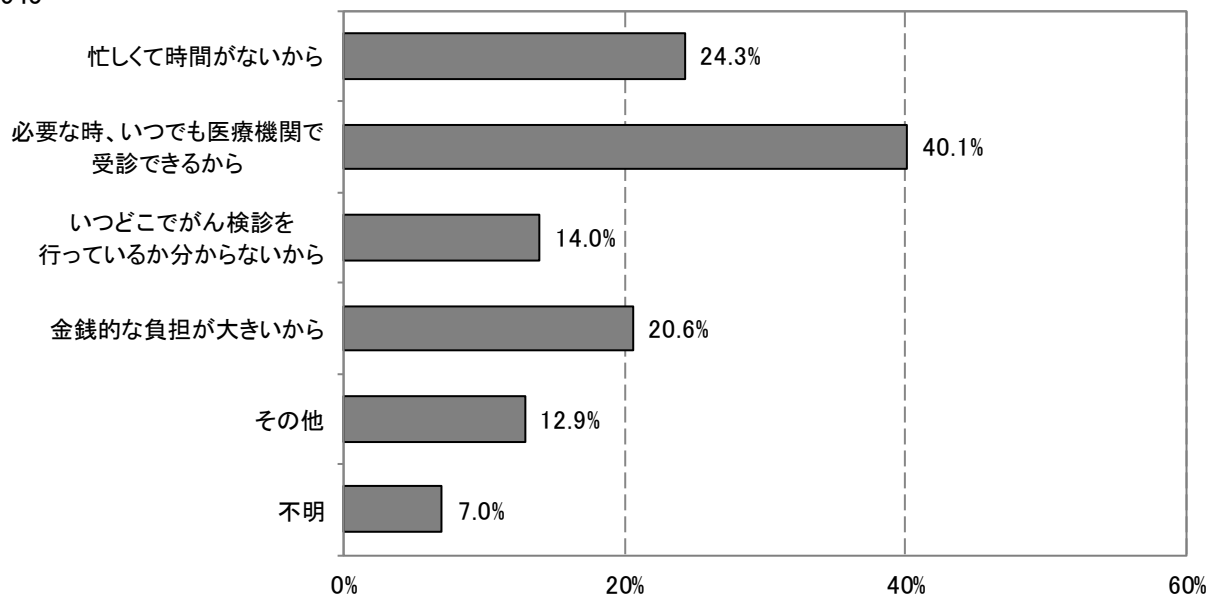
問53-3 がん検診を受診しない理由

問53-3 問53で「2. 定期的には受けていない」「3. 一度も受けたことがない」と回答された方のみお答えください。理由としてあてはまるものを全てお選びください。

1. 忙しくて時間がないから
2. 必要な時、いつでも医療機関で受診できるから
3. いつどこでがん検診を行っているか分からないから
4. 金銭的な負担が大きいから
5. その他

がん検診を受診しない理由として、全体で最も多かった回答は、「必要な時、いつでも医療機関で受診できるから」(40.1%)であり、他の理由と比べ高い割合を示した。次いで「忙しくて時間がないから」(24.3%)、「金銭的な負担が大きいから」(20.6%)と続いた。

n=543



その他：「健康なので」、「検診機会がなくなった」、「必要性を感じない」など

問54 1日に歩く歩数

問54 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 4,000歩未満
- 2. 4,000～6,000歩未満
- 3. 6,000～8,000歩未満
- 4. 8,000～1万歩未満
- 5. 1万歩以上

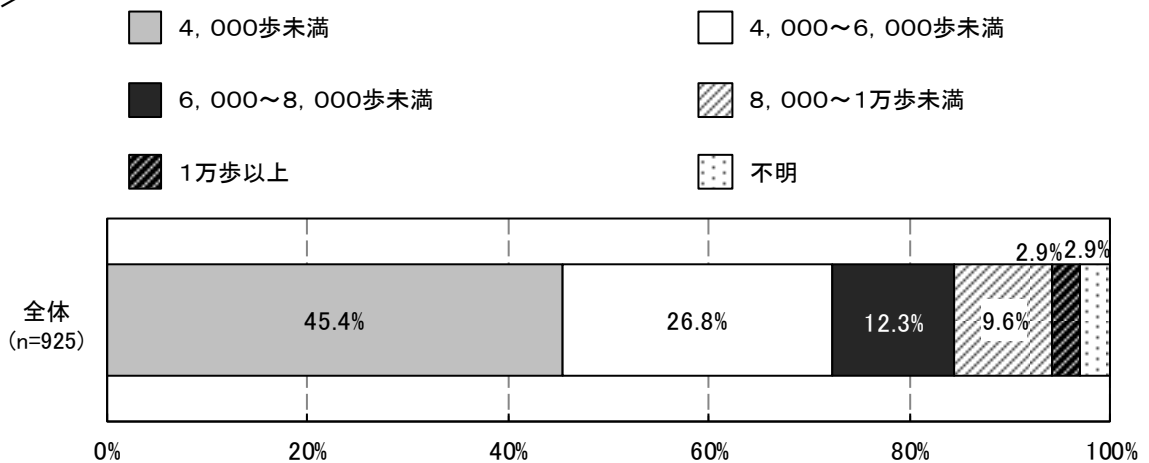
※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

1日平均して歩く歩数について、最も多かった回答は「4,000歩未満」(45.4%)となった。次いで「4,000～6,000歩未満」(26.8%)、「6,000～8,000歩未満」(12.3%)となり、歩数が多くなるに従い割合が減少する傾向が見られた。

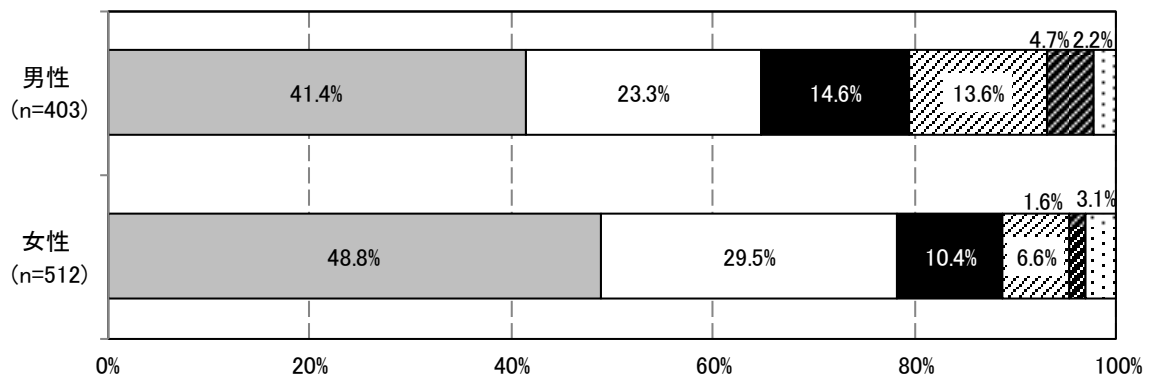
男女別において、男性で「4,000歩未満」と回答された方の割合は41.4%、女性で48.8%となった。

年代別にみても、「4,000歩未満」の割合が高くなっている。

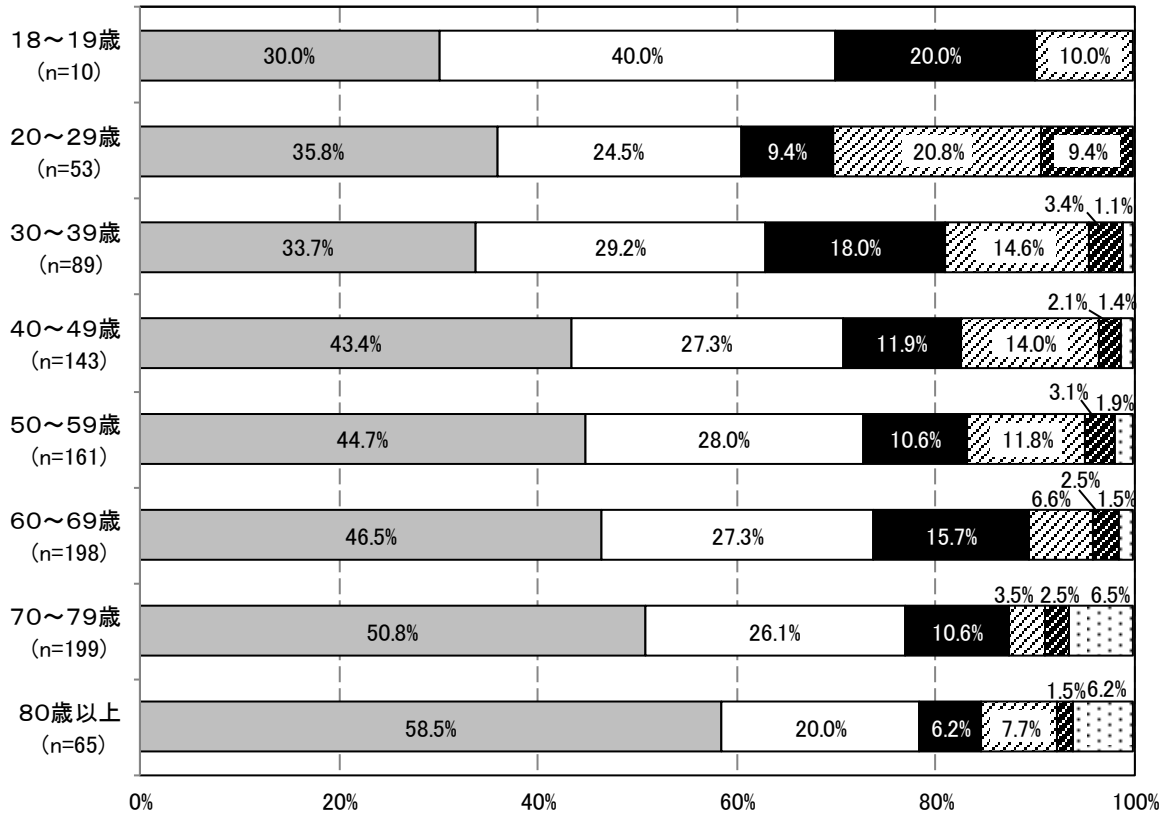
<全体>



<男女別>



<年代別>



10. スポーツについて

問55 週一回以上の運動やスポーツの実施状況

問55 あなたは、週一回以上運動やスポーツ（通勤時の徒歩や自転車、ウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む）をしていますか？

1. はい

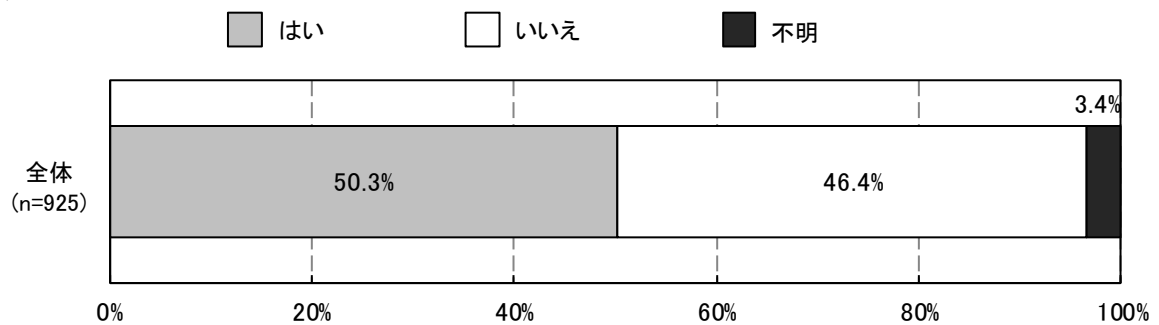
2. いいえ

週一回以上の運動やスポーツをしているかどうかについて、「はい」と回答された方の割合は50.3%、「いいえ」が46.4%となった。

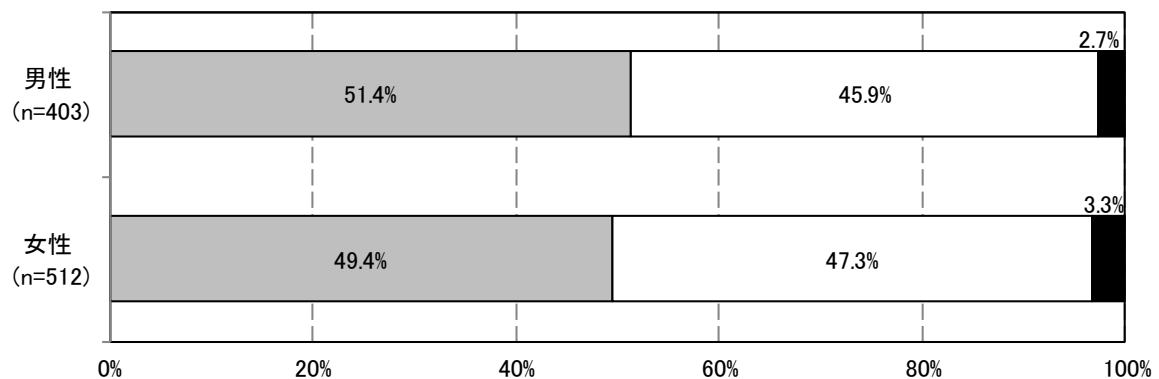
男女別では、大きな差異は見られなかった。

年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も低かったのが「30～39歳」（33.7%）であったが、他の年代においては「はい」と回答された方の割合は40%を超えている。

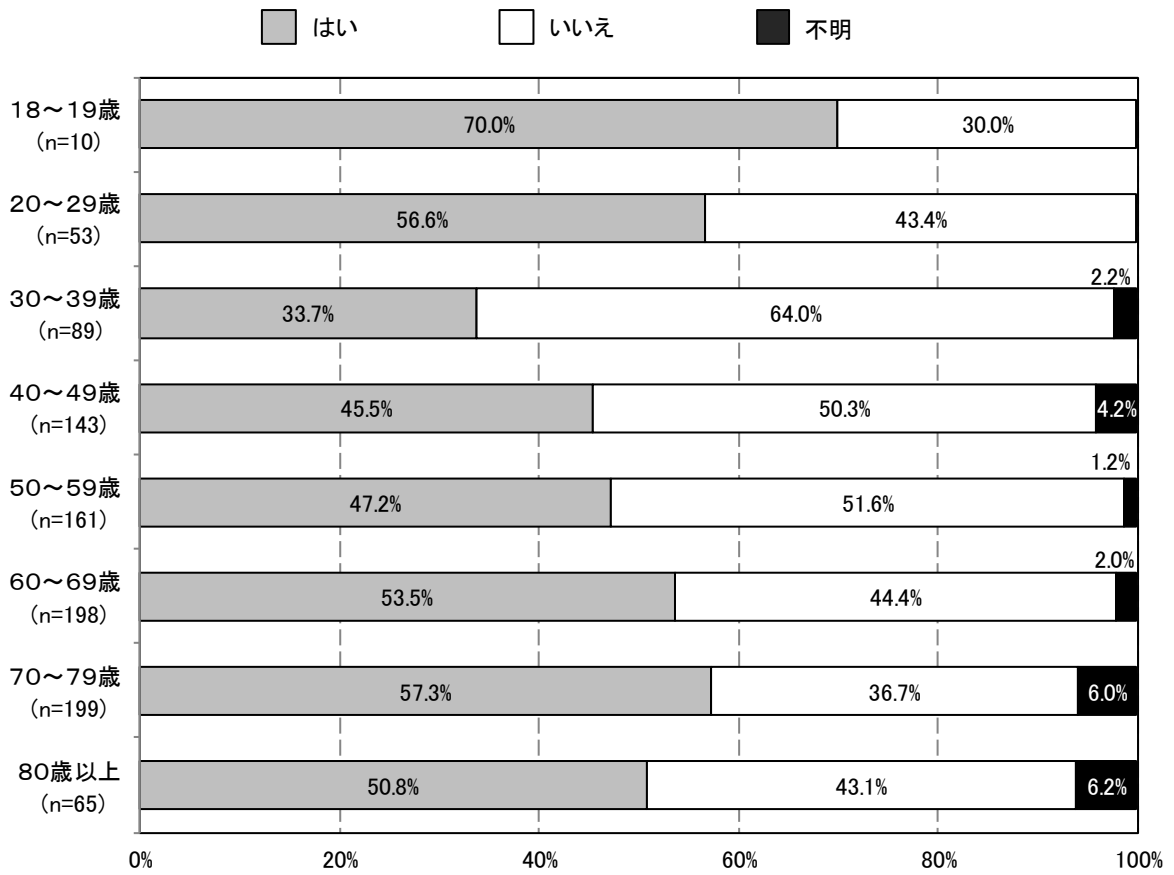
<全体>



<男女別>



<年代別>



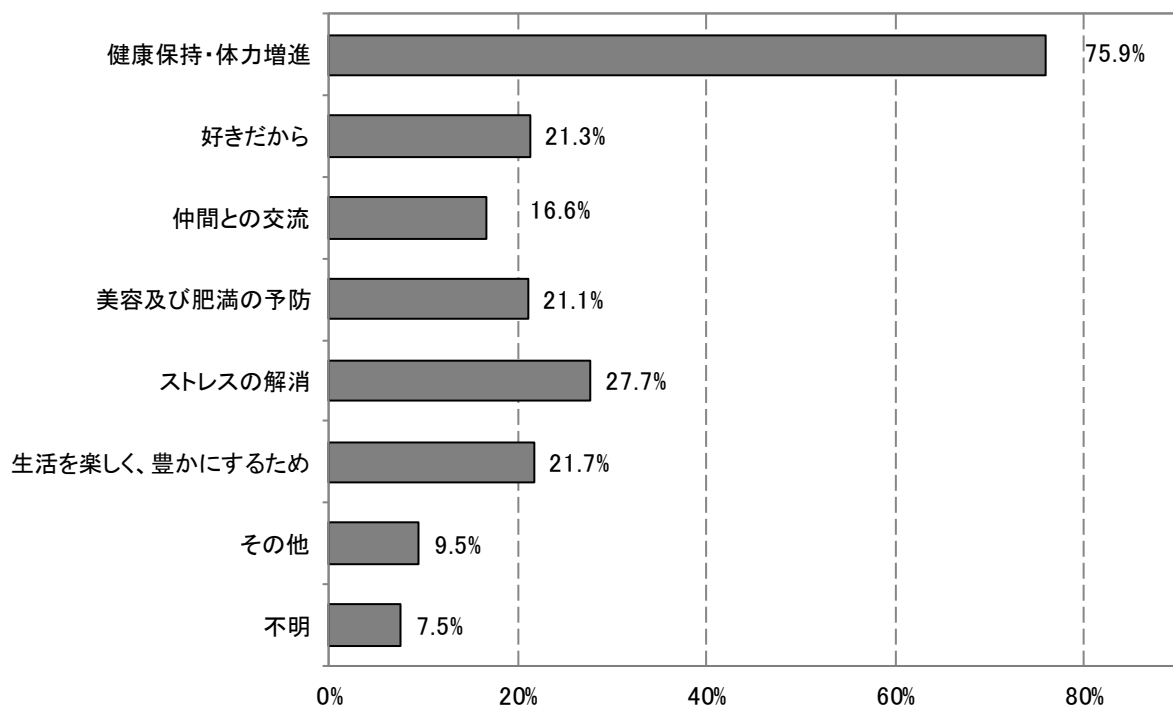
問55-1 運動やスポーツを行っている理由

問55-1 問55で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容及び肥満の予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他

運動やスポーツを行っている理由として最も多かった回答が、「健康保持・体力増進」(75.9%)であり、他の理由と比べ高い割合を示した。次いで、「ストレスの解消」(27.7%)、「生活を楽しく、豊かにするため」(21.7%)と続いた。

n=465



その他：「通勤、通学を徒歩や自転車で移動」、「仕事で体を動かす」、「散歩している」など

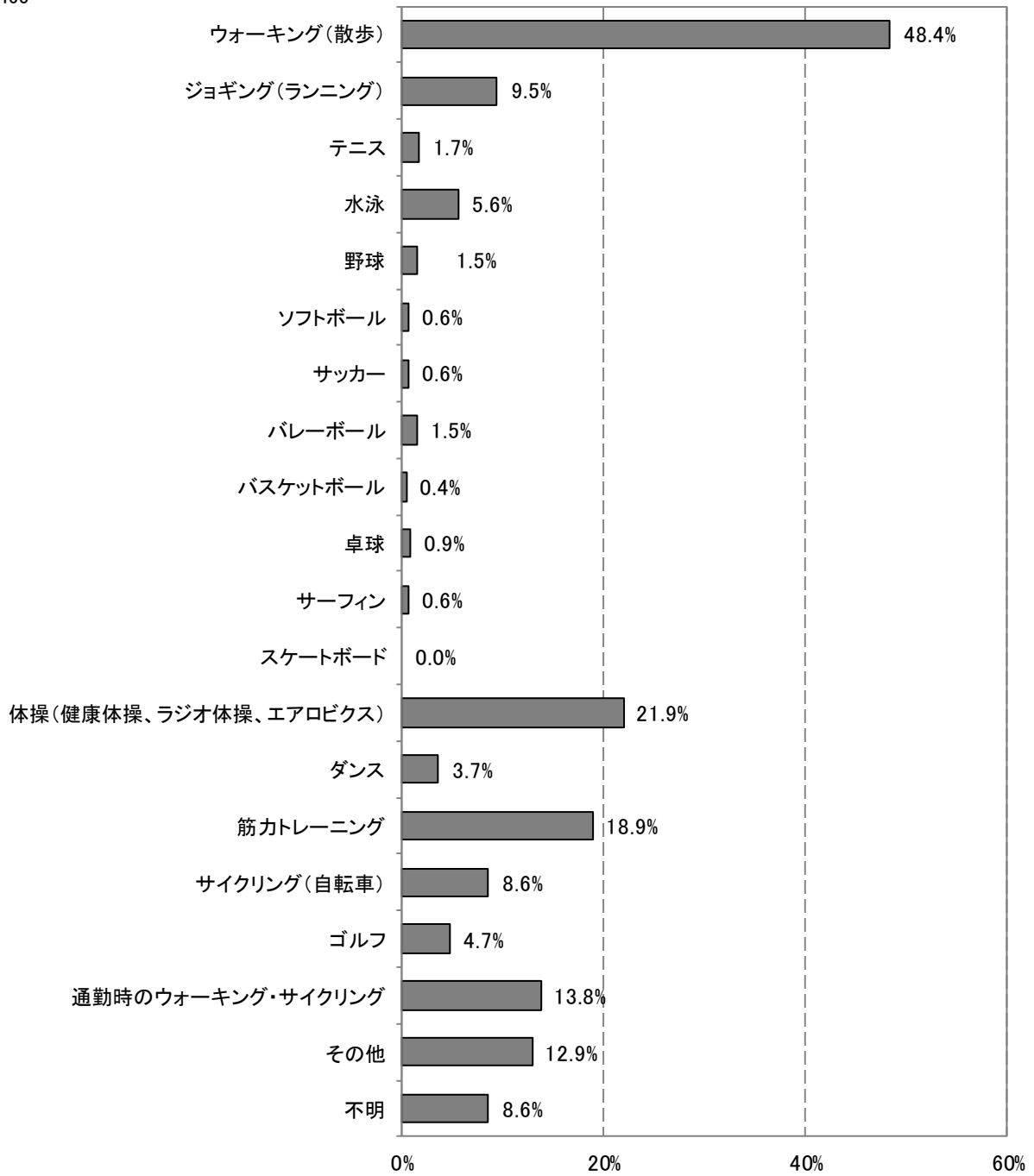
問55-2 行っている運動やスポーツ

問55-2 問55で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、週一回以上行っている運動やスポーツは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ウォーキング（散歩） | 11. サーフィン |
| 2. ジョギング（ランニング） | 12. スケートボード |
| 3. テニス | 13. 体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス） |
| 4. 水泳 | 14. ダンス |
| 5. 野球 | 15. 筋力トレーニング |
| 6. ソフトボール | 16. サイクリング（自転車） |
| 7. サッカー | 17. ゴルフ |
| 8. バレーボール | 18. 通勤時のウォーキング・サイクリング |
| 9. バasketボール | 19. その他 |
| 10. 卓球 | |

行っている運動やスポーツとして、最も多かった回答は「ウォーキング（散歩）」（48.4%）であり、他の運動やスポーツと比べ高い割合を示した。次いで、「体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）」（21.9%）、「筋力トレーニング」（18.9%）と続いた。

n=465



その他：「ヨガ」、「仕事で体を動かす」など

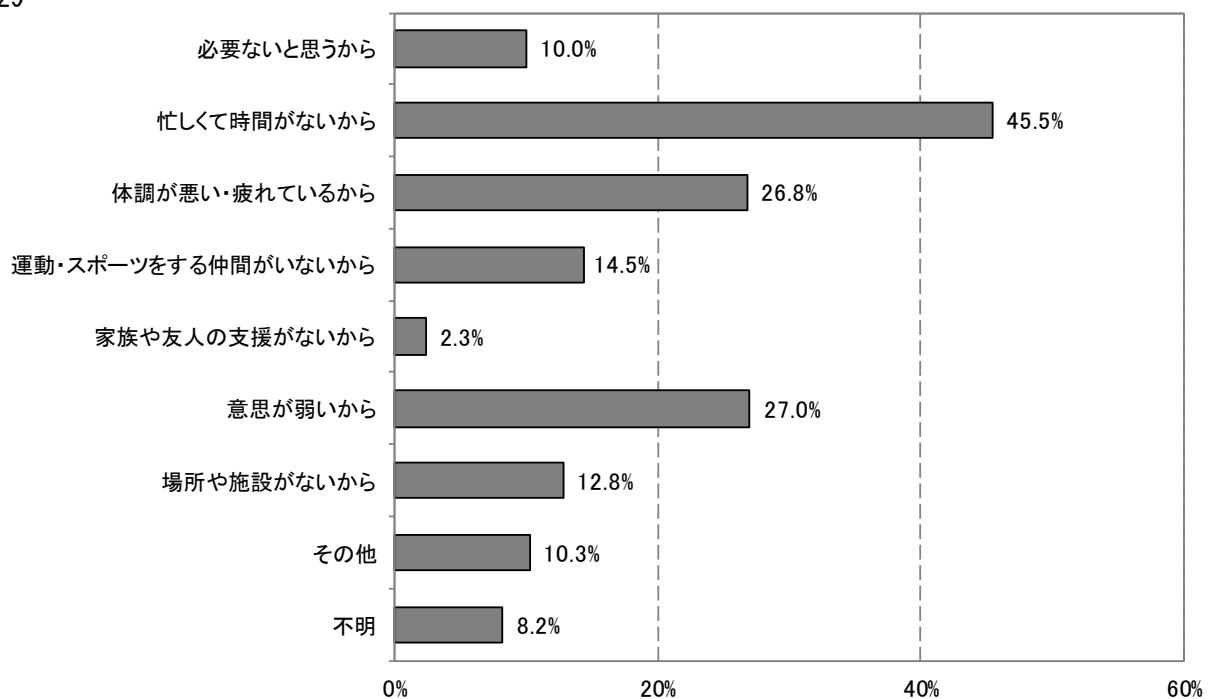
問55-3 運動やスポーツを行っていない理由

問55-3 問55で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 必要ないと思うから | 5. 家族や友人の支援がないから |
| 2. 忙しくて時間がないから | 6. 意思が弱いから |
| 3. 体調が悪い・疲れているから | 7. 場所や施設がないから |
| 4. 運動・スポーツをする仲間がないから | 8. その他 |

運動やスポーツを行っていない理由として、最も多かった回答は「忙しくて時間がないから」(45.5%)となった。次いで、「意思が弱いから」(27.0%)、「体調が悪い・疲れているから」(26.8%)と続いた。

n=429



その他：「体の状態が悪い」、「体を動かす仕事をしている」、「育児や介護で忙しい」など

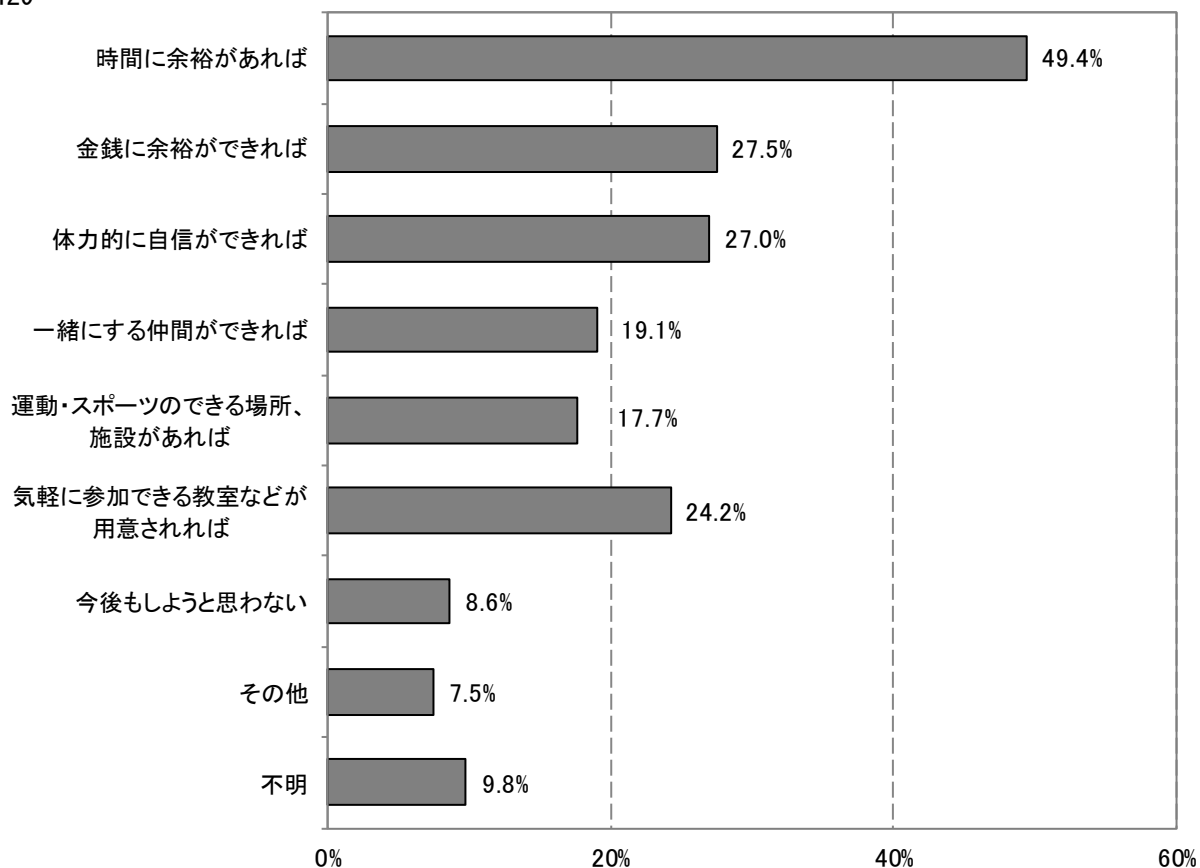
問55-4 今後、運動やスポーツをするための状況

問55-4 問55で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. 今後もしようと思わない
8. その他

今後、運動やスポーツをしようと思うための状況として、最も多かった回答は「時間に余裕があれば」(49.4%)となった。次いで、「金銭に余裕ができれば」(27.5%)、「体力的に自信ができれば」(27.0%)と続いた。

n=429



その他：「体の状態が良くなる」、「気持ちに余裕ができる」など

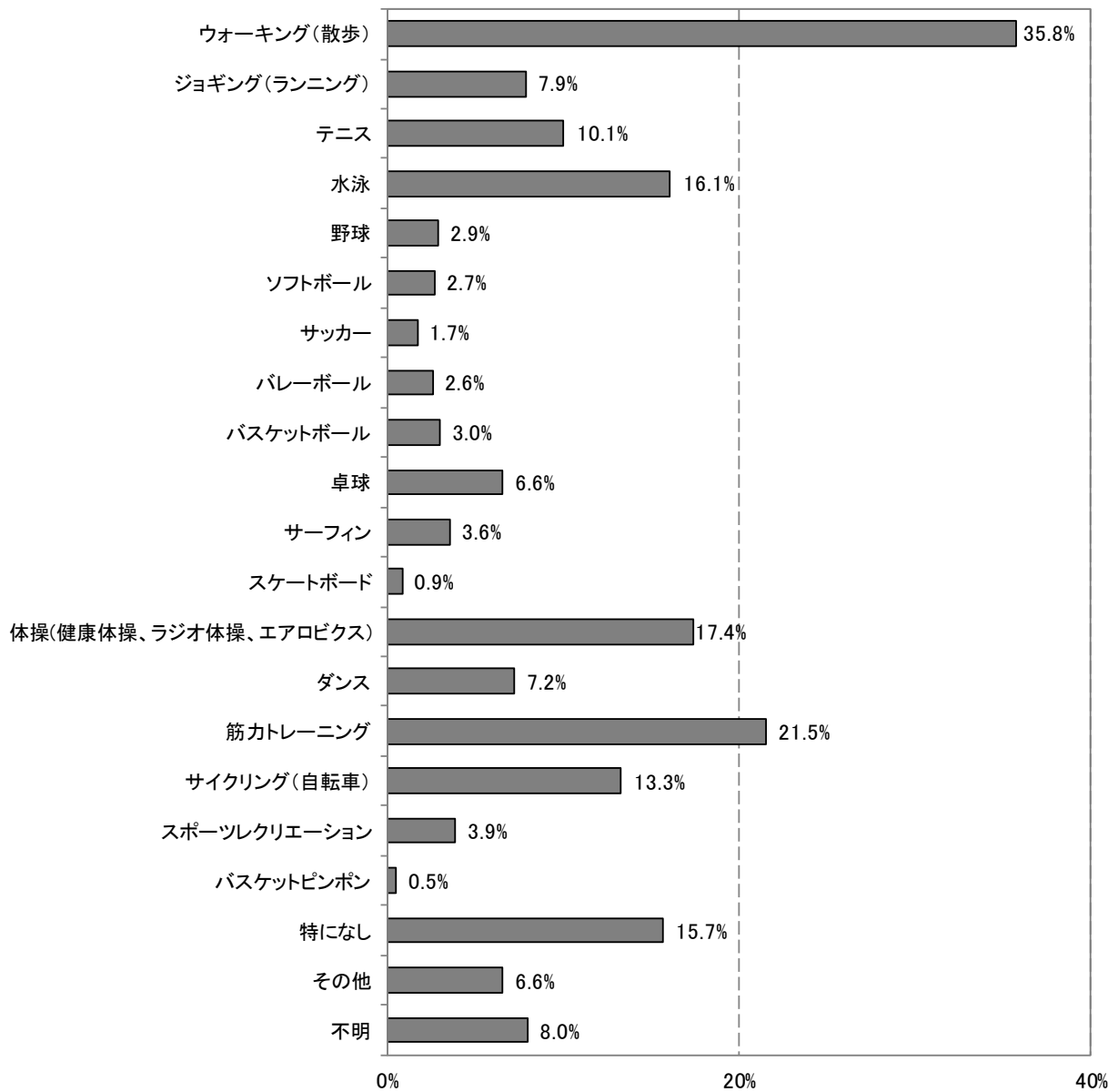
11. やってみたいスポーツや施設について

問56 これからやってみたい運動・スポーツ

問56 あなたは、やってみたい運動・スポーツはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ウォーキング（散歩） | 11. サーフィン |
| 2. ジョギング（ランニング） | 12. スケートボード |
| 3. テニス | 13. 体操(健康体操、ラジオ体操、エアロビクス) |
| 4. 水泳 | 14. ダンス |
| 5. 野球 | 15. 筋力トレーニング |
| 6. ソフトボール | 16. サイクリング（自転車） |
| 7. サッカー | 17. スポーツレクリエーション |
| 8. バレーボール | 18. バスケットピンポン |
| 9. バスケットボール | 19. 特になし |
| 10. 卓球 | 20. その他 |

これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツで最も多かった回答が「ウォーキング（散歩）」（35.8%）となった。次いで、「筋力トレーニング」（21.5%）、「体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）」（17.4%）と続いた。



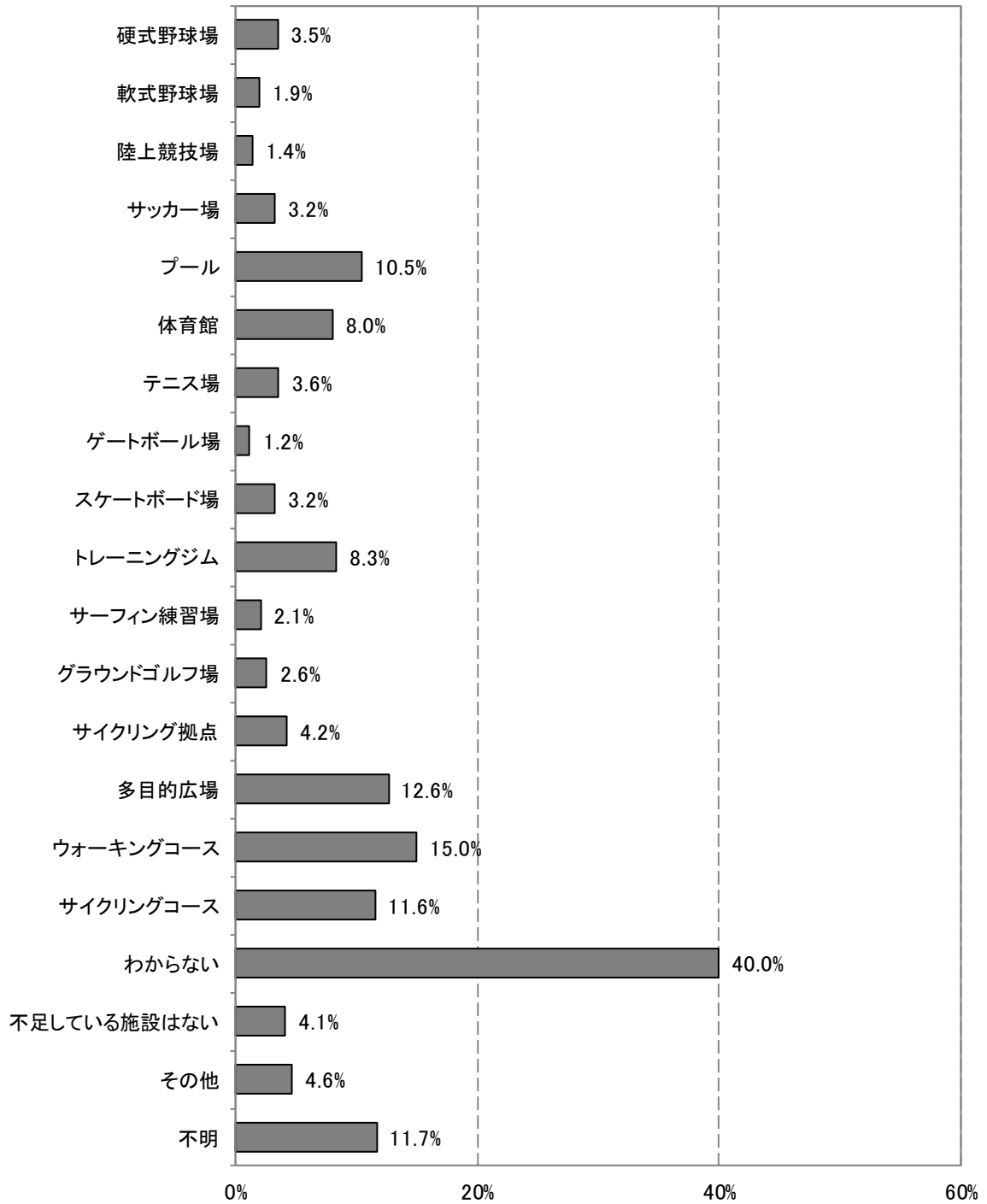
その他：「ヨガ、ピラティス」、「バドミントン」、「ボルダリング」など

問57 不足している市内のスポーツ施設

問57 あなたは、市内のスポーツ施設について不足していると思われるものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 硬式野球場 | 11. サーフィン練習場 |
| 2. 軟式野球場 | 12. グラウンドゴルフ場 |
| 3. 陸上競技場 | 13. サイクリング拠点 |
| 4. サッカー場 | 14. 多目的広場 |
| 5. プール | 15. ウォーキングコース |
| 6. 体育館 | 16. サイクリングコース |
| 7. テニス場 | 17. わからない |
| 8. ゲートボール場 | 18. 不足している施設はない |
| 9. スケートボード場 | 19. その他 |
| 10. トレーニングジム | |

不足している市内のスポーツ施設として、最も多かった回答が「わからない」(40.0%)であったが、それ以外で最も多かった回答は「ウォーキングコース」(15.0%)となった。次いで「多目的広場」(12.6%)、「サイクリングコース」(11.6%)と続いた。



その他：「アイススケート場」、「総合運動施設」、「パークゴルフ場」、「バスケットボールコート」など

12. あなたの身の回りの状況やお考えについて

問58 ご自身の状況や考え方について

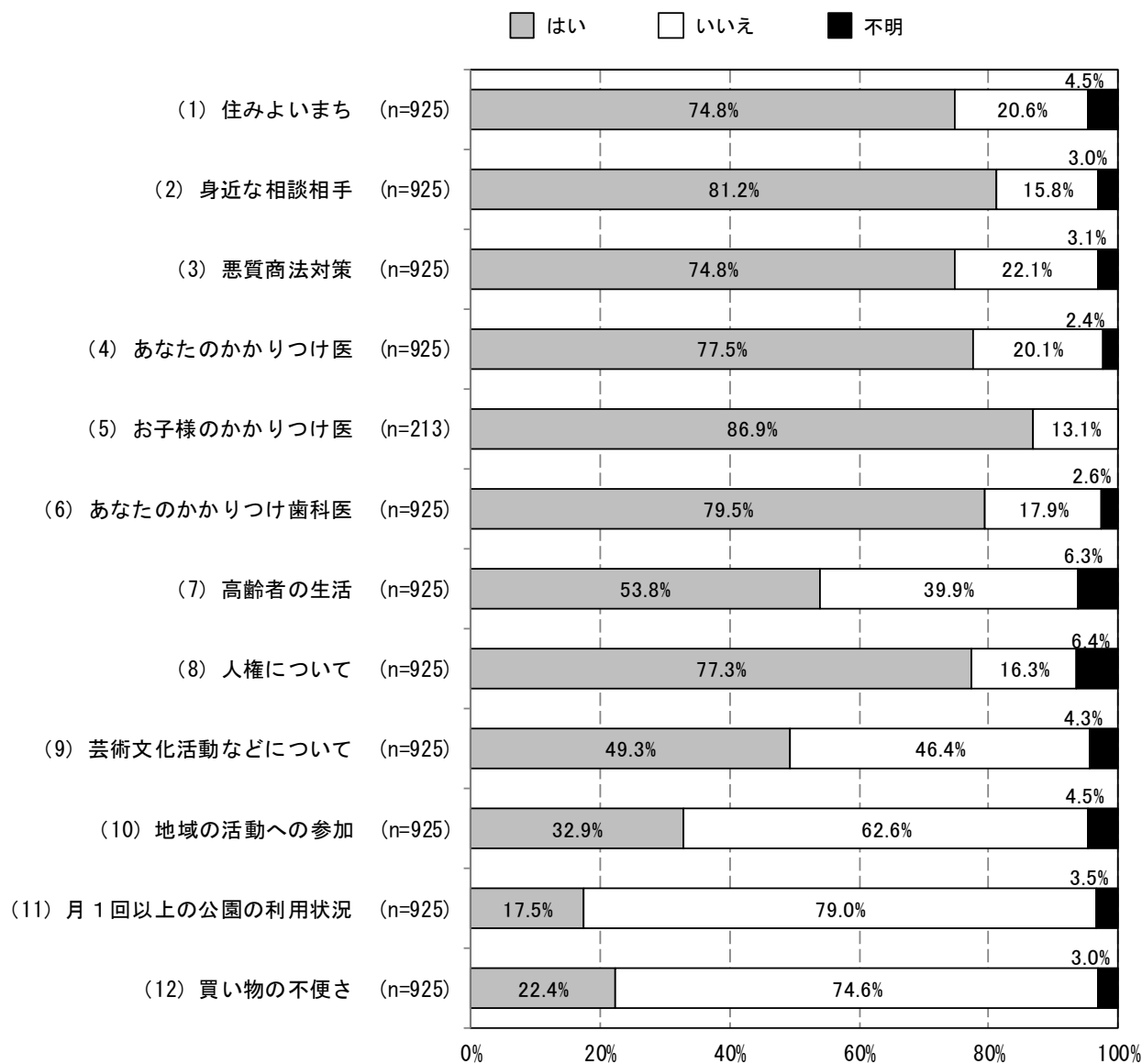
問58 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
- (4) あなたの、かかりつけ医はありますか？
- (5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0~14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ)
- (6) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？
- (7) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (9) 日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？
- (10) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？
- (11) 公園を月1回以上利用されますか？
- (12) あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

1. はい

2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の割合が最も高い質問は「お子様の、かかりつけ医はありますか？」で86.9%となっている。他に「はい」が70%を超えるのは、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？」(81.2%)、「あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？」(79.5%)、「あなたの、かかりつけ医はありますか？」(77.5%)、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？」(77.3%)「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？」(74.8%)、「あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？」(74.8%)、の計7項目である。



13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

問59 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

問59 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

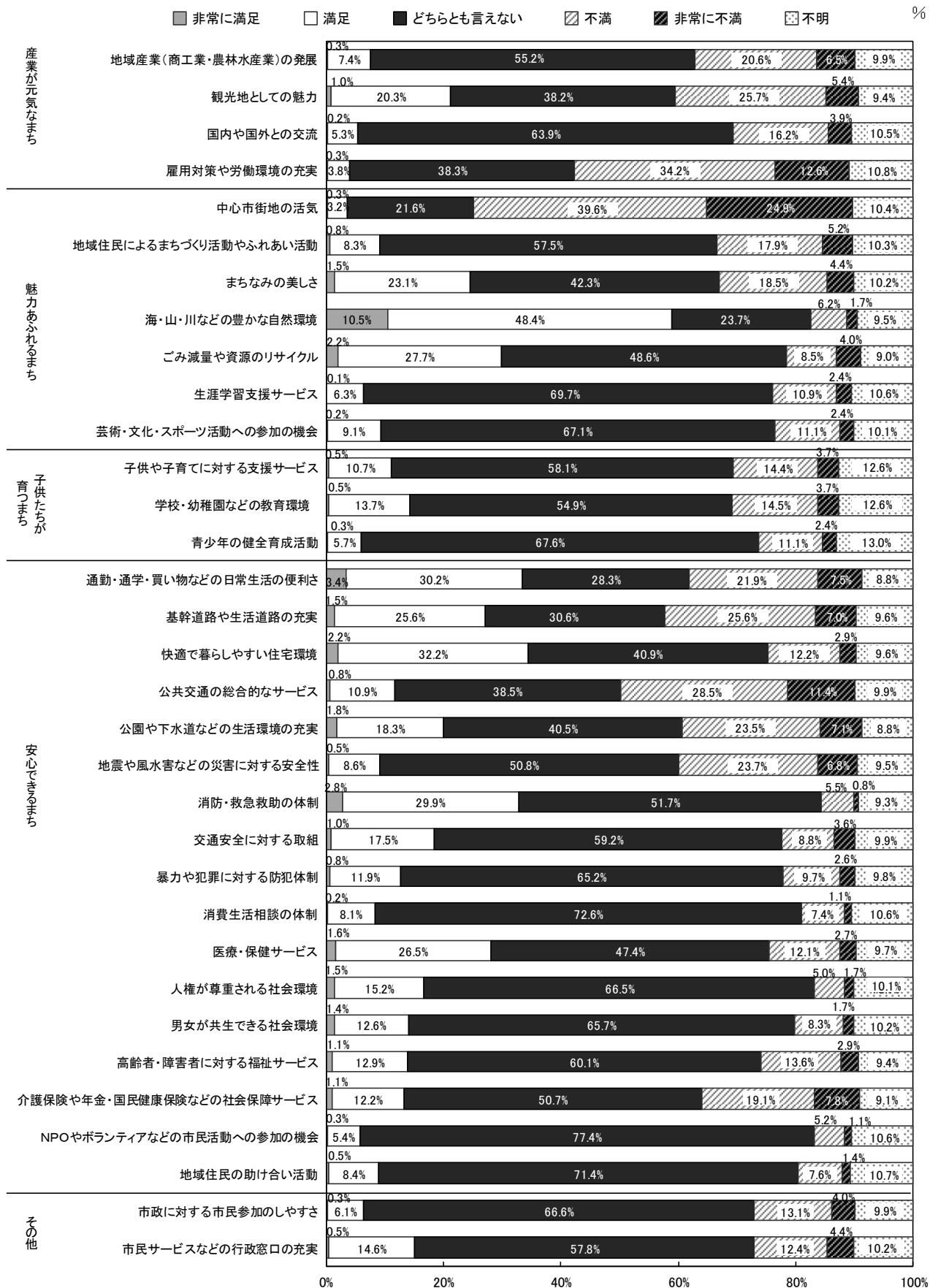
満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満

重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない

5. 全く重要ではない

安定した雇用を生み出す産業が元気なまち (以下「産業が元気なまち」という)	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち (以下「魅力あふれるまち」という)	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	ごみ減量や資源のリサイクル
	生涯学習支援サービス
子供たちがいきいきと育つまち (以下「子供たちが育つまち」という)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち (以下「安心できるまち」という)	青少年の健全育成活動
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公共交通の総合的なサービス
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	
その他	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
	地域住民の助け合い活動
	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】



【満足度・不満足度】

<全体>

和歌山市の取組の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）の高い項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（58.9%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（34.4%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（33.6%）、「消防・救急救助の体制」（32.7%）、「ごみ減量や資源のリサイクル」（29.9%）となっている。「魅力あふれるまち」と「安心できるまち」に係わる項目の満足度が高めとなっている。

不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（64.5%）、「雇用対策や労働環境の充実」（46.8%）、「公共交通の総合的なサービス」（39.9%）、「基幹道路や生活道路の充実」（32.6%）、「観光地としての魅力」（31.1%）となっている。「魅力あふれるまち」と「産業が元気なまち」と「安心できるまち」に係わる項目の不満足度が高めとなっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=925)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 58.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 34.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.6%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 32.7%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 29.9%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=925)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 64.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.8%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 39.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 32.6%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 31.1%

<男女別>

満足度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位が「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。また、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」「快適で暮らしやすい住宅環境」が共通して高めとなっている。

不満足度の上位5位について、上位3位は全体と同様の順位となっている。男性は「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（34.0%）、女性は「地震や風水害などの災害に対する安全性」（30.4%）の順位が高めとなっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=403)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 56.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 30.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 30.3%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 28.1%
女性 (n=512)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 61.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 38.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.4%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 31.2%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=403)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 67.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 52.1%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 39.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 35.2%	・地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【産業が元気なまち】 ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.0%
女性 (n=512)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 63.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 40.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 30.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 30.4%

注：同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

<年代別満足度>

満足度の上位5位の項目について年代別にみると、全ての年代で1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位は「18～19歳」から「40～49歳」にて「快適で暮らしやすい住宅環境」、「50～59歳」と「60～69歳」にて「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「70～79歳」にて「消防・救急救助の体制」、「80歳以上」にて「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」となっている。「20～29歳」では「観光地としての魅力」、「まちなみの美しさ」が他の年代よりも上位となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=10)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 90.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 70.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 50.0%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 ・人権が尊重される社会環境 【安心できるまち】 ・男女が共生できる社会環境 【安心できるまち】 40.0%	
20～29歳 (n=53)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 73.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 47.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 37.8%		・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.8%
30～39歳 (n=89)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 69.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 48.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.7%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.4%	
40～49歳 (n=143)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 68.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 42.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 35.0%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 31.5%
50～59歳 (n=161)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 59.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 27.3%
60～69歳 (n=198)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 55.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.3%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.8%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 32.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 30.3%
70～79歳 (n=199)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 53.3%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 37.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.7%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 33.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.6%
80歳以上 (n=65)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 36.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.3%		・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 30.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 26.2%

<年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別にみると、1位は「20～29歳」以外の年代にて「中心市街地の活気」となっている。また、「20～29歳」の1位は「雇用対策や労働環境の充実」、2位は「中心市街地の活気」となっている。また、「20～29歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「50～59歳」では「公園や下水道などの生活環境の充実」が上位となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=10)	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 ・地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 40.0%				・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 30.0%
20～29歳 (n=53)	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 58.5%	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 54.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 45.3%		・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 43.4%
30～39歳 (n=89)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 69.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 57.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 48.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 41.6%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 40.4%
40～49歳 (n=143)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 77.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 56.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.7%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 37.1%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 32.9%
50～59歳 (n=161)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 69.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.9%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.4%		・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 39.2%
60～69歳 (n=198)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 37.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 37.4%
70～79歳 (n=199)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 57.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 37.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 32.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 28.1%	・地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動 【魅力あふれるまち】 23.6%
80歳以上 (n=65)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 52.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 29.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 26.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 23.1%	

<地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」と共通している。「快適で暮らしやすい住宅環境」は、「東南部」、「河西部」「河北部」にて2位となっている。「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」は「東南部」以外で上位となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=201)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 59.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.8%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 39.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 31.4%
南部 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 64.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.7%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 34.7%	
東部 (n=142)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 52.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 28.9%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 26.0%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 24.6%	
東南部 (n=86)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 52.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 32.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 29.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 27.9%	
河西部 (n=245)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 63.3%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 38.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.5%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 31.9%
河北部 (n=99)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 61.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 35.3%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.4%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力あふれるまち】 32.3%

<地域別不満度>

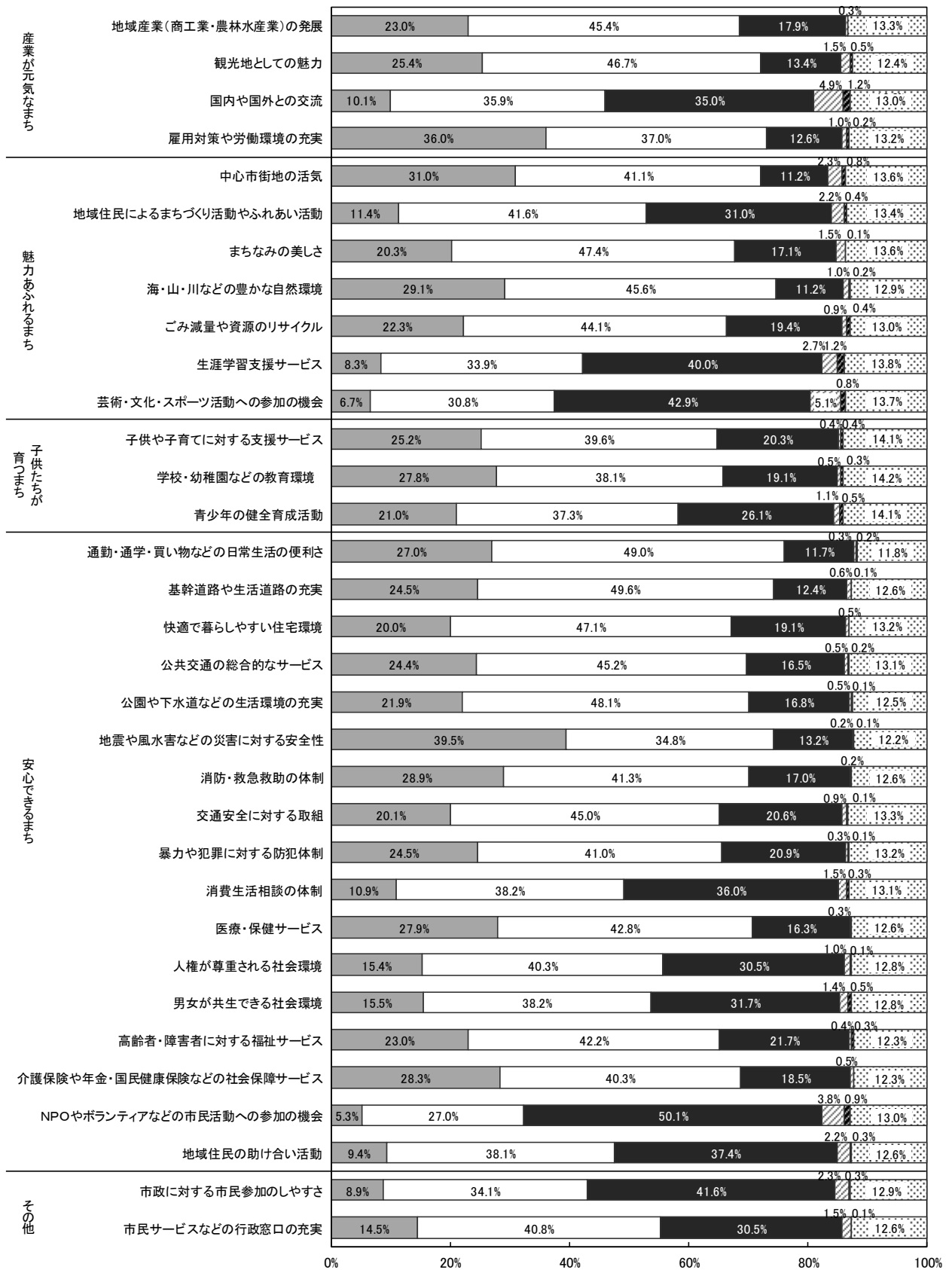
不満度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」、2位は「雇用対策や労働環境の充実」となっている。また、「公共交通の総合的なサービス」を見ると、「東南部」で2位、他の地域は3位となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=201)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 44.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 33.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 29.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 28.9%
南部 (n=98)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 67.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.9%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 40.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.7%
東部 (n=142)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 59.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 49.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 46.5%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 40.9%
東南部 (n=86)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 58.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 41.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 【安心できるまち】 40.7%
河西部 (n=245)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 68.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 51.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 41.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 32.2%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 29.8%
河北部 (n=99)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 48.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.4%	

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明
 %



【重要度】

<全体>

和歌山市の取組の重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた計）の高い項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（76.0%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（74.7%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（74.3%）、「基幹道路や生活道路の充実」（74.1%）、「雇用対策や労働環境の充実」（73.0%）となった。“安心できるまち”に係わる項目の重要度が高めとなっている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=925)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 74.7%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 74.3%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.0%

<男女別>

重要度の上位5位について男女別にみると、男性の1位は「雇用対策や労働環境の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「基幹道路や生活道路の充実」となっている。また、女性の5位は「医療・保健サービス」と上位になっている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=403)	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 75.2%			・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 74.4%	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 73.7%
女性 (n=512)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 77.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 76.2%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.5%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 73.4%

<年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別にみると、「海・山・川などの豊かな自然環境」が1位となっている年代は「30～39歳」以下の各年代となった。「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっている年代は、「20～29歳」、「50～59歳」、「70～79歳」となっている。「30～39歳」の2位は「学校・幼稚園などの教育環境」となっている。また、「70～79歳」以上の年代にて「消防・救急救助の体制」が上位となっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=10)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 ・中心市街地の活気 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 ・まちなみの美しさ <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 ・子供や子育てに対する支援サービス <ul style="list-style-type: none"> 【子供たちが育つまち】 ・学校・幼稚園などの教育環境 <ul style="list-style-type: none"> 【子供たちが育つまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・公共交通の総合的なサービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・交通安全に対する取組 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・人権が尊重される社会環境 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・男女が共生できる社会環境 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】
20～29歳 (n=53)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 		<ul style="list-style-type: none"> ・地震や風水害などの災害に対する安全性 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	
30～39歳 (n=89)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・幼稚園などの教育環境 <ul style="list-style-type: none"> 【子供たちが育つまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 ・子供や子育てに対する支援サービス <ul style="list-style-type: none"> 【子供たちが育つまち】 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】
40～49歳 (n=143)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活気 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】
50～59歳 (n=161)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の総合的なサービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】
60～69歳 (n=198)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や風水害などの災害に対する安全性 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】
70～79歳 (n=199)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力あふれるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急救助の体制 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】
80歳以上 (n=65)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急救助の体制 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 <ul style="list-style-type: none"> 【産業が元気なまち】 ・医療・保健サービス <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 		<ul style="list-style-type: none"> ・公園や下水道などの生活環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 <ul style="list-style-type: none"> 【安心できるまち】 	

<地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別にみると、「海・山・川などの豊かな自然環境」が1位となっている地域は「南部」、「東部」、「河西部」となった。また、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となった地域は「中心部」、「東部」となった。「南部」と「東部」以外の地域では「地震や風水害などの災害に対する安全性」が上位に入っている。

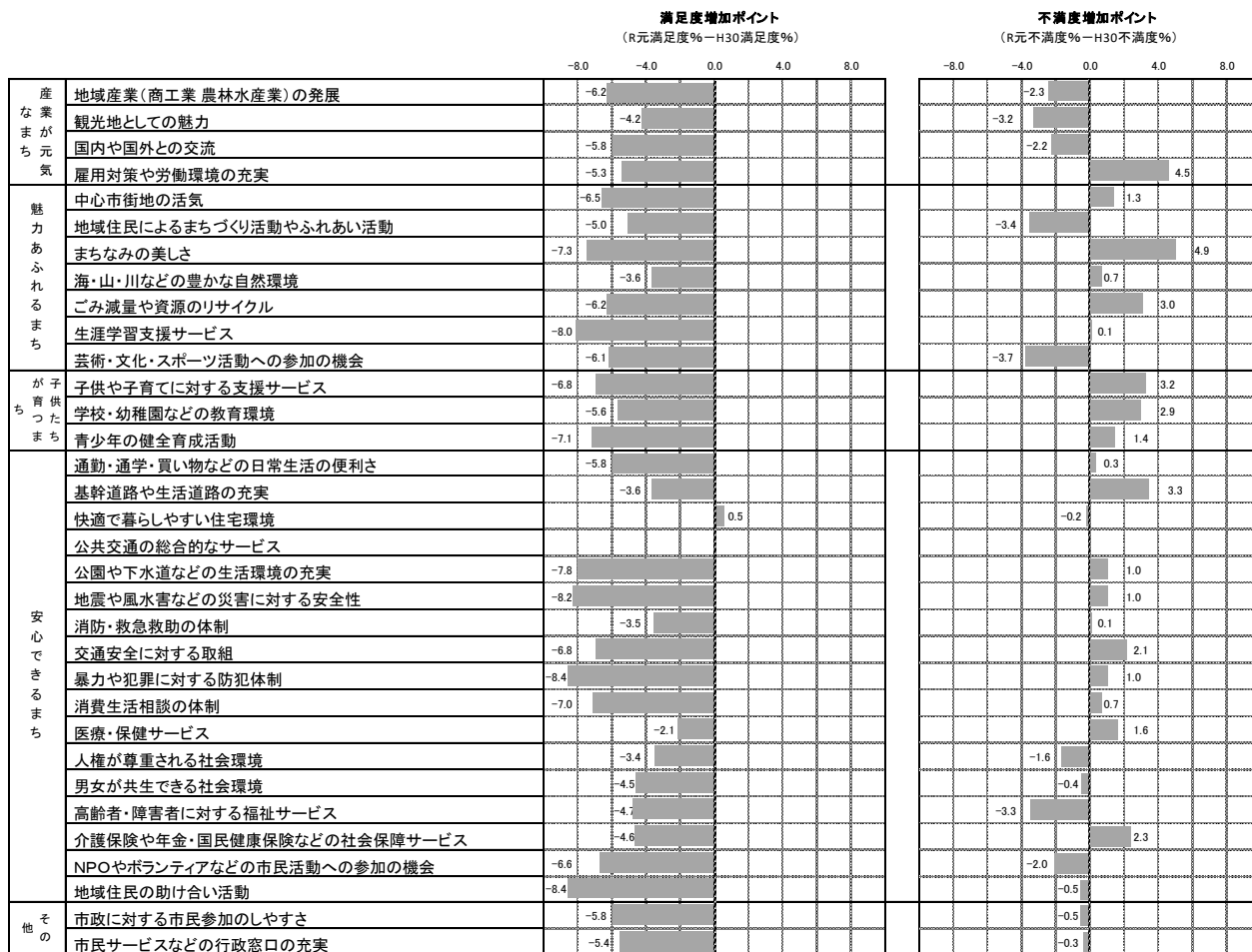
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=201)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 82.1%	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 78.1%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 77.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 77.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 74.2%
南部 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.6%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 74.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【安心できるまち】 74.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 72.5%
東部 (n=142)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 77.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 72.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.9%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 73.2%
東南部 (n=86)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 73.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 72.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【安心できるまち】 74.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 69.8%
河西部 (n=245)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 76.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 82.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.3%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 74.2%
河北部 (n=99)	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 84.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 82.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 82.8%	・交通安全に対する取組 【安心できるまち】 81.8%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 80.8%

【満足度：前年度の比較】

平成30年度と令和元年度の満足度の変化は、「快適で暮らしやすい住宅環境」の満足度が増加したが、それ以外は減少している。

不満度の変化は、「まちなみの美しさ」、「雇用対策や労働環境の充実」が4ポイント以上増加している。また、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「高齢者・障害者に対する福祉サービス」、「観光地としての魅力」が3ポイント以上減少している。

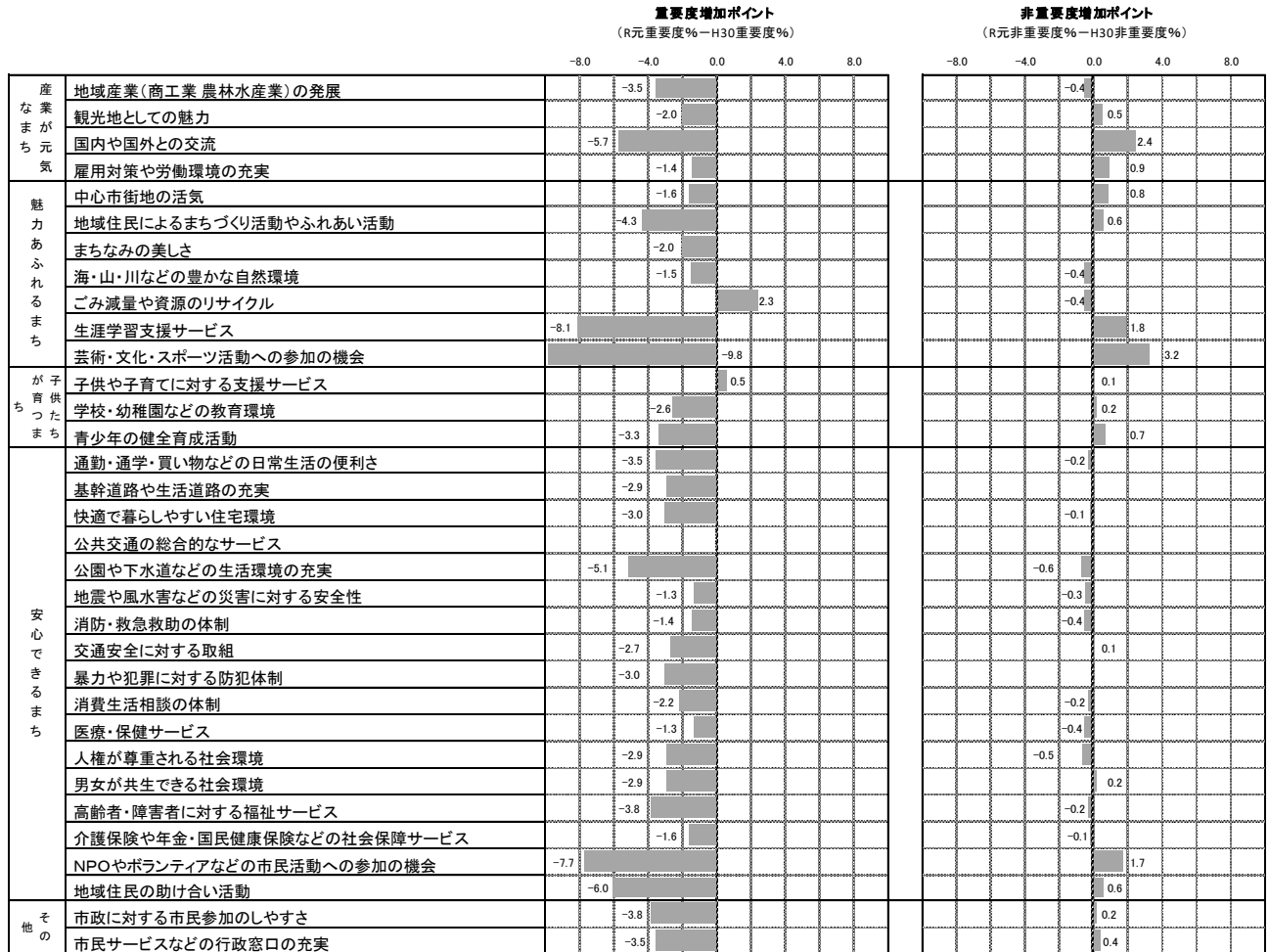


※「公共交通の総合的なサービス」は平成30年度の調査項目になかったため、棒グラフによる表示は行わないものとする。

【重要度：前年度の比較】

平成30年度と令和元年度の重要度の変化は、「ごみ減量や資源のリサイクル」「子供や子育てに対する支援サービス」が増加している。また、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」、「生涯学習支援サービス」は8ポイント以上減少している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」を合わせた計）については、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」が3ポイント以上増加する結果となった。



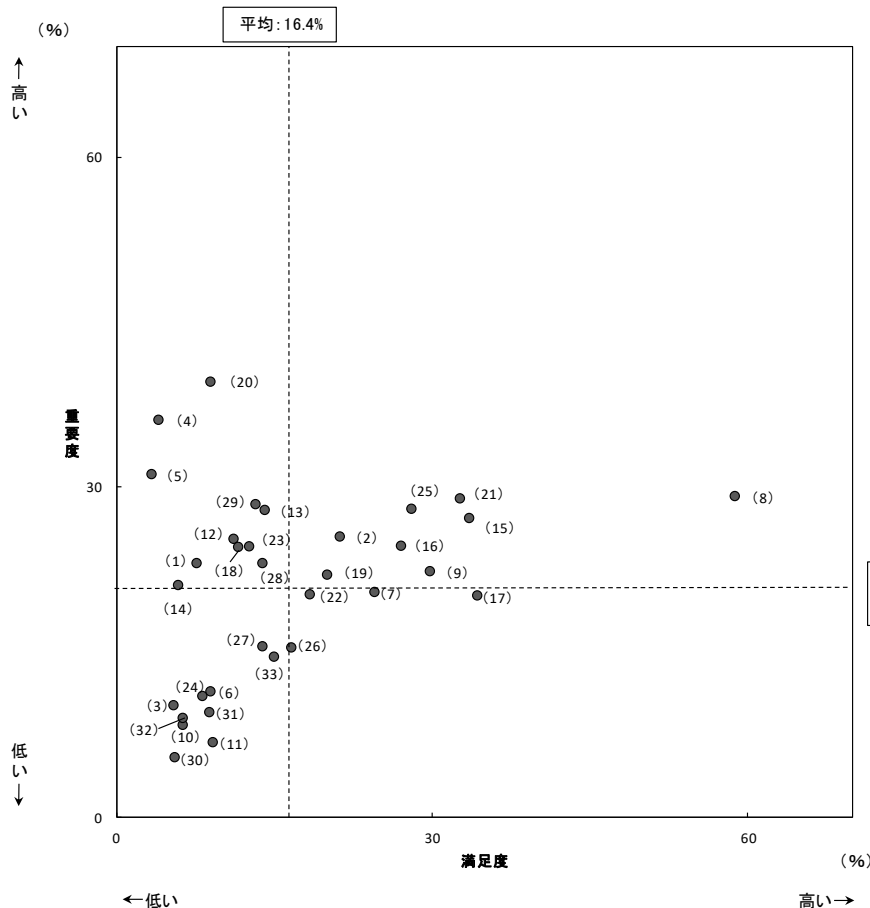
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(20) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(5) 中心市街地の活気」、「(1) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(29) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(14) 青少年の健全育成活動」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(18) 公共交通の総合的なサービス」、「(23) 暴力や犯罪に対する防犯体制」の10項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(17) 快適で暮らしやすい住宅環境」の2項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	34.4	20.0
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	7.7	23.0	(18)	公共交通の総合的なサービス	11.7	24.4
(2)	観光地としての魅力	21.3	25.4	(19)	公園や下水道などの生活環境の充実	20.1	21.9
(3)	国内や国外との交流	5.5	10.1	(20)	地震や風水害などの災害に対する安全性	9.1	39.5
(4)	雇用対策や労働環境の充実	4.1	36.0	(21)	消防・救急救助の体制	32.7	28.9
(5)	中心市街地の活気	3.5	31.0	(22)	交通安全に対する取組	18.5	20.1
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	9.1	11.4	(23)	暴力や犯罪に対する防犯体制	12.7	24.5
(7)	まちなみの美しさ	24.6	20.3	(24)	消費生活相談の体制	8.3	10.9
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	58.9	29.1	(25)	医療・保健サービス	28.1	27.9
(9)	ごみ減量や資源のリサイクル	29.9	22.3	(26)	人権が尊重される社会環境	16.7	15.4
(10)	生涯学習支援サービス	6.4	8.3	(27)	男女が共生できる社会環境	14.0	15.5
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	9.3	6.7	(28)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	14.0	23.0
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	11.2	25.2	(29)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	13.3	28.3
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	14.2	27.8	(30)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	5.7	5.3
(14)	青少年の健全育成活動	6.0	21.0	(31)	地域住民の助け合い活動	8.9	9.4
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	33.6	27.0	(32)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.4	8.9
(16)	基幹道路や生活道路の充実	27.1	24.5	(33)	市民サービスなどの行政窓口の充実	15.1	14.5

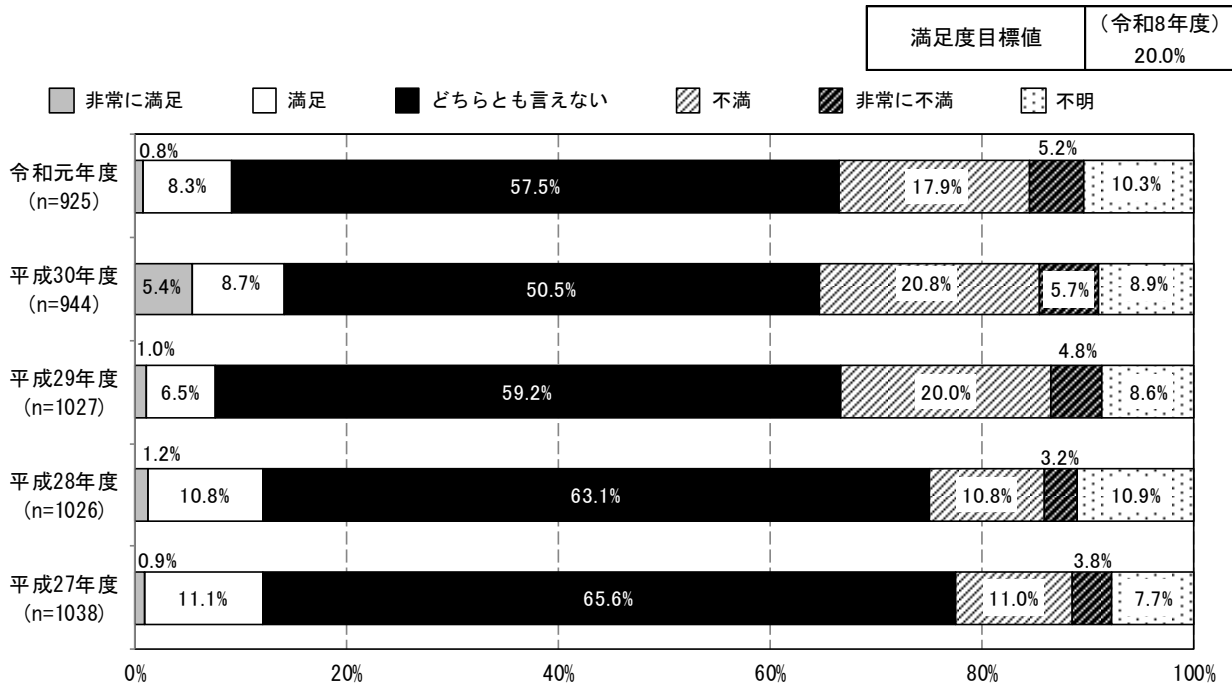


※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

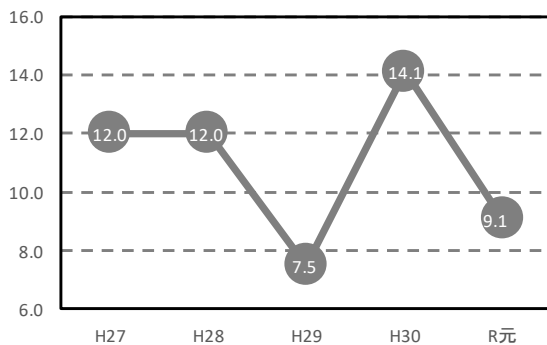
【満足度・不満度の指標の推移】

＜地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動＞

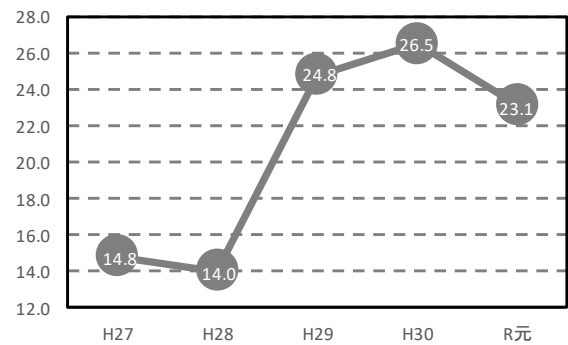
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度、不満度共に減少している。目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



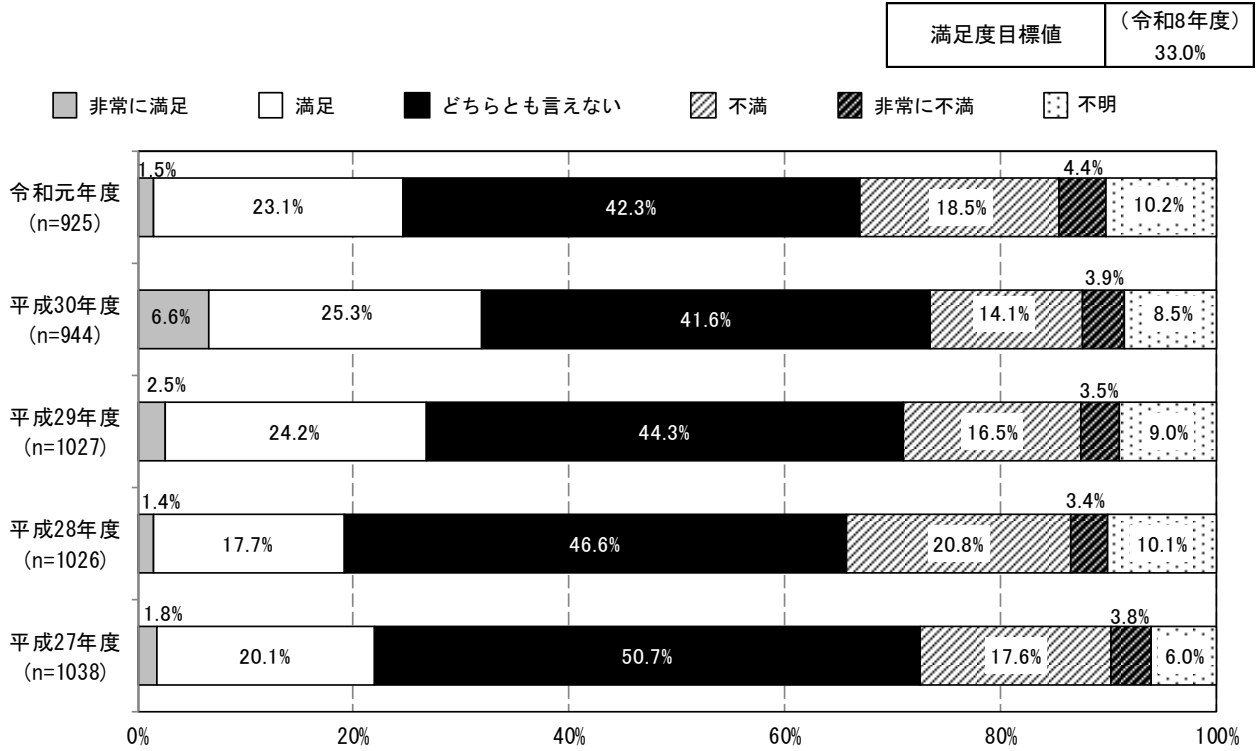
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



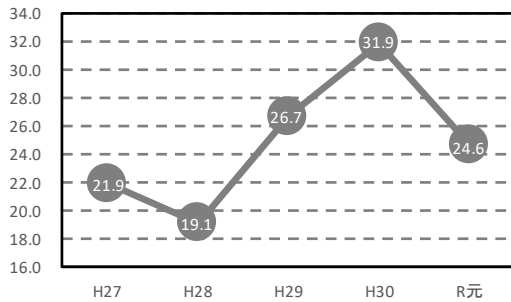
※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から令和8年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

<まちなみの美しさ>

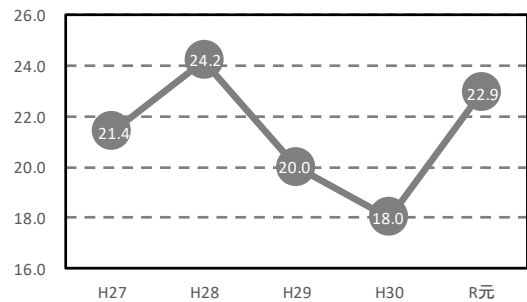
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し不満度が増加していることから、新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりの強化を図る必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

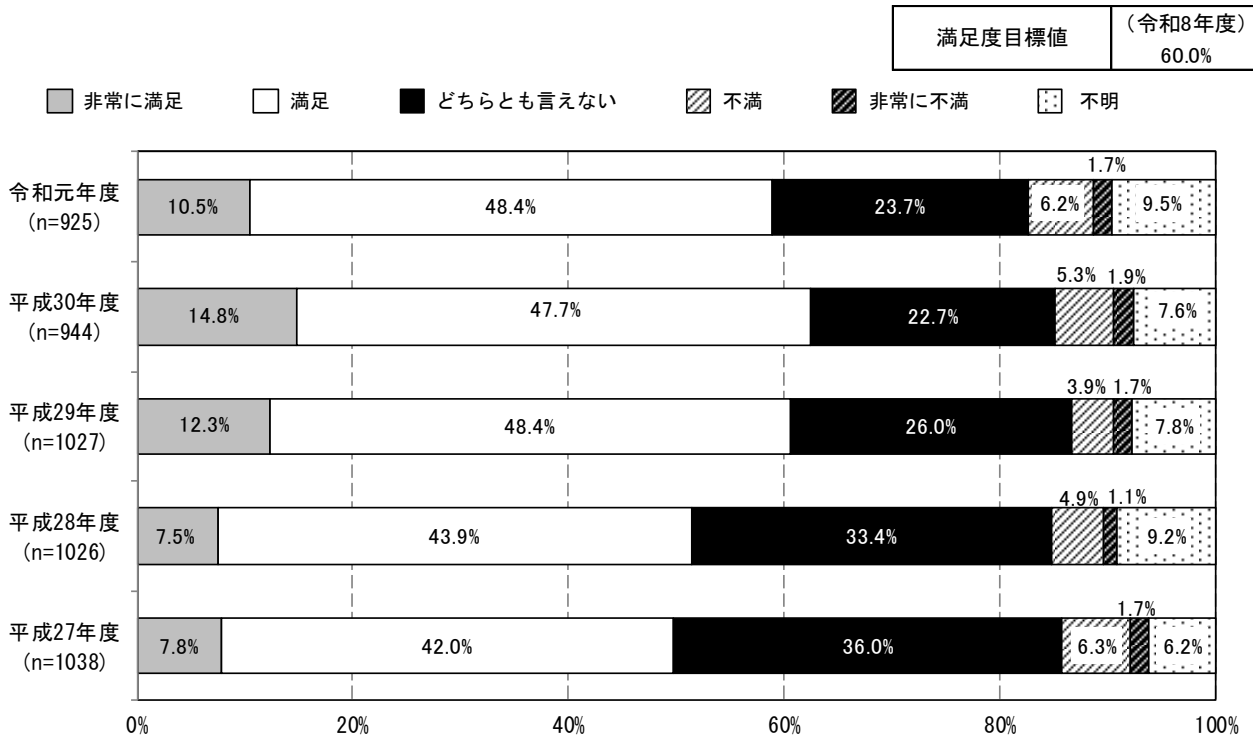


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

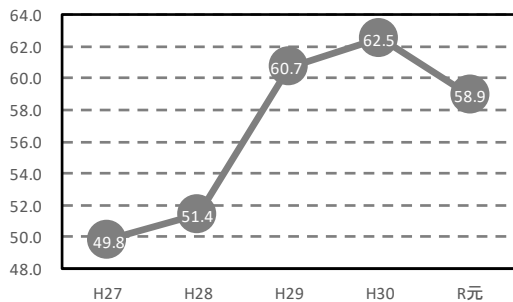


<海・山・川などの豊かな自然環境>

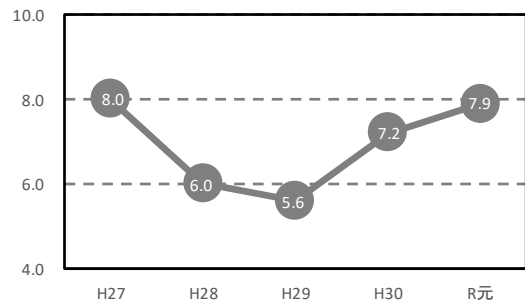
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少したことで、目標値が未達となった。また、不満度が増加していることから、さらに市民や事業者の環境保全意識を向上させ、環境にやさしい生活や事業が行われるよう、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに努めていく必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



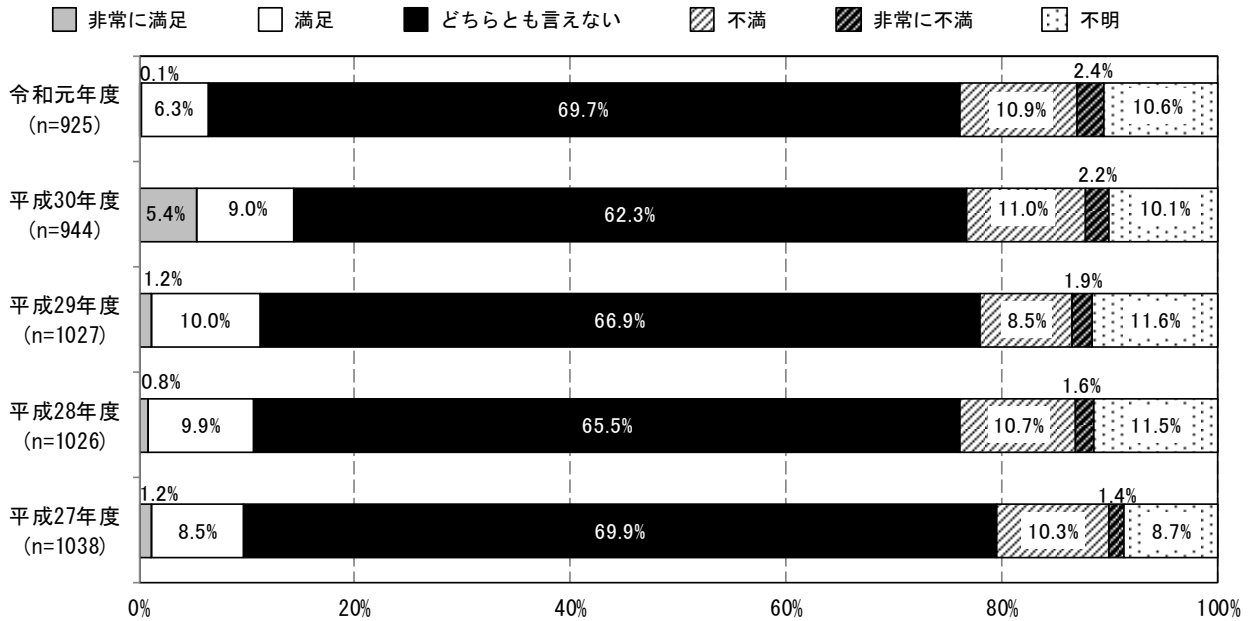
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



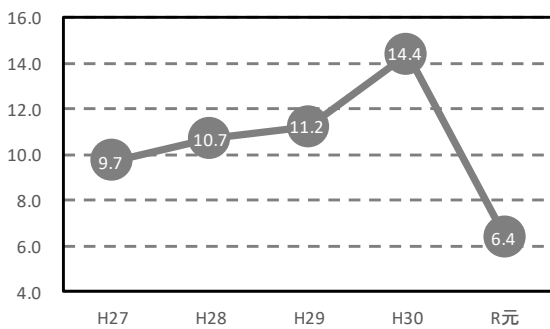
<生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し、不満度が増加していることから、目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努める必要があると思われる。

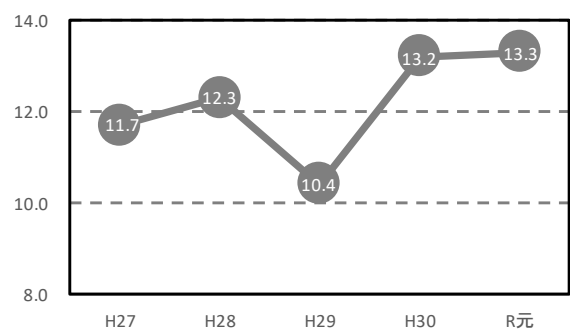
満足度目標値	(令和8年度) 17.7%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

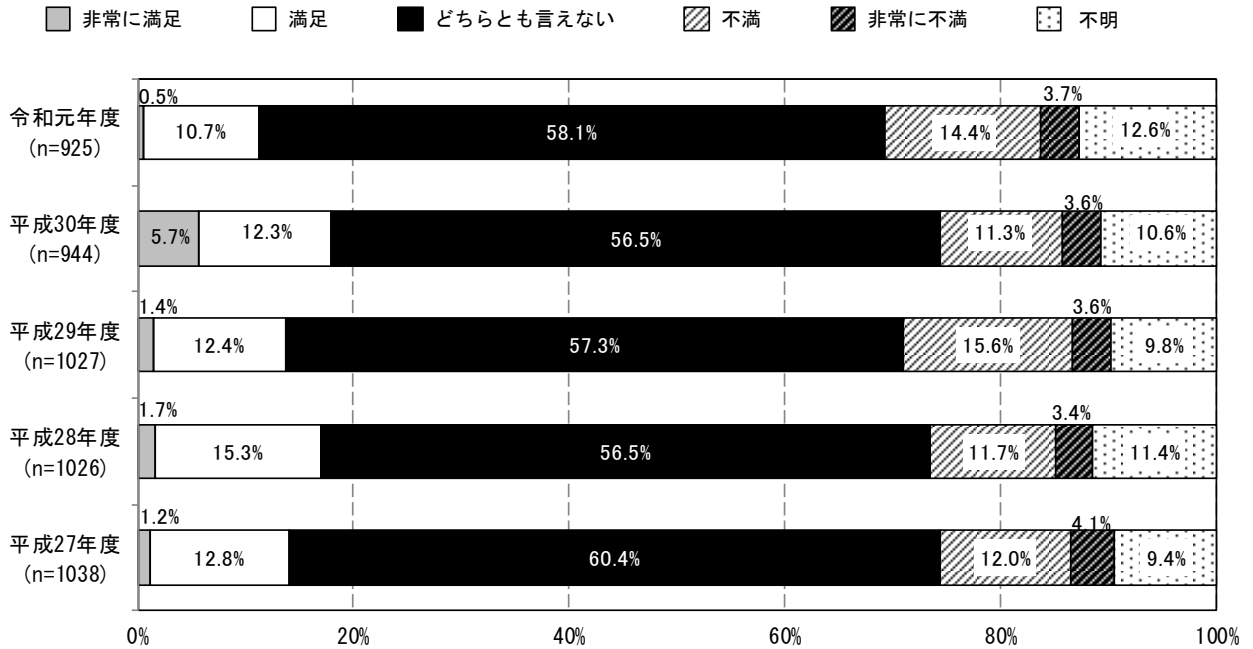


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

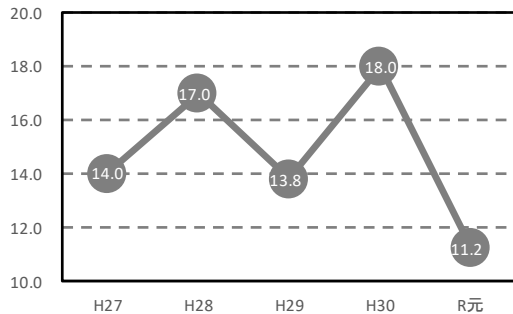


<子供や子育てに対する支援サービス>

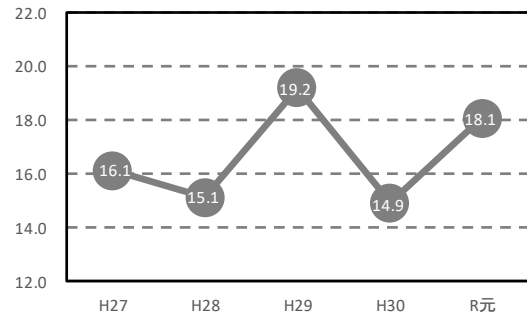
全体の回答では、満足度が減少し、不満度が増加している。0～14歳のお子様がいる方だけの回答では満足度の減少と不満度の増加がより大きく見られた。今後、より安心して子供を育てていくことのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。



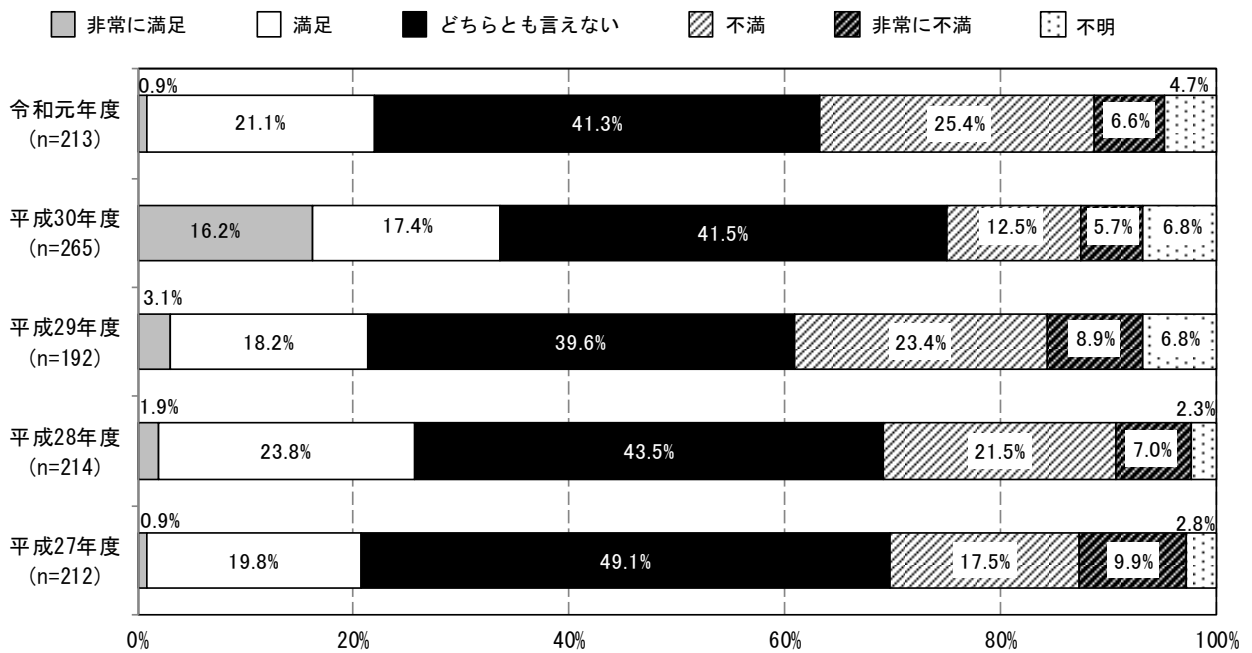
満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



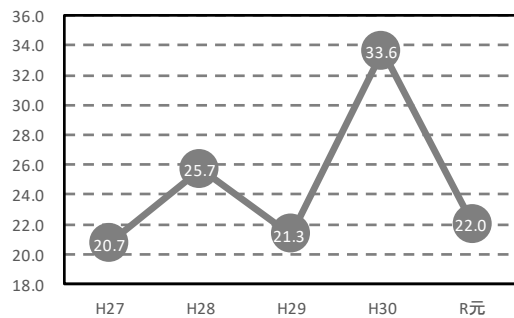
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



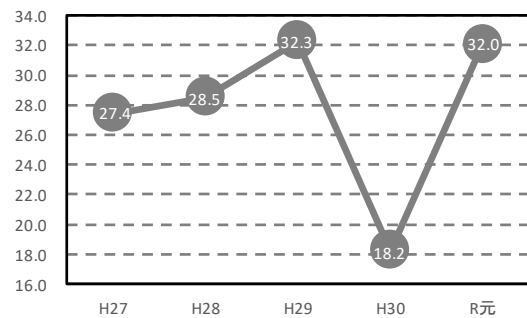
【0～14歳のお子様がいる方への回答】



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



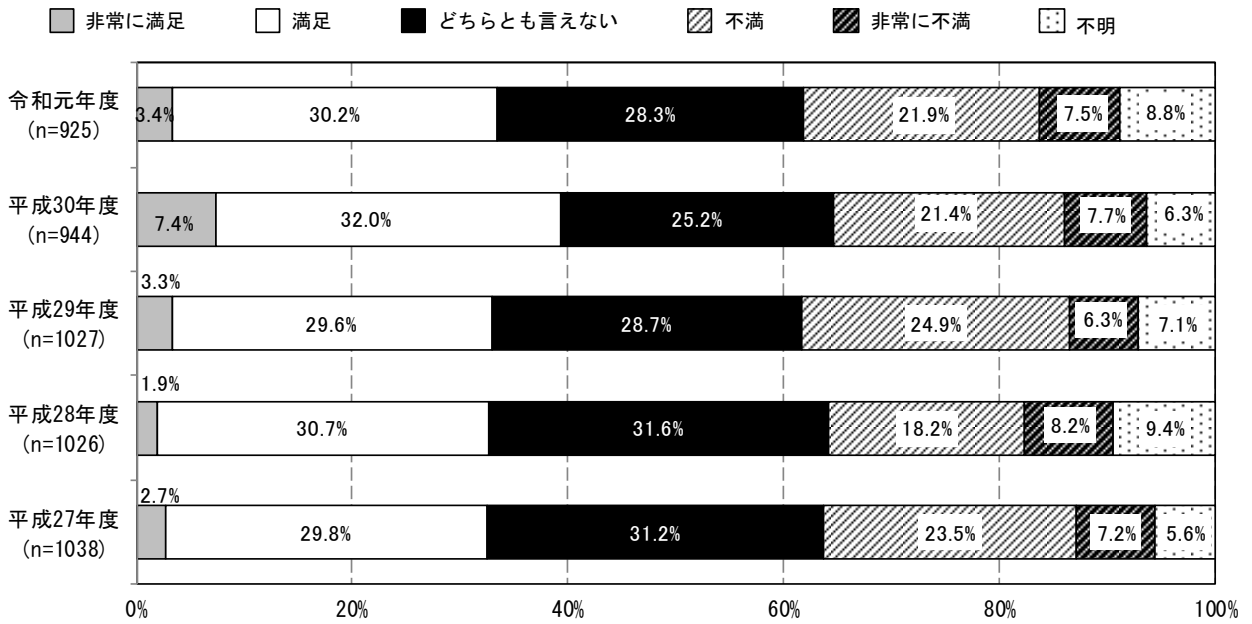
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



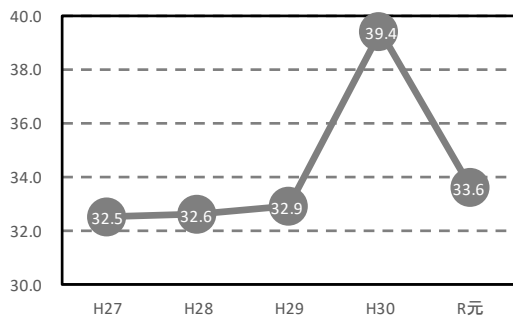
<通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し、不満度は増加しており、目標値も未達となった。今後も中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

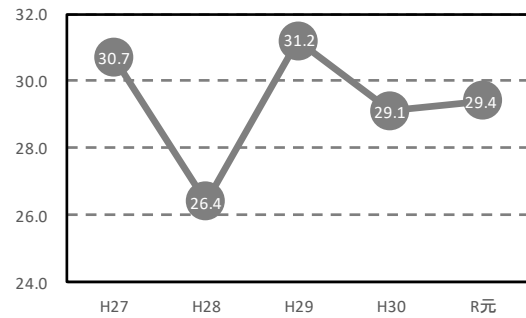
満足度目標値	(令和8年度) 35.5%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



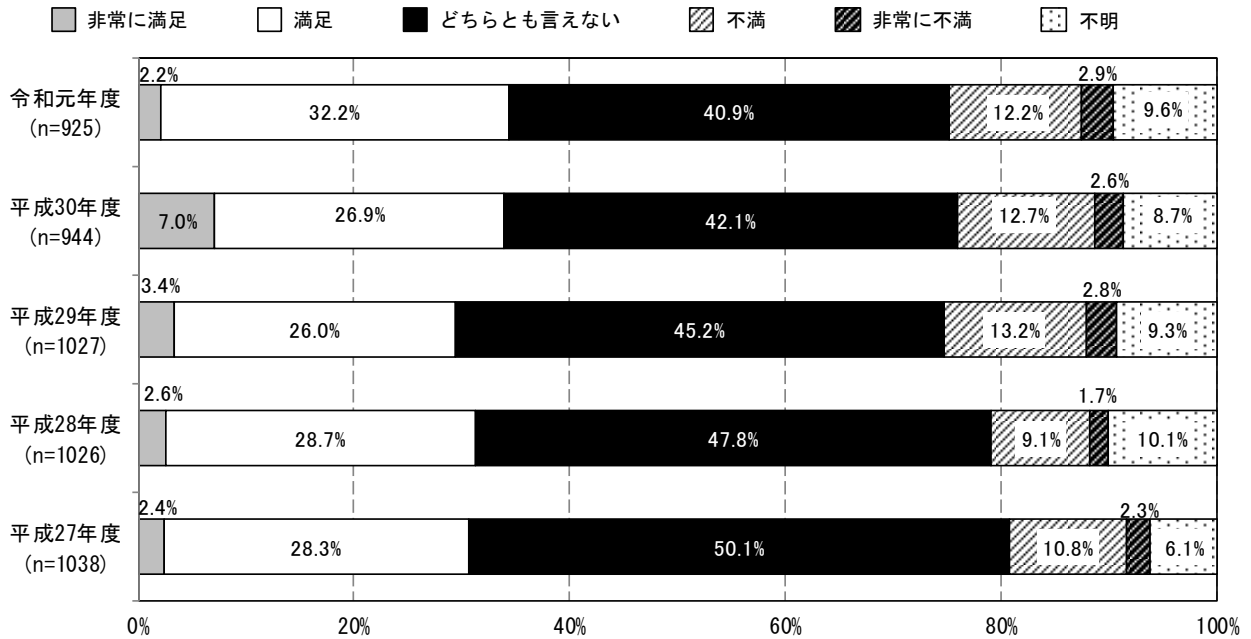
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



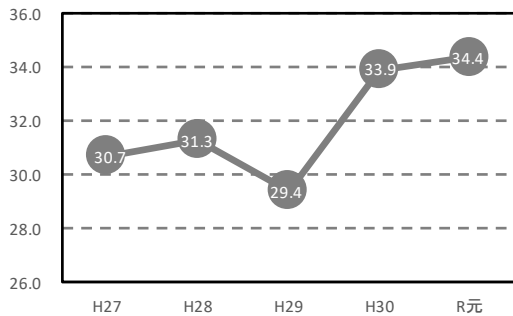
<快適で暮らしやすい住宅環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加し、不満度が減少していることから、引き続き、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。

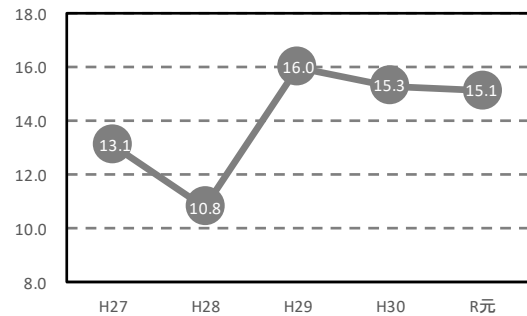
満足度目標値	(令和8年度) 50.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



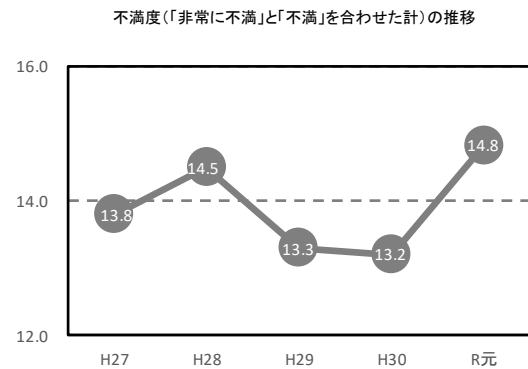
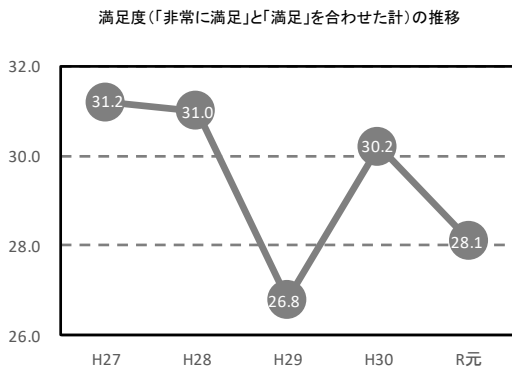
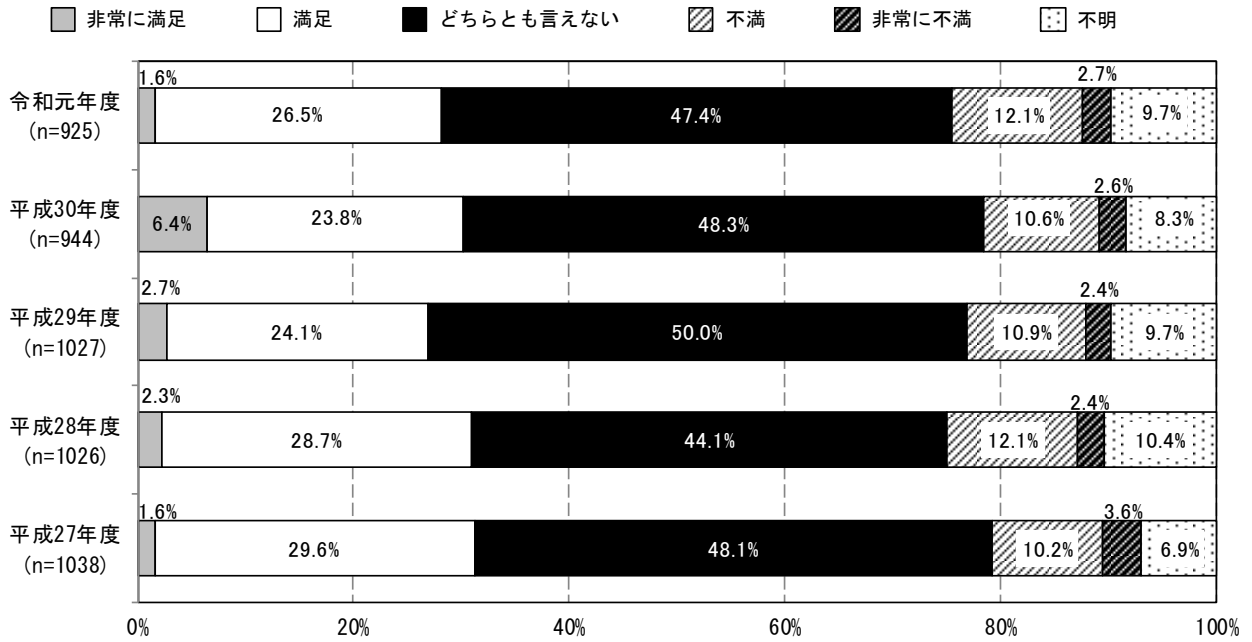
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



<医療・保健サービス>

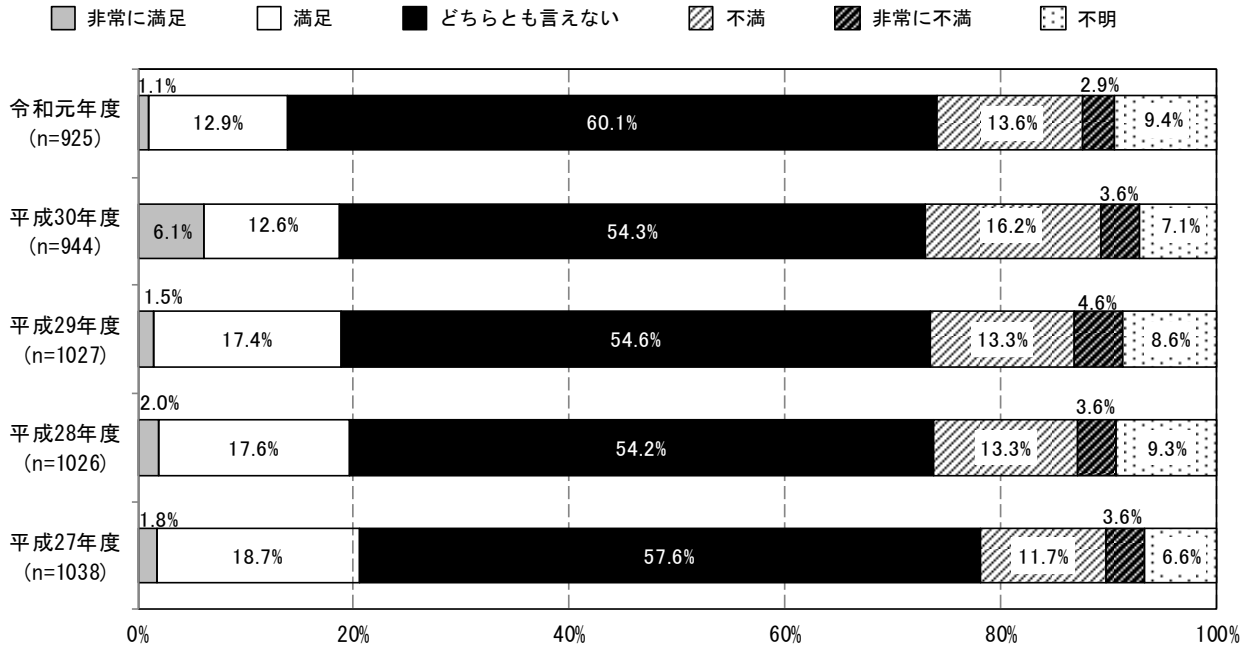
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し、不満度が増加している。目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を、より一層充実させる必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 57.6%
--------	------------------

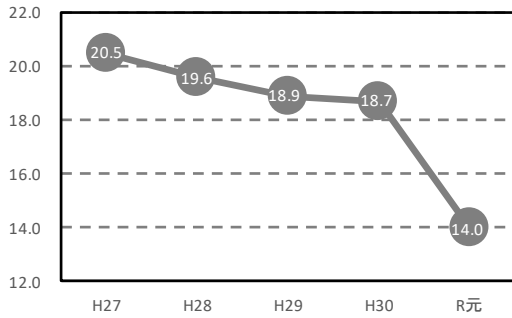


<高齢者・障害者に対する福祉サービス>

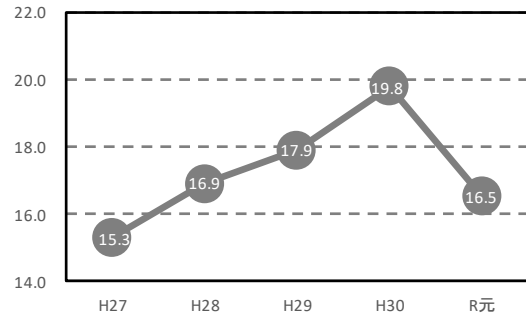
満足度も不満度も減少する結果となった。高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、さらなる支援体制の強化を図る必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



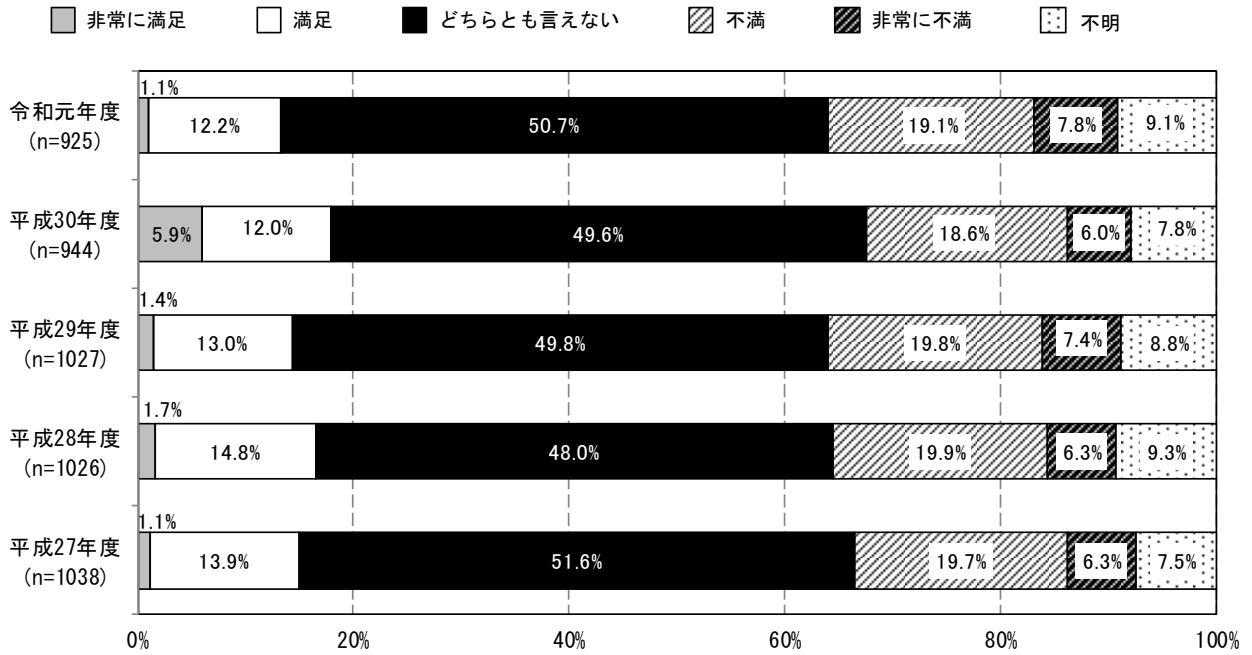
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



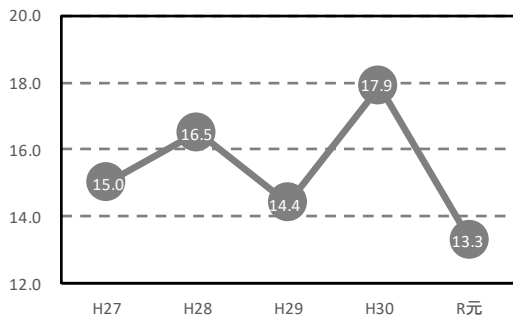
<介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し、不満度が増加している結果となった。目標値の達成に向けて、今後も引き続き必要な社会保障・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整える必要があると思われる。

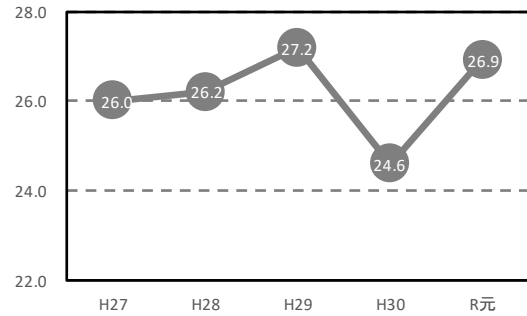
満足度目標値	(令和8年度) 26.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



14. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は233人の回答者より、303件の意見があった。

その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境	1 ゴみの適正処理とリサイクル		5
		1 ごみのリサイクル	1
			1
	2 都市景観とまちの美化		4
		1 自然環境の保全と再生	2
2 太陽光発電設備		1	
3 まちの美化		1	
2 健康・福祉			34
	1 高齢者		11
		1 年金に対する不安	3
		2 高齢者向け施設の整備	2
		3 高齢者の医療費負担	2
		4 高齢者向け施策全般	2
		5 高齢者を介護する側へのサポート	2
	2 子育て		11
		1 子育て支援	6
		2 保育園、幼稚園の充実	2
		3 子どもの医療費助成制度	2
		4 保育料の負担軽減	1
	3 障害者		1
	1 障害者むけの施設の充実	1	
	4 医療・健康		4
		1 健康診断・がん検診	2
		2 喫煙	1
	3 医療機関の充実	1	
	5 経済的支援		5
		1 全世代の優遇	2
		2 不妊治療への経済的支援	1
		3 独身者向けの支援の充実	1
		4 若年層の負担軽減	1
	6 その他		2
		1 社会保障サービスの向上	1
		2 福祉全般	1
3 教育・文化・スポーツ			18
	1 学校教育		12
		1 教育環境の充実	10
		2 学校授業料の無償化	1
		3 教育関係者の待遇改善	1
	2 文化・スポーツ活動		6
1 文化・スポーツ活動施設の管理・運用・整備		4	
2 生涯学習	2		
4 都市基盤・交通			61
	1 道路の整備や公共交通機関		49
		1 交通網や公共交通機関の充実	24
		2 道路(車道、自転車道、歩道)の整備	19
		3 バスサービスの向上	3
		4 道路の管理	2
		5 駐車場の確保、整備	1
		2 公園の整備	
	1 公園の充実、整備		5
	2 公園の管理	2	
	3 計画・開発・整備(活性化を含む)		5
		1 将来に向けた方向性	3
		2 中心市街地	2

大項目	中項目	小項目	件数
5 産業・経済			52
	1 商店街や中小企業、農業		11
		1 駅周辺の活性化	4
		2 計画的なまちづくり	3
		3 商店街・商業施設の活性化	3
		4 農業の振興、後継者対策	1
	2 新しい産業		7
		1 カジノ・ギャンブル	4
		2 商業施設の誘致	2
		3 娯楽施設の充実	1
	3 観光・シティセールスの推進		15
		1 観光の振興・整備	8
		2 市の魅力の向上	4
		3 シティセールスの推進	3
	4 産業人材育成・就労支援や環境整備		19
		1 雇用の充実	11
		2 就労環境の整備	5
		3 賃金の改善	3
6 交流・生活コミュニティ			1
	1 市民活動の促進		1
		1 市民活動の促進	1
7 安全・生活基盤			27
	1 防災・治水対策		10
		1 防災対策	8
		2 災害時の避難方法	1
		3 治水対策	1
	2 防犯		5
		1 マナー向上	3
		2 治安の改善、防犯対策	2
	3 上下水道・住宅の整備		12
		1 空き家対策	6
		2 下水道の整備	5
		3 上水道の整備	1
8 その他・総合			105
	1 総合(政策・制度など)		40
		1 市長・議員	7
		2 広報・広聴・情報公開	3
		3 市報	1
		4 ホームページ	1
		5 市からの通知、連絡書類	1
		6 都市経営・運営	27
			1 住みよいまち
			2 人口減少への対策
			3 まちの活性化
			4 免許証自主返納者への施策
			5 市政全般への要望
			6 安心・安全なまち
			7 同和施策
			8 男女共生
			9 少子化への対策
	2 総合(職員・組織など)		10
		1 窓口対応	5
		2 市職員の対応	4
		3 市職員の給与	1
	3 財政		8
		1 税等(保険料・使用料)	6
		2 財政状況	2
	4 その他		47
		1 市政世論調査	17
		2 お褒め・ねぎらい・応援の言葉	8
		3 市民の協働	5
		4 感謝やお礼の言葉	1
		5 特になし、不明	11
		6 その他	5
合計			303

調査票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(令和元年度)アンケート調査票

このアンケートは、8月26日(月)までに返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住地区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

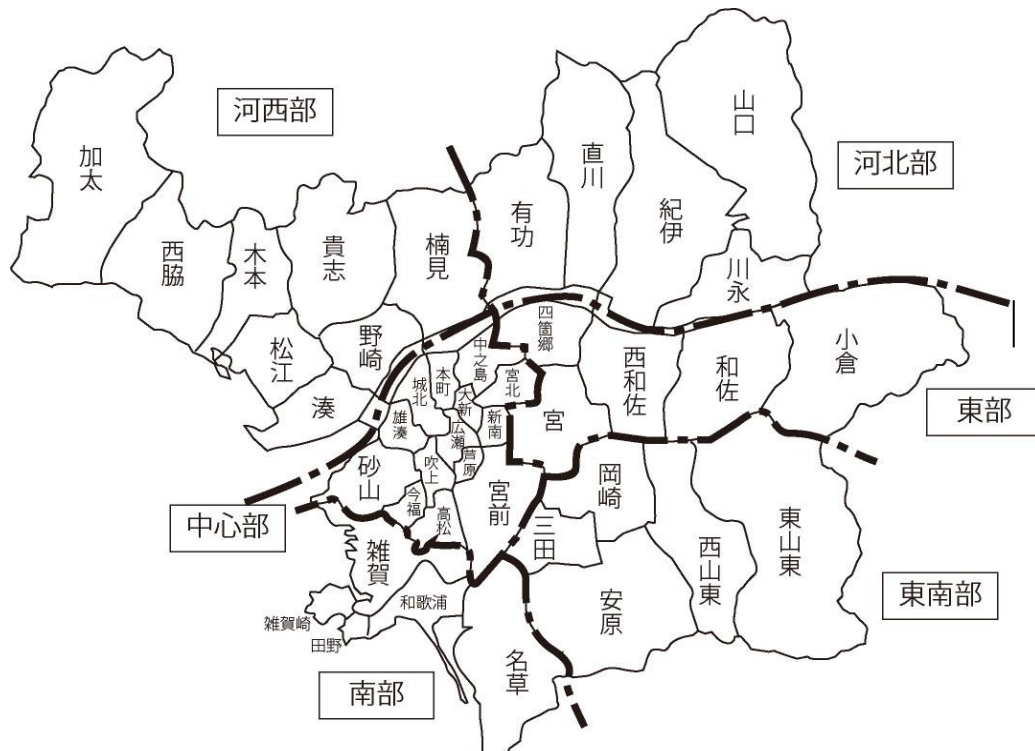
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、配偶者がいますか？

1. いる 2. いない

問6-1

問6で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

どちらも働いていますか？

1. 共働きである 3. 相手が働いている
2. 自身が働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子供（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子供（既婚） 10. 祖父母
5. 子供の配偶者 11. その他
6. 孫 ()

問10-1

問10で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。理由としてあてはまるものを全てお選びください。

1. 家賃が高い
2. 駐車場が確保できない
3. まちなかは落ち着かない
4. 必要性を感じない
5. その他 ()

問11 今まで以上に、男性の育児参加を促すため、特に必要なことは何だと思えますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 父親自身が育児に参加するという気持ちを持つこと
2. 働き方改革など職場の環境を改善すること
3. 育児参加を後押しするよう行政の支援を充実させること
4. 「育児は女性のもの」という育児に対する父親の役割意識を改めること
5. その他 ()

問12 あなたは、日頃から趣味的、教養的な活動やスポーツ的な活動等の生涯学習活動を行っていますか？

1. はい
2. いいえ

問12-1

問12で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。生涯学習活動を行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 生涯学習情報を得る機会が少ない
2. 費用負担が大きい
3. 生涯学習活動を行うための時間を確保できない
4. 子供や介護の必要な方の預け先がない
5. 参加したい講座・体験会がない【参加したい講座等：】
6. 他にしたいことがある【したいことの例：】
7. その他 ()

問13 学校教育の充実に向けて特に必要なことは何だと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 学力を育む教育の推進
2. 地域と一体となった学校づくり
3. 児童・生徒の体力・運動能力の向上
4. いじめ、不登校等の対策
5. 教育環境の整備
6. その他 ()

問 1 4 日常生活においてどのような不安や困りごとがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自宅の掃除やごみ出しなど家事に関すること
2. 育児・介護
3. 家庭内やご近所とのトラブル
4. 地震や台風など災害時の対応
5. お金に関すること
6. 健康や医療に関すること
7. その他 ()

問 1 5 地域における困りごとの相談役となり、支え合いの活動に参加したいですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 参加したい
2. 今は難しいがいずれ参加したい
3. 参加したくない

問 1 5 - 1

問 1 5 で「3. 参加したくない」と回答された方のみお答えください。参加したくない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 時間がない
2. 体力に自信がない
3. 知識やスキルの面で対応が難しそう
4. 問題が起こった際の責任
5. 行政機関が対応すべき
6. その他 ()

問 1 6 介護保険におけるサービスの充実に向けてどのような取組が必要だと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自宅で介護を行えるように、在宅サービスを充実する
2. 施設に入所して生活できるように、施設サービスを充実する
3. 困ったときに身近ですぐに相談に乗ってもらえる場を充実する
4. 介護に関する情報収集ができる手段を充実する
5. 介護予防のための講座や教室を充実する
6. 介護と医療が必要となったときに、在宅で両方のサービスを受けられる体制を充実する
7. 介護と医療が必要となったときに、施設で両方のサービスを受けられる体制を充実する

※介護予防とは、「できる限り介護が必要にならないようにする」「もし介護が必要になっても、それ以上悪化させないようにする」ことです。

3 自殺対策についてお尋ねします。

わが国では、国を挙げて自殺対策を総合的に推進することによって、自殺の防止を図り、あわせて自殺者の親族等の支援の充実を図ることを目的に、平成18年10月に「自殺対策基本法」が施行されました。自殺の原因・動機は多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖して起きています。和歌山市では、平成22年度から様々な自殺対策事業に取り組み、平成31年3月には「和歌山市いのち支える自殺対策計画」を策定したところです。

しかし、自殺死亡率は各年により増減がありますが、厚生労働省の平成30年人口動態統計において、和歌山県の自殺死亡率は全国ワースト1位という深刻な状況となっており、和歌山市では、毎年80人前後の方が自殺で亡くなっています。

問17 自殺対策に関して、知っているものはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自殺対策基本法
2. 和歌山市いのち支える自殺対策計画
3. 知っているものはない

問18 和歌山市における自殺対策に関する事業について知っているものはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. うつ病夜間相談（精神科嘱託医による対面相談）
2. いのちをつなぐポスターコンクール
3. 街頭啓発（エコバッグ、ポケットティッシュ、パンフレット等の配布）
4. ラジオ、新聞折り込み、情報誌等のメディア啓発
5. 知っているものはない

問19 あなたは、過去1年以内に自殺したいまたはそれに近いことを相談されたことがありますか？

1. 相談されたことがある
2. 相談されたことがない

問20 あなたは、過去1年以内に自殺したいまたはそれに近いことを考えたことがありますか？

1. 考えたことがある
2. 考えたことがない

4 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭についてお尋ねします。

令和3年（2021年）秋に、国内最大級の文化の祭典、「第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭」（愛称：「紀の国わかやま文化祭2021」）が和歌山県で初開催されます。

全国的な規模で、様々な文化活動を発表・競演・交流することにより、県内外の人々が様々な文化芸術に触れ親しみ、文化芸術や開催地の魅力を感じることができる「文化の国体」とも呼ばれる祭典です。

[先催県での模様]



問21 あなたは、2021年秋に和歌山県において、「紀の国わかやま文化祭2021」が開催されることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

問22 「紀の国わかやま文化祭2021」の周知と気運の醸成を図るためには、どのような広報手段が効果的だと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物
2. ホームページ、インターネット、SNS
3. テレビ、ラジオ、新聞等のメディア
4. イベント等でのPR活動
5. 広報誌や回覧板等
6. その他（)
7. わからない

問23 「紀の国わかやま文化祭2021」では、和歌山市内でも多彩な文化イベント（合唱、吹奏楽、かるた、演劇、茶道、華道、作品展など）が開催されます。あなたは、「紀の国わかやま文化祭2021」に興味はありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ある
2. ない
3. わからない

問24 あなたは、「紀の国わかやま文化祭2021」に何らかの形で参加してみたいと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. ぜひ参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. 参加したくない
4. どちらともいえない

問24-1

問24で「1. ぜひ参加したい」「2. 機会があれば参加したい」と回答された方のみお答えください。どのような形で参加したいと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 鑑賞者として参加
2. 出演や作品の出品などで参加
3. ボランティアとして運営に参加
4. その他（)

5 家庭教育支援についてお尋ねします。

問25 あなたは、子育てや家庭教育について悩みや不安、孤立感を感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. とても感じている
2. 感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. 感じていない
6. 家族に0～18歳の子供はいない

問25-1

問25で「1. とても感じている」「2. 感じている」と回答された方のみお答えください。
主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 子供の健康
2. 子供の発育・発達
3. 子供のしつけやマナー
4. 子供の性格や癖
5. 子供の勉強や進学
6. 子供の生活の乱れや非行
7. 子供の友人関係
8. 子供の教育費
9. 子供の兄弟姉妹の関係
10. 子供の性
11. 保護者として子供の気持ちがわからない
12. 子供とのコミュニケーションが不足している
13. 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない
14. その他 ()

問26 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？あてはまるものを1つお選びください。

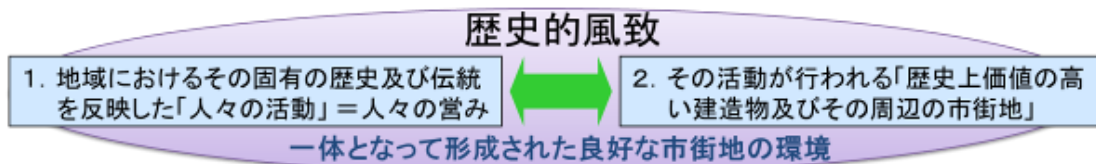
1. 子育て中の親の交流会
2. 子育て・家庭の教育に関する情報提供
3. 行政等による相談の場の充実
4. 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実
5. 行政等が講座やセミナーを行う
6. 地域の人たちが応援する
7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する
8. その他 ()

6 歴史まちづくりについてお尋ねします。

和歌山市では、古くから受け継がれてきた豊かな歴史的景観や地域に息づく歴史文化遺産を守り、育て、継承し、さらに個性豊かな地域づくりへとつなげていくため、平成30年3月に和歌山市歴史的風致維持向上計画を策定しました。

問27 和歌山市歴史的風致維持向上計画を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 計画を読んだことがある
2. 聞いたことはあるが、計画の内容については詳しく知らない
3. 知らない



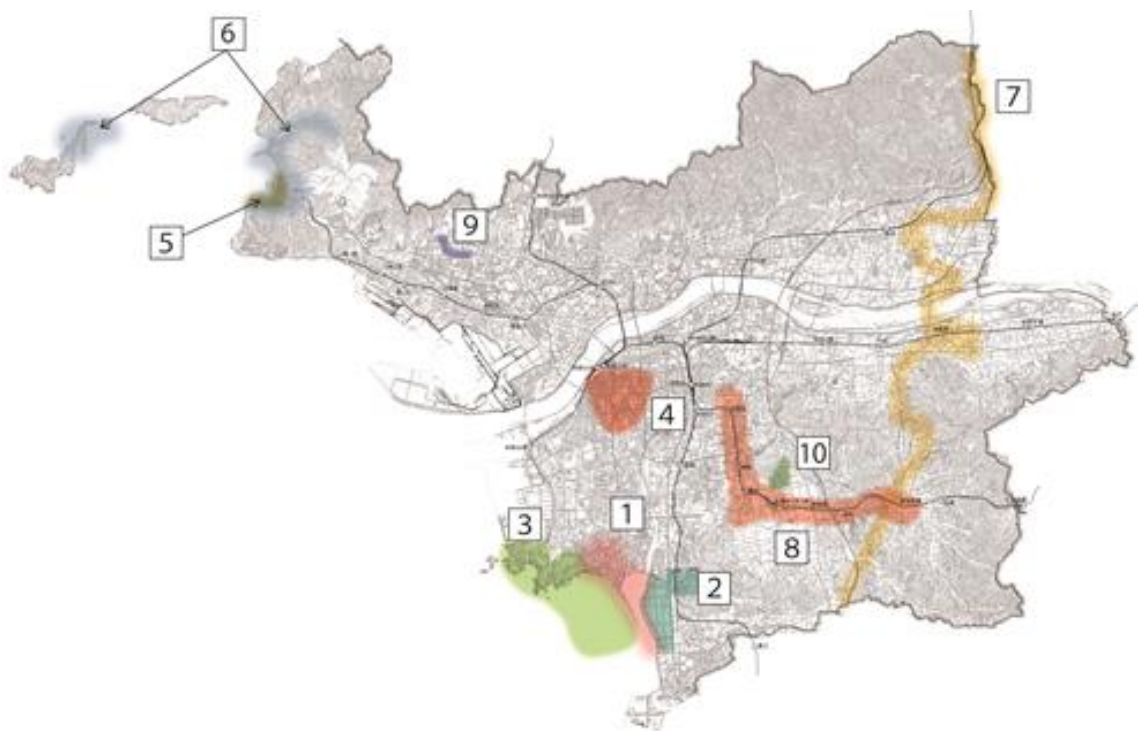
問28 和歌山市歴史的風致維持向上計画では10の歴史的風致を定めていますが、各歴史的風致の人々の営みを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 景勝地和歌の浦にみる歴史的風致（和歌祭、天神祭、和歌の浦の景観を守る活動）
2. 紀三井寺にみる歴史的風致（三井水の利用と保全活動など）
3. 和歌浦湾の漁業集落にみる歴史的風致（雑賀崎の旧正月、幟揚げ神事、潮祭など）
4. 城下町和歌山にみる歴史的風致（和歌山城・内川の保全活動など）
5. 加太春日神社の海老祭にみる歴史的風致（海老祭）
6. 葛城修験にみる歴史的風致（本山派修験道・春の峰入り）
7. 熊野古道にみる歴史的風致（熊野参詣と熊野古道の歴史を伝える活動）
8. 三社詣にみる歴史的風致（三社詣（日前宮、伊太祁曾神社、竈山神社）、三社の祭礼）
9. 木ノ本の獅子舞にみる歴史的風致（木ノ本の獅子舞）
10. 団七踊にみる歴史的風致（団七踊）

問29 和歌山市歴史的風致維持向上計画では、1から3の歴史的風致のエリアを重点区域（和歌の浦区域）として、文化財や歴史的な建造物等とそれらに結び付いた人々の活動の維持や発展に重点的に取り組み、当該区域の歴史的風致の維持向上を効果的に推進することとしていますが、特に取り組むべきことは何だと思えますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 歴史的建造物の保全
2. 電線地中化などの道路美装化
3. 公園・広場整備
4. 観光・情報発信等の拠点施設整備
5. 飲食店等の増加
6. 宿泊施設の増加
7. 公共交通などアクセス環境改善
8. まちなみの統一化
9. 空家対策
10. 伝統文化活動の普及啓発や支援

和歌山市歴史的風致位置図



問3 1-1

問3 1で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法が分からないから
3. 賃貸住宅のため出来ないから
4. 家具や壁に穴を開けたくないから
5. その他 ()

問3 2 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい
2. いいえ

問3 2-1

問3 2で「1. はい」と回答された方のみお答えください。家具の転倒防止対策を何で知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 市報わかやま
4. 回覧板
5. 新聞
6. 知人の紹介
7. チラシ
8. その他 ()

問3 2-2

あなたは、問3 2の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う
2. 思わない

問3 3 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

1. はい
2. いいえ

問3 3-1

問3 3で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している
2. 設置していない

問3 3-2

問3 3で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい
2. 設置したくない

問33-3

問33-1で「2. 設置していない」または、問33-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいか分からない
5. その他 ()

問34 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい
2. いいえ

問34-1

問34で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他 ()

問34-2

問34で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかったから
4. その他 ()

問35 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい
2. いいえ

問35-1

問35で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できないから
5. その他 ()

問36 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

問37 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通過して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している 2. していない

問38 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市防災マップ 5. 内水ハザードマップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ 6. 土砂災害ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ 7. 1～6のマップは知らない
4. 和田川洪水ハザードマップ

問39 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威 4. 各自主防災組織の活動内容紹介
2. 災害への備え 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
3. 市が進める防災対策 6. その他 ()

問40 防災行政無線等による市からの情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない(理由:)

問41 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ 5. 防災情報メール
2. テレビのデータ放送 6. 防災情報電話案内サービス
3. インターネット(県・市のホームページ) 7. その他 ()
4. 防災行政無線

問42 災害に対する安全性向上に向けてどのような取組が必要だと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 災害に強いまちづくり(一時避難場所・避難路、河川港湾・ライフライン等のハード整備)
2. 災害に強いシステムづくり(情報伝達・避難体制、消防・医療・衛生体制等のソフト整備)
3. 災害の抑制と被害の軽減(ハード・ソフト事業を推進するための各防災計画等の整備)
4. 災害に強い人づくり(「自助・共助」の理念のもと、地域防災力の充実・強化)
5. その他 ()

9 在宅医療についてお尋ねします。

問45 あなたは、在宅医療についてご存知ですか？

1. はい 2. いいえ

問46 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 自宅
2. 子供や親戚の家
3. 病院などの医療機関への入院
4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
6. わからない
7. その他 ()

問47 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいと考えていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. なるべく早く医療機関に入院したい
2. 自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい
3. 自宅で最後まで療養したい
4. 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
6. その他 ()

問48 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP(アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議)」について、ご存知ですか？

1. はい 2. いいえ

10 健康についてお尋ねします。

問49 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい 2. いいえ

問49-1

問49で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。理由としてあてはまるものを全てお選びください。

1. 忙しくて時間がない
2. 運動できる環境が身近にない
3. 一緒に運動できる仲間等がない
4. 健康づくりに関心がない
5. その他 ()

問50 あなたは、タバコを吸っていますか？（電子タバコを含む）（20歳以上の方のみお答えください。）

1. 現在吸っている（紙タバコ）
2. 現在吸っている（電子タバコ）
3. 吸ったことはあるが今は吸っていない
4. 吸ったことがない

問50-1

問50で「1. 現在吸っている（紙タバコ）」「2. 現在吸っている（電子タバコ）」と回答された方のみお答えください。あなたが、最もあてはまるものを1つお選びください。

1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問51 あなたは、健康増進法一部改正により望まない受動喫煙を防止するための取組がマナーからルールへ変わることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 内容も含め、知っている
2. 知っているが詳しくは分からない
3. 知らない

問52 あなたは、この1か月間に自分以外の人が吸っていたタバコの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 受動喫煙はなかった
2. 家庭
3. 職場
4. 飲食店
5. 行政機関
6. 医療機関
7. 交通機関
8. 運動施設
9. 宿泊施設
10. その他 ()

1 1 スポーツについてお尋ねします。

問 5 5 あなたは、週一回以上運動やスポーツ（通勤時の徒歩や自転車、ウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む）をしていますか？

1. はい 2. いいえ

問 5 5 - 1

問 5 5 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 健康保持・体力増進 5. ストレスの解消
2. 好きだから 6. 生活を楽しく、豊かにするため
3. 仲間との交流 7. その他 ()
4. 美容及び肥満の予防

問 5 5 - 2

問 5 5 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、週一回以上行っている運動やスポーツは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. ウォーキング（散歩） 11. サーフィン
2. ジョギング（ランニング） 12. スケートボード
3. テニス 13. 体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）
4. 水泳 14. ダンス
5. 野球 15. 筋力トレーニング
6. ソフトボール 16. サイクリング（自転車）
7. サッカー 17. ゴルフ
8. バレーボール 18. 通勤時のウォーキング・サイクリング
9. バasketボール 19. その他 ()
10. 卓球

問 5 5 - 3

問 5 5 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 必要ないと思うから 5. 家族や友人の支援がないから
2. 忙しくて時間がないから 6. 意思が弱いから
3. 体調が悪い・疲れているから 7. 場所や施設がないから
4. 運動・スポーツをする仲間がないから 8. その他 ()

問55-4

問55で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. 今後もしようと思わない
8. その他 ()

13 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問58 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
1. はい 2. いいえ
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
1. はい 2. いいえ
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
1. はい 2. いいえ
- (4) あなたの、かかりつけ医はありますか？
1. はい 2. いいえ
- (5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ)
1. はい 2. いいえ
- (6) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？
1. はい 2. いいえ
- (7) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
1. はい 2. いいえ
- (8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
1. はい 2. いいえ
- (9) 日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？
1. はい 2. いいえ
- (10) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？
1. はい 2. いいえ
- (11) 公園を月1回以上利用されますか？
1. はい 2. いいえ
- (12) あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？
1. はい 2. いいえ

14 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問59 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない 全く重要では
産業が元気なまち 安定した雇用を生み出す	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ごみ減量や資源のリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
育つまち 子供たちがいきいきと	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも 言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも 言	はない あまり重要で ない	全く重要では ない
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公共交通の総合的なサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

*****ご協力ありがとうございました*****